

佐倉市健康増進計画
「健康さくら21（第2次）」
市民健康意識調査報告書

平成30（2018）年3月

佐 倉 市

目次

第1章 調査の概要

1. 調査の目的.....	3
2. 調査対象.....	3
3. 調査時期.....	3
4. 調査方法.....	3
5. 回収結果.....	4
6. 調査結果を見る上での注意事項.....	4

第2章 調査結果の詳細

I 一般市民健康調査結果.....	7
1. 基本属性.....	7
2. 栄養・食生活.....	10
3. 身体活動・運動.....	18
4. 休養・こころの健康づくり.....	25
5. 自殺.....	32
6. たばこ.....	38
7. アルコール.....	43
8. 歯の健康.....	46
9. 生活習慣病.....	48
10. 子育て.....	61
11. 健康についての考え方.....	67
12. あなたの健康.....	69
13. 生きがい、まちづくり.....	73
II 妊娠・出産・育児調査結果.....	77
1. 基本属性.....	77
2. 家族、地域とのかかわり.....	78
3. 第1子を妊娠したときの状況.....	82
4. 第1子を出産したときの状況.....	90
5. 第1子の育児.....	96
6. すべての子の育児.....	100
7. すべての子の健康管理.....	110

Ⅲ	幼児・小学生調査結果.....	115
1.	基本属性.....	115
2.	健康についての考え方.....	118
3.	栄養・食生活.....	120
4.	身体活動・運動.....	125
5.	休養・こころの健康づくり.....	126
6.	たばこ.....	128
7.	アルコール.....	130
8.	歯の健康.....	133
9.	子育て.....	134
Ⅳ	中・高校生調査結果.....	147
1.	基本属性.....	147
2.	健康についての考え方.....	149
3.	栄養・食生活.....	152
4.	身体活動・運動.....	158
5.	休養・こころの健康づくり.....	159
6.	たばこ.....	167
7.	アルコール.....	170
8.	歯の健康.....	172
9.	薬物や性、子育て.....	173
10.	人づきあいなど.....	185

第 1 章 調査の概要

1. 調査の目的

国の「健康日本21」「健やか親子21」を背景として、佐倉市では、市民一人ひとりが健康で、生涯現役でこころ豊かに生活できる「健康なまち」をめざし、その達成に向けて地域の諸特性・資源に立脚した特色ある健康づくり事業を体系的、継続的に推進していくための指針となる「佐倉市健康増進計画『健康さくら21』」を平成16年3月に策定しました。その後、平成20年度には中間見直しを実施、平成25年3月には、市民の健康づくりと健やかな親子づくりを引き続き推進していくために「健康さくら21（第2次）」を策定しました。

「健康さくら21（第2次）」の計画目標年度は平成34年度までとしていることから、この度、中間見直しに当たり、平成29年度において「市民健康意識調査」を実施しました。

調査は、健康水準の適切な評価を行うために市民の基本的な生活習慣や健康状態、健康意識をベースラインとして把握する必要があることから、①一般市民調査、②幼児・小学生調査、③中・高校生調査、④妊娠・出産・育児調査の4分類とし、その結果を基礎に現行計画の達成状況の評価を行います。

2. 調査対象

分類	対象者の選定方法及び人数
一般市民調査	住民基本台帳から無作為抽出による19歳以上の市内在住者2,000人
妊娠・出産・育児	乳児相談、もぐもぐ教室、1歳6か月児健診、3歳児健診対象の保護者707人
幼児・小学生調査	幼 児：1歳6か月健診、2歳幼児歯科健診、3歳児健診対象の保護者400人 小学生：市内の3つの小学校に通学する2，4，6年生の保護者369人（クラス単位）
中・高校生調査	中学生：市内の3つの中学校に通学する2年生383人（クラス単位） 高校生：市内の3つの高校に通学する2年生510人（クラス単位）

3. 調査時期

平成30（2018）年2月

4. 調査方法

- ① 一般市民調査・・・郵送配布・郵送回収
- ② 妊娠・出産・育児・・・郵送配布・郵送回収
- ③ 幼児・小学生調査・・・幼児：郵送配布・郵送回収、小学生：学校経由で配布・回収
- ④ 中・高校生調査・・・学校経由で配布・回収

5. 回収結果

	配布数	有効回収数	有効回収率
一般市民調査	2,000	1,038	51.9%
妊娠・出産・育児	707	447	63.2%
幼児・小学生調査	769	545	70.9%
中・高校生調査	893	841	94.2%
合計	4,369	2,870	65.6%

6. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

第 2 章 調査結果の詳細

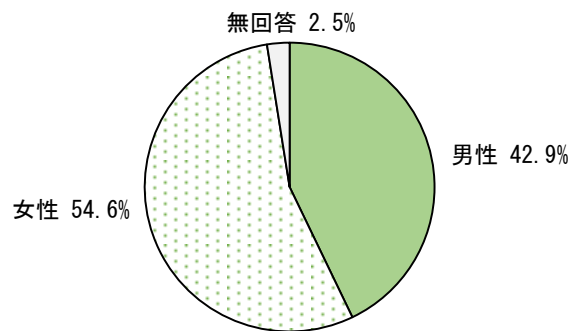
I 一般市民調査結果

1. 基本属性

(1) 性別

F 1 性別（○は1つだけ）

性 別

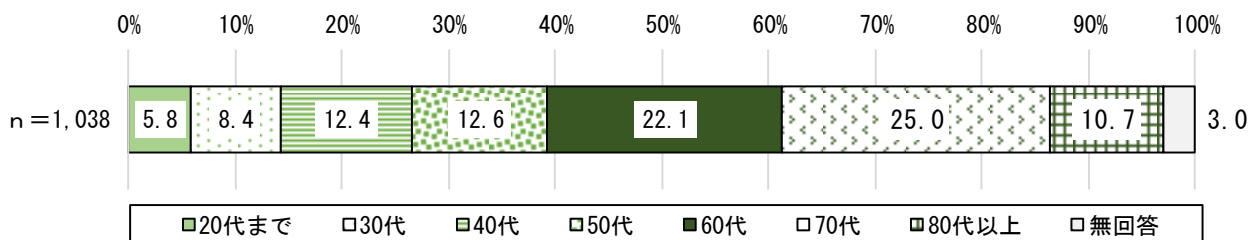


n = 1,038

(2) 年齢

F 2 年齢

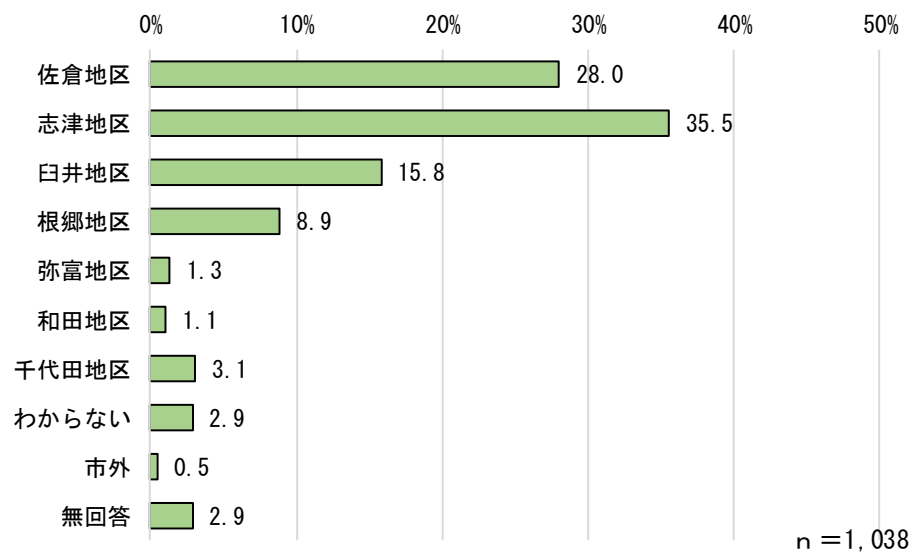
年 齢



(3) 居住地域

F 3 お住まいの地区 (○は1つだけ)

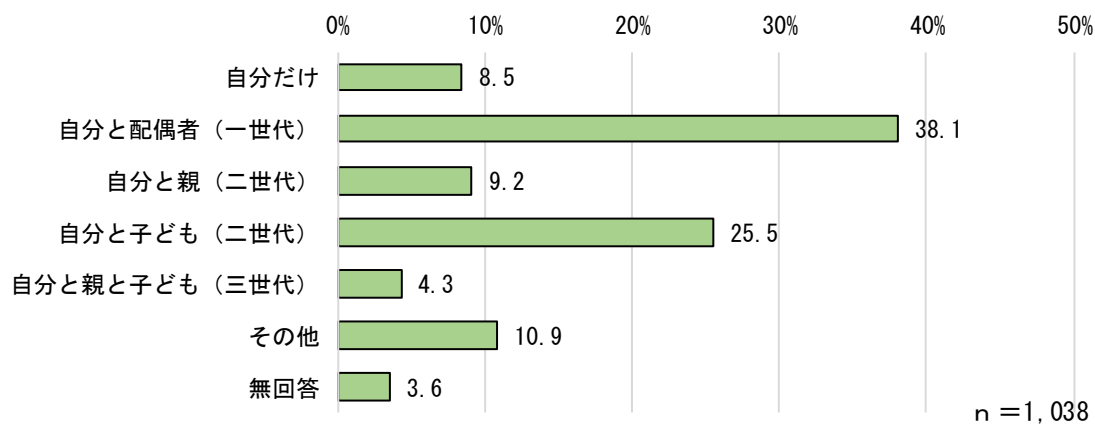
居住地域



(4) 同居者

F 4 一緒に住んでいる家族 (○は1つだけ)

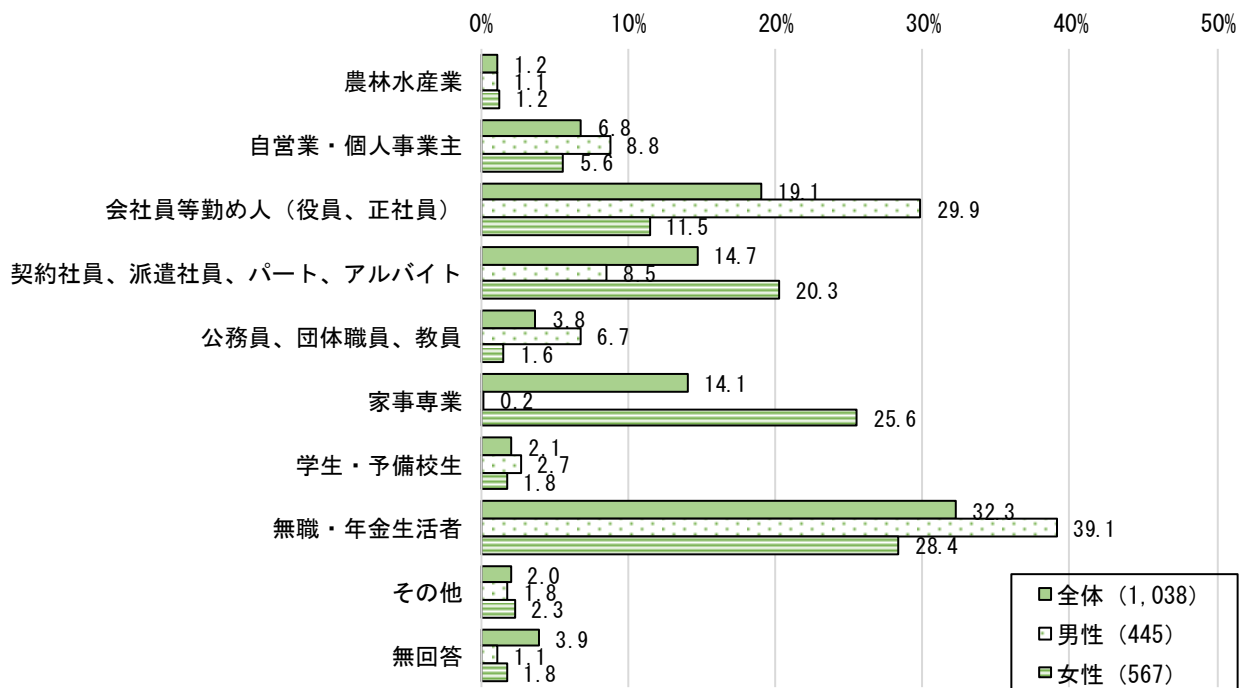
同居者／年齢



(5) 職業

F 5 職業 (○は1つだけ)

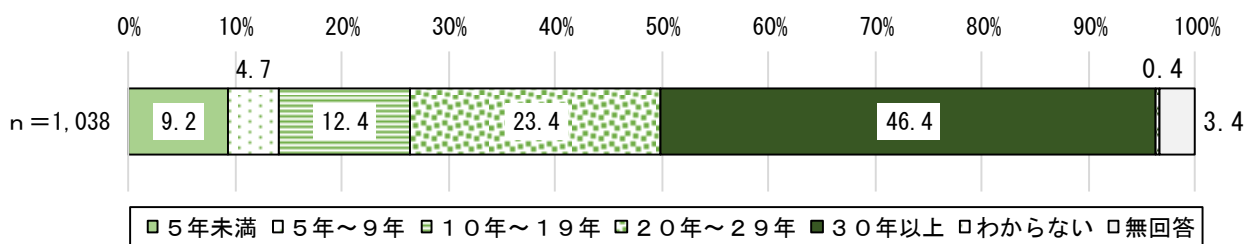
職業



(6) 居住年数

F 6 佐倉市の居住期間 (○は1つだけ)

居住年数



2. 栄養・食生活

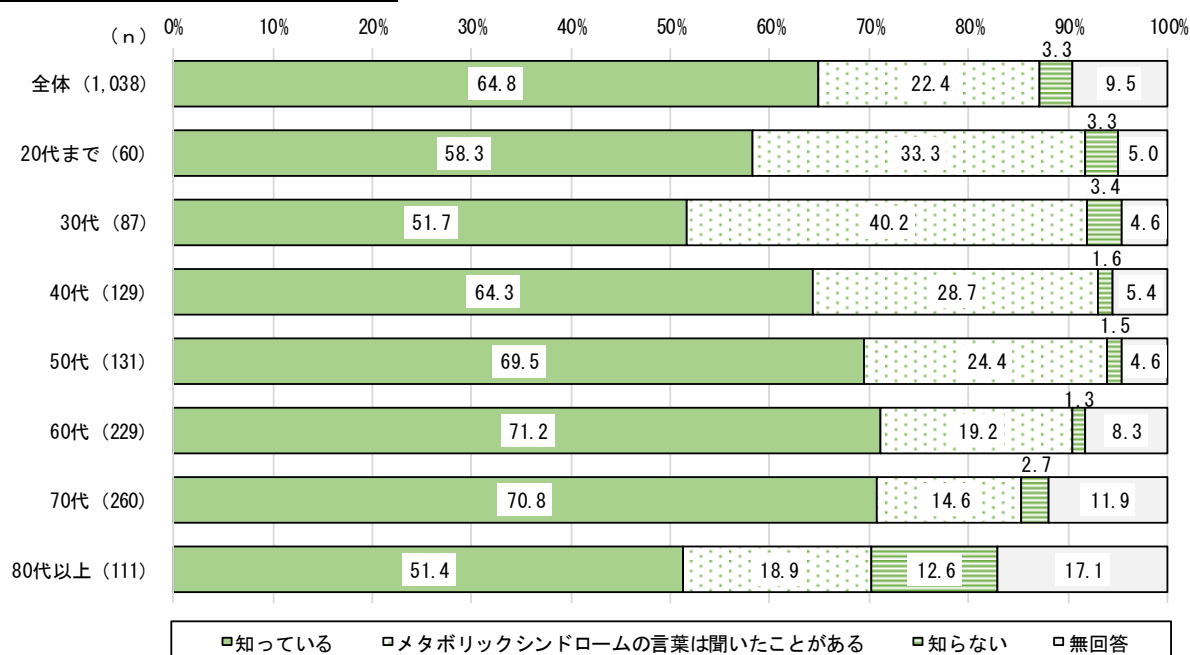
(1) メタボリックシンドローム

問1 メタボリックシンドロームとは、内臓脂肪型肥満に高血圧・脂質異常・高血糖といった危険因子が加わった状態をいいます。このことを知っていましたか？（○は1つだけ）

メタボリックシンドロームについて、「知っている」が64.8%、「メタボリックシンドロームの言葉は聞いたことがある」が22.4%となっています。

年齢別にみると、＜60代＞と＜70代＞の「知っている」が7割以上となっています。＜30代＞は「知っている」が5割程度となっています。

メタボリックシンドローム／年齢



(2) BMI (身長、体重)

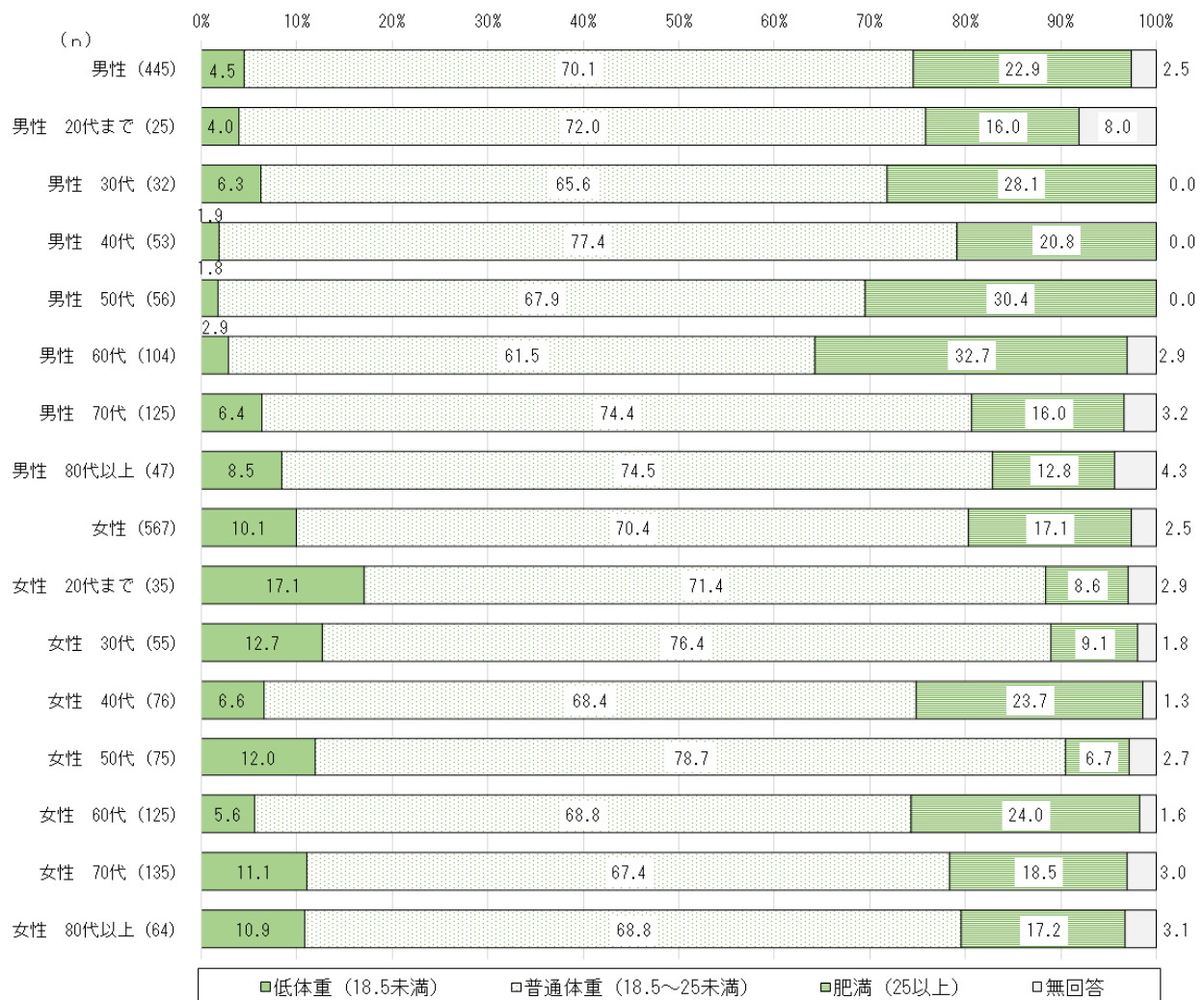
問2 あなたのおおよその身長、体重を整数で教えてください。(小数点以下は四捨五入してください)

数値で記入された身長・体重から、BMIを算出しました。

性別にみると、「肥満」が＜男性＞は22.9%と＜女性＞より多くなっています。

性・年齢別でみると、＜男性 50代＞と＜男性 60代＞は「肥満」が3割以上となっています。＜女性 20代まで＞は、「低体重」が17.1%となっています。

BMI／性別、性・年齢



(3) 食生活に関するふだんのころがけ

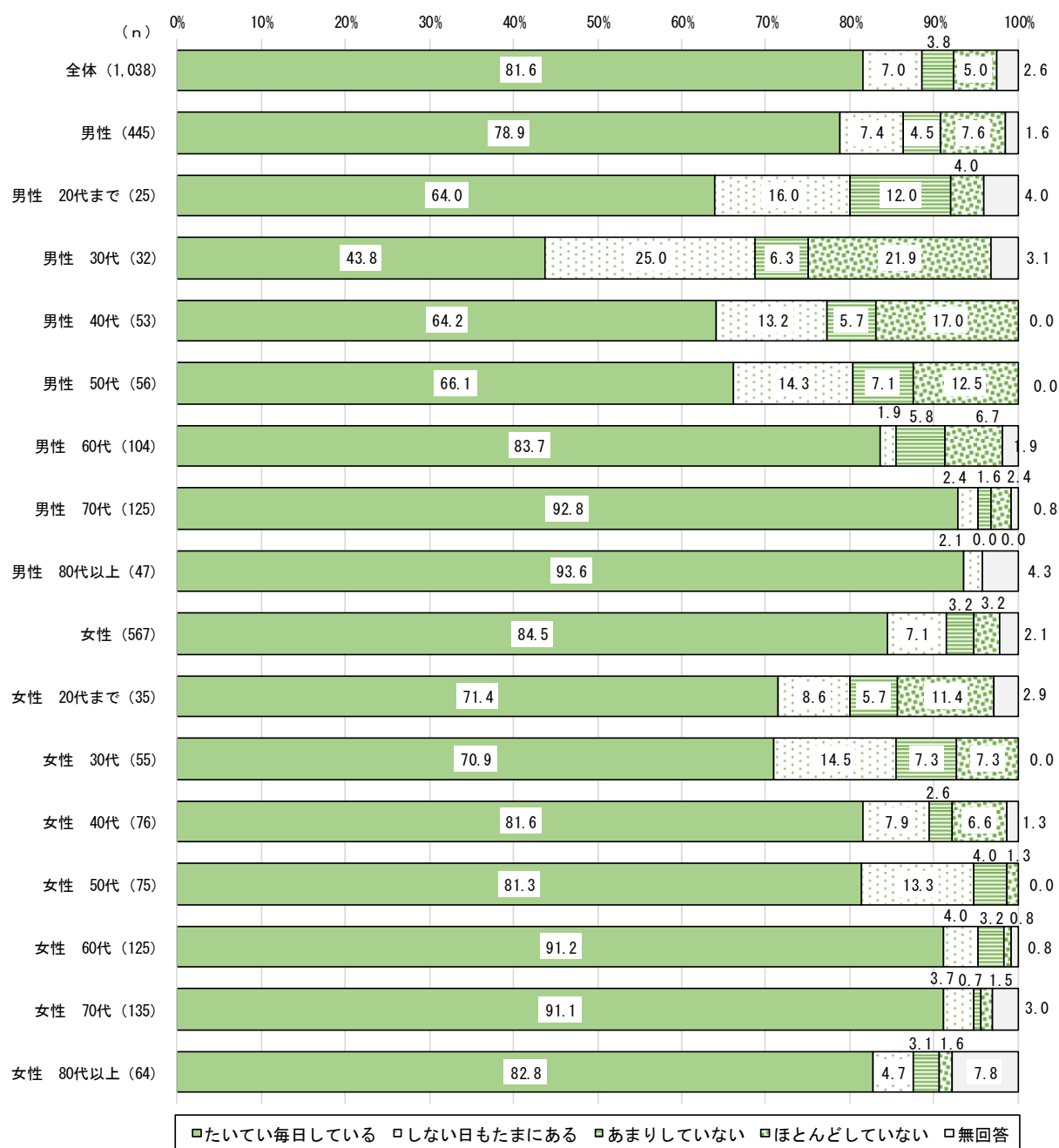
問3 あなたはふだん、次のそれぞれのことをどのくらいしていますか。(それぞれについて、当てはまる番号1つだけに○)

朝食を食べる

朝食を食べるは、「たいてい毎日している」は81.6%、「しない日もたまにある」は7.0%、「ほとんどしていない」が5.0%となっています。

性・年齢別にみると、＜男性 70代＞と、＜男性 80代以上＞、＜女性 60代＞、＜女性 70代＞は「たいてい毎日している」が9割以上となっています。＜男性 30代＞は朝食を食べない人の割合が約3割で他の年代に比べて高くなっています。

朝食を食べる／性別、性・年齢



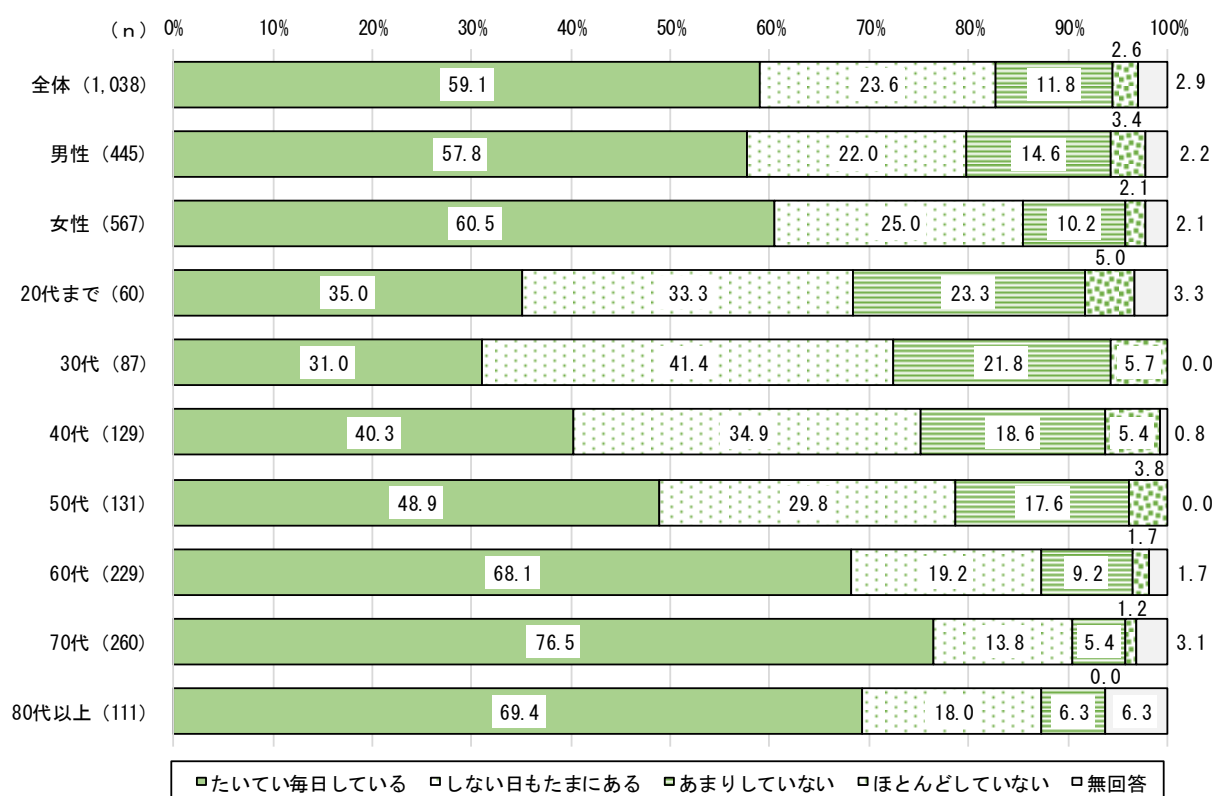
主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べている

主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べているは、「たいてい毎日している」が59.1%、「しない日もたまにある」が23.6%となっています。

性別にみると、＜女性＞は「たいてい毎日している」が60.5%と、＜男性＞の57.8%よりも多くなっています。

年齢別にみると、＜70代＞は「たいてい毎日している」が76.5%となっています。＜20代まで＞と＜30代＞、＜40代＞は「しない日もたまにある」が3割以上となっています。

主食、主菜、副菜を組み合わせた食事を1日2回以上食べている／性別、年齢

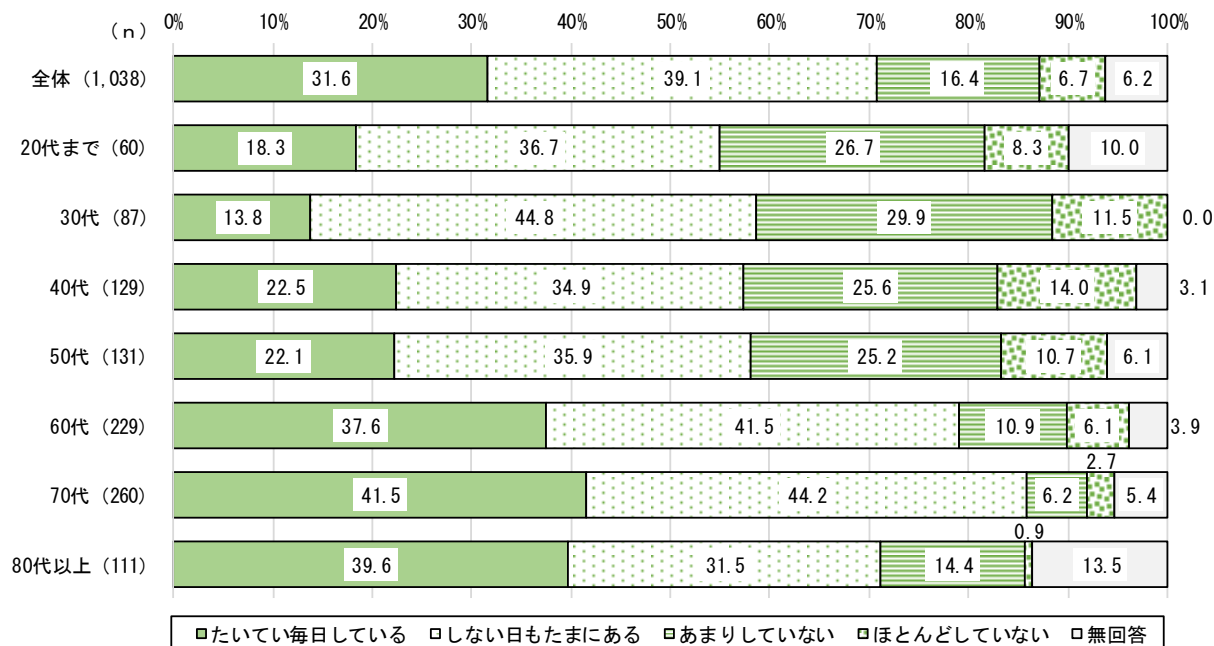


毎食（3食）、野菜料理を食べる

毎食（3食）、野菜料理を食べるは、「たいてい毎日している」が31.6%、「しない日もたまにある」が39.1%、「あまりしていない」が16.4%となっています。

年齢別にみると、＜60代＞と＜70代＞、＜80代以上＞は「たいてい毎日している」が約4割で、他の年代と比べると高くなっています。＜30代＞と＜40代＞、＜50代＞は「ほとんどしていない」が1割以上となっています。

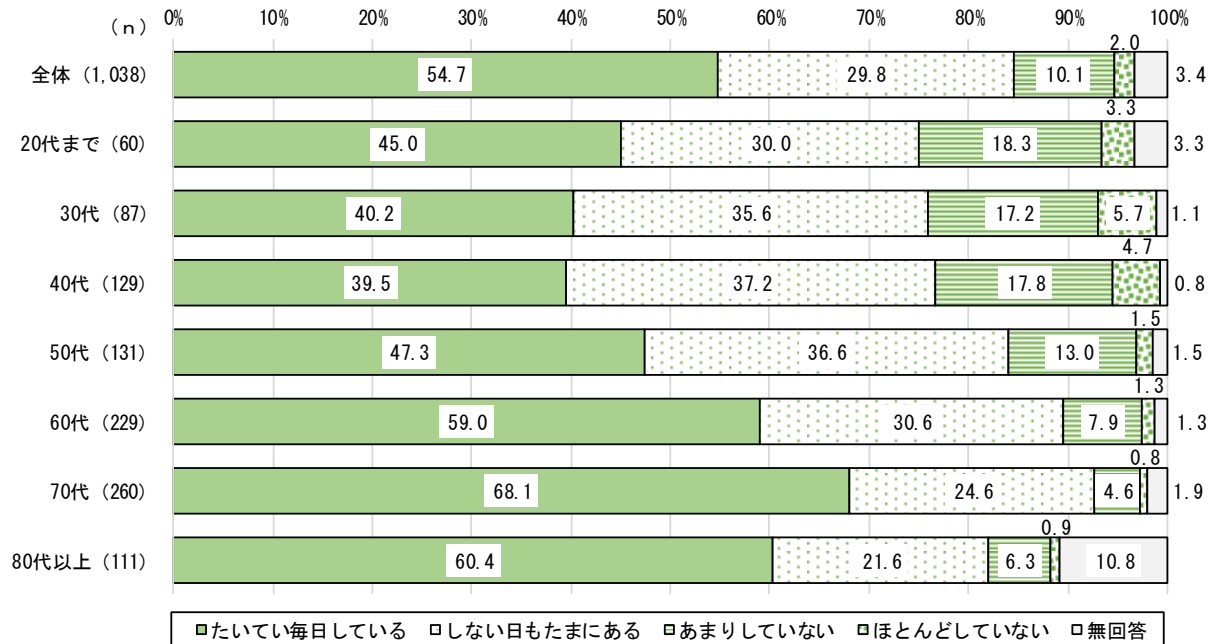
毎食（3食）、野菜料理を食べる／年齢



カルシウムを多く含む食品(乳製品・豆類・緑黄色野菜など)を食べている

カルシウムを多く含む食品(乳製品・豆類・緑黄色野菜など)を食べているは、「たいてい毎日している」が54.7%、「しない日もたまにある」が29.8%、「あまりしていない」が10.1%となっています。
年齢別にみると、＜70代＞と＜80代以上＞が「たいてい毎日している」が6割以上となっています。

カルシウムを多く含む食品(乳製品・豆類・緑黄色野菜など)を食べている／年齢

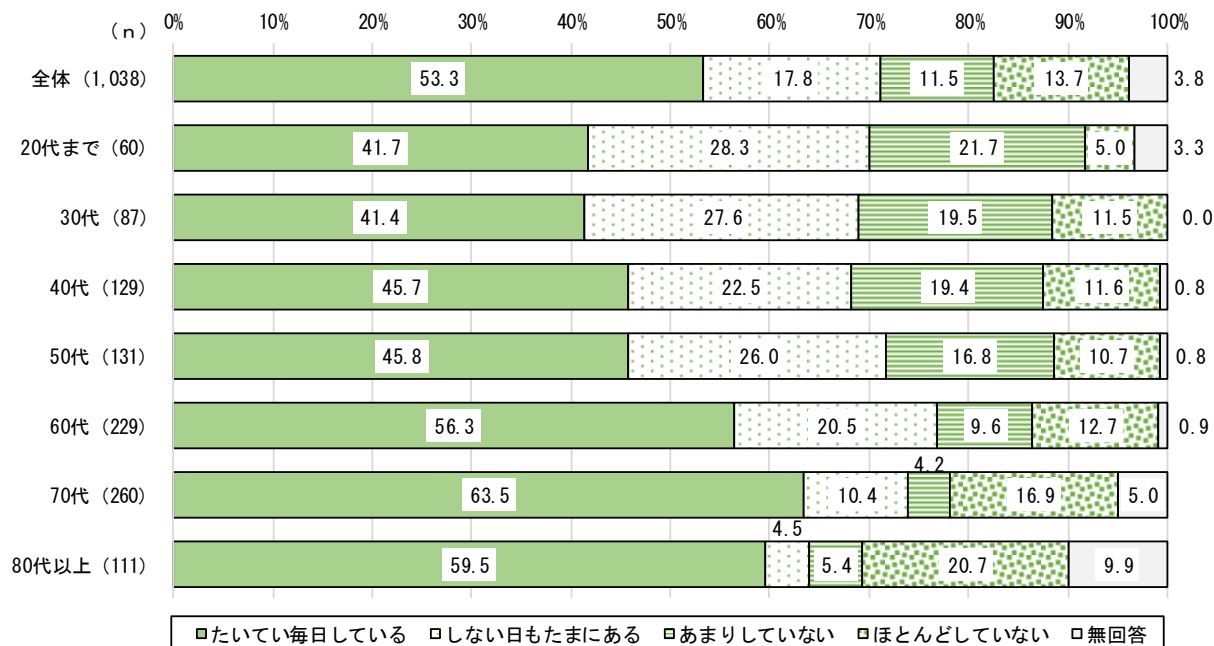


夜遅い時間の食事や飲酒をひかえる

夜遅い時間の食事や飲酒をひかえるは、「たいてい毎日している」が53.3%、「しない日もたまにある」が17.8%、「ほとんどしていない」が13.7%となっています。

年齢別にみると、＜70代＞と＜80代以上＞は「たいてい毎日している」が約6割、＜80代以上＞は「ほとんどしていない」が約2割となっており、＜20代まで＞と＜30代＞は「しない日もたまにある」が約3割となっています。

夜遅い時間の食事や飲酒をひかえる／年齢



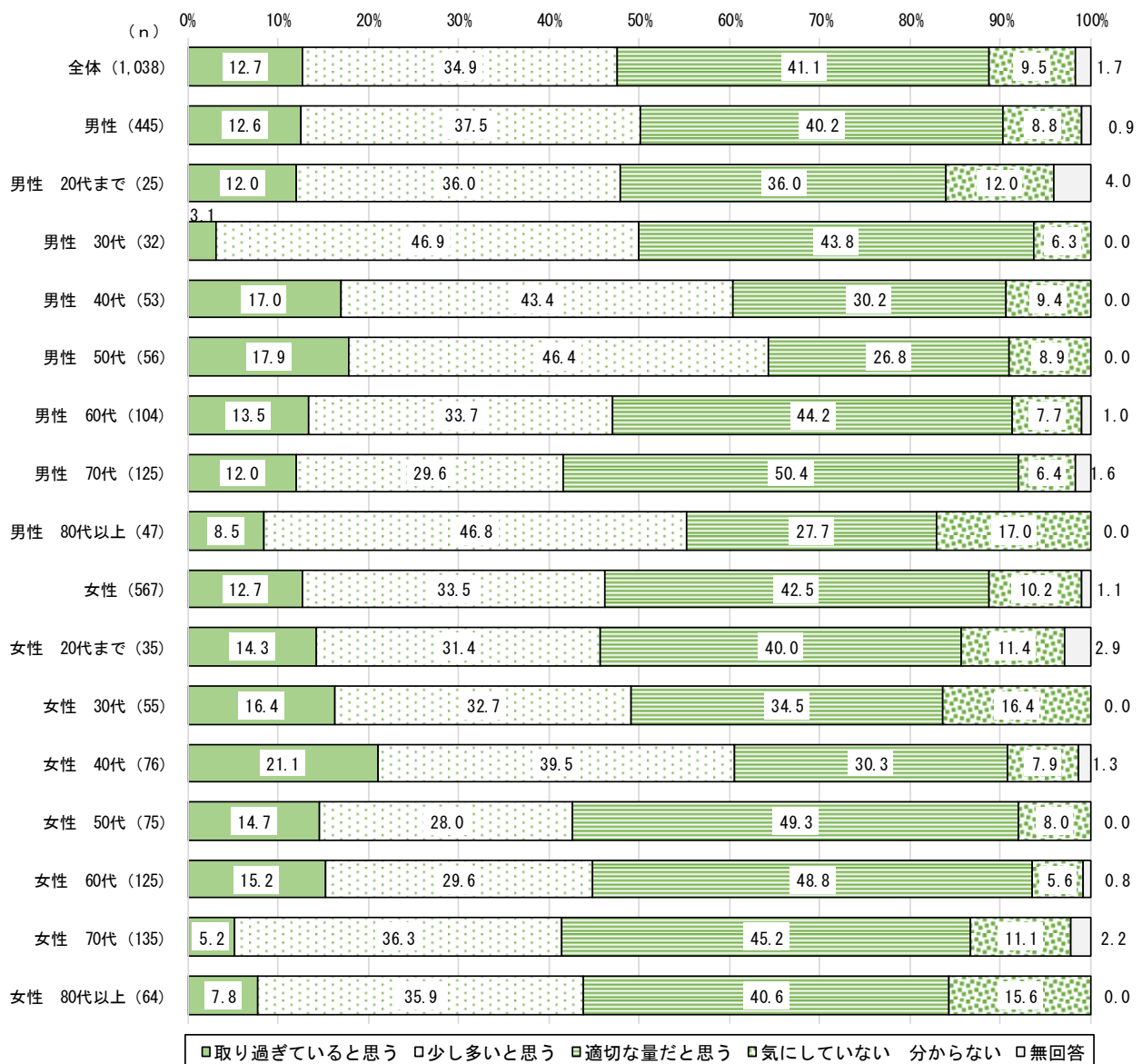
問4 あなたの塩分の摂取状況についてどのように思いますか。(〇は1つだけ)

塩分の摂取状況は、「取り過ぎていると思う」が12.7%、「少し多いと思う」が34.9%、「適切な量だと思う」が41.1%となっています。

性別にみると、＜男性＞は「取り過ぎていると思う」と「少し多いと思う」をあわせた、塩分の摂取が《多い》と思うが、50.1%で、＜女性＞の46.2%より高くなっています。

年齢別にみると、＜男性 40代＞と＜男性 50代＞、＜女性 40代＞は、《多い》が6割以上で、他の年代より高くなっています。

塩分の摂取状況／性別、性・年齢



3. 身体活動・運動

(1) 身体活動・運動のところがけ

問5 日頃から日常生活の中で、健康の維持・増進のため、意識的に身体を動かすなどの運動をしていますか。(〇は1つだけ)

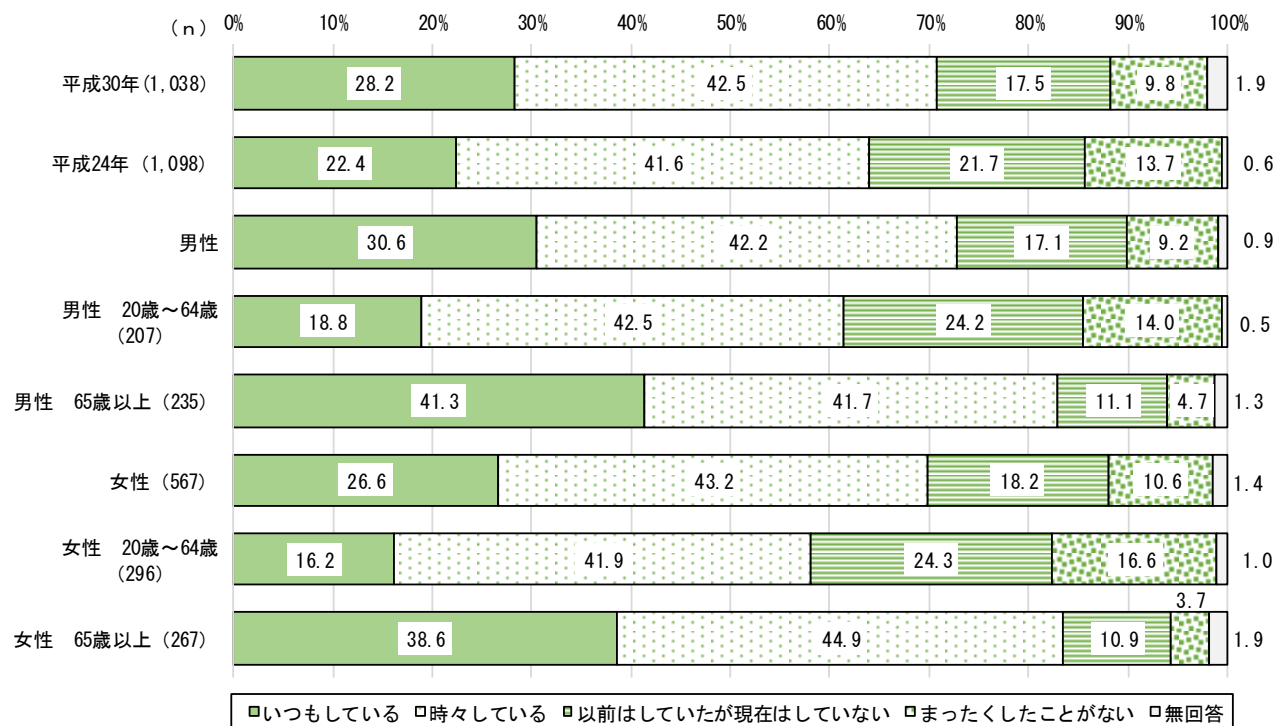
身体活動・運動のところがけは、「いつもしている」が28.2%、「時々している」が42.5%、「以前はしていたが現在はしていない」が17.5%となっています。

平成24年の調査結果と比較すると、「いつもしている」が5.8ポイント増加、「まったくしたことがない」が3.9ポイント減少しています。

性別にみると、男女に大きな差はありませんでした。

年齢別にみると、＜男性 65歳以上＞と＜女性 65歳以上＞は「いつもしている」が約4割で他の世代と比較すると高くなっています。

身体活動・運動のところがけ／前回、性別、性・年齢



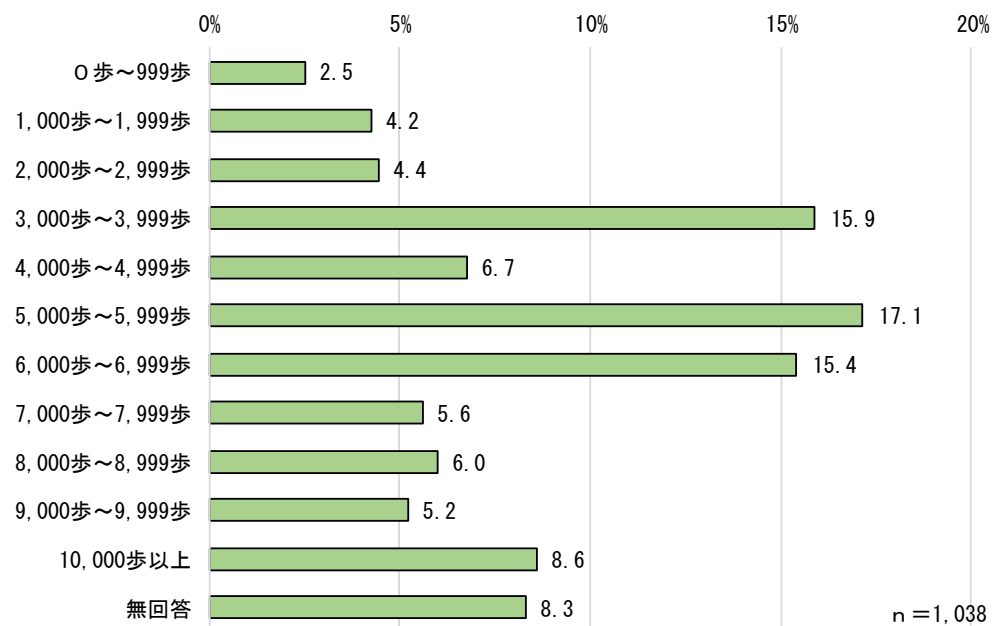
(2) 運動の実践状況

問6 日常生活において、1日、およそ何歩くらい歩いていますか。

1日の歩数については、「5,000歩～5,999歩」が17.1%と最も多く、次いで「3,000歩～3,999歩」が15.9%、「6,000歩～6,999歩」が15.4%となっています。

年齢別にみると、＜男性 20歳～64歳＞は「9,000歩～9,999歩」と「10,000歩以上」が1割以上となっています。＜女性 20歳～64歳＞は「3,000歩～3,999歩」が17.2%と最も多く、＜女性 65歳以上＞は「6,000歩～6,999歩」が19.1%と最も多くなっています。

1日の歩数／性・年齢



(n)	0 歩～999 歩	1,000 歩～1,999 歩	2,000 歩～2,999 歩	3,000 歩～3,999 歩	4,000 歩～4,999 歩	5,000 歩～5,999 歩	6,000 歩～6,999 歩	7,000 歩～7,999 歩	8,000 歩～8,999 歩	9,000 歩～9,999 歩	10,000 歩以上	無回答
全体 (1,038)	2.5	4.2	4.4	15.9	6.7	17.1	15.4	5.6	6.0	5.2	8.6	8.3
男性 20 歳～64 歳 (207)	1.4	4.8	4.3	10.6	3.9	14.5	17.4	4.3	5.8	10.6	19.8	2.4
男性 65 歳以上 (235)	3.8	5.1	3.4	17.9	4.3	22.6	8.9	9.8	4.7	5.1	8.9	5.5
女性 20 歳～64 歳 (296)	0.7	3.0	5.1	17.2	8.4	14.2	15.5	4.1	9.5	5.4	8.4	8.4
女性 65 歳以上 (267)	4.1	4.5	4.5	17.6	9.4	18.7	19.1	3.7	3.7	1.5	0.7	12.4

(%)

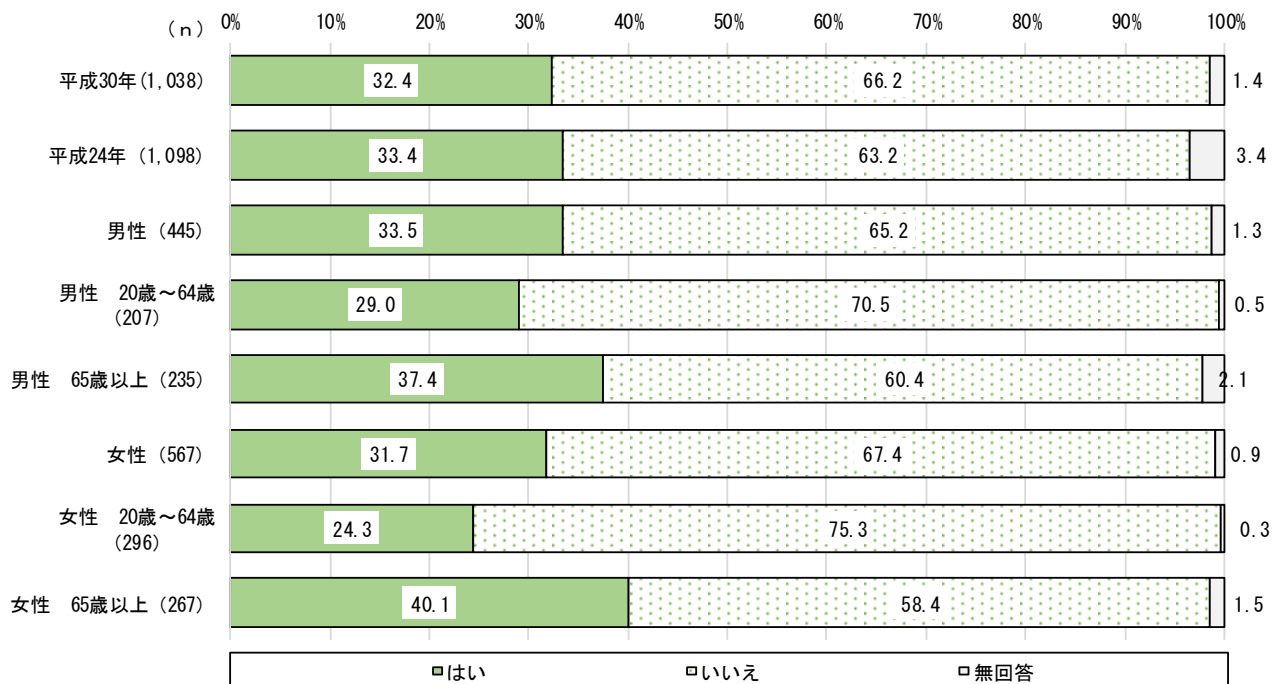
問7 「息がはずむ程度」の運動を「30分週2回以上」または、「週1回1時間以上」行なっていますか。(○は1つだけ)

運動の実践状況は、「はい」が32.4%、「いいえ」が66.2%となっています。

平成24年の調査結果と比較すると、「はい」が1ポイント減少、「いいえ」が3ポイント増加しました。性別にみると、男女に大きな差はありませんでした。

年齢別にみると、＜男性 65歳以上＞と＜女性 65歳以上＞は「はい」が約4割となっています。

運動の実践状況／前回、性別、性・年齢



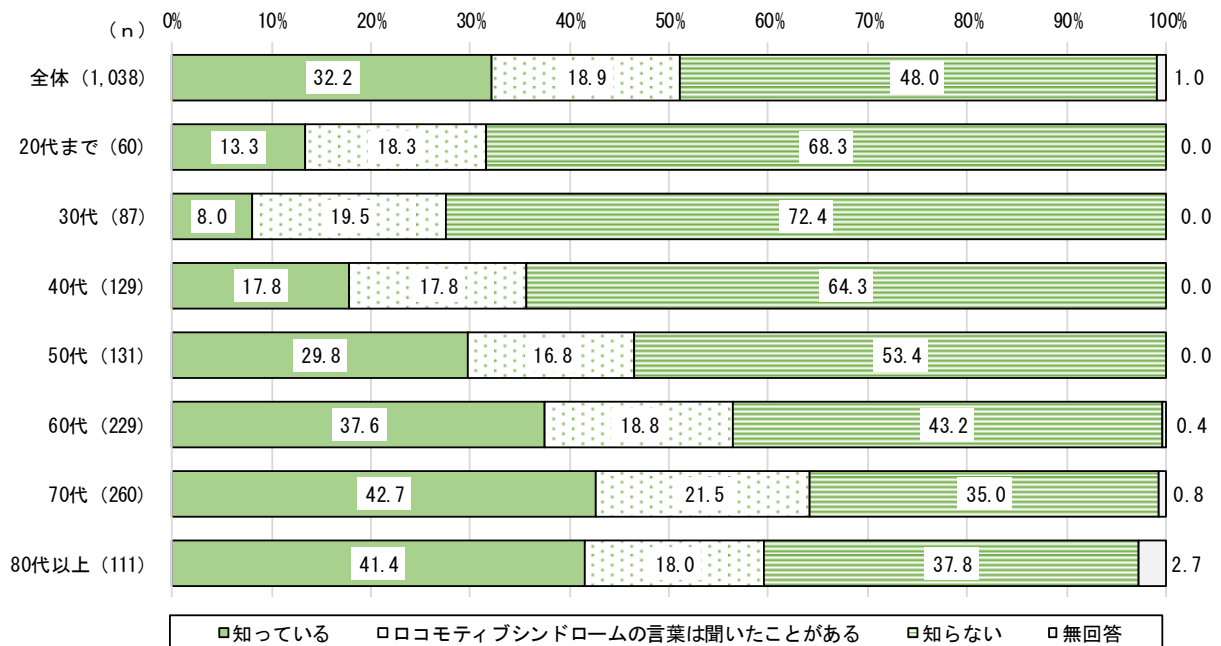
(3) ロコモティブシンドローム

問8 ロコモティブシンドロームとは、骨や関節の病気、筋力の低下、バランス能力の低下によって転倒、骨折しやすくなることで、自立した生活が出来なくなり、介護が必要となる危険性が高い状態をいいます。このことを知っていましたか。(○は1つだけ)

ロコモティブシンドロームの認知度は、「知っている」が32.2%、「知らない」が48.0%となっています。

年齢別にみると、＜60代＞と＜70代＞、＜80代以上＞は「知っている」が約4割となっています。＜30代＞は「知らない」が72.4%となっています。

ロコモティブシンドロームの認知度／年齢



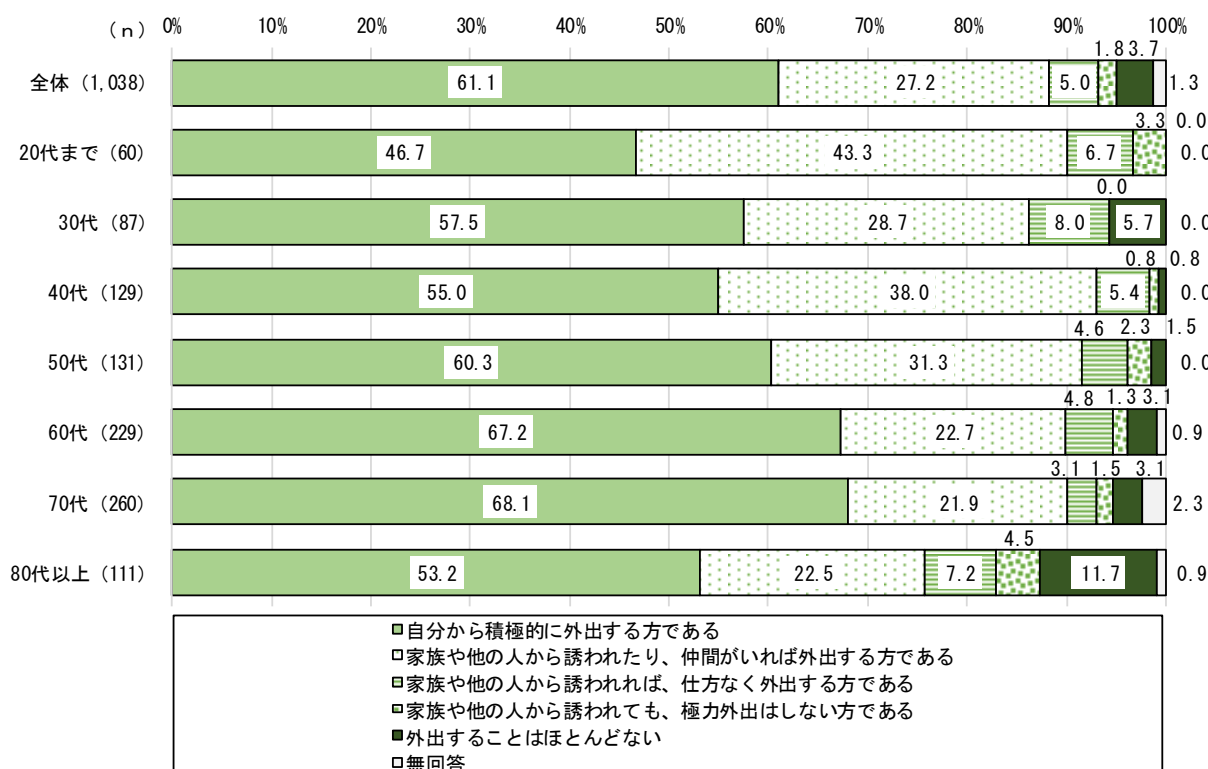
(4) 外出状況

問9 日常生活の中で、買い物や散歩などを含めた外出の状況について、あなたは次のどれにあてはまると思いますか。(〇は1つだけ)

外出状況は、「自分から積極的に外出する方である」が61.1%と最も多く、次いで「家族や他の人から誘われたり、仲間がいれば外出する方である」が27.2%となっています。

年齢別にみると、＜50代＞と＜60代＞、＜70代＞は「自分から積極的に外出する方である」が6割以上となっています。

外出状況／年齢



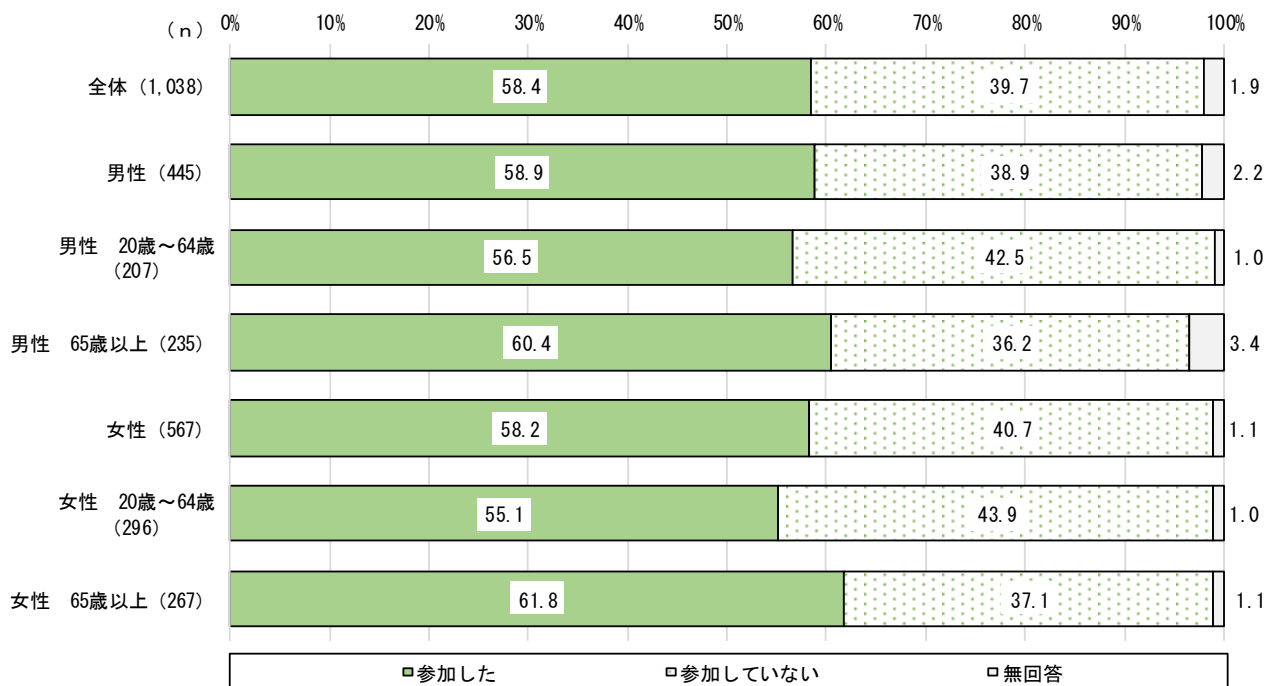
(5) 社会活動の参加状況

問10 この1年間に、個人または友人と、あるいはグループや団体で自主的に行われている活動に参加しましたか。(○は1つだけ)

過去1年間の活動参加の有無は、「参加した」は58.4%、「参加していない」は39.7%となっています。性別にみると、＜男性＞と＜女性＞ともに「参加した」が約6割となっています。

年齢別にみると、＜男性 65歳以上＞と＜女性 65歳以上＞は「参加した」が6割以上となっています。

過去1年間の活動参加の有無／性別、性・年齢



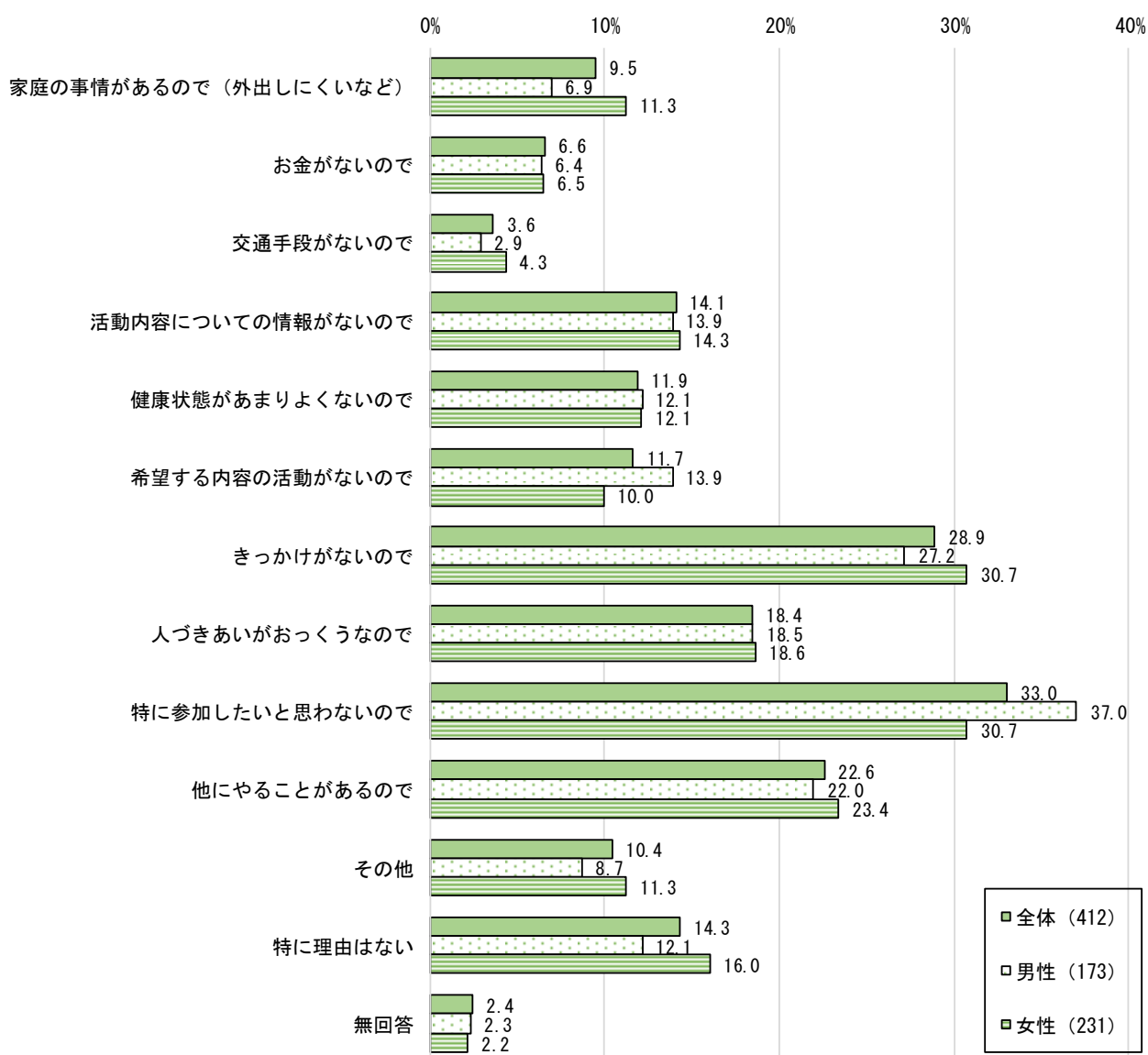
付問10ー1 (問10で「参加していない」と回答した人のみ)

参加していない理由を教えてください。(〇はいくつでも)

参加しない理由は、「特に参加したいと思わないので」が33.0%、「きっかけがないので」は28.9%となっています。

性別にみると、＜男性＞は「特に参加したいと思わないので」が37.0%で＜女性＞（30.7%）より高くなっています。また、＜女性＞は「家庭の事情があるので」が11.3%で＜男性＞（6.9%）より高くなっています。

参加しない理由／性別



4. 休養・こころの健康づくり

(1) ストレスの状況

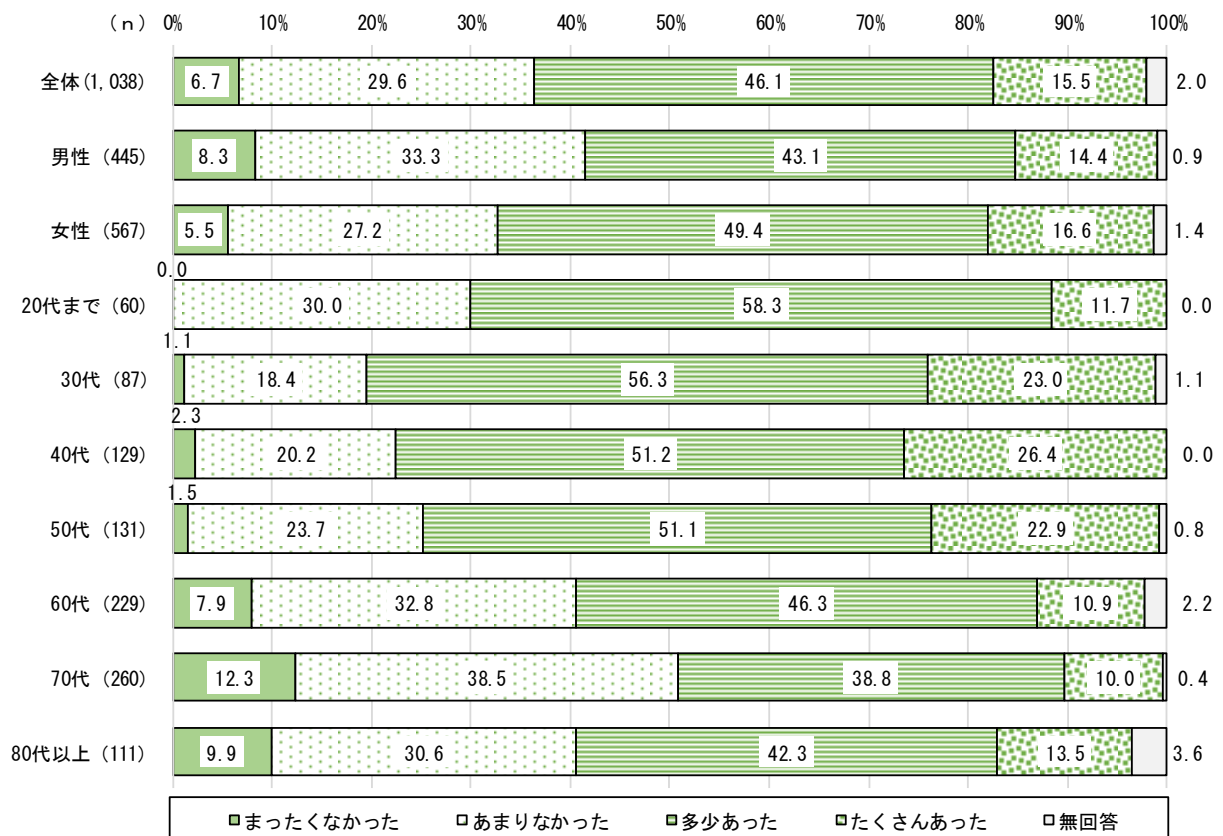
問11 あなたは、この1か月間に、不安、悩み、苦勞、ストレスなどがありましたか。(○は1つだけ)

過去1か月間の不安・悩み・苦勞・ストレスの有無は、「多少あった」は46.1%、「あまりなかった」は29.6%となっています。

性別にみると、＜女性＞は「多少あった」が49.4%と＜男性＞より多くなっています。

年齢別にみると、＜20代まで＞と＜30代＞、＜40代＞、＜50代＞は、半数以上が「多少あった」となっています。特に、＜40代＞は「たくさんあった」が26.4%と、4人に1人以上となっています。

過去1か月間の不安・悩み・苦勞・ストレスの有無／性別、性・年齢

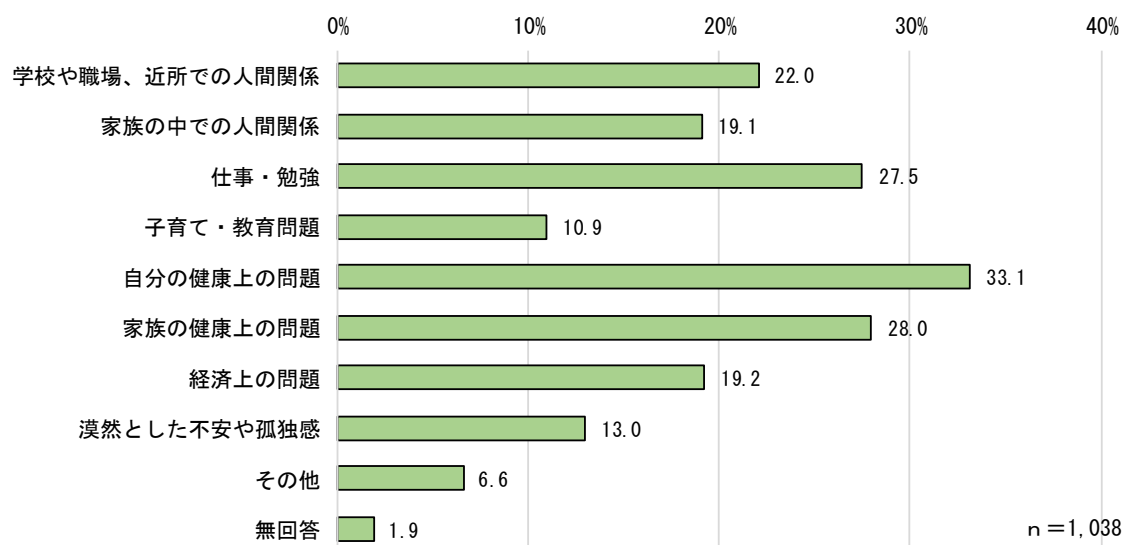


付問11-1 (問11で「多少あった」「たくさんあった」と回答した人のみ)
その理由を教えてください。(〇はいくつでも)

不安・悩み・苦労・ストレスの理由は、「自分の健康上の問題」が33.1%と最も多く、次いで「家族の健康上の問題」が28.0%、「仕事・勉強」が27.5%となっています。

年齢別にみると、＜20代まで＞と＜30代＞、＜40代＞、＜50代＞は「仕事・勉強」が4割以上となっています。＜30代＞と＜40代＞が「学校や職場、近所での人間関係」が約4割となっています。＜70代＞と＜80代以上＞は、「自分の健康上の問題」が4割以上となっています。

不安・悩み・苦労・ストレスの理由／年齢



(n)	学校や職場、近所での人間関係	家族の中での人間関係	仕事・勉強	子育て・教育問題	自分の健康上の問題	家族の健康上の問題	経済上の問題	漠然とした不安や孤独感	その他	無回答
全体 (640)	22.0	19.1	27.5	10.9	33.1	28.0	19.2	13.0	6.6	1.9
20代まで (42)	28.6	14.3	59.5	9.5	19.0	4.8	21.4	21.4	9.5	0.0
30代 (69)	37.7	17.4	40.6	31.9	21.7	13.0	18.8	11.6	0.0	1.4
40代 (100)	38.0	26.0	42.0	26.0	21.0	19.0	29.0	10.0	5.0	3.0
50代 (97)	29.9	20.6	45.4	15.5	22.7	26.8	23.7	13.4	9.3	2.1
60代 (131)	17.6	15.3	23.7	0.8	32.8	36.6	17.6	11.5	6.1	0.8
70代 (127)	7.1	22.0	3.1	0.8	46.5	38.6	14.2	11.8	8.7	3.1
80代以上 (62)	3.2	14.5	1.6	1.6	58.1	33.9	9.7	17.7	8.1	1.6

(%)

付問11-2 (問11で「多少あった」「たくさんあった」と回答した人のみ)

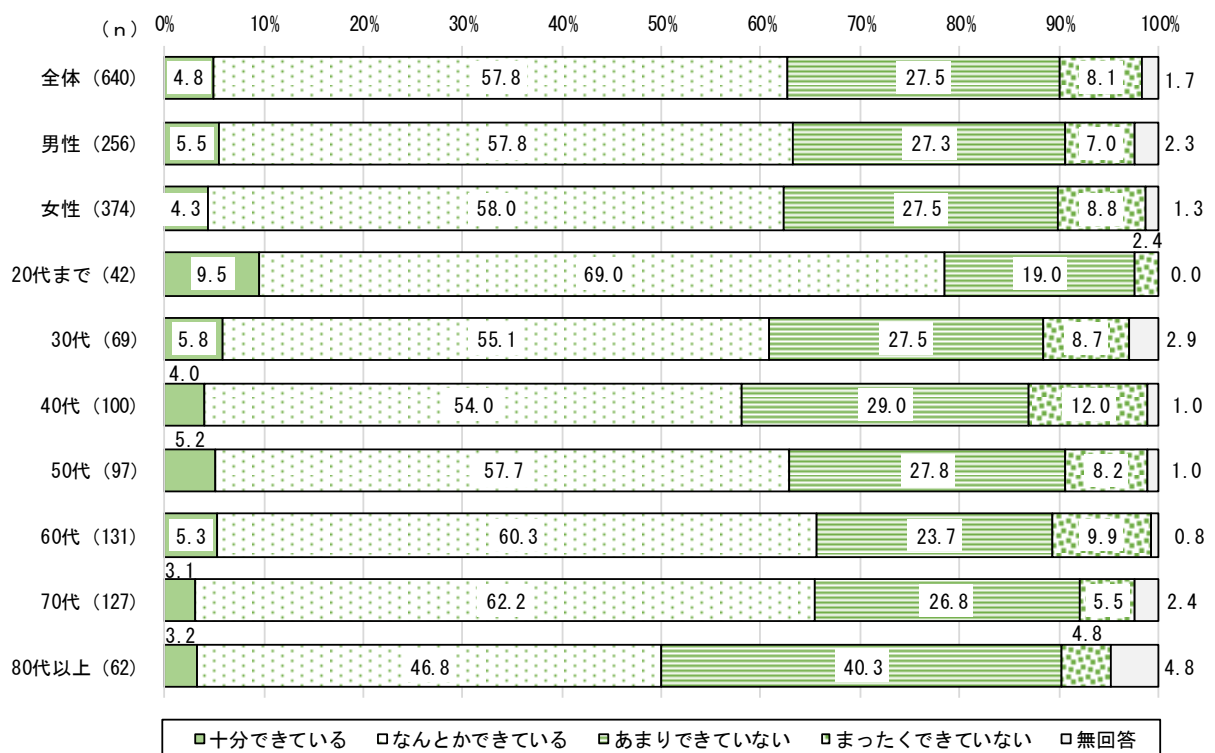
この1か月間を振り返り、不安、悩み、苦労、ストレスなどを解消できていると思いますか。(〇は1つだけ)

不安・悩み・苦労・ストレスの解消状況は、「なんとかできている」が57.8%と最も多く、「あまりできていない」が27.5%となっています。

性別にみると、男女に大きな差はありませんでした。

年齢別にみると、30代以降すべての年代で「あまりできていない」、「まったくできていない」が3割を超えています。特に<40代>では「まったくできていない」が12.0%と高くなっています。また、<80代以上>は「あまりできていない」が40.3%で他の年代に比べ高くなっています。

不安・悩み・苦労・ストレスの解消状況／性別、年齢



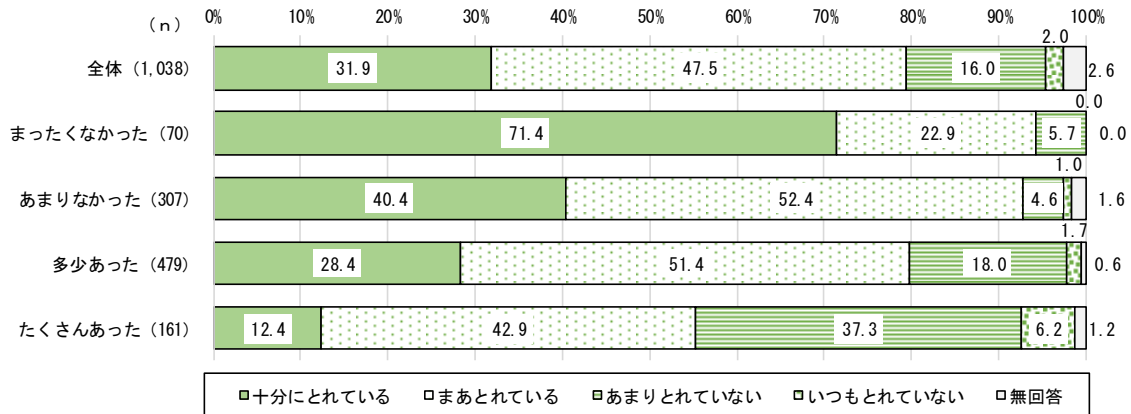
(2) 睡眠による休養の状況

問12 あなたは、睡眠による休養がとれていますか。(○は1つだけ)

睡眠による休養の状況は、「まあとれている」が47.5%と最も多く、次いで「十分にとれている」が31.9%となっています。

過去1か月間の不安・悩み・苦労・ストレスの有無別にみると、不安・悩み・苦労・ストレスがなかった方は休養が十分に取れており、ストレスを感じている方は睡眠がとれていない傾向にあります。

睡眠による休養の状況／過去1か月間の不安・悩み・苦労・ストレスの有無



(3) 最近のこころの状態

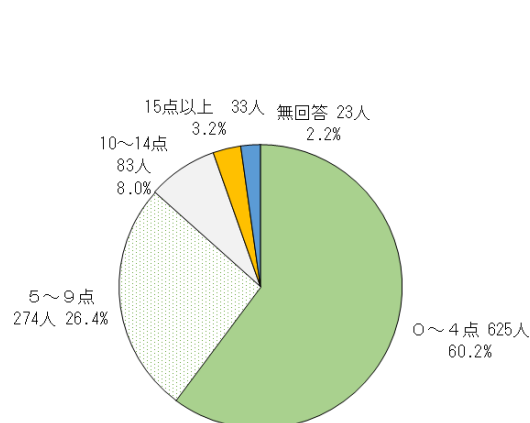
問13 最近のあなたの様子についてお聞きます。次の(ア)～(カ)の質問について、過去1か月の間はどのようであったか、6つの項目それぞれのあてはまる番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つだけ)

過去1か月間のこころの状態を点数階級別(6つの質問について、5段階(0～4点)で点数化して合計化したもの)に見たものです。

合計点数が高いほど精神的な問題がより重いとされます。

0～4点の問題の少ないと思われるかたは60.2%と最も高くなっています。10点以上の問題を抱えている可能性が高いかたは11.2%となっています。

最近のこころの状態



こころの状態について(点数階級別項目)

質問項目	点数
(ア) 神経過敏(ちょっとしたことでも気になる)に感じましたか	「まったくない」 0点
(イ) 絶望的だと感じましたか	
(ウ) そわそわ、落ち着かなく感じましたか	「少しだけ」 1点
(エ) 気分が沈み込んで、何が起ころても気が晴れないように感じましたか	「ときどき」 2点
(オ) 何をするにも骨折(おっくう)だと感じましたか	「たいてい」 3点
(カ) 自分は価値のない人間だと感じましたか	「いつも」 4点

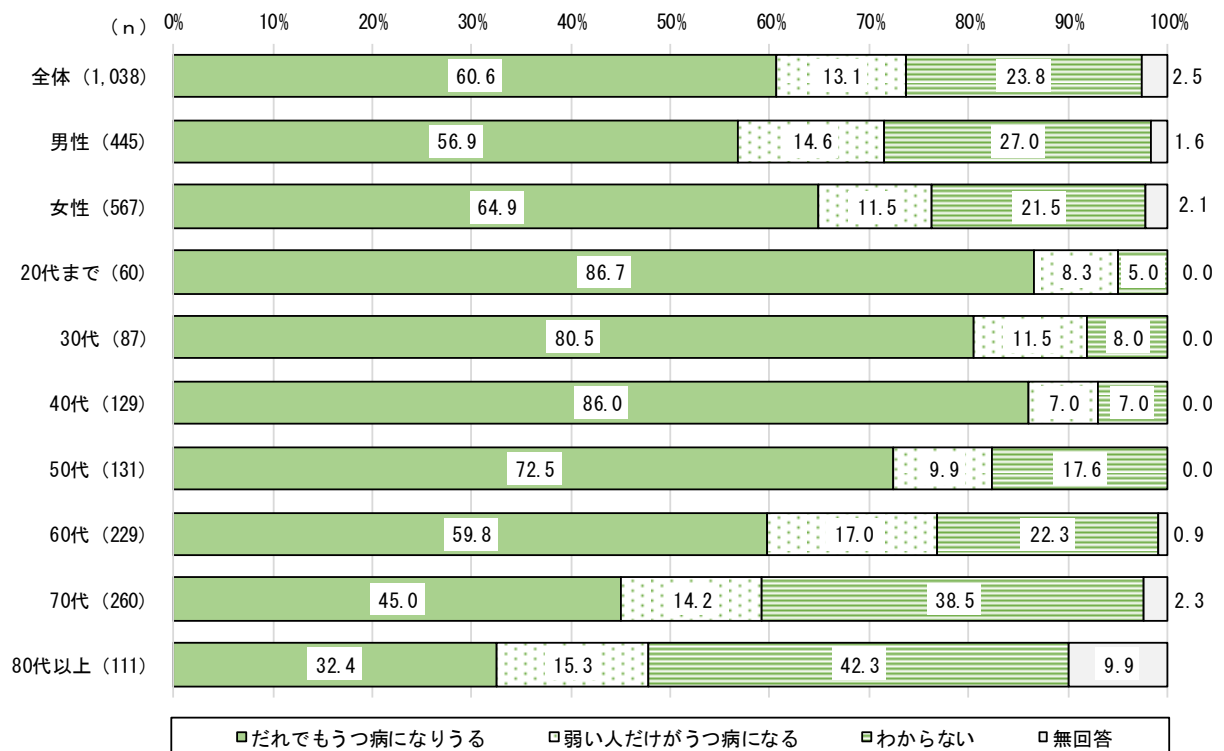
(4) うつ病について

問14 うつ病についてお聞きします。 次のア～ウについて、あなたが思うことをそれぞれ選んでください。(〇は1つだけ)

ア ストレスが続くと

ストレスが続くと、「だれでもうつ病になりうる」は60.6%、「わからない」が23.8%となっています。性別にみると、＜女性＞は「だれでもうつ病になりうる」が64.9%と、＜男性＞の56.9%より多くなっています。

ストレスが続くと／性別、年齢



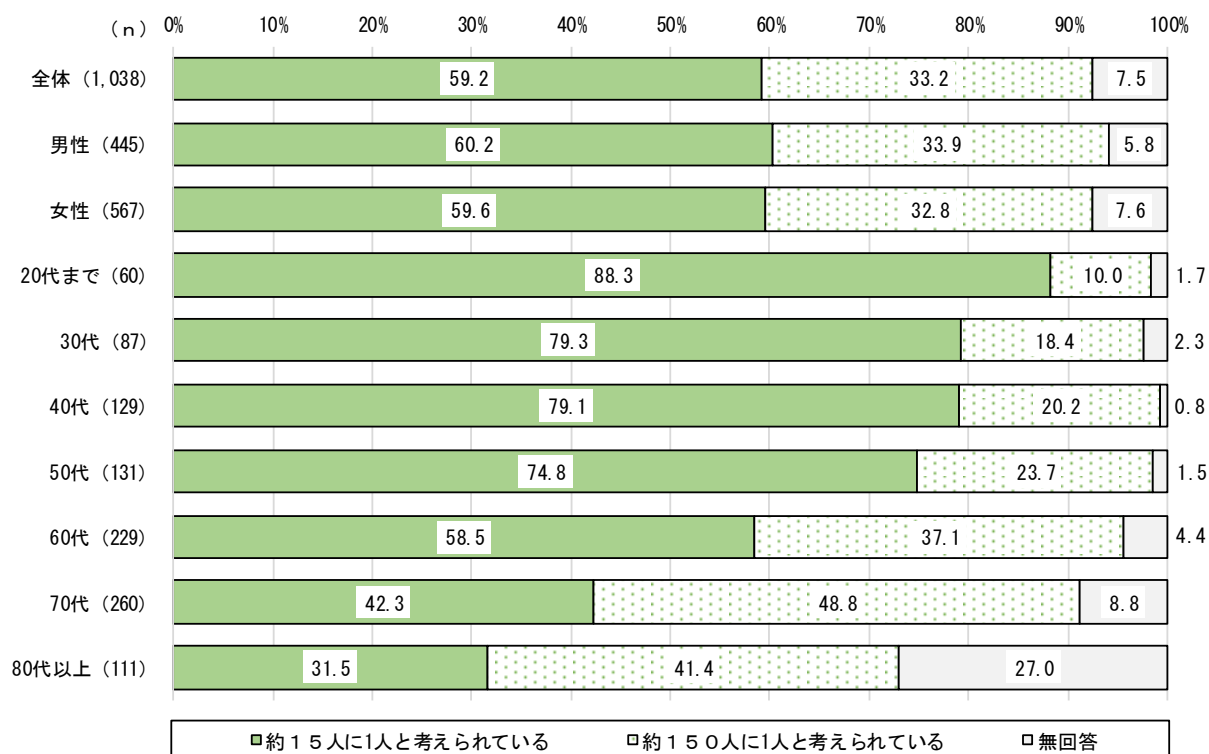
イ 一生のうちに、うつ病になる頻度はわが国では

一生のうちに、うつ病になる頻度はわが国では、「約15人に1人と考えられている」が59.2%、「約150人に1人と考えられている」が33.2%となっています。

性別にみると、男女に大きな差はありません。

年代が上がる毎に、「約15人に1人と考えられている」の割合は減少しています。

一生のうちに、うつ病になる頻度はわが国では／性別、年齢



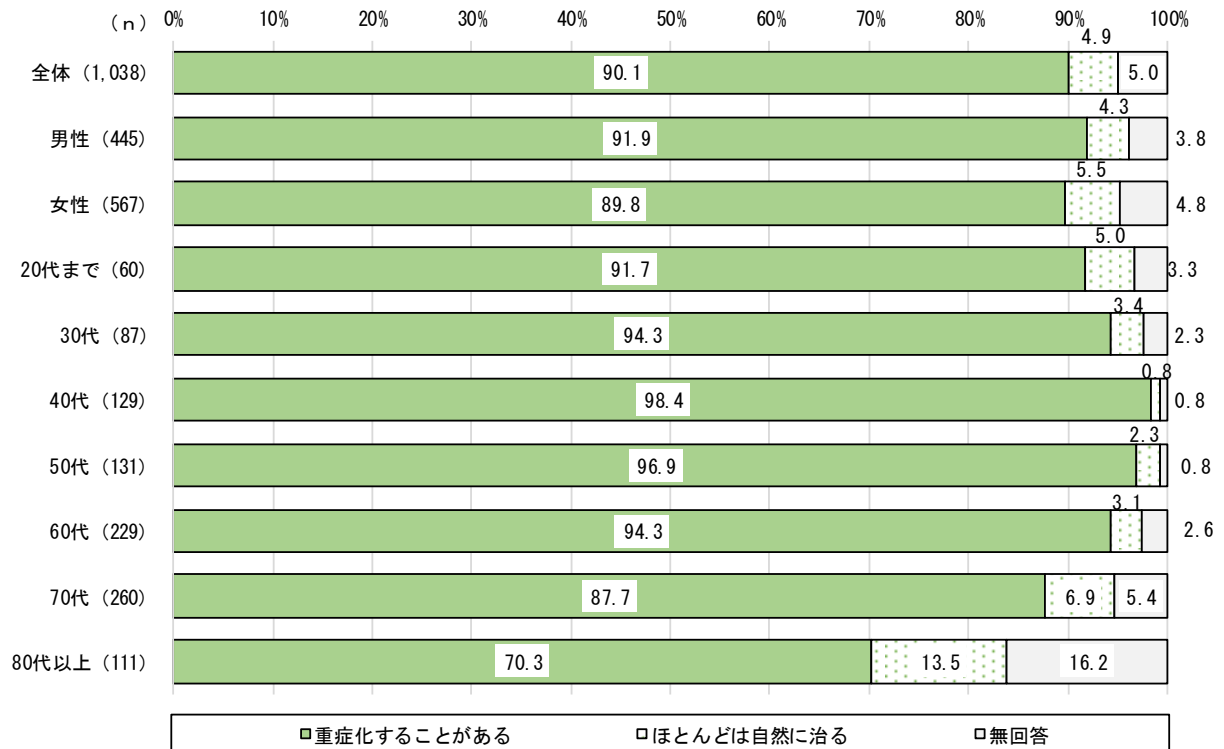
ウ うつ病を治療せずに放っておくと

うつ病を治療せずに放っておくと、「重症化することがある」は90.1%、「ほとんどは自然に治る」が4.9%となっています。

性別にみると、＜男性＞は「重症化することがある」が91.9%、＜女性＞は89.8%となっています。

年齢別にみると、＜70代＞と＜80代以上＞を除く全ての年代で「重症化することがある」が9割以上となっています。

うつ病を治療せずに放っておくと／性別、年齢



5. 自殺

(1) 自殺について

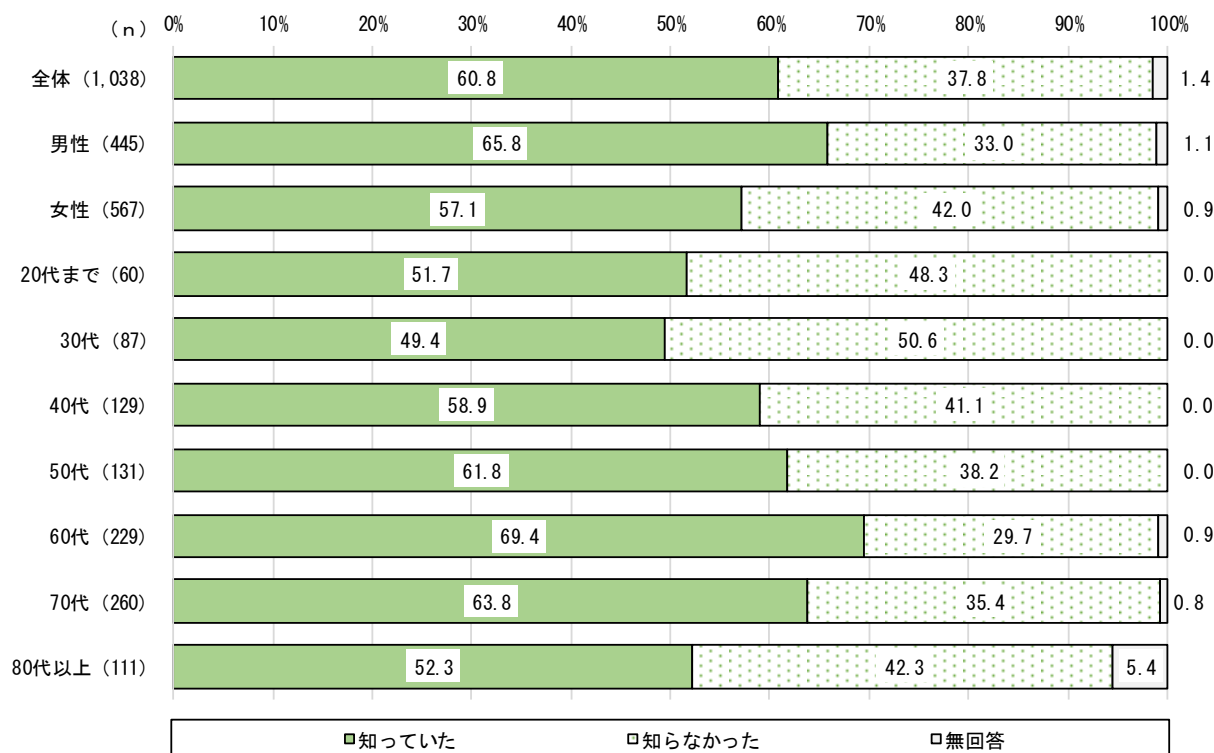
問15 我が国の自殺者数は長い間、毎年3万人を超え、この数年は3万人を下回っていますが、平成28年においても約2万2000人の方が亡くなっています。あなたは、毎年、このように多くの方が自殺でなくなっていることを知っていましたか。(〇は1つだけ)

日本の自殺状況の認知度は、「知っていた」が60.8%、「知らなかった」が37.8%となっています。

性別にみると、＜男性＞は「知っていた」が65.8%、＜女性＞は57.1%となっています。

年齢別にみると、＜60代＞は「知っていた」が69.4%となっています。＜20代まで＞と＜30代＞は「知らなかった」が約半数となっています。

日本の自殺状況の認知度／性別、年齢



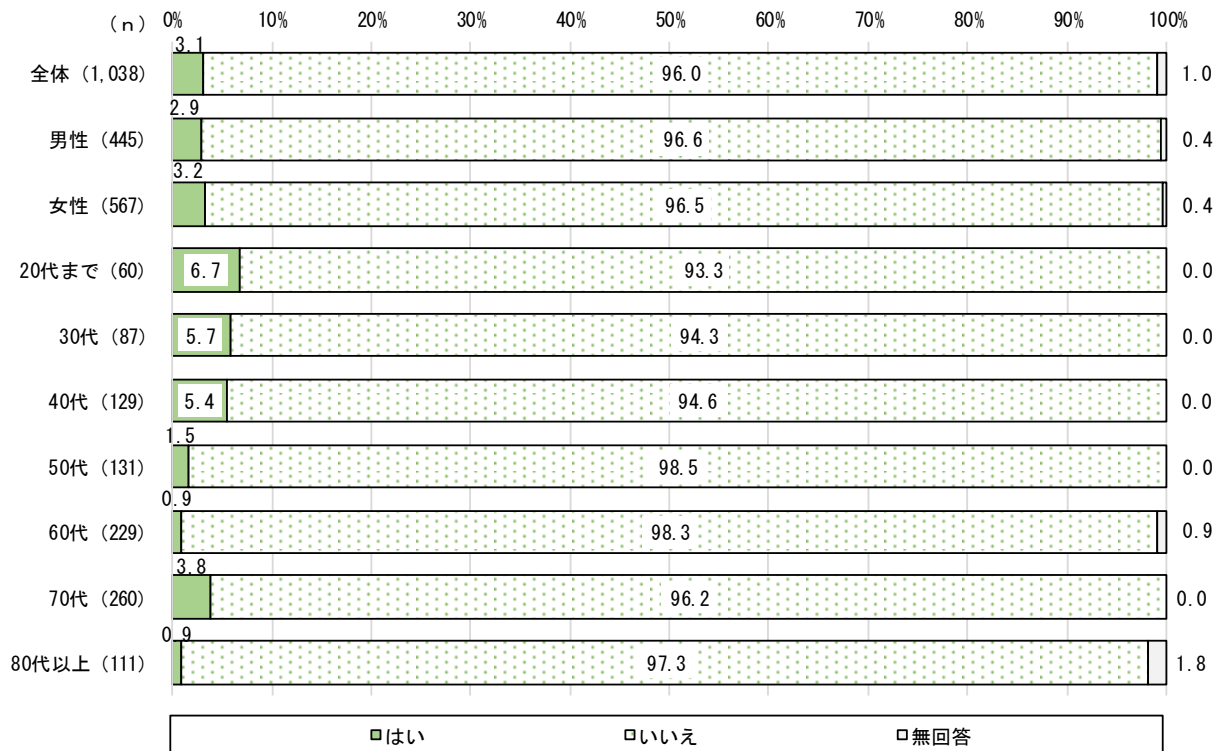
問16 あなたは最近1年以内に自殺を考えたことがありますか。(○は1つだけ)

1年以内に自殺を考えたことがあるは、「いいえ」が96.0%、「はい」が3.1%となっています。

性別にみると、男女に大きな差はありません。

年齢別にみると＜20代まで＞は、「はい」が6.7%、＜30代＞は5.7%、＜40代＞は5.4%となっています。

1年以内に自殺を考えたことがある／性別、年齢



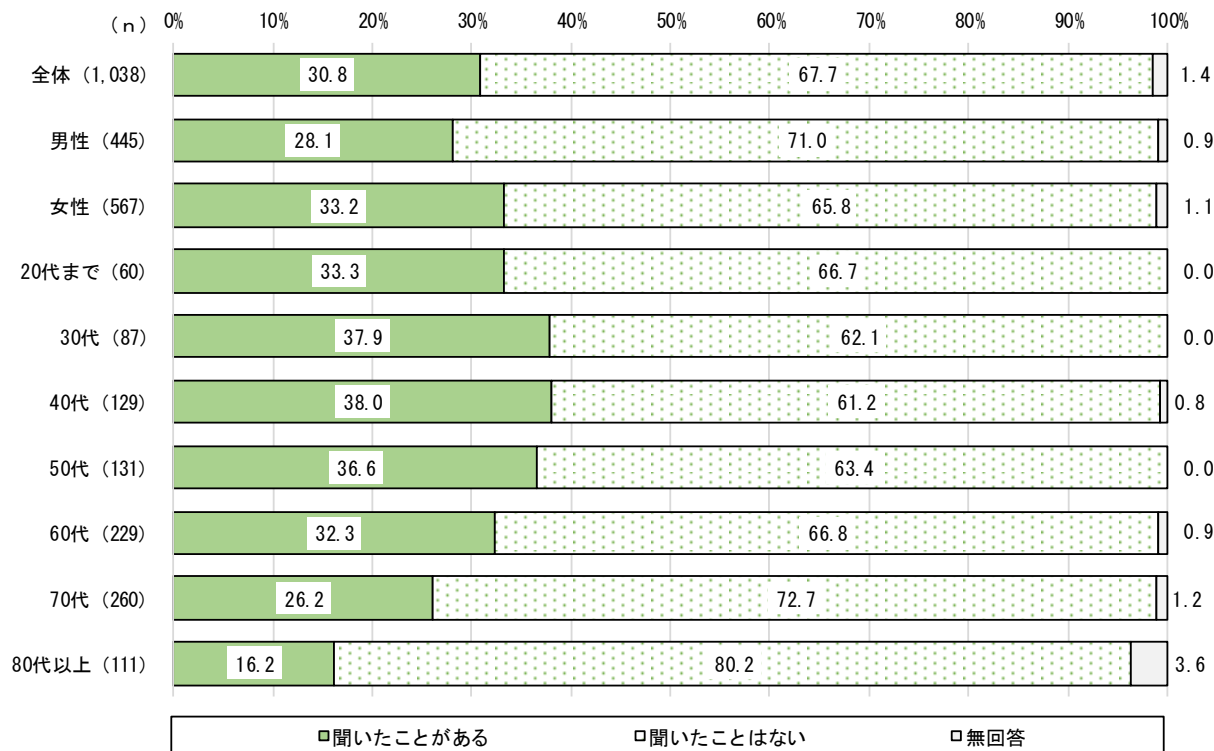
(2) 自殺予防

問17 自殺予防週間（9/10～9/16）や自殺対策強化月間（3月）について聞いたことがありますか。
（○は1つだけ）

自殺予防週間と自殺対策強化月間の認知度は、「聞いたことがある」は30.8%、「聞いたことはない」が67.7%となっています。

性別にみると、＜男性＞は「聞いたことがある」が28.1%、＜女性＞は33.2%となっています。

自殺予防週間と自殺対策強化月間の認知度／性別、年齢



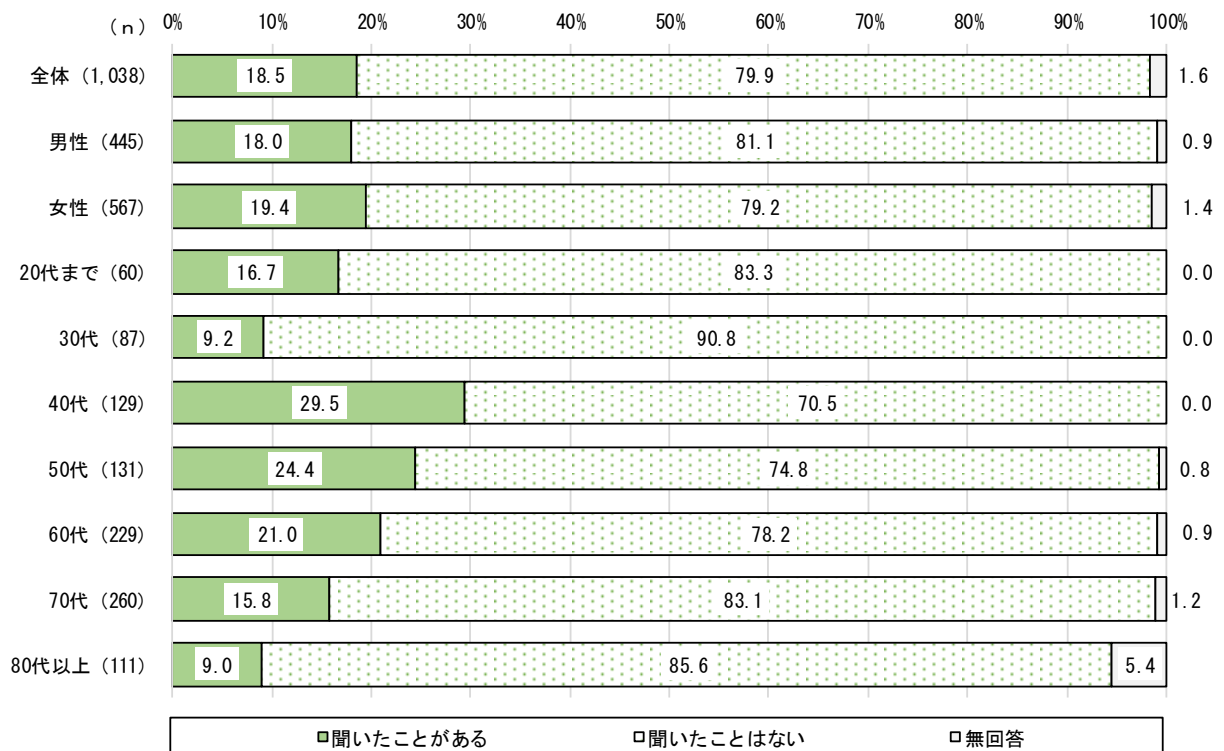
問18 あなたは、自殺対策としてゲートキーパー（自殺のサインに気づき、適切な対応を取れる人）について聞いたことがありますか。（○は1つだけ）

ゲートキーパーの認知度は、「聞いたことがある」が18.5%「聞いたことはない」は79.9%となっています。

性別にみると、男女に大きな差はありません。

年齢別にみると、＜40代＞は「聞いたことがある」が29.5%となっています。＜30代＞は「聞いたことはない」が90.8%となっています。

ゲートキーパーの認知度／性別、年齢



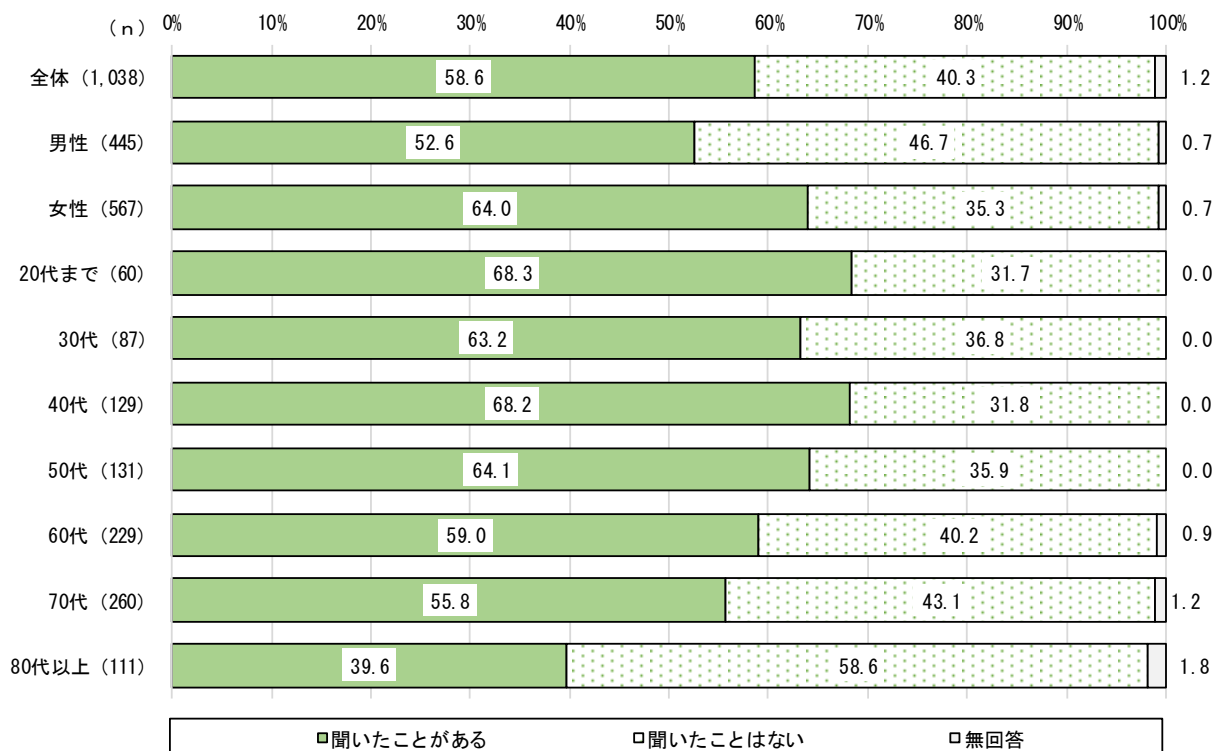
問19 悩みを抱える人がいつでもどこでも相談でき、適切な支援を受けられるためのよりどころとして、24時間365日の無料電話相談（よりそいホットライン）等があります。このことについて、聞いたことがありますか。（○は1つだけ）

よりそいホットラインの認知度は、「聞いたことがある」が58.6%、「聞いたことはない」が40.3%となっています。

性別にみると、＜女性＞は「聞いたことがある」が64.0%、＜男性＞の52.6%より多くなっています。

年齢別にみると、＜20代まで＞と＜30代＞、＜40代＞、＜50代＞は、「聞いたことがある」が6割以上となっています。

よりそいホットラインの認知度／性別、年齢

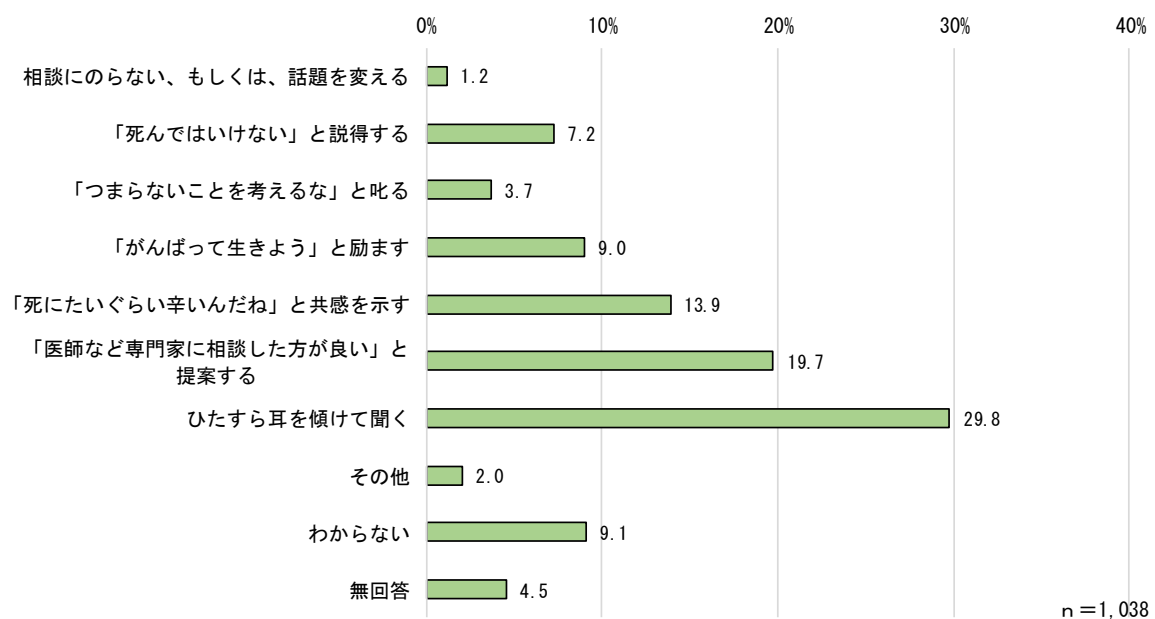


問20 あなたは、もしも身近な人から「死にたい」と打ち明けられたとき、どう対応するのが良いと思いますか。以下の中であなたのお考えに最も近いもの1つだけに○をつけてください。(○は1つだけ)

身近な人から「死にたい」と言われたときの対応は、「ひたすら耳を傾けて聞く」が29.8%と最も多く、次いで「医師など専門家に相談した方が良い」と提案する」が19.7%、「死にたいぐらい辛いんだね」と共感を示す」が13.9%となっています。

年齢別にみると、＜20代まで＞、＜30代＞、＜40代＞、＜50代＞、＜60代＞は、「ひたすら耳を傾けて聞く」を選択する人が多く、＜70代＞と＜80代以上＞は、「がんばって生きよう」と励ます」を選択する人が他の世代より多くなっています。

身近な人から「死にたい」と言われたときの対応／性別、年齢



(n)	相談にのらない、もしくは、話題を変える	「死んではいけない」と説得する	「つまらないことを考えるな」と叱る	「がんばって生きよう」と励ます	「死にたいぐらい辛いんだね」と共感を示す	「医師など専門家に相談した方が良い」と提案する	ひたすら耳を傾けて聞く	その他	わからない	無回答
全体 (1,038)	1.2	7.2	3.7	9.0	13.9	19.7	29.8	2.0	9.1	4.5
男性 (445)	1.3	8.5	6.5	12.1	9.7	23.4	24.3	1.8	10.3	2.0
女性 (567)	1.1	6.5	0.9	6.2	17.3	17.1	34.9	2.3	8.1	5.6
20代まで (60)	0.0	5.0	0.0	6.7	20.0	8.3	46.7	1.7	8.3	3.3
30代 (87)	0.0	4.6	1.1	3.4	23.0	11.5	46.0	0.0	5.7	4.6
40代 (129)	0.0	7.0	1.6	3.1	20.2	20.9	37.2	1.6	4.7	3.9
50代 (131)	1.5	6.9	2.3	5.3	16.8	15.3	40.5	3.1	5.3	3.1
60代 (229)	0.9	7.0	2.2	7.9	13.5	23.6	31.4	2.2	7.4	3.9
70代 (260)	1.9	6.9	6.2	14.6	8.5	24.2	18.5	1.9	13.5	3.8
80代以上 (111)	2.7	13.5	6.3	12.6	7.2	19.8	15.3	3.6	13.5	5.4

(%)

6. たばこ

(1) 喫煙状況

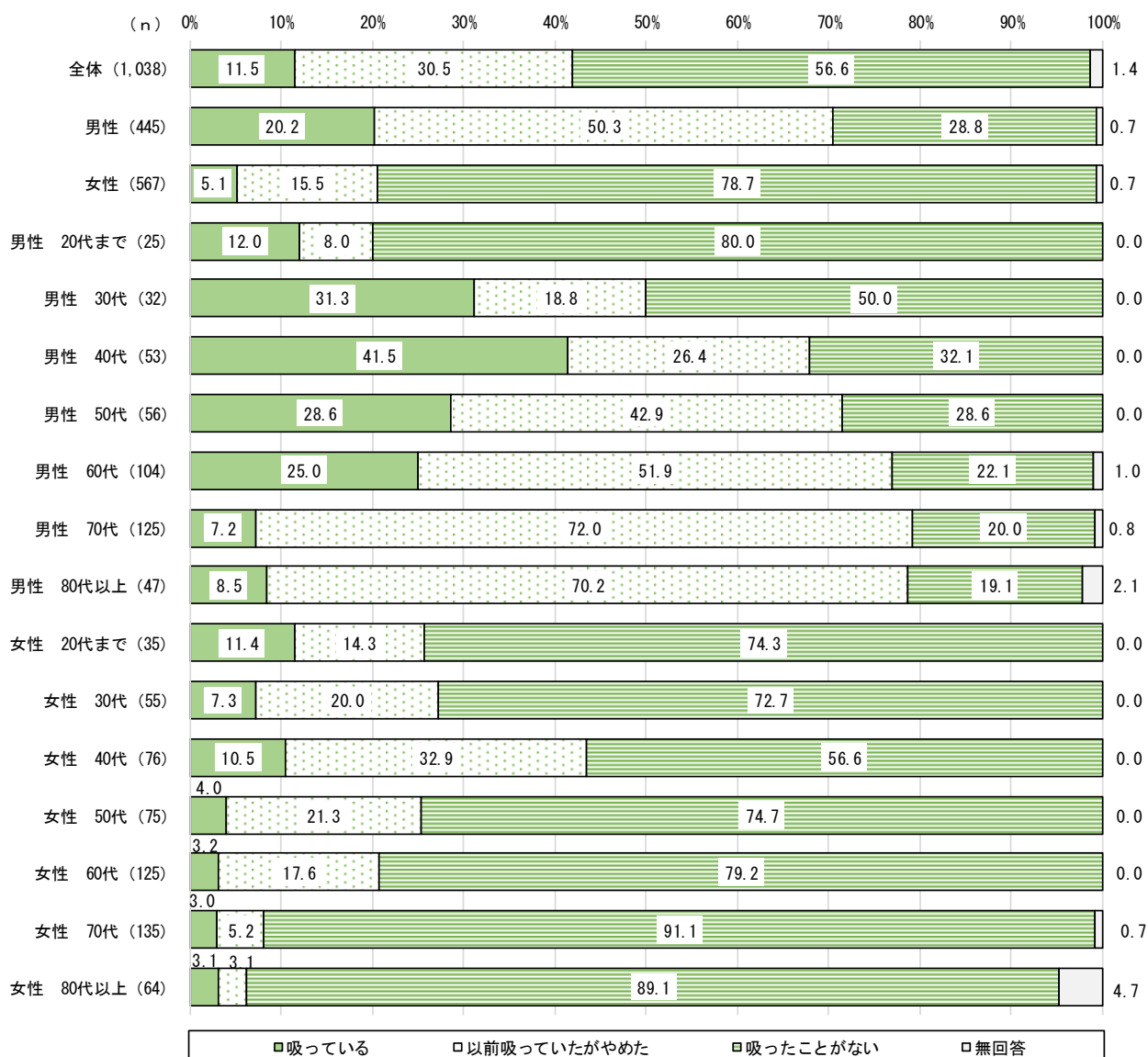
問21 あなたは、たばこを吸いますか。(○は1つだけ)

喫煙経験は、「吸っている」が11.5%、「以前吸っていたがやめた」が30.5%、「吸ったことがない」が56.6%となっています。

性別にみると、＜男性＞は「吸っている」が20.2%、＜女性＞より多くなっています。＜女性＞は「吸ったことがない」が78.7%となっています。

年齢別にみると、＜男性 40代＞は「吸っている」が41.5%と最も多く次いで、＜男性 30代＞は31.3%となっています。

喫煙経験／性別、性・年齢

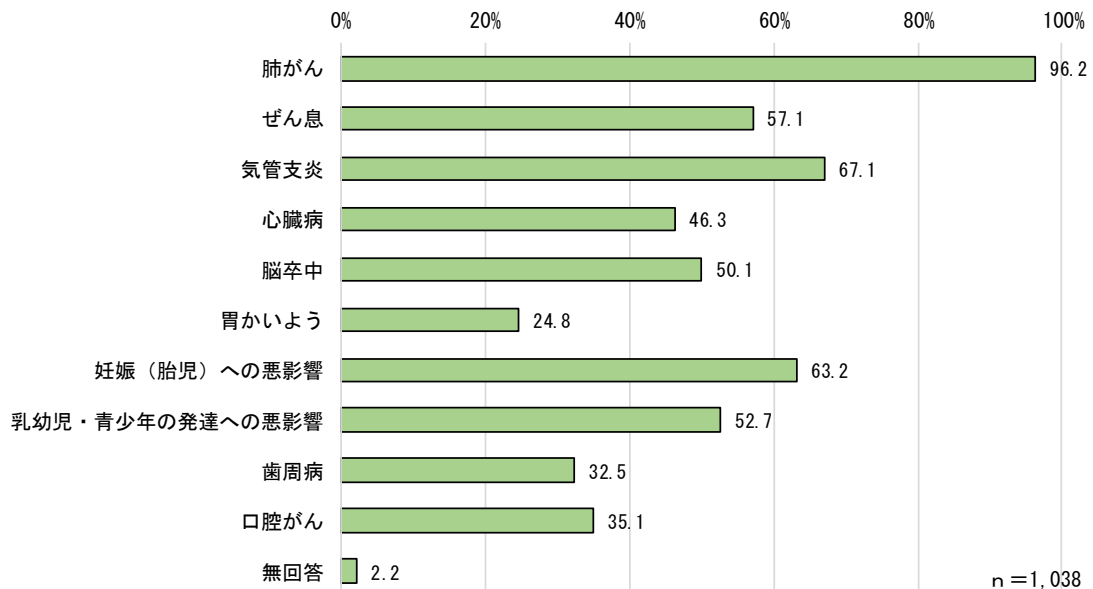


(2) 禁煙と疾病の関係

問22 次の病気のうち、たばこを吸うことでかかりやすくなると、あなたが思う病気を選んでください。(〇はいくつでも)

たばこを吸うことでかかりやすくなると思う病気は、「肺がん」が96.2%と最も多く、次いで「気管支炎」が67.1%、「妊娠（胎児）への悪影響」が63.2%となっています。

たばこを吸うことでかかりやすくなると思う病気



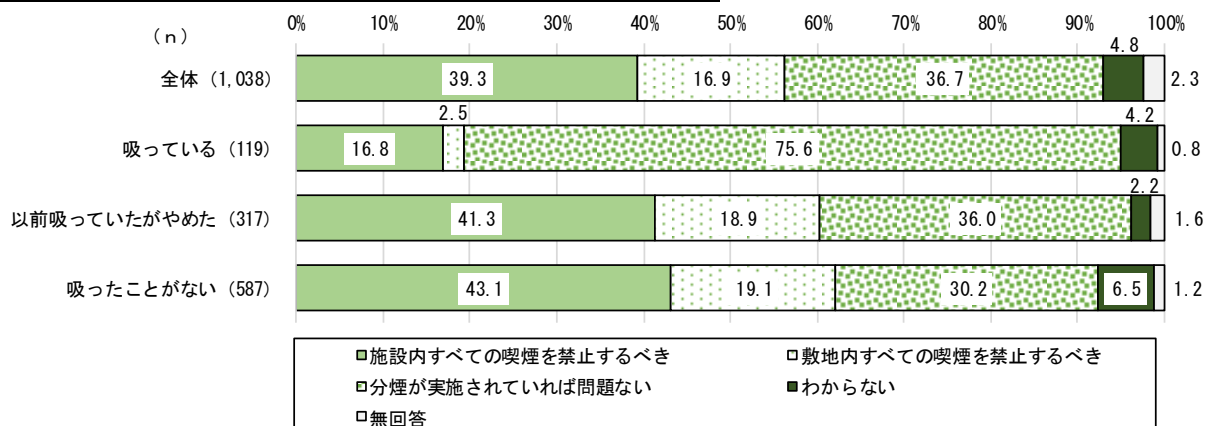
(3) 公共の場での受動喫煙防止義務についての考え

問23 駅、学校、病院、路上といった公共の場での受動喫煙（室内又はこれに準ずる環境において、他人のたばこの煙を吸わされること）防止義務について、あなたの考えにもっとも近いものを1つだけ選んでください。(〇は1つだけ)

公共の場での受動喫煙防止意義についての考えは、「施設内すべての喫煙を禁止すべき」が39.3%と最も高くなっています。

喫煙経験別にみると、＜以前吸っていたがやめた＞と＜吸ったことがない＞では、「施設内すべての喫煙を禁止すべき」が4割以上となっています。＜吸っている＞では「分煙が実施されていれば問題ない」が75.6%となっています。

公共の場での受動喫煙防止意義についての考え／喫煙経験



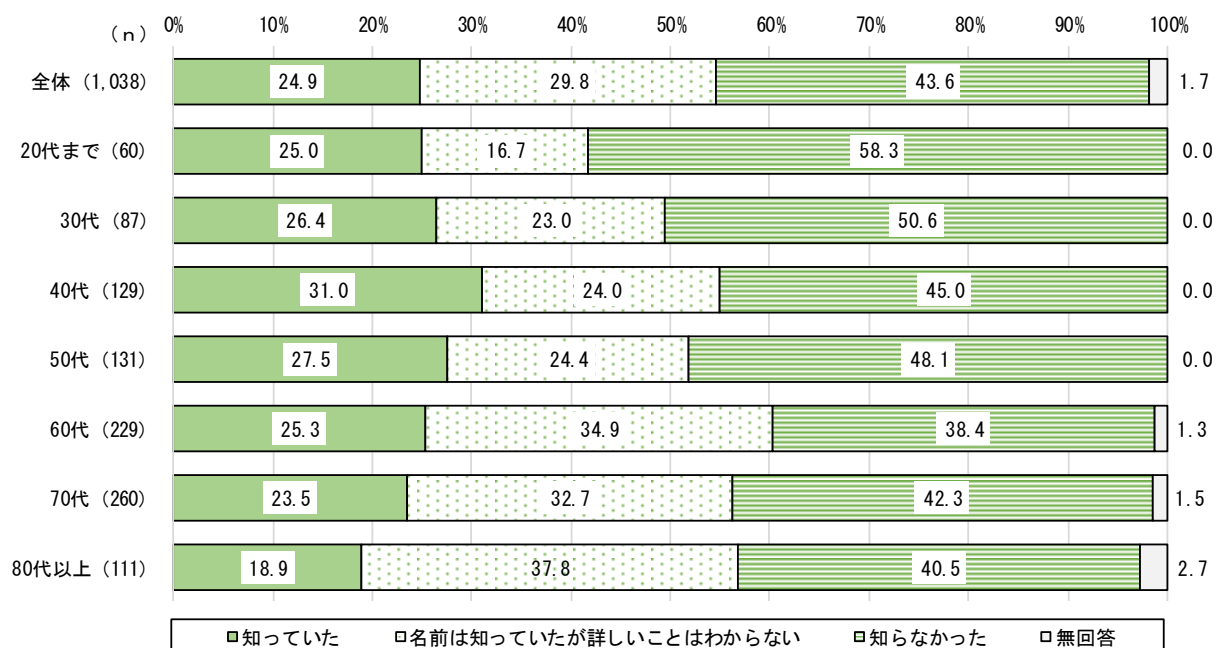
問24 あなたはCOPD（慢性閉塞性肺疾患）を知っていましたか。

慢性閉塞性肺疾患とは、従来慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれてきた病気の総称です。たばこが原因で肺に炎症が起こり、肺胞が壊れ、呼吸に障害が起こる病気です（○は1つだけ）

COPDの認知度は、「知っていた」が24.9%、「名前は知っていたが詳しいことはわからない」が29.8%、「知らなかった」が43.6%となっています。

年齢別にみると、「知っていた」が最も多いのは、＜40代＞で31.0%、「知らなかった」が最も多いのは＜20代まで＞で58.3%となっています。

COPDの認知度／年齢

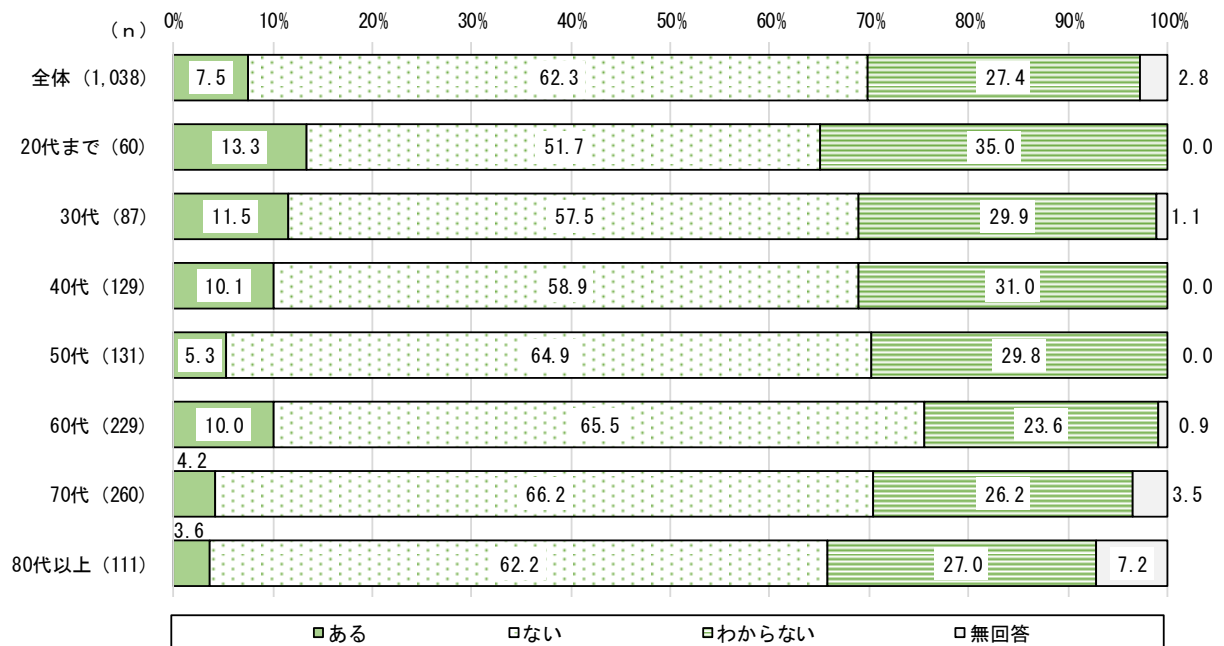


問25 あなたは、行政機関（市役所など）において受動喫煙の機会がありますか。（○は1つだけ）

行政機関における受動喫煙の機会の有無は、「ある」が7.5%、「ない」が62.3%、「わからない」が27.4%となっています。

年齢別にみると、＜20代まで＞と＜30代＞、＜40代＞、＜60代＞は「ある」が1割以上となっています。

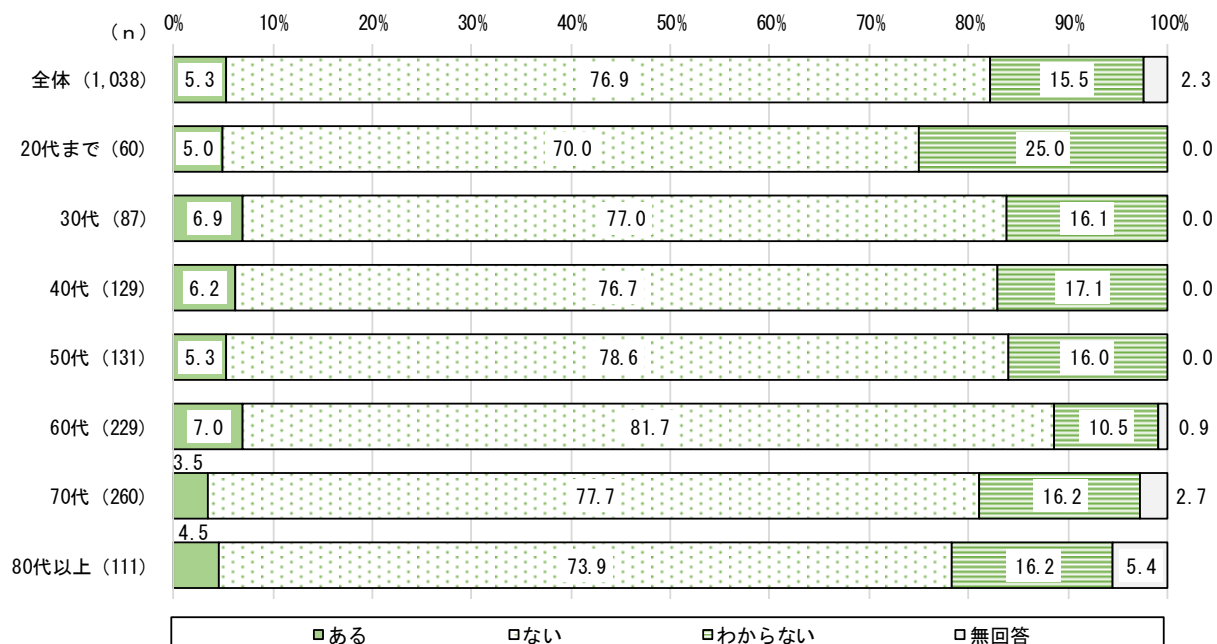
行政機関における受動喫煙の機会の有無／年齢



問26 あなたは、医療機関（病院など）において受動喫煙の機会がありますか。（○は1つだけ）

医療機関における受動喫煙の機会の有無は、「ある」が5.3%、「ない」が76.9%、「わからない」が15.5%となっています。

医療機関における受動喫煙の機会の有無／年齢



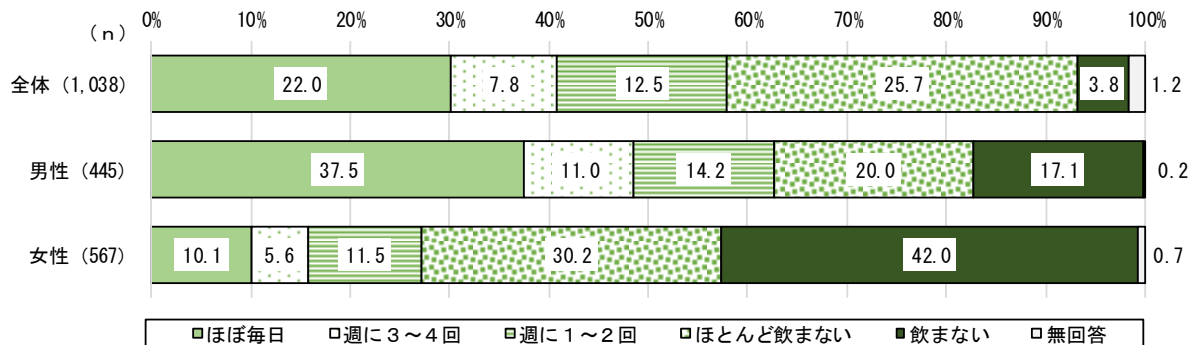
7. アルコール

(1) 飲酒状況

問27 あなたは、アルコールを飲みますか。(○は1つだけ)

飲酒頻度は、「ほとんど飲まない」が25.7%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」22.0%となっています。性別にみると、＜男性＞は「ほぼ毎日」が37.5%、＜女性＞は「飲まない」が42.0%となっています。

飲酒頻度／性別

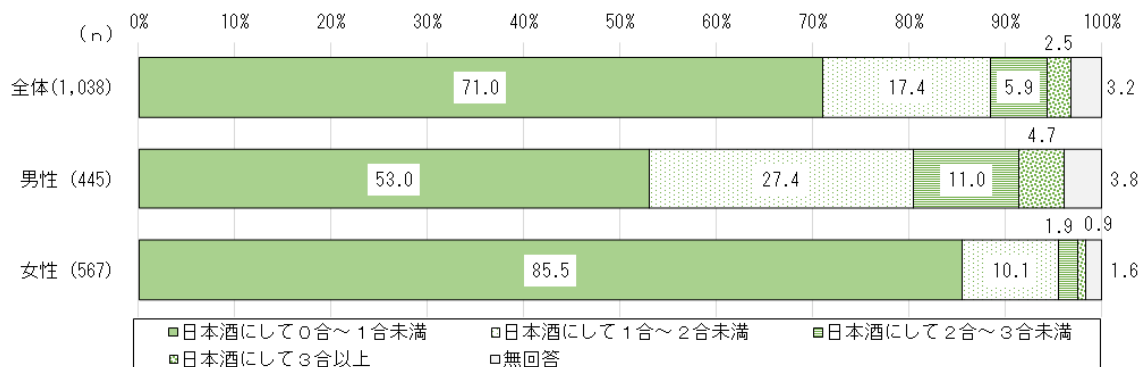


付問27-1 1日(回)の平均飲酒量を教えてください。問27で「ほとんど飲まない」「飲まない」と回答した人は、「日本酒にして0合～1合未満」を選択してください。(○は1つだけ)

1日(回)の平均飲酒量は、「日本酒にして0合～1合未満」が71.0%と最も多く、次いで「日本酒にして1合～2合未満」が17.4%となっています。

性別にみると、＜女性＞は「日本酒にして0合～1合未満」が85.5%になっており、＜男性＞の53.0%より多くなっています。

1日(回)の平均飲酒量／性別



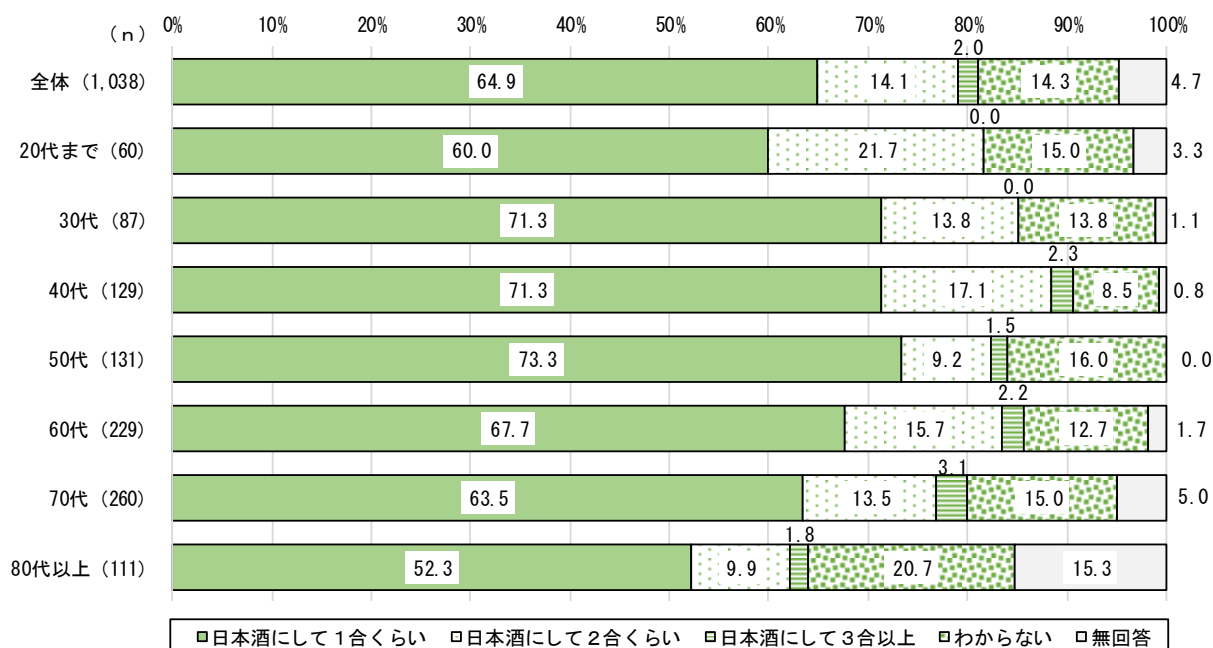
(2) 適度な飲酒についての認識

問28 一般的にいわれている「適度な飲酒」とは、1日(回)どれくらいの量だと思いますか。(○は1つだけ)

適度な飲酒についての認識は、「日本酒にして1合くらい」が64.9%、次いで「わからない」が14.3%、「日本酒にして2合くらい」が14.1%となっています。

年齢別にみると、<30代>と<40代>、<50代>は「日本酒にして1合くらい」が7割以上となっています。

適度な飲酒についての認識／年齢

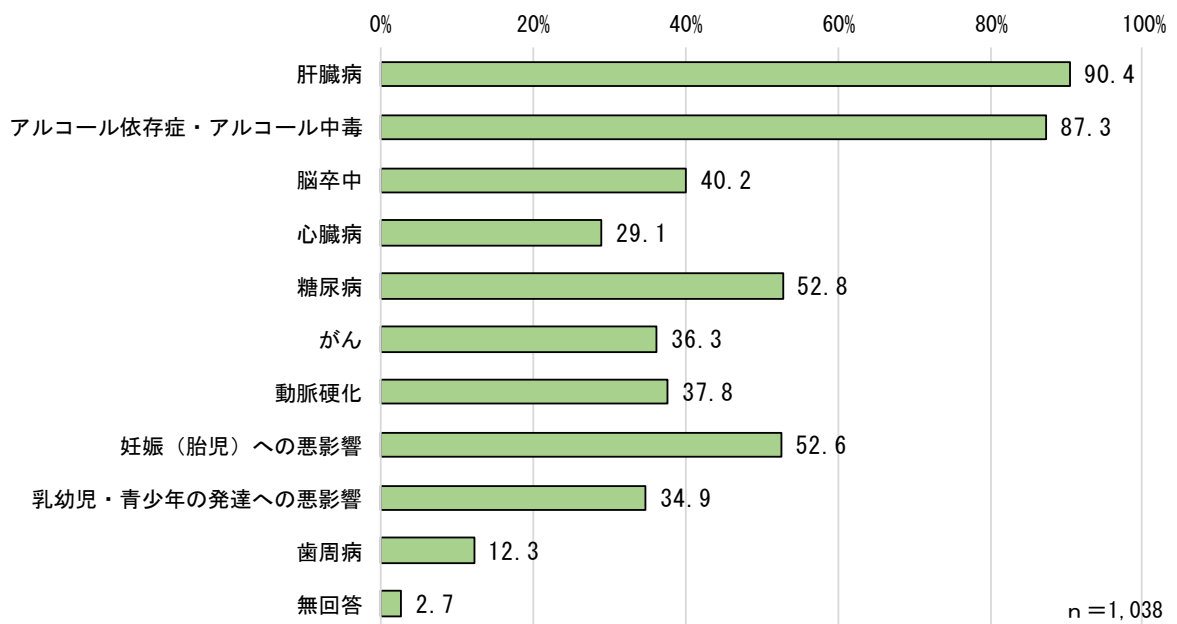


(3) 飲酒と疾病の関係

問29 次の病気のうち、多量の飲酒を長期間することでかかりやすくなると、あなたが思う病気を選んでください。(〇はいくつでも)

長期間の多量飲酒でかかりやすくなると思う病気は、「肝臓病」が90.4%と最も多く、次いで「アルコール依存症・アルコール中毒」が87.3%、「糖尿病」が52.8%、「妊娠（胎児）」への悪影響」が52.6%となっています。

長期間の多量飲酒でかかりやすくなると思う病気



8. 歯の健康

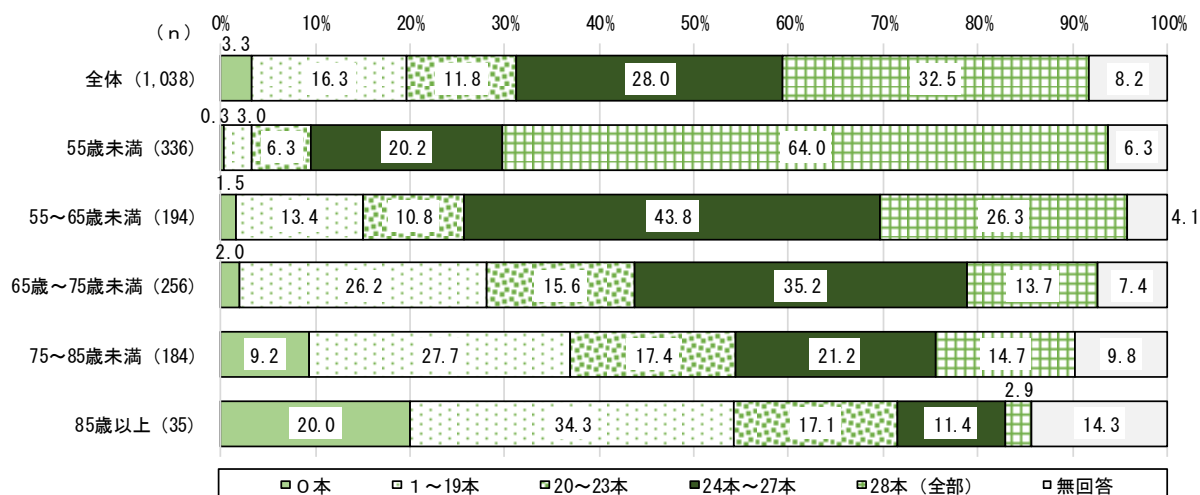
(1) 歯の本数

問30 あなたの自分の歯の数は何本ですか。

歯の本数は、「28本（全部）」が32.5%と最も多く、次いで「24～27本」が28.0%となっています。「0本」は3.3%となっています。

年齢別にみると、＜55～65歳未満＞は「24本以上」が約7割となっています。＜75～85歳未満＞は「20本以上」が約5割となっています。

歯の本数／年齢

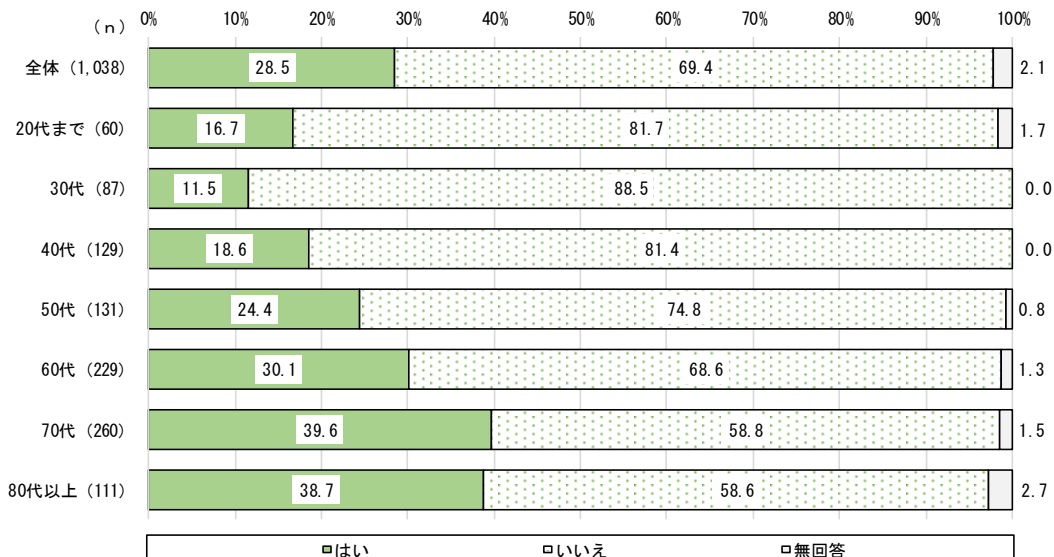


問31 現在、歯科医院に通院していますか。（○は1つだけ）

歯科医院への通院状況は、「はい」は28.5%、「いいえ」が69.4%となっています。

年齢別にみると、＜60代＞と＜70代＞、＜80代以上＞は、「はい」が3割以上となっています。＜30代＞は「いいえ」が88.5%となっています。

歯科医院への通院状況／年齢

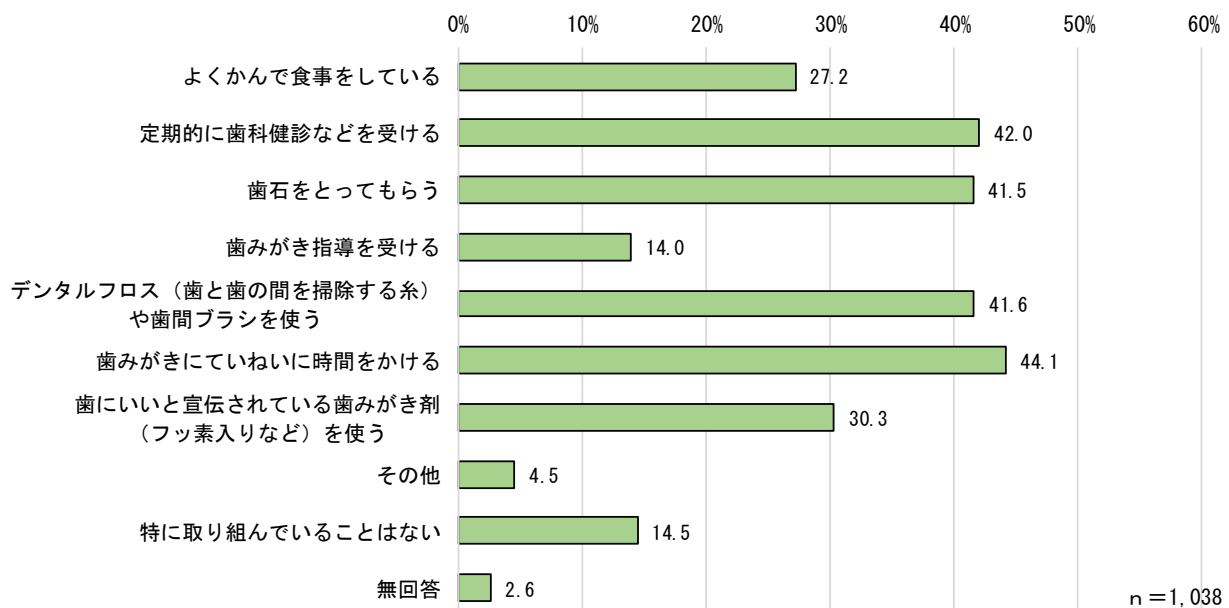


問32 ふだん、歯や歯ぐきの健康のために、どのようなことに取り組んでいますか。(〇はいくつでも)

歯や歯ぐきの健康のための取り組みは、「歯みがきにいいのに時間をかける」が44.1%と最も多く、次いで「定期的に歯科健診などを受ける」は42.0%となっています。

年齢別にみると、＜60代＞と＜70代＞は、「定期的に歯科健診などを受ける」と「歯石をとってもらふ」、「デンタルフロスや歯間ブラシを使う」、「歯みがきにいいのに時間をかける」が約半数となっています。

歯や歯ぐきの健康のための取り組み／年齢



(n)	よくかんで食事をしている	定期的に歯科健診などを受ける	歯石をとってもらふ	歯みがき指導を受ける	デンタルフロス（歯と歯の間を掃除する糸）や歯間ブラシを使う	歯みがきにいいのに時間をかける	歯にいいと宣伝されている歯みがき剤（フッ素入りなど）を使う	その他	特に取り組んでいることはない	無回答
全体 (1,038)	27.2	42.0	41.5	14.0	41.6	44.1	30.3	4.5	14.5	2.6
20代まで (60)	30.0	25.0	16.7	5.0	20.0	43.3	40.0	5.0	18.3	0.0
30代 (87)	19.5	33.3	35.6	5.7	26.4	55.2	34.5	0.0	14.9	0.0
40代 (129)	15.5	33.3	41.1	11.6	41.9	36.4	40.3	3.9	20.2	0.0
50代 (131)	17.6	37.4	36.6	7.6	45.8	47.3	38.2	6.1	10.7	0.8
60代 (229)	30.1	47.6	47.6	18.8	46.7	47.2	25.3	3.9	13.1	1.7
70代 (260)	31.5	50.8	52.3	18.1	50.8	46.5	30.0	3.5	11.2	1.9
80代以上 (111)	40.5	45.0	33.3	16.2	31.5	29.7	17.1	10.8	20.7	6.3

(%)

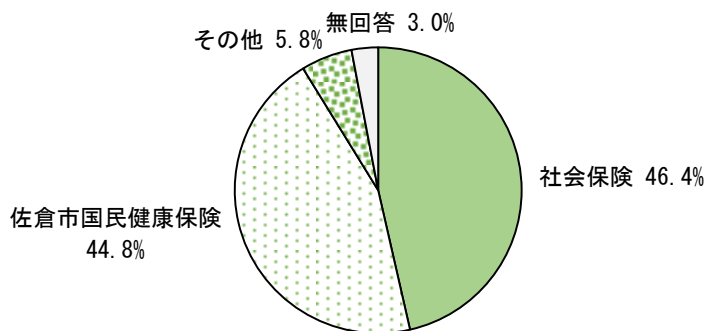
9. 生活習慣病

(1) 保険の種類

問33 あなたの健康保険の種類を教えてください。(○は1つだけ)

保険の種類は、「社会保険」が46.4%、「佐倉市国民健康保険」が44.8%となっています。

保険の種類



n = 1,038

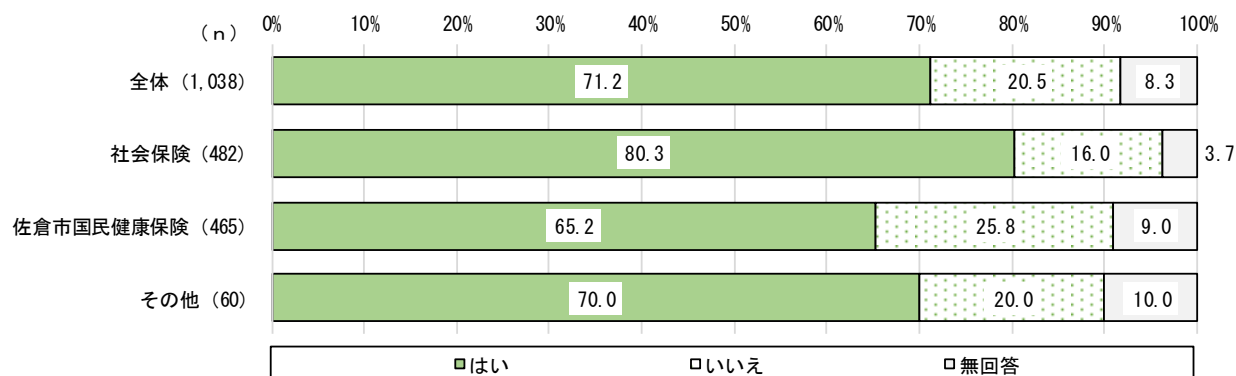
(2) 健康診断や健康診査の受診状況

問34 あなたはこの1年間に健康診断や健康診査を受けましたか。(○は1つだけ)

健康診断・健康診査の受診の有無は、「はい」が71.2%、「いいえ」が20.5%となっています。

保険の種類別にみると、＜社会保険＞は「はい」が80.3%、＜佐倉市国民健康保険＞は「はい」が65.2%となっています。

健康診断・健康診査の受診の有無／保険の種類



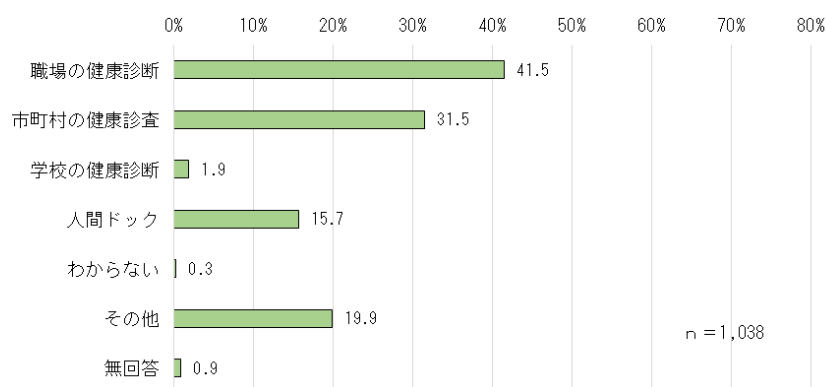
付問34-1（問34で「はい」と回答した人のみ）

健康診断や健康診査（血液検査・尿検査など）をどこで受けたか教えてください。（〇は
いくつでも）

受診した健康診断・診査の種類は、「職場の健康診断」は41.5%、「市町村の健康診査」は31.5%、「その他」が19.9%となっています。

保険種類別にみると、＜社会保険＞は「職場の健康診断」が67.2%、「人間ドック」が21.4%となっています。＜佐倉市国民健康保険＞は「市町村の健康診査」が56.4%、「その他」が31.4%となっています。

受診した健康診断・診査の種類／保険種類



	職場の健康診断	市町村の健康診査	学校の健康診断	人間ドック	わからない	その他	無回答
全体（1,038）	41.5	31.5	1.9	15.7	0.3	19.9	0.9
社会保険（482）	67.2	11.6	2.6	21.4	0.0	8.3	0.5
国民健康保険（465）	10.2	56.4	1.0	9.9	0.7	31.4	1.7
その他（60）	35.7	35.7	0.0	4.8	0.0	42.9	0.0

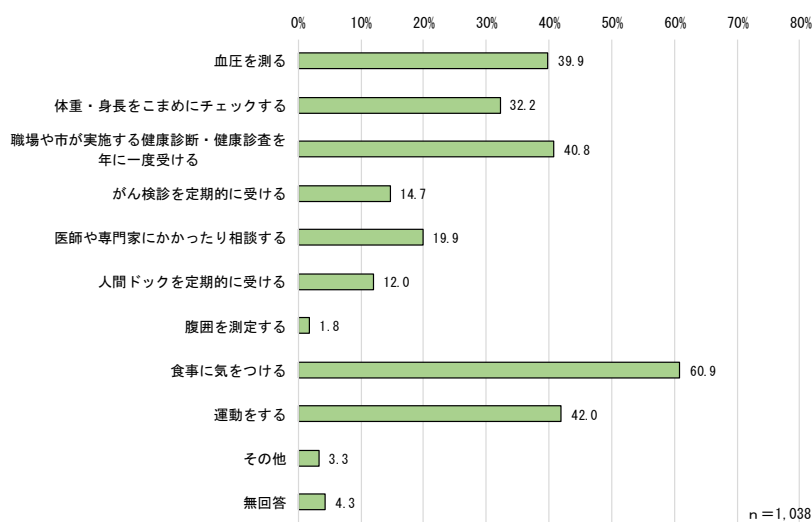
(%)

（2）生活習慣病予防のためのこころがけ

問35生活習慣病予防のために、心がけていることは何ですか。（〇はいくつでも）

生活習慣病予防のために、こころがけていることは、「食事に気をつける」が60.9%と最も多く、次いで「運動をする」が42.0%、「職場や市が実施する健康診断・健康診査を年に一度受ける」が40.8%となっています。

生活習慣病予防のためのこころがけ

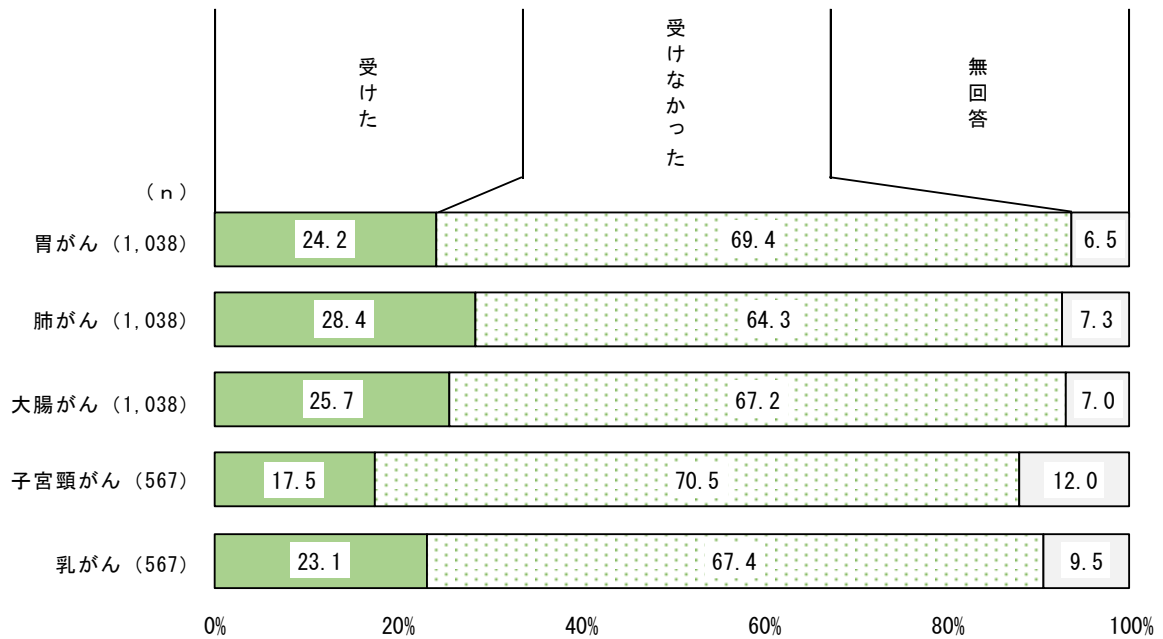


(3) がん検診の受診状況

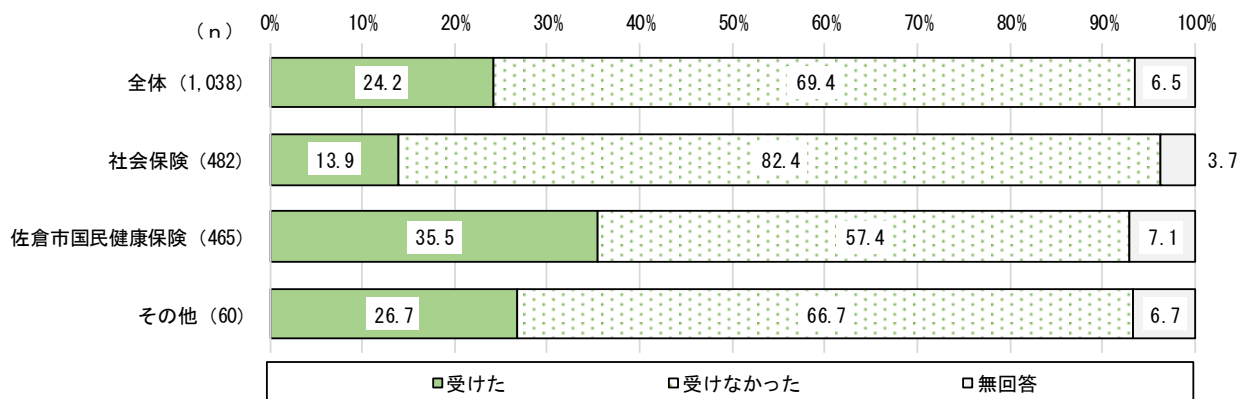
問36 あなたはこの1年間に市のがん検診を受けましたか。(〇はそれぞれ1つだけ)

がん検診の受診状況は、＜肺がん＞は「受けた」が最も多い28.4%、次いで＜大腸がん＞が25.7%、＜胃がん＞が24.2%、＜乳がん＞が23.1%、＜子宮頸がん＞が17.5%なっています。

がん検診の受診状況

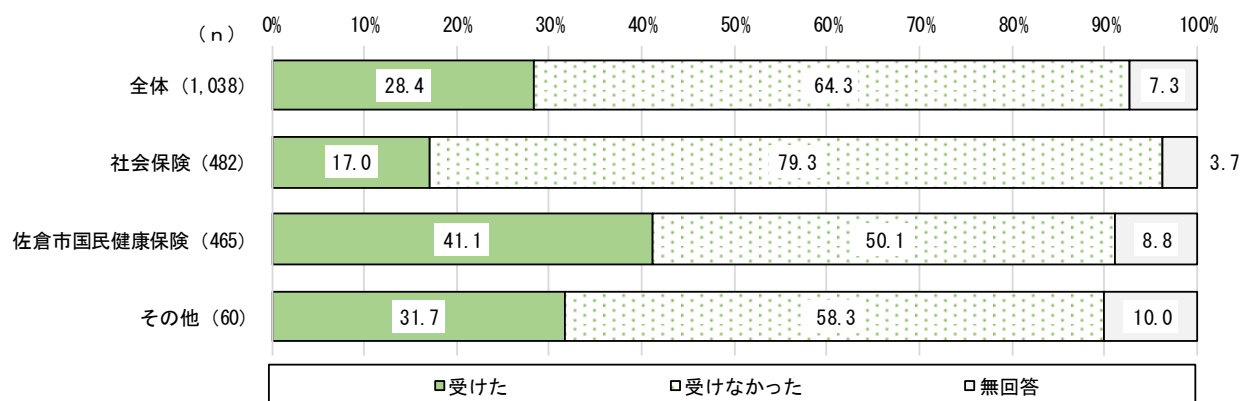


胃がん／保険の種類

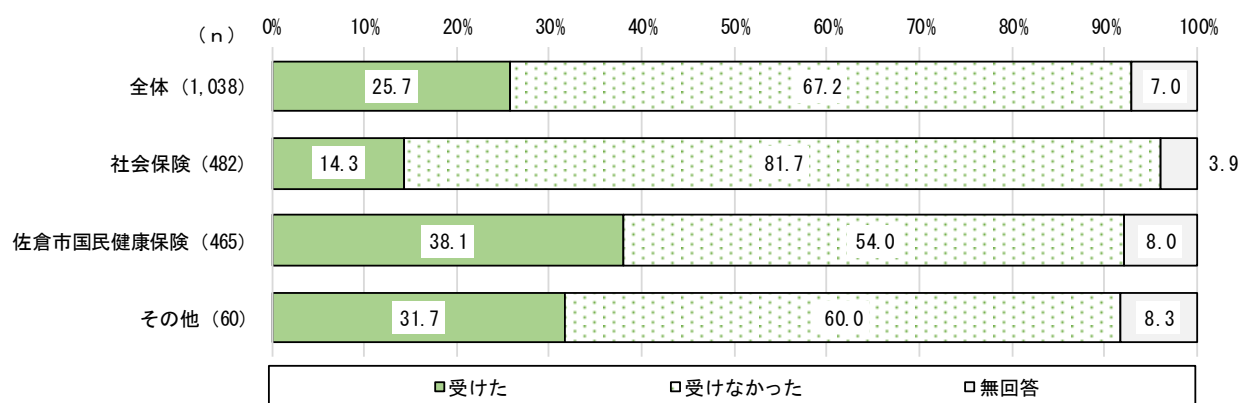


第2章 調査結果の詳細

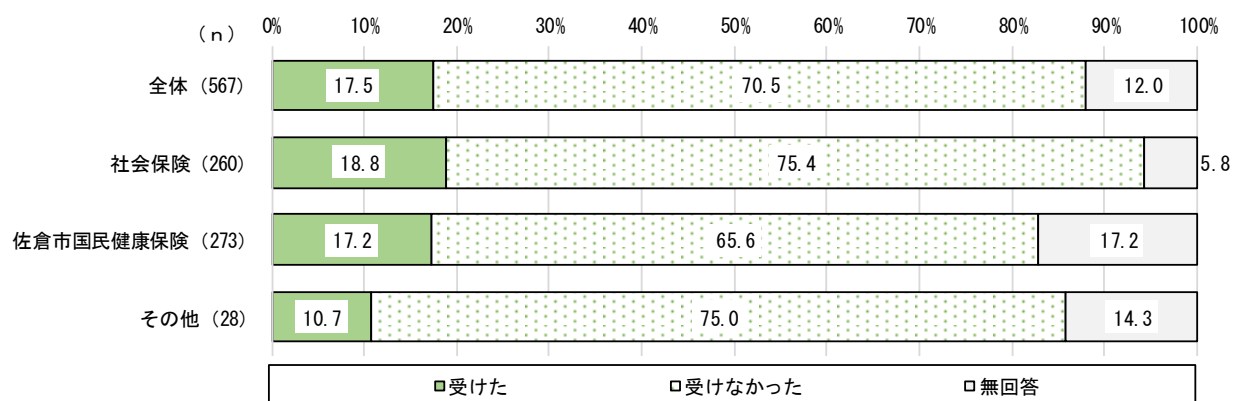
肺がん／保険種類



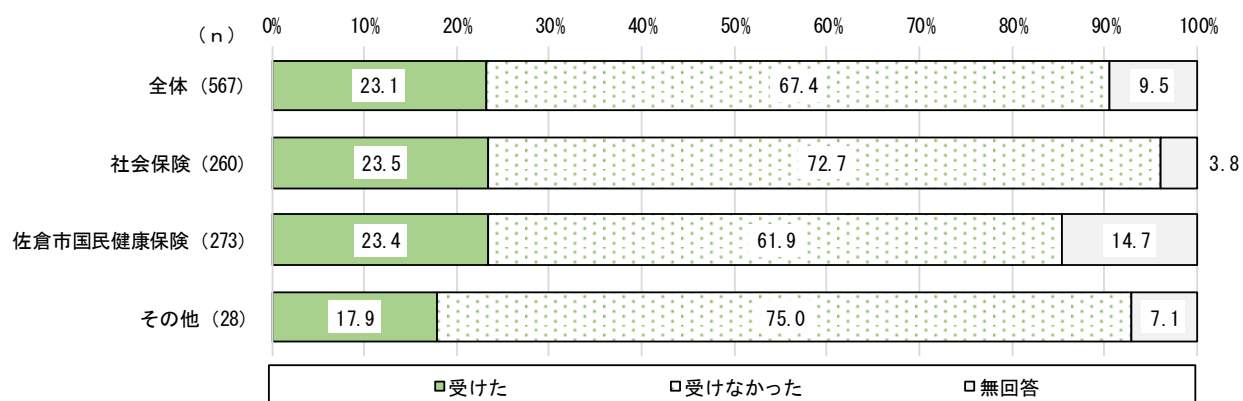
大腸がん／保険種類



子宮頸がん／保険種類



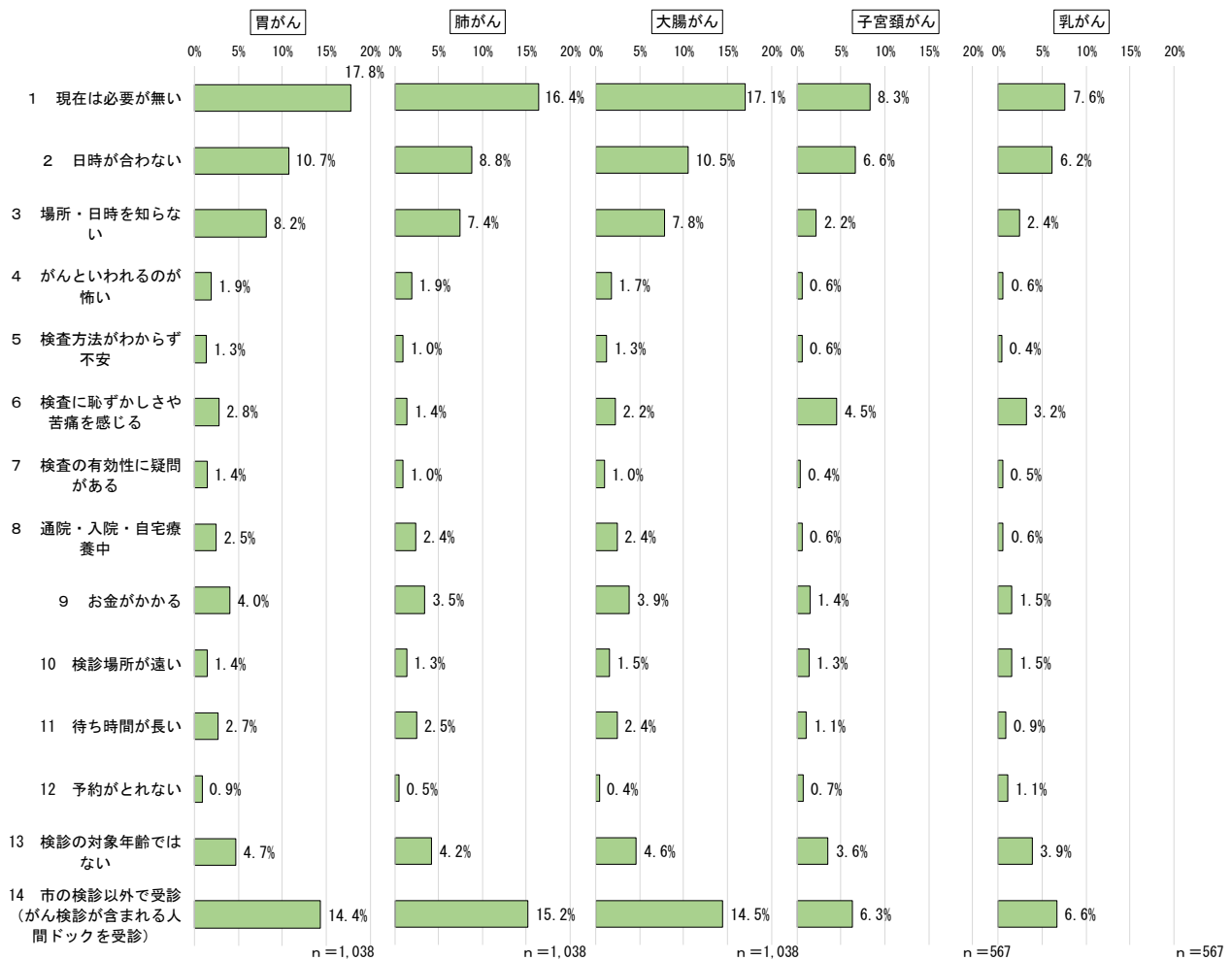
乳がん／保険種類



問37 (問36で「受けなかった」と回答した人のみ) それぞれのがん検診について、市のがん検診を受けなかった理由を選んでください。(〇はいくつでも)

がん検診を受けなかった理由は、全ての項目において「現在は必要がない」が約1割～2割と最も多くなっています。次いで＜胃がん＞と＜肺がん＞、＜大腸がん＞は「市の検診以外で受診」が1割以上となっています。

がん検診を受けなかった理由



無回答除く

第2章 調査結果の詳細

胃がん

	全体	社会保険	健康保険 佐倉市国民	その他
1 現在は必要が無い	17.8	20.7	15.1	18.3
2 日時が合わない	10.7	11.4	10.8	8.3
3 場所・日時を知らない	8.2	13.7	2.4	11.7
4 がんといわれるのが怖い	1.9	1.9	2.2	1.7
5 検査方法がわからず不安	1.3	1.2	1.1	5.0
6 検査に恥ずかしさや苦痛を感じる	2.8	3.3	1.9	5.0
7 検査の有効性に疑問がある	1.4	1.5	1.3	1.7
8 通院・入院・自宅療養中	2.5	1.2	3.7	5.0
9 お金がかかる	4.0	5.2	3.2	3.3
10 検診場所が遠い	1.4	1.5	1.5	1.7
11 待ち時間が長い	2.7	2.7	3.0	1.7
12 予約がとれない	0.9	0.6	1.3	0.0
13 検診の対象年齢ではない	4.7	7.7	2.4	1.7
14 市の検診以外で受診（がん検診が含まれる人間ドックを受診）	14.4	20.1	9.2	10.0

(%)

肺がん

	全体	社会保険	健康保険 佐倉市国民	その他
1 現在は必要が無い	16.4	19.9	13.5	13.3
2 日時が合わない	8.8	9.5	8.4	8.3
3 場所・日時を知らない	7.4	12.7	2.2	10.0
4 がんといわれるのが怖い	1.9	1.9	2.4	0.0
5 検査方法がわからず不安	1.0	1.0	0.6	3.3
6 検査に恥ずかしさや苦痛を感じる	1.4	1.9	0.9	1.7
7 検査の有効性に疑問がある	1.0	0.8	0.9	1.7
8 通院・入院・自宅療養中	2.4	1.2	3.4	5.0
9 お金がかかる	3.5	5.0	2.4	1.7
10 検診場所が遠い	1.3	1.5	1.3	1.7
11 待ち時間が長い	2.5	2.3	3.0	1.7
12 予約がとれない	0.5	0.6	0.4	0.0
13 検診の対象年齢ではない	4.2	7.1	1.9	1.7
14 市の検診以外で受診（がん検診が含まれる人間ドックを受診）	15.2	22.0	8.6	13.3

(%)

大腸がん

	全体	社会保険	健康保険 佐倉市国民	その他
1 現在は必要が無い	17.1	20.3	14.0	18.3
2 日時が合わない	10.5	11.2	10.8	6.7
3 場所・日時を知らない	7.8	13.1	2.4	10.0
4 がんといわれるのが怖い	1.7	2.1	1.7	0.0
5 検査方法がわからず不安	1.3	1.2	1.1	3.3
6 検査に恥ずかしさや苦痛を感じる	2.2	2.3	1.9	3.3
7 検査の有効性に疑問がある	1.0	0.8	0.9	1.7
8 通院・入院・自宅療養中	2.4	1.0	3.9	3.3
9 お金がかかる	3.9	5.0	3.0	3.3
10 検診場所が遠い	1.5	1.5	1.5	1.7
11 待ち時間が長い	2.4	2.3	2.8	1.7
12 予約がとれない	0.4	0.4	0.4	0.0
13 検診の対象年齢ではない	4.6	7.7	2.2	1.7
14 市の検診以外で受診（がん検診が含まれる人間ドックを受診）	14.5	20.5	9.5	8.3

(%)

子宮頸がん

	全体	社会保険	健康保険 佐倉市国民	その他
1 現在は必要が無い	8.3	6.2	10.1	10.0
2 日時が合わない	6.6	8.1	6.0	3.3
3 場所・日時を知らない	2.2	3.5	0.9	3.3
4 がんといわれるのが怖い	0.6	0.8	0.4	0.0
5 検査方法がわからず不安	0.6	0.4	0.9	0.0
6 検査に恥ずかしさや苦痛を感じる	4.5	3.7	6.2	0.0
7 検査の有効性に疑問がある	0.4	0.4	0.4	0.0
8 通院・入院・自宅療養中	0.6	0.2	1.1	0.0
9 お金がかかる	1.4	1.9	1.1	1.7
10 検診場所が遠い	1.3	1.9	0.9	1.7
11 待ち時間が長い	1.1	0.6	1.5	1.7
12 予約がとれない	0.7	0.8	0.6	0.0
13 検診の対象年齢ではない	3.6	3.7	3.7	3.3
14 市の検診以外で受診（がん検診が含まれる人間ドックを受診）	6.3	11.2	2.4	0.0

(%)

第2章 調査結果の詳細

乳がん

	全体	社会保険	健康保険 佐倉市国民	その他
1 現在は必要が無い	7.6	6.0	9.5	8.3
2 日時が合わない	6.2	7.1	6.0	3.3
3 場所・日時を知らない	2.4	3.7	1.1	3.3
4 がんといわれるのが怖い	0.6	0.8	0.4	0.0
5 検査方法がわからず不安	0.4	0.4	0.4	0.0
6 検査に恥ずかしさや苦痛を感じる	3.2	3.1	3.9	0.0
7 検査の有効性に疑問がある	0.5	0.4	0.4	0.0
8 通院・入院・自宅療養中	0.6	0.2	1.1	0.0
9 お金がかかる	1.5	1.9	1.3	1.7
10 検診場所が遠い	1.5	1.9	1.3	1.7
11 待ち時間が長い	0.9	0.6	1.3	0.0
12 予約がとれない	1.1	1.2	1.1	0.0
13 検診の対象年齢ではない	3.9	3.1	4.9	3.3
14 市の検診以外で受診（がん検診が含まれる人間ドックを受診）	6.6	11.4	2.8	1.7

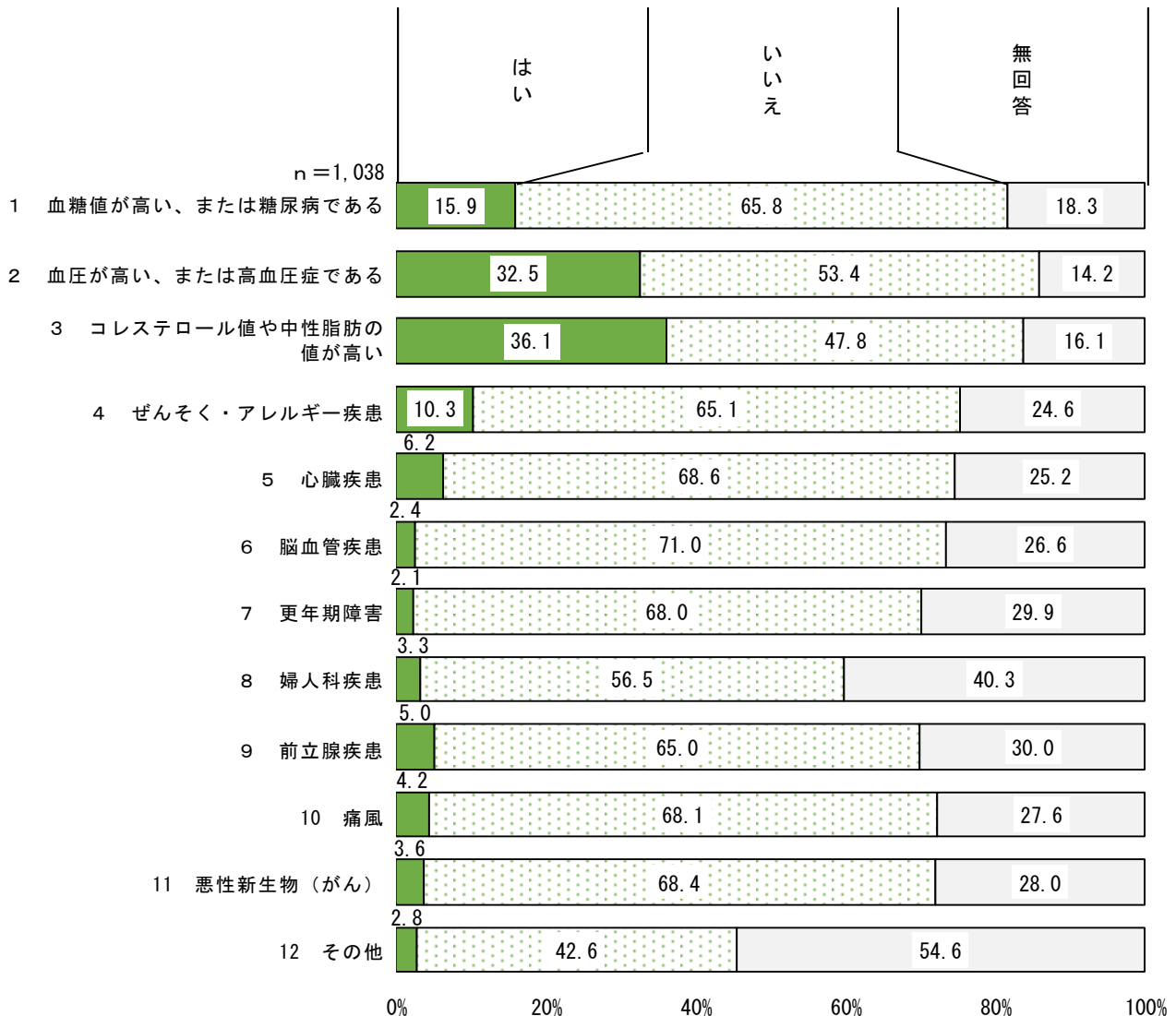
(%)

(4) 医師や健康診断の結果による指摘

問38 あなたは、これまでに医師や健康診断の結果などから、次のようなことをいわれたことがありますか。(それぞれについて、当てはまる番号1つだけに○)

医師からの所見・健康診断の結果は、＜血糖値が高い、または糖尿病である＞と＜コレステロール値や中性脂肪の値が高い＞は、「はい」が3割以上となっています。次いで、＜血糖値が高い、または糖尿病である＞は「はい」が15.9%となっています。

医師からの所見・健康診断結果



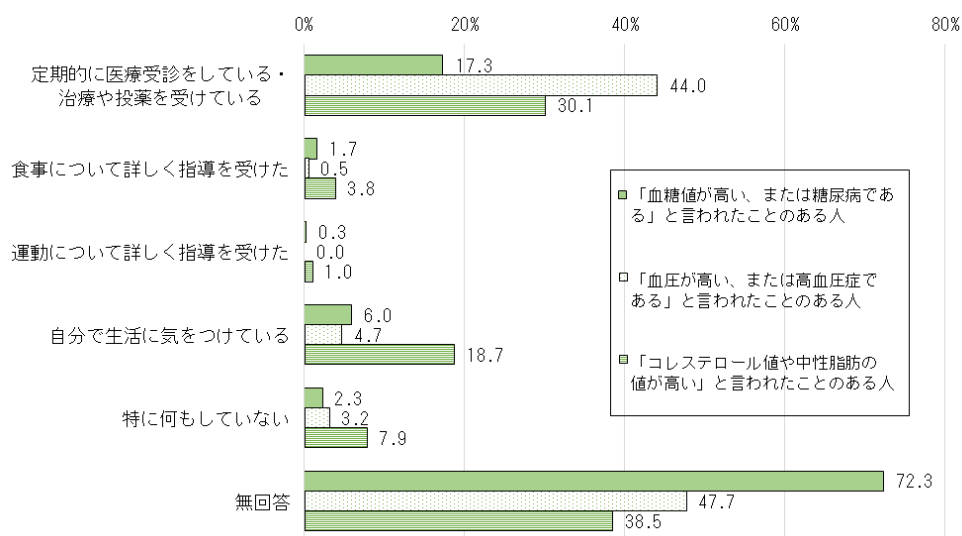
付問38-1 (問38の1～3で「はい」と回答した人のみ)

どのような対応をしましたか。(○は1つだけ)

医師からの所見・健康診断結果への対応としては、＜「血圧が高い、または高血圧症である」と言われたことのある人＞は「定期的に医療受診をしている・治療や投薬を受けている」が44.0%、＜「血糖値が高い、または糖尿病である」と言われたことのある人＞は、「定期的に医療受診している・治療や投薬を受けている」が17.3%となっています。

また、＜「コレステロール値や中性脂肪の値が高い」と言われたことのある人＞では、「定期的に医療受診している・治療や投薬を受けている」が30.1%、次いで「自分で生活に気をつけている」が18.7%となっています。

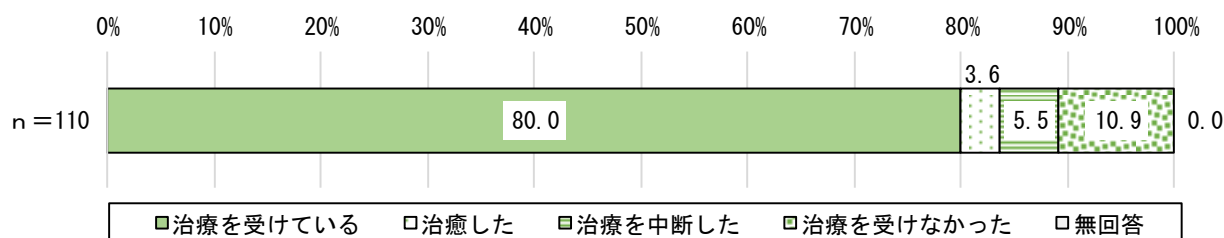
医師からの所見・健康診断結果への対応



付問38-1-1 (糖尿病と診断された人のみ)

現在、治療（食事・運動療法を含む）を受けていますか。(○は1つだけ)

「治療を受けている」が80.0%、「治療を受けなかった」が10.9%となっています。



付問38-1-1-1 (問38-1-1で「治療を中断した」と回答した人のみ)

糖尿病の治療を中断した理由を選んでください。(〇はいくつでも)

糖尿病の「治療中断した」という人の理由は、「病院に行く時間が取れなかったから」が最も多く、次いで「自覚症状がないから」、「検査値に変化がないから」、「以前より検査値が良くなったから」、「食事療法が面倒だから」、「服薬・投薬管理が面倒だから」、「民間療法をやっているから」となっています。

付問38-1-1-2 (問38-1-1で「治療を受けなかった」と回答した人のみ)

糖尿病の治療を受けなかった理由を選んでください。(〇はいくつでも)

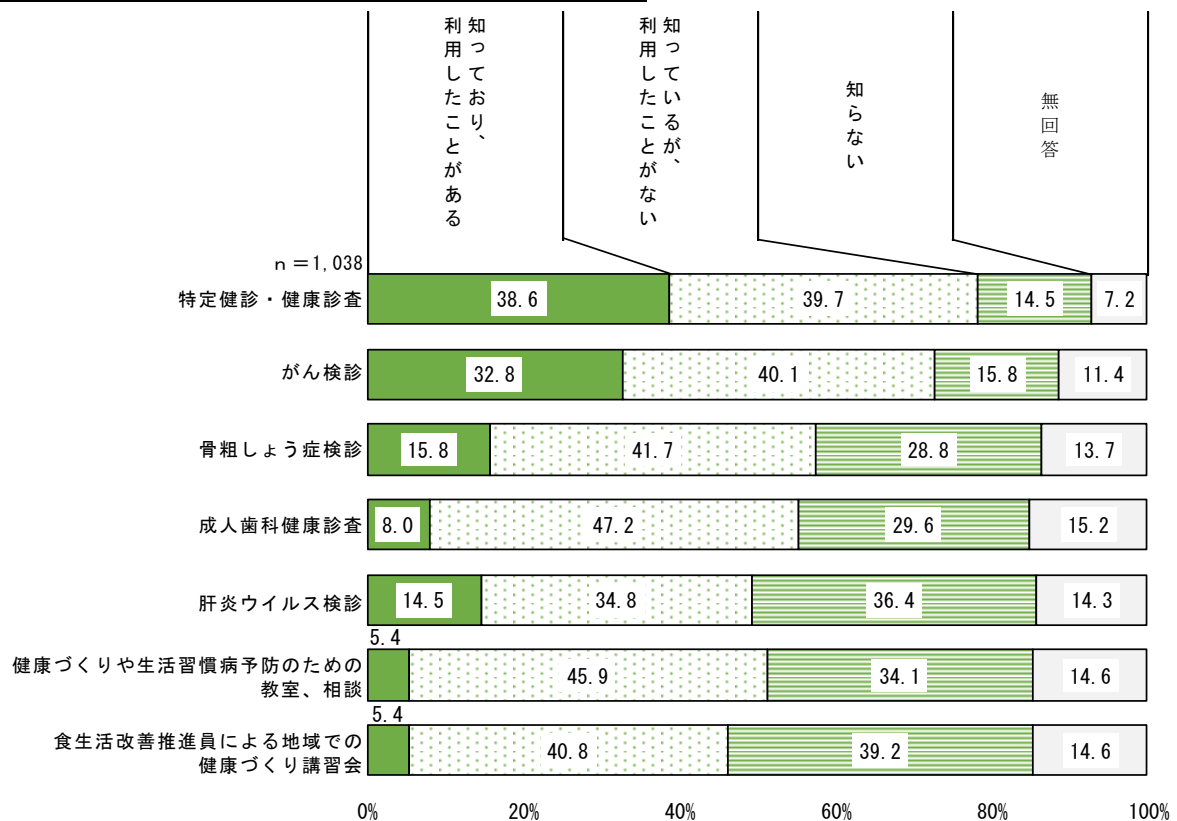
糖尿病の「治療を受けなかった」という人の理由は、「検査値がそれほど悪い値とは思わないから」が最も多く、次いで「自力(自己管理)あるいは民間療法で治せると思うから」、「自覚症状がないから」となっています。

(5) 市が実施する保健サービスの認知・利用状況

問39 あなたは、市が健康づくりのために実施している次のような保健サービスを知っていますか。また、利用したことがありますか。(それぞれの保健サービスについて、当てはまる番号1つだけに〇)

市が実施している保健サービスの認知・利用については、＜特定健診・健康診査＞は「知っており、利用したことがある」が38.6%、「知っているが、利用したことがない」が39.7%となっています。＜肝炎ウイルス検診＞と＜健康づくりや生活習慣病予防のための教室、相談＞、＜食生活改善推進員による地域での健康づくり講習会＞は「知らない」が3割以上となっています。

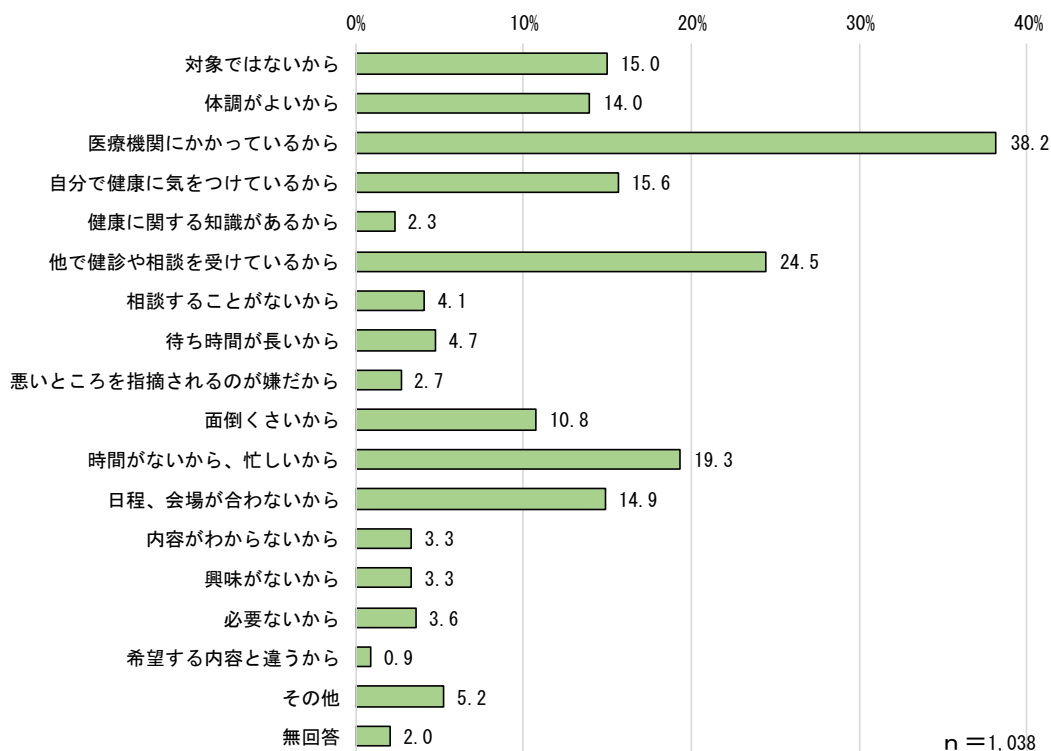
市が実施している保健サービスの認知・利用について



付問39-1 (問39で「知っているが利用したことがない」が1つでもある人のみ)
その理由を教えてください。(〇はいくつでも)

市が実施している保健サービスを「知っているが利用したことがない」という人の理由は、「医療機関にかかっているから」が38.2%と最も多く、次いで「他で健診や相談を受けているから」が24.5%、「時間がないから、忙しいから」が19.3%となっています。

知っているが利用したことの理由／性別、年齢



(n)	対象ではないから	体調がよいから	医療機関にかかっているから	自分で健康に気をつけているから	健康に関する知識があるから	他で健診や相談を受けているから	相談することがないから	待ち時間が長いから	悪いところを指摘されるのが嫌だから	面倒くさいから	時間がないから、忙しいから	日程、会場が合わないから	内容がわからないから	興味がないから	必要ないから	希望する内容と違うから	その他	無回答
全体 (781)	15.0	14.0	38.2	15.6	2.3	24.5	4.1	4.7	2.7	10.8	19.3	14.9	3.3	3.3	3.6	0.9	5.2	2.0
男性 (310)	14.2	16.5	41.3	15.2	1.6	28.4	3.5	5.5	2.3	8.7	14.8	10.6	4.8	3.2	4.8	0.6	6.8	2.6
女性 (567)	15.4	12.3	35.9	16.0	2.8	22.1	4.5	4.1	2.8	12.1	22.1	17.5	2.4	3.5	2.8	1.1	4.3	1.5
20代まで (33)	42.4	30.3	0.0	9.1	6.1	3.0	6.1	6.1	0.0	9.1	45.5	27.3	9.1	6.1	12.1	0.0	0.0	0.0
30代 (58)	29.3	12.1	12.1	5.2	0.0	24.1	3.4	3.4	3.4	12.1	32.8	22.4	6.9	8.6	5.2	1.7	5.2	1.7
40代 (104)	16.3	12.5	15.4	9.6	1.9	27.9	5.8	8.7	2.9	20.2	44.2	18.3	1.0	3.8	2.9	0.0	6.7	0.0
50代 (113)	11.5	12.4	23.0	8.8	1.8	30.1	5.3	2.7	2.7	13.3	24.8	24.8	4.4	5.3	3.5	1.8	10.6	0.9
60代 (187)	11.2	9.6	43.9	14.4	3.2	29.9	3.7	4.3	2.1	12.3	12.3	14.4	3.7	3.2	3.2	1.6	5.3	1.6
70代 (201)	10.9	18.4	61.7	25.4	2.5	20.9	3.0	5.5	3.0	5.0	7.5	7.0	3.0	1.5	2.5	0.5	3.0	2.5
80代以上 (72)	13.9	12.5	54.2	22.2	1.4	18.1	2.8	1.4	1.4	4.2	2.8	5.6	0.0	0.0	4.2	0.0	4.2	6.9

(%)

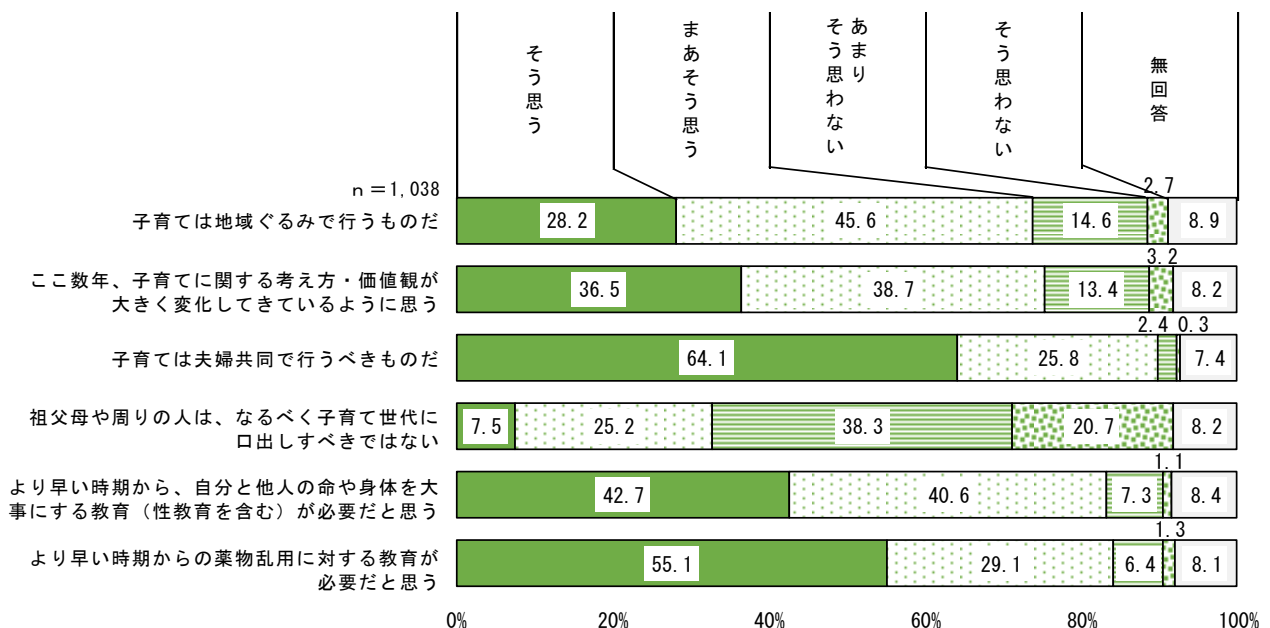
10. 子育て

(1) 子育てに関する考え

問40 以下のそれぞれの意見について、あなたの考えにもっとも近い番号を選んでください。(それぞれについて、当てはまる番号1つだけに○)

子育てに関する考えは、＜子育ては夫婦共同で行うべきものだ＞は「そう思う」が64.1%、＜より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思う＞が55.1%となっています。＜祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではない＞は「そう思う」と「まあそう思う」の合計は32.7%、「そう思わない」は20.7%となっています。

子育てに関する考え

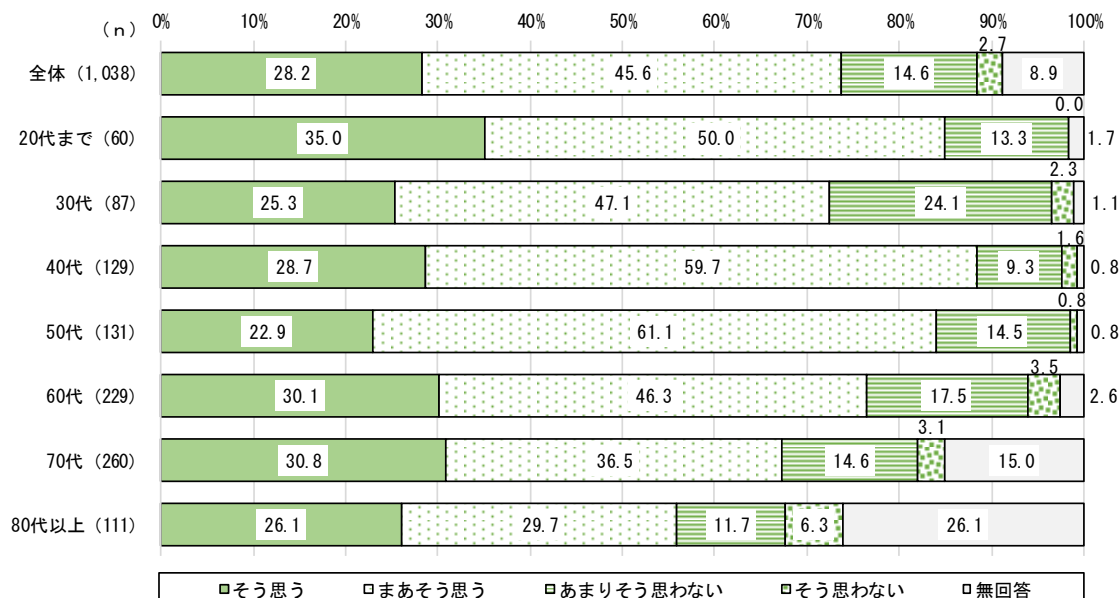


子育ては地域ぐるみで行うものだ

子育ては地域ぐるみで行うものかは、「まあそう思う」が45.6%、「そう思う」が28.2%、「あまりそう思わない」が14.6%となっています。

年齢別にみると、＜20代まで＞と＜60代＞、＜70代＞は「そう思う」が3割を超えています。

子育ては地域ぐるみで行うものだ／年齢

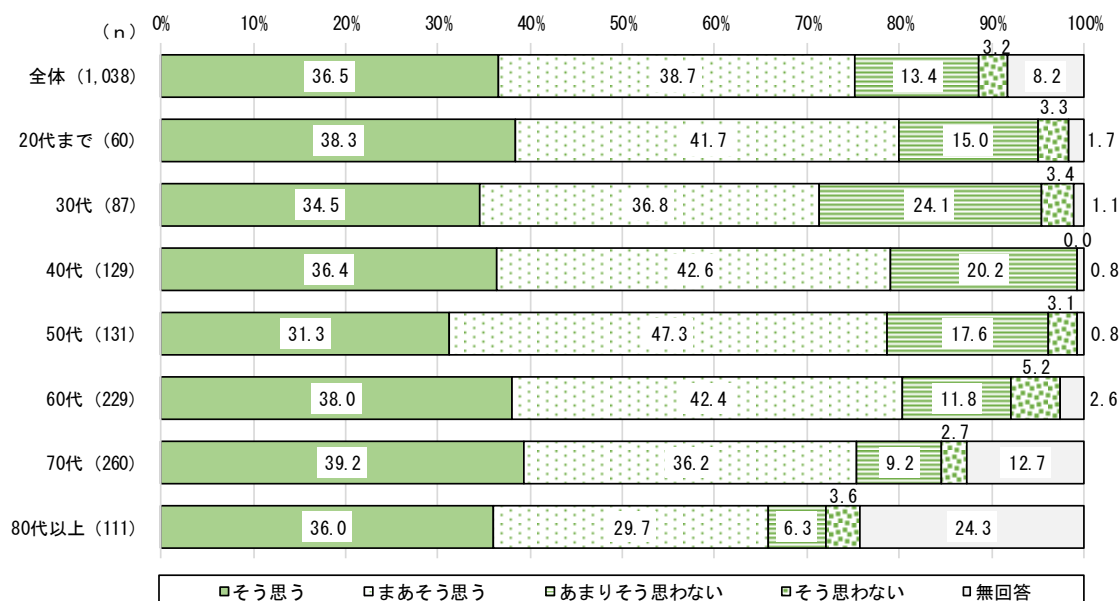


ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が大きく変化してきているように思う

ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が大きく変化してきているように思うは、「まあそう思う」が38.7%、「そう思う」が36.5%、「あまりそう思わない」が13.4%となっています。

年齢別にみると、＜60代＞は「そう思う」と「まあそう思う」の合計は80.4%となっています。

ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が大きく変化してきているように思う／年齢

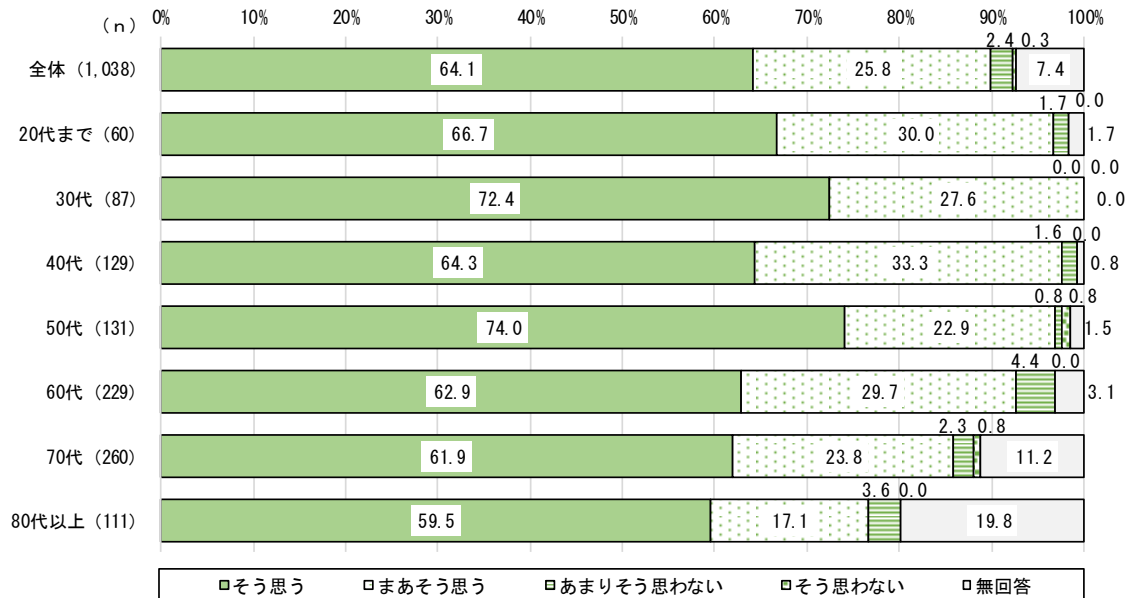


子育ては夫婦共同で行うべきものだ

子育ては夫婦共同で行うべきものかは、「そう思う」が64.1%、「まあそう思う」が25.8%、「あまりそう思わない」は2.4%となっています。

年齢別にみると、＜30代＞と＜50代＞は、「そう思う」は7割以上となっています。

子育ては夫婦共同で行うべきものだ／年齢

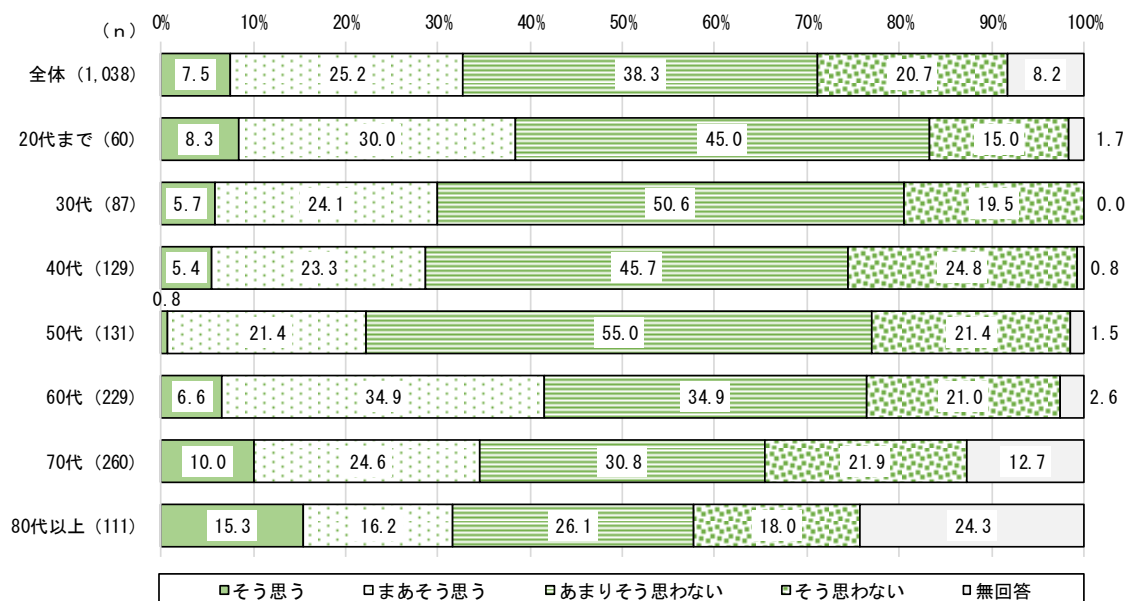


祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではない

祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではないは、「あまりそう思わない」が38.3%、「まあそう思う」は25.2%、「そう思わない」が20.7%となっています。

年齢別にみると、＜80代以上＞は「そう思う」が15.3%となっています。＜50代＞は「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計が76.4%となっています。

祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではない／年齢



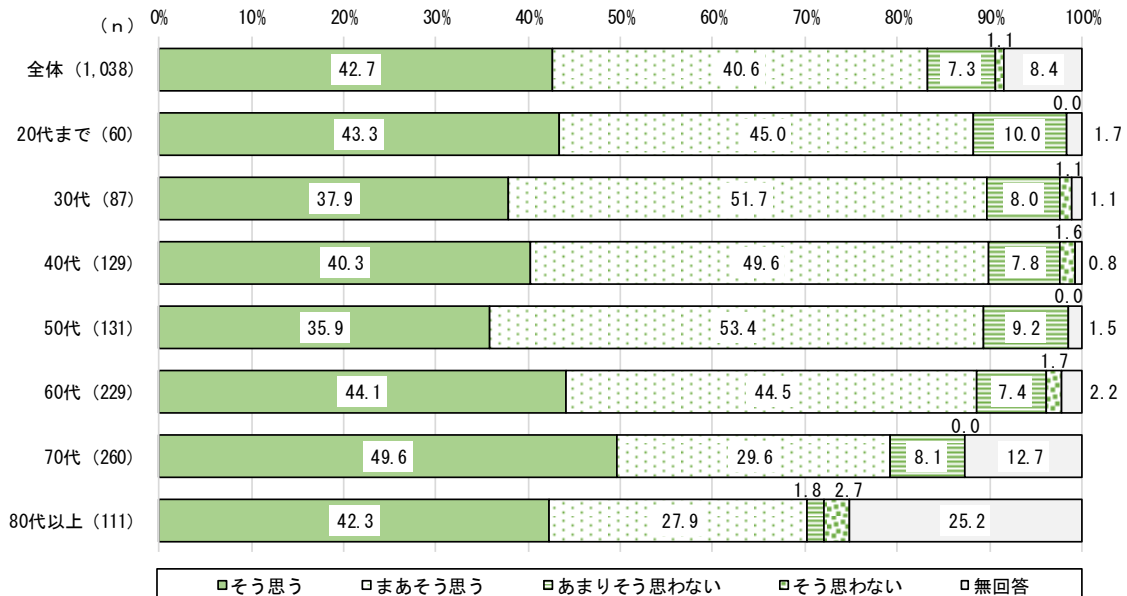
より早い時期から、自分と他人の命や身体を大事にする教育（性教育を含む）が必要だと思う

より早い時期から、自分と他人の命や身体を大事にする教育（性教育を含む）が必要だと思うは「まあそう思う」が40.6%、「そう思う」が42.7%となっています。

年齢別にみると、＜70代＞は「そう思う」が49.6%となっています。

より早い時期から、自分と他人の命や身体を大事にする教育（性教育を含む）が必要だと思う／年齢

年齢

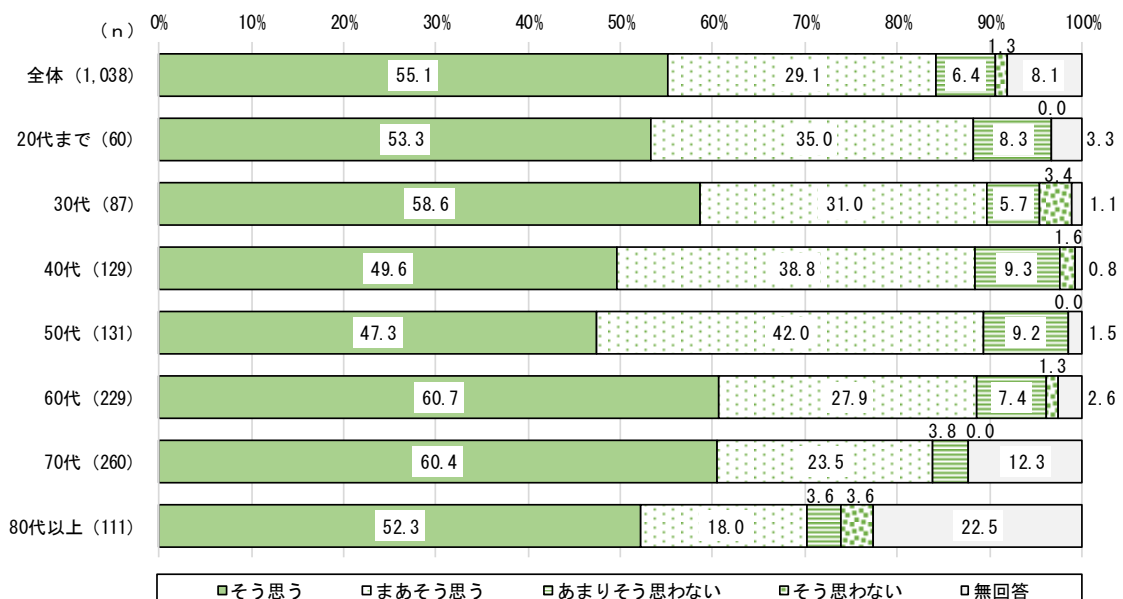


より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思う

より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思うは、「そう思う」が55.1%、「まあそう思う」が29.1%となっています。

年齢別にみると、＜40代＞と＜50代＞は「あまりそう思わない」が約1割となっています。

より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思う／年齢

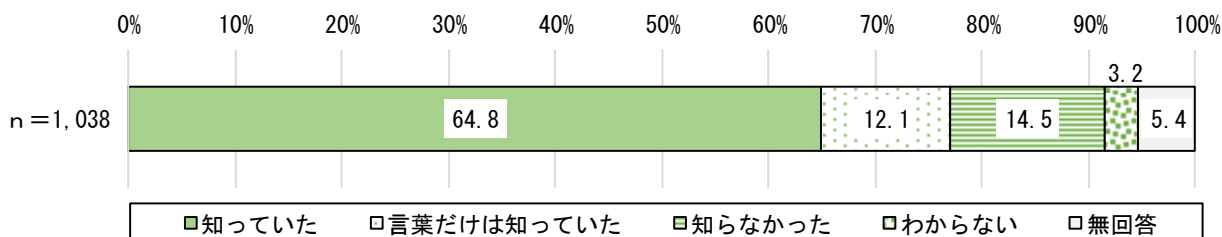


（2）マタニティマーク

問41 あなたは、マタニティマークを知っていましたか。（○は1つだけ）

マタニティマークの認知度は、「知っていた」が64.8%、「知らなかった」が14.5%、「言葉だけは知っていた」が12.1%となっています。

マタニティマークの認知度

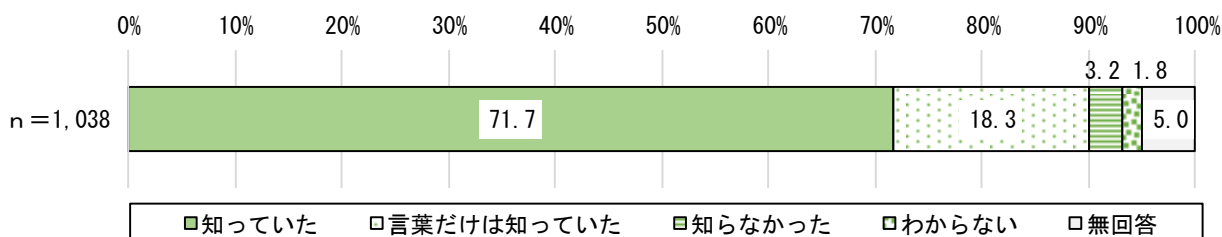


（3）発達障害

問42 あなたは、発達障害について知っていましたか。（○は1つだけ）

発達障害の認知度は、「知っていた」が71.7%、「言葉だけは知っていた」が18.3%となっています。

発達障害の認知度

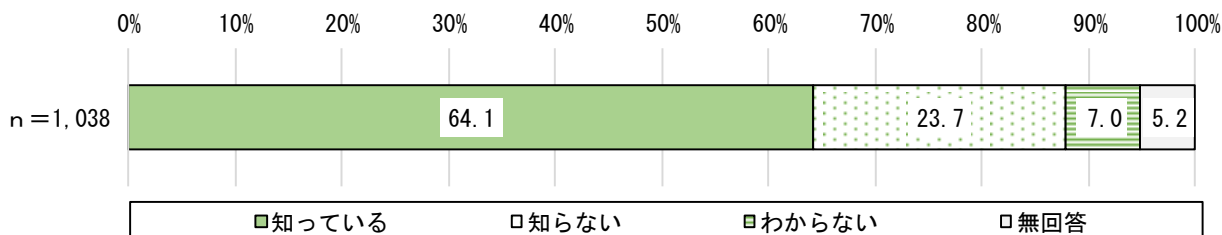


（4）虐待

問43 法律では、虐待を受けたと思われる、または疑いのある児童を発見したら、だれでも市町村の役場や児童相談所などに知らせることが義務付けられています。あなたは、そのような義務があることを知っていましたか、それとも知りませんでしたか。（○は1つだけ）

虐待発見したら届け出義務があることは、「知っている」が64.1%、「知らない」は23.7%となっています。

虐待発見したら届け出義務があること



11. 健康についての考え方

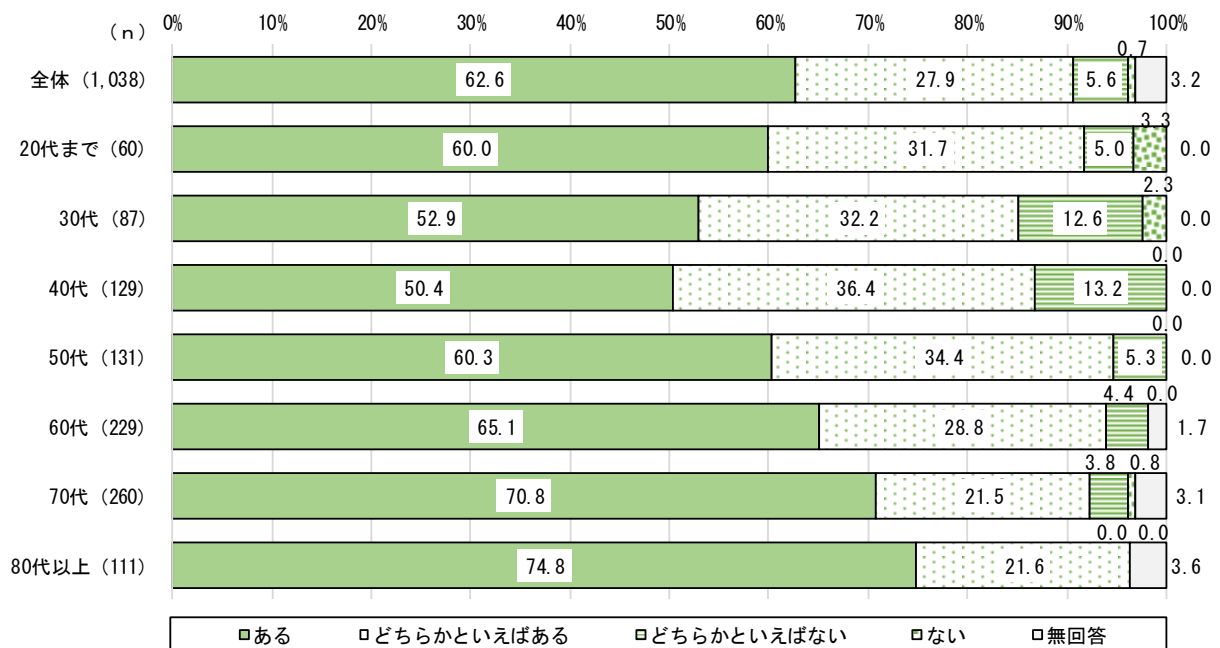
(1) 健康への関心

問44 自分の健康に関心がありますか。(○は1つだけ)

健康への関心は、「ある」は62.6%、「どちらかといえばある」は27.9%となっています。

年齢別にみると、＜70代＞と＜80代以上＞は「ある」が7割以上となっています。＜30代＞と＜40代＞は1割以上が「どちらかといえはない」となっています。

健康への関心／年齢

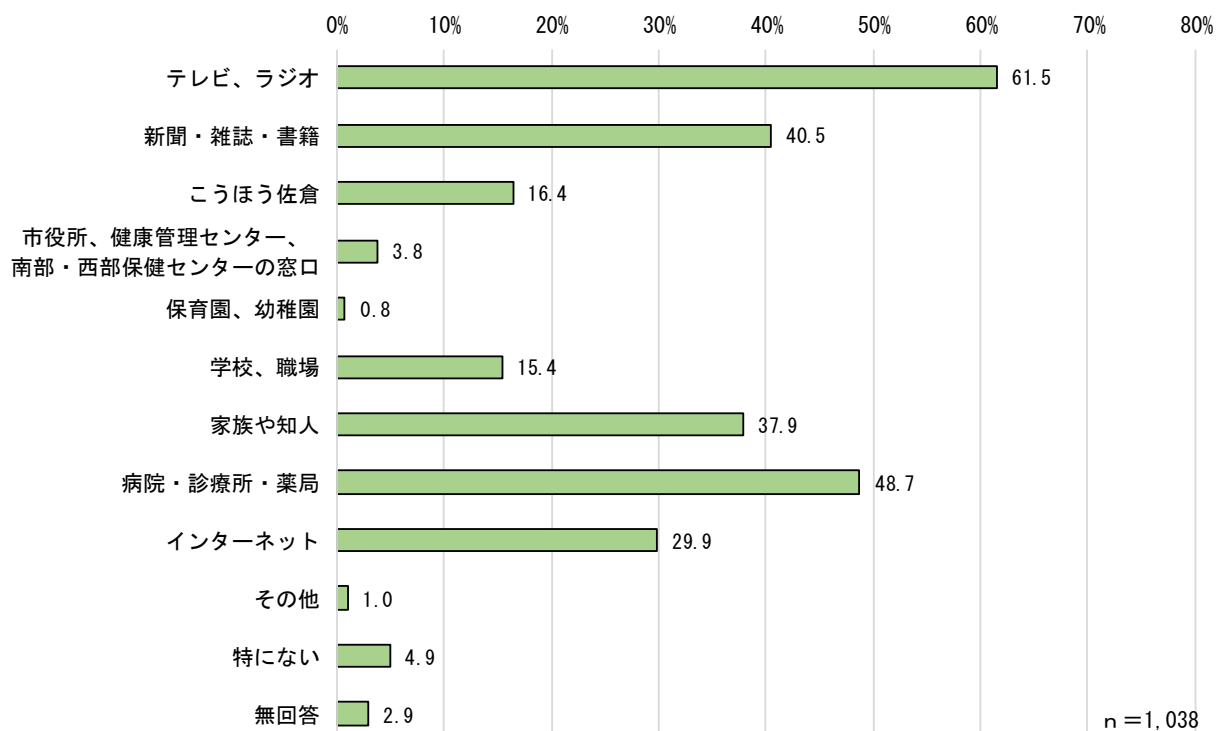


(2) 健康に関する情報源・相談先

問45 ふだん、どこ（だれ）に、健康に関する情報を聞いたり、相談をしたりしていますか。（○はいいくつでも）

健康に関する情報源・相談先は、「テレビ・ラジオ」が61.5%と最も多く、次いで「病院・診療所・薬局」が48.7%、「新聞・雑誌・書籍」が40.5%となっています。

健康に関する情報源・相談先



12. あなたの健康

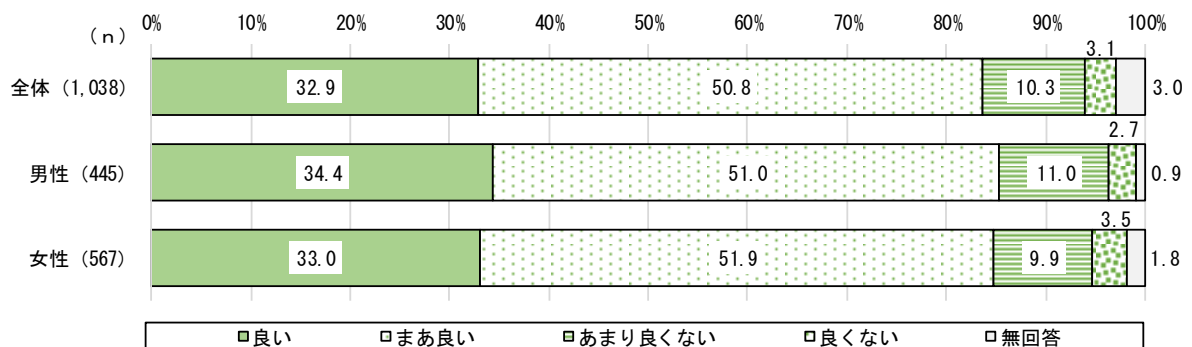
(1) 過去1ヶ月間の健康状態

問46 過去1ヶ月間のあなたの健康状態はいかがでしたか。(○は1つだけ)

過去1ヶ月間健康状態は、「良い」は32.9%、「まあ良い」は50.8%となっています。「あまり良くない」は10.3%となっています。

性別にみると、男女に大きな差はありません。

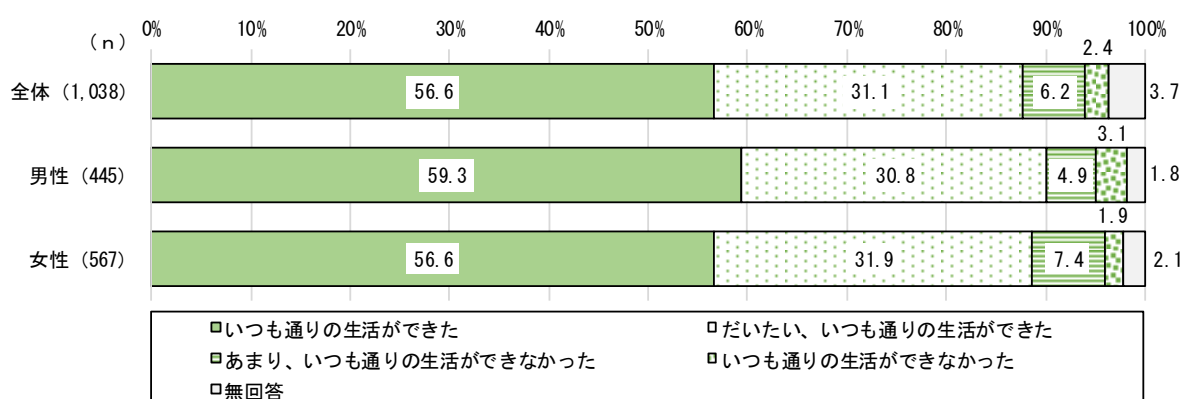
過去1ヶ月間の健康状態／性別



問47 過去1ヶ月間に、日常生活（仕事、学校、家事等の行動や家族や友人との付き合い）が身体的な理由でできないことがありましたか。(○は1つだけ)

過去1ヶ月間日常生活が身体的な理由で妨げられたかは、「いつも通りの生活ができた」が56.6%、「だいたい、いつも通りの生活ができた」が31.1%となっています。

過去1ヶ月間に日常生活が身体的な理由で妨げられたか／性別

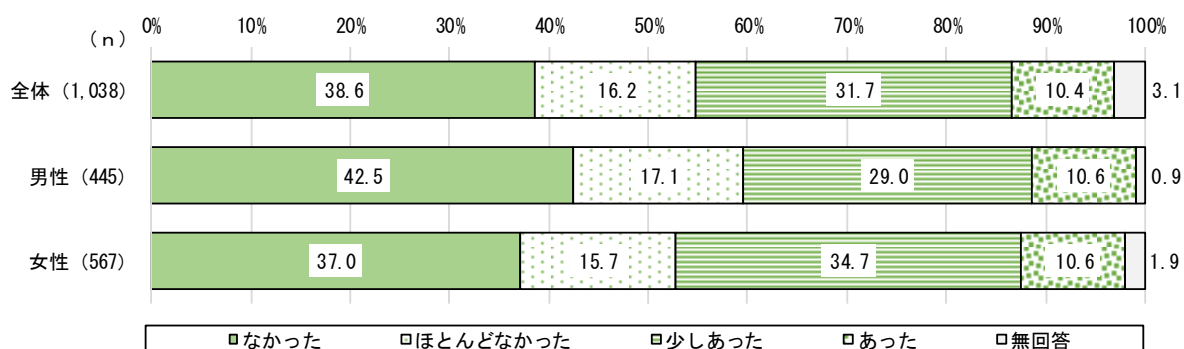


問48 過去1ヶ月間に、身体的な問題（身体の痛みやしびれ等）はどのくらいありましたか。（○は1つだけ）

過去1ヶ月間身体的な問題があったかは、「なかった」は38.6%、「ほとんどなかった」は16.2%、「少しあった」は31.7%となっています

性別にみると、＜男性＞は「なかった」が42.5%と、＜女性＞の37.0%を上回っています。

過去1ヶ月間に身体的な問題があったか



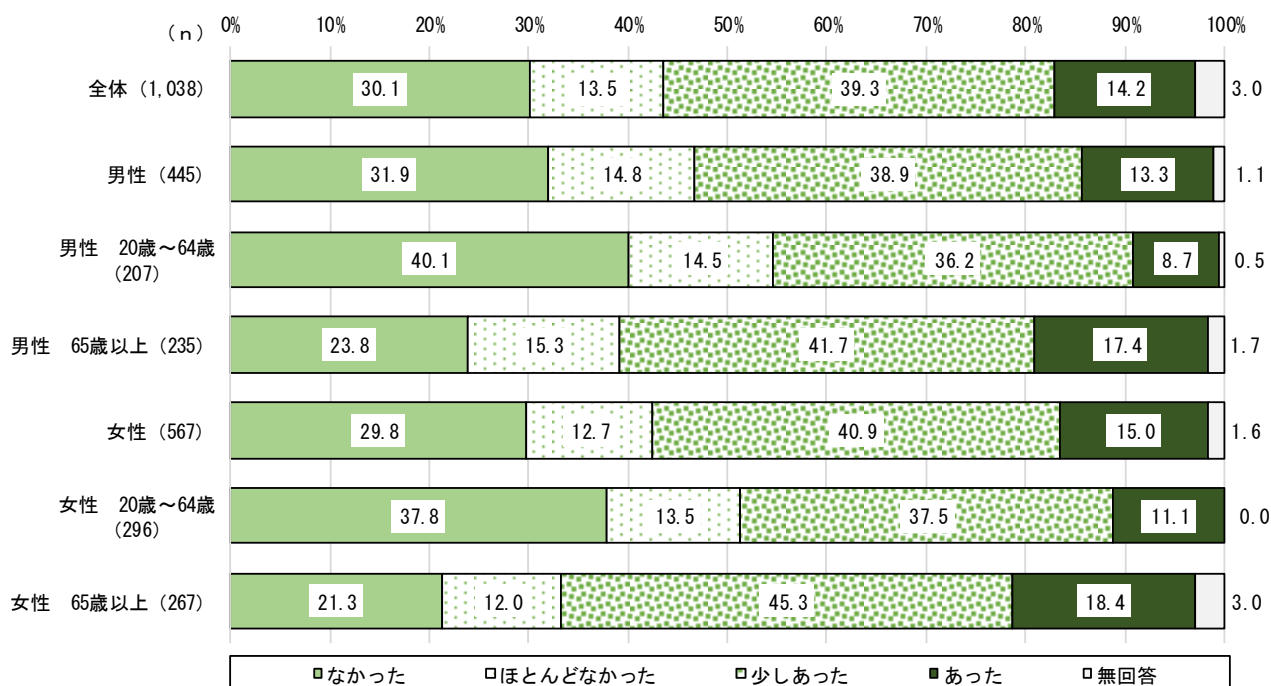
問49 過去1ヶ月間に、足腰の痛みはどのくらいありましたか。（○は1つだけ）

過去1ヶ月間に足腰の痛みがあったかは、「なかった」は30.1%、「ほとんどなかった」は13.5%、「少しあった」は39.3%、「あった」は14.2%となっています。

性別にみると、＜女性＞は「少しあった」が40.9%と、＜男性＞の38.9%を上回っています。

年齢別にみると、＜男性 65歳以上＞と＜女性 65歳以上＞はあったが、約2割となっています。

過去1ヶ月間に足腰の痛みがあったか／性別、性・年齢

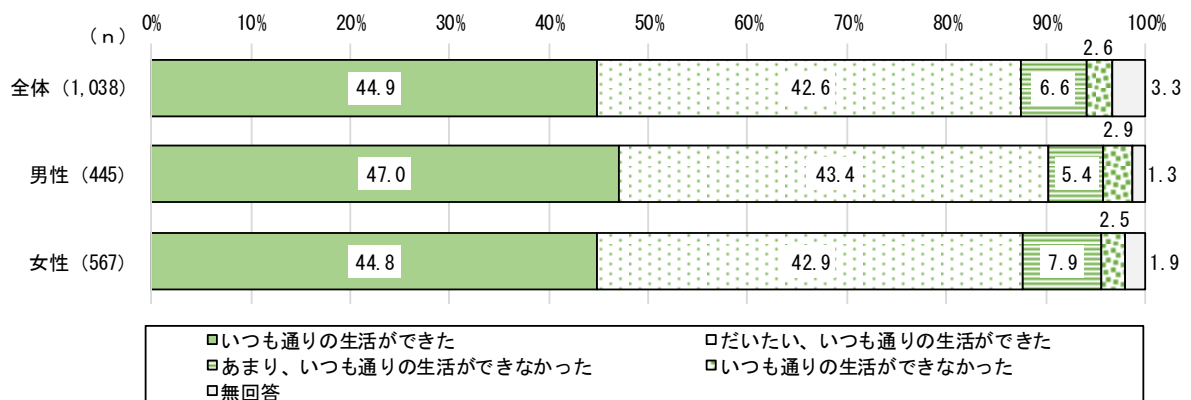


問50 過去1ヶ月間に、日常生活（仕事、学校、家事等の行動や家族や友人との付き合い）が、心理的な問題（不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたりする）でできないことがありましたか。（○は1つだけ）

過去1ヶ月間に日常生活が心理的な理由で妨げられたかは、「いつも通りの生活ができた」は44.9%、「だいたい、いつも通りの生活ができた」は42.6%となっています。

性別にみると、＜男性＞は「いつも通りの生活ができた」が47.0%と、＜女性＞の44.8%を上回っています。

過去1ヶ月間に日常生活が心理的な理由で妨げられたか／性別

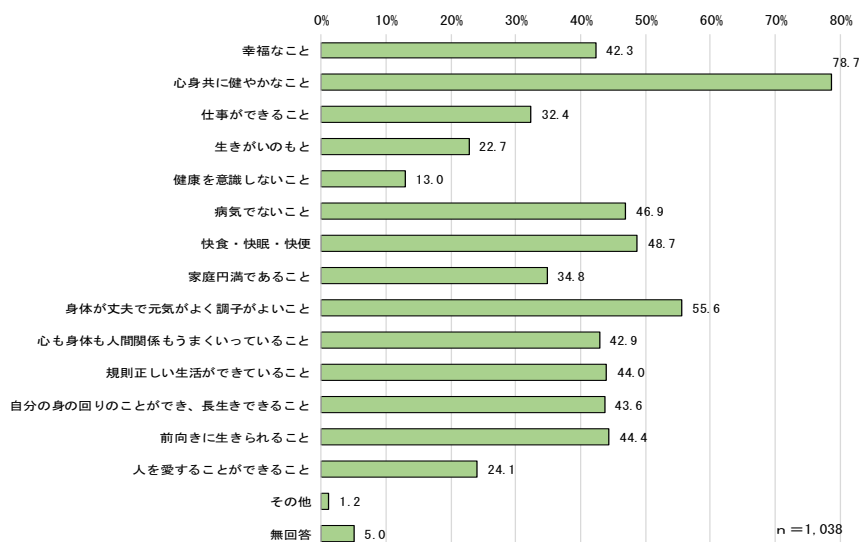


(2) 健康とは

問51 あなたは「健康とはなんですか」と聞かれたらどのように答えますか。あなたのお考えに合うものをいくつでも結構ですから選んで、その番号に○をつけてください。(○はいくつでも)

健康についての考え方は、「心身共に健やかなこと」が78.7%と最も多く次いで「身体が丈夫で元気がよく調子がよいこと」が55.6%、「快食・快眠・快便」が48.7%、「病気でないこと」が46.9%となっています。

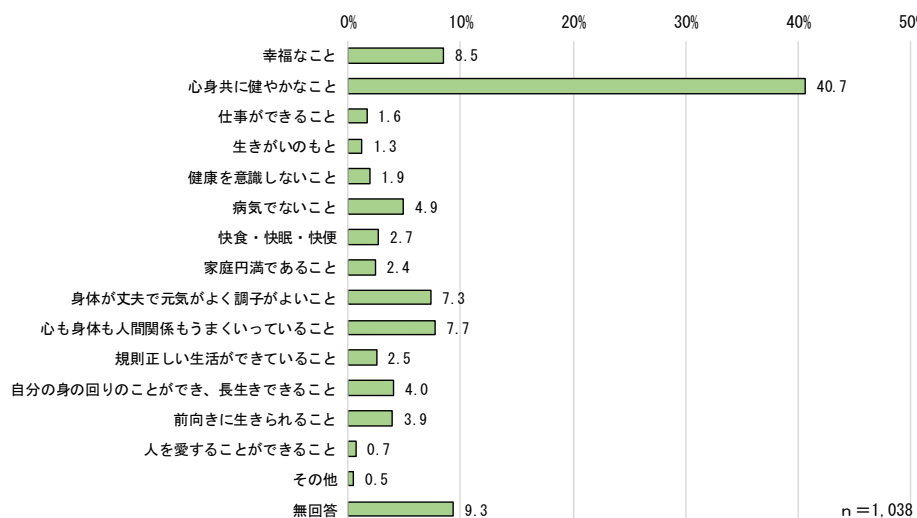
健康についての考え方



付問51-1 問51で選んだ中からあなたの考えに最も合うものを1つだけ選び、その番号をご記入ください。

問51の中で健康についての考え方で最も合うものは、「心身共に健やかなこと」が40.7%と最も多くなっています。次いで「幸福なこと」が8.5%、「心も身体も人間関係もうまくいっていること」が7.7%となっています。(無回答除く)

健康についての考え方で最も合うもの



13. 生きがい、まちづくり

(1) 生きがい

問52 あなたは、生きがいを感じていますか。(〇は1つだけ)

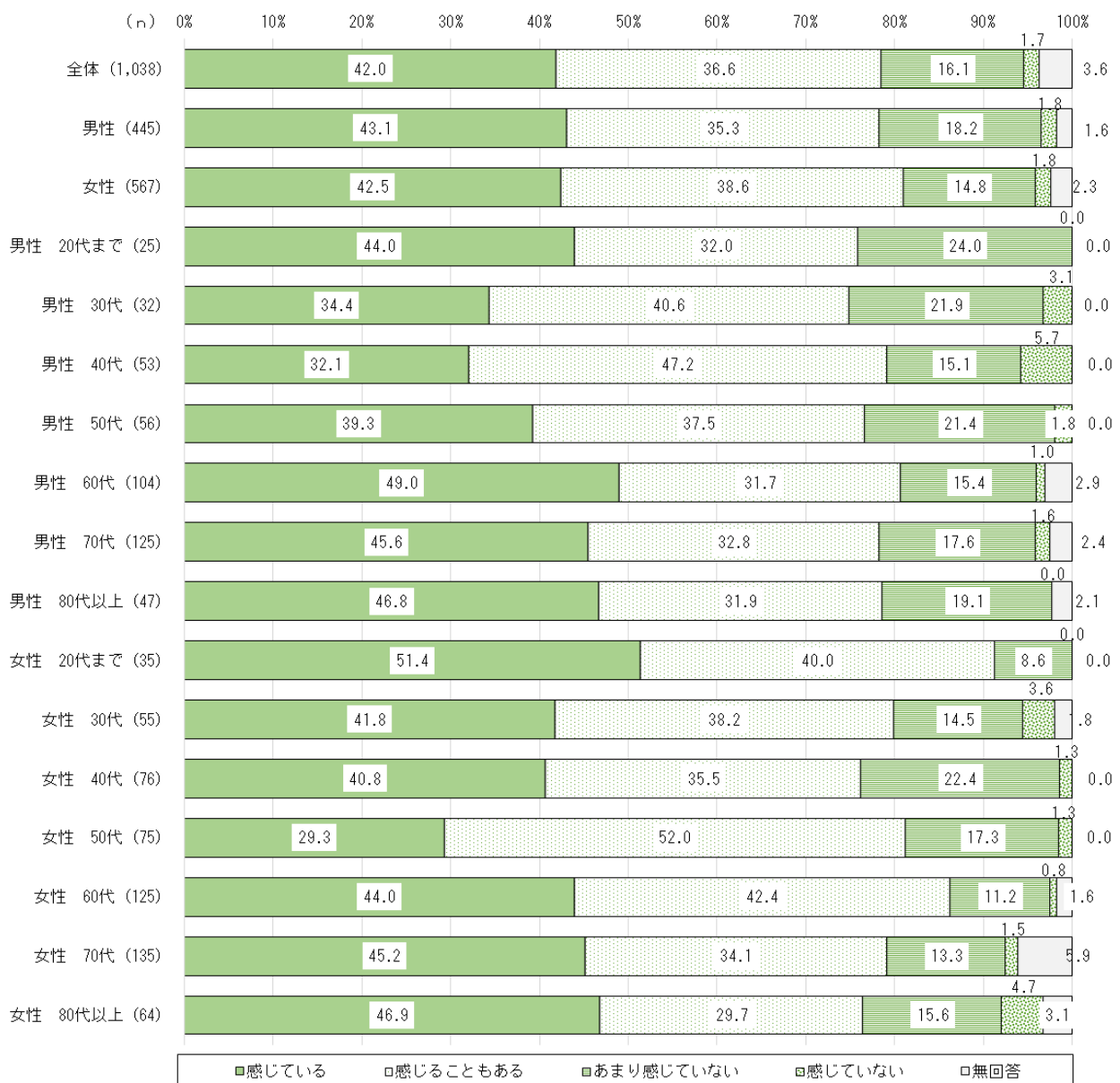
生きがいを「感じている」は42.0%、「感じることもある」は36.6%となっています。

性別にみると、「感じることもある」は<女性>は38.6%と<男性>よりも多くなっています。

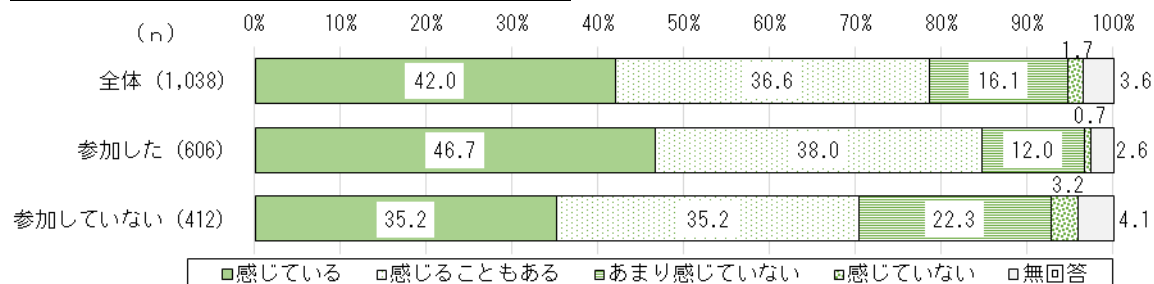
年齢別にみると、<女性 50代>は「感じている」は29.3%となっています。<男性 20代まで>は「あまり感じていない」が24.0%、<男性 40代>は「感じていない」が5.7%となっています。

健康づくりに関わる活動への参加状況別でみると、活動に参加している人の方が、参加していない人よりも生きがいを感じる割合が高くなっています。

生きがい／性別、性・年齢



健康づくりに関わる活動への参加／生きがい

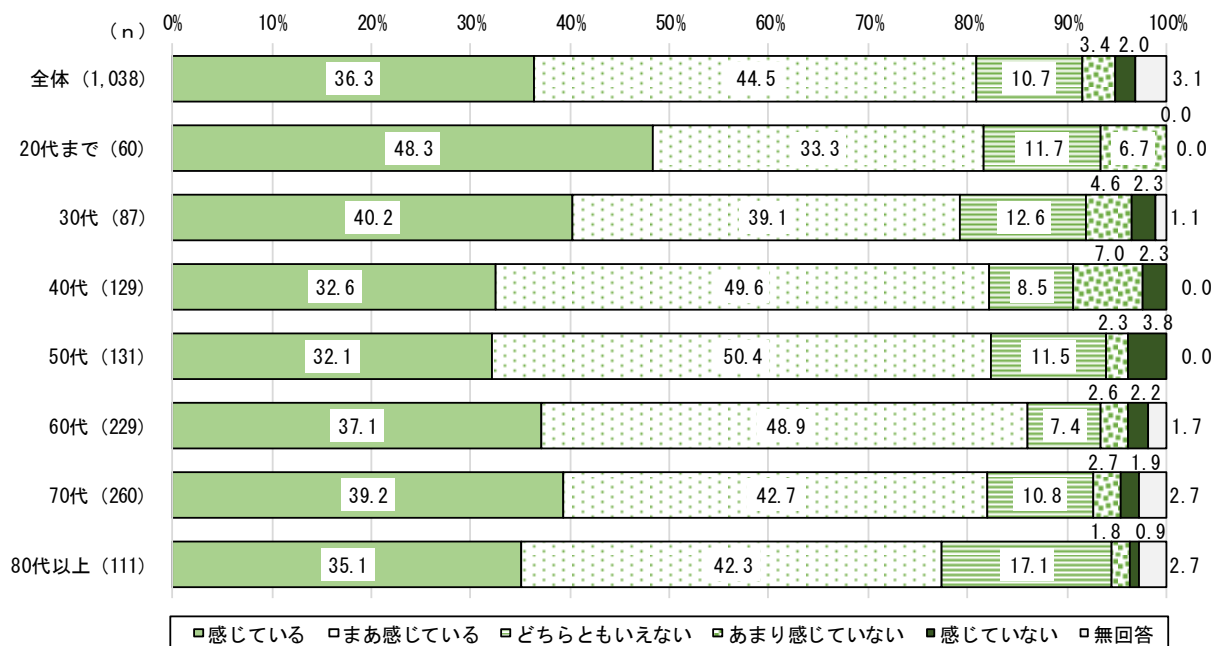


問53 あなたは、幸福と感じていますか。(○は1つだけ)

幸福感を「感じている」が36.3%、「まあ感じている」は44.5%となっています。

年齢別にみると、＜20代まで＞と＜30代＞は「感じている」が4割以上となっています。＜40代＞は「あまり感じていない」が7.0%、＜20代まで＞は6.7%となっています。

幸福感／年齢

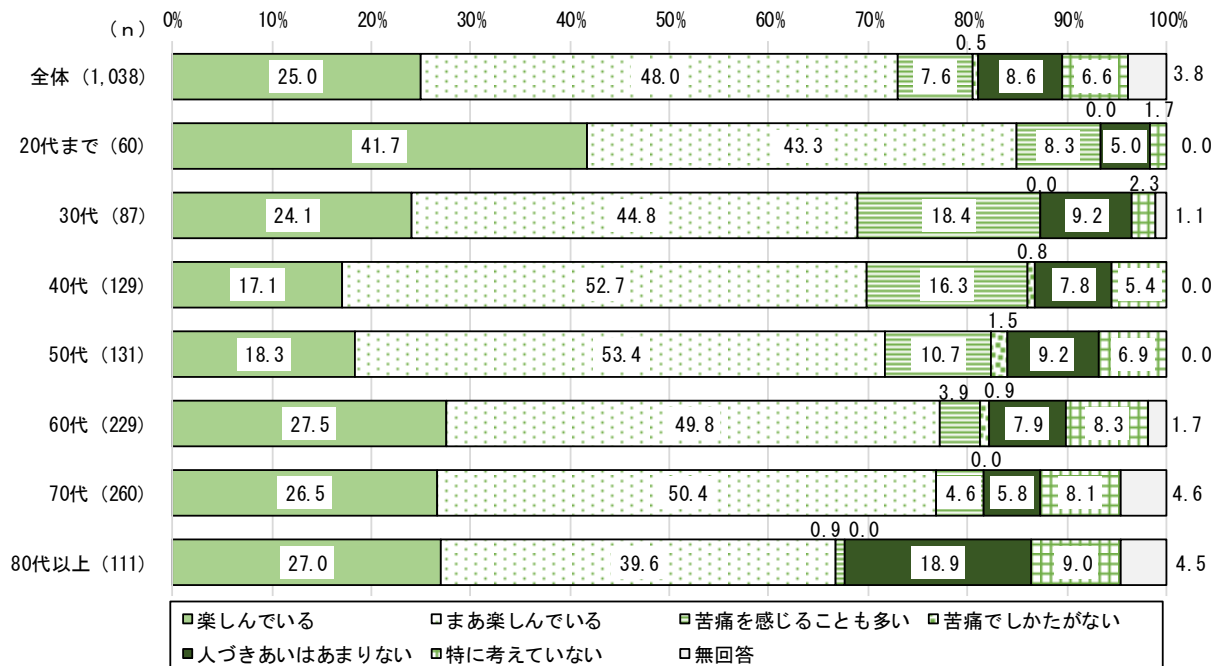


問54 あなたは、職場や家族、近所との人づきあいを楽しんでいますか。(〇は1つだけ)

職場や家族・近所との人づきあいは、「楽しんでいる」が25.0%、「まあ楽しんでいる」は48.0%となっています。

年齢別にみると、＜20代まで＞は「楽しんでいる」が41.7%となっています。＜40代＞と＜50代＞、＜70代＞は「まあ楽しんでいる」が半数以上となっています。＜80代以上＞は、「人づきあいはあまりない」が18.9%となっています。

職場や家族・近所との人づきあい／年齢



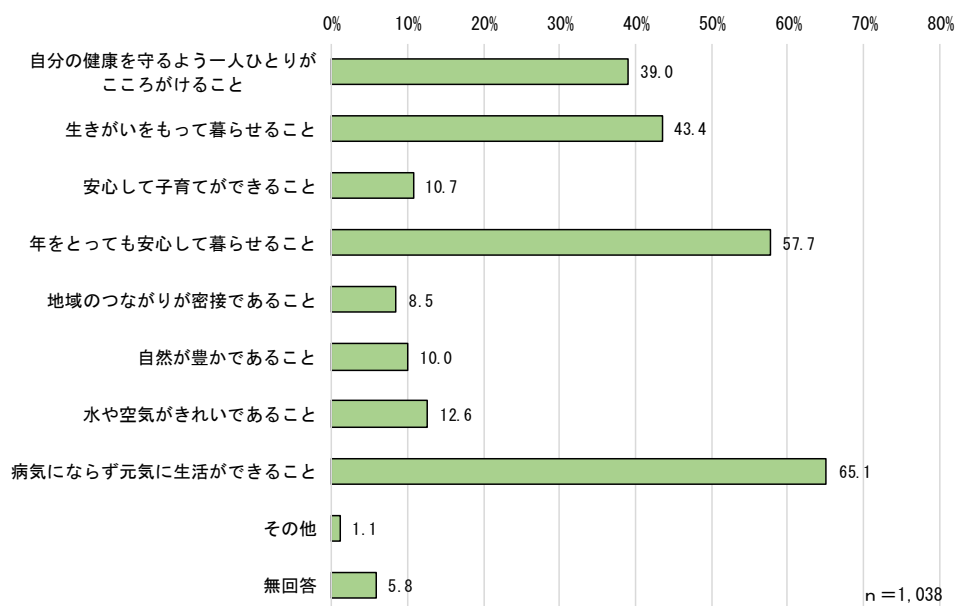
(2) 健やかに暮らすために特に重要だと思うこと

問55 次のうち、あなた自身にとって、健やかに暮らすために特に重要だと思うことは何ですか。
(〇は3つまで)

健やかに過ごすために重要なことは、「病気にならず元気に生活ができること」が65.1%と最も多く、「年をとっても安心して暮らせること」が57.7%、「生きがいをもって暮らせること」が43.4%となっています。

年齢別にみると、＜20代まで＞から＜60代＞までは、「病気にならず元気に生活ができること」が最も多く、6割以上となっています。また、＜50代＞と＜60代＞、＜70代＞、＜80代以上＞は「年をとっても安心して暮らせること」が6割以上となっています。

健やかに過ごすために重要なこと／性別、年齢



	自分の健康を守るよう一人ひとりがこころがけること	生きがいをもって暮らせること	安心して子育てができること	年をとっても安心して暮らせること	地域のつながりが密接であること	自然が豊かであること	水や空気がきれいであること	病気にならず元気に生活ができること	その他	無回答
(n)										
全体 (1,038)	39.0	43.4	10.7	57.7	8.5	10.0	12.6	65.1	1.1	5.8
男性 (445)	38.4	45.4	10.1	55.7	9.4	10.3	11.5	67.2	0.9	4.0
女性 (567)	40.6	43.4	11.6	60.7	7.9	10.1	14.1	65.6	1.2	4.2
20代まで (60)	23.3	56.7	20.0	15.0	10.0	18.3	25.0	60.0	1.7	1.7
30代 (87)	31.0	47.1	39.1	40.2	1.1	11.5	12.6	65.5	3.4	4.6
40代 (129)	29.5	45.7	24.8	51.9	7.8	7.8	17.1	64.3	3.1	0.0
50代 (131)	38.2	45.8	11.5	61.8	4.6	10.7	9.9	74.0	0.8	1.5
60代 (229)	37.1	48.0	3.9	63.3	7.0	11.4	11.4	73.8	0.0	5.7
70代 (266)	49.2	38.5	1.5	68.5	12.7	8.8	13.1	62.7	0.4	5.4
80代以上 (111)	50.5	39.6	2.7	66.7	13.5	7.2	9.0	55.9	0.9	7.2

(%)

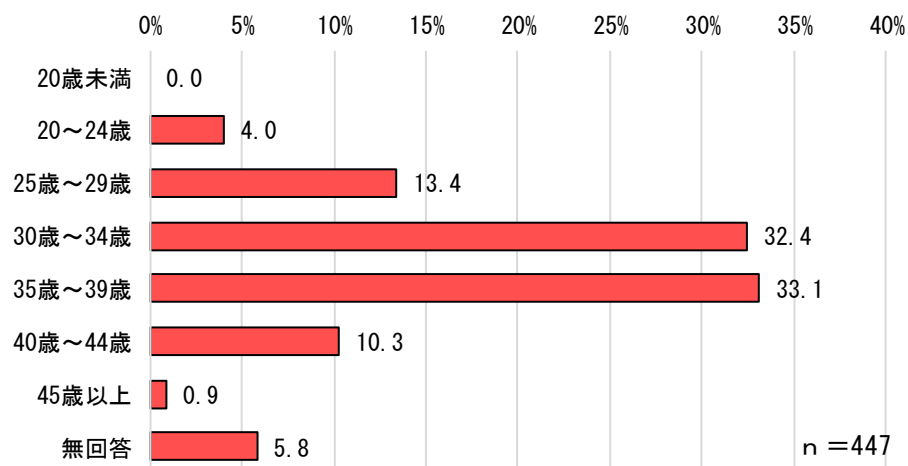
Ⅱ 妊娠・出産・育児調査結果

1. 基本属性

(1) 性別

F 1 あなたの年齢は何歳ですか。(数字でお答えください。)

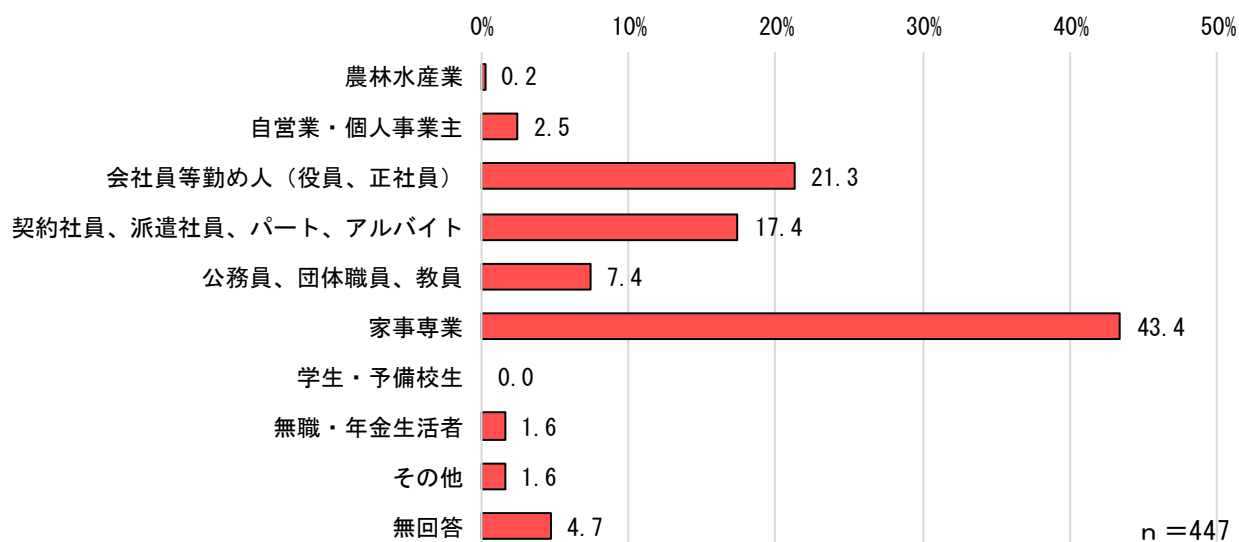
年 齢



(2) 職業

F 2 現在のお仕事は何ですか。(現在、育児休業中も含む)

職 業



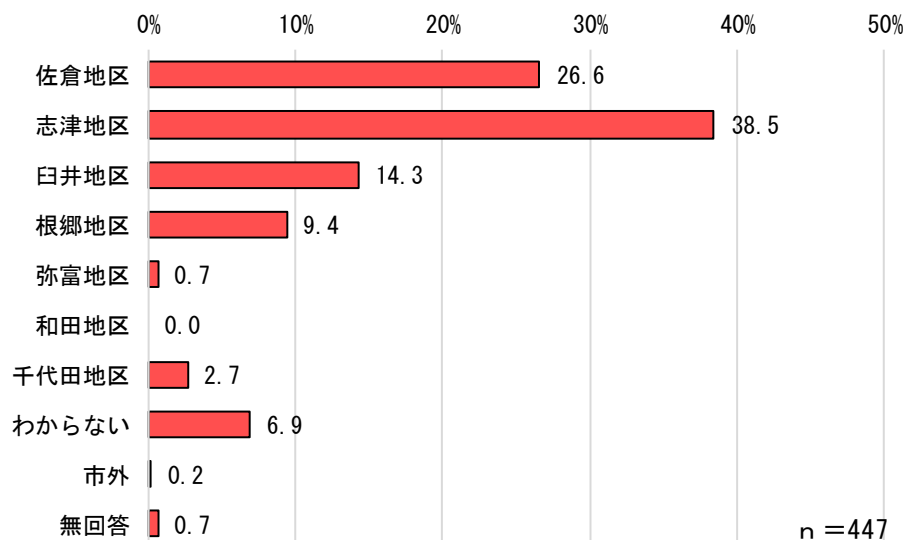
2. 家族、地域とのかかわり

(1) 居住地域

問1-1 住んでいるところはどこですか。

居住地域は、「志津地区」が38.5%と最も高く、次いで「佐倉地区」が26.6%、「臼井地区」14.3%となっています。

居住地域

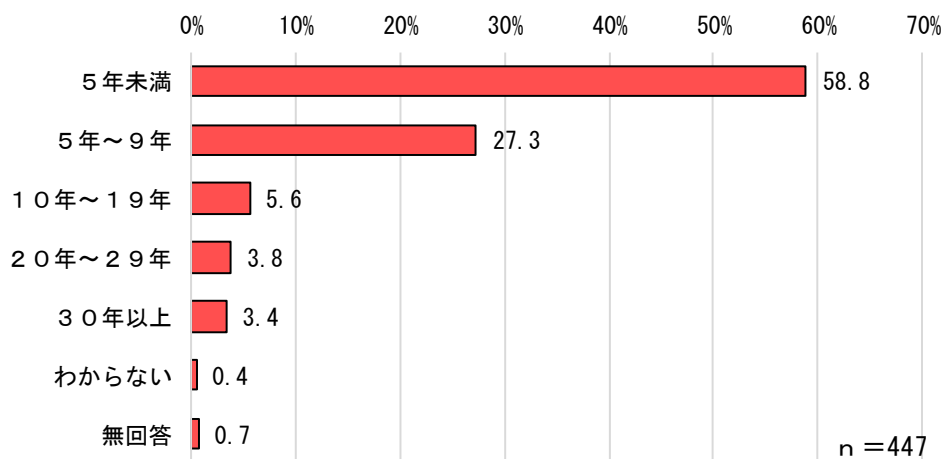


(2) 居住年数

問1-2 居住年数はどのくらいですか。

居住年数は、「5年未満」が58.8%と最も高く、次いで「5年～9年」は27.3%となっています。

居住年数



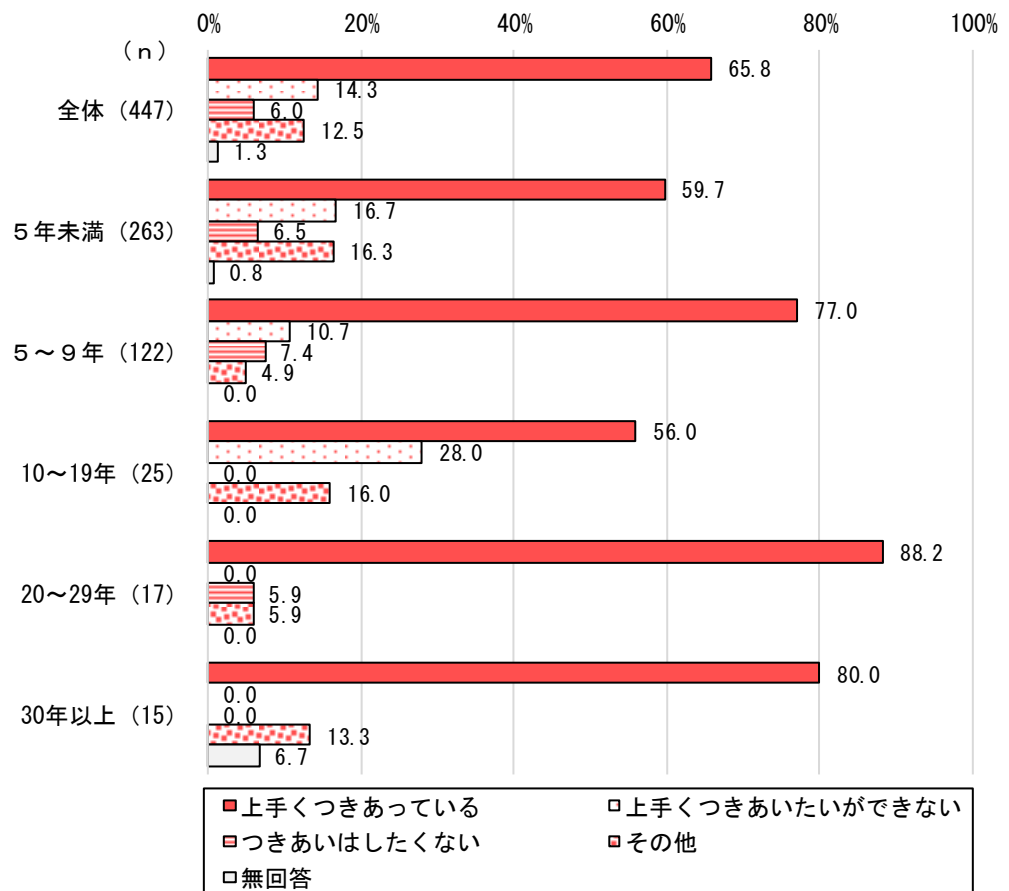
(3) 近所づきあい

問1-3 あなたは日頃の近所づきあいについてどのように考えていますか。

近所づきあいは、「上手くつきあっている」が65.8%と最も高く、次いで「上手くつきあいたいができない」が14.3%となっています。

居住年数別でみると、居住年数<20～29年>と<30年以上>は「上手くつきあっている」が8割を超えている一方、<5年未満>、<5～9年>、<20～29年>は、「つきあいはしたくない」が5%～8%となっています。

居住年数／近所つきあい

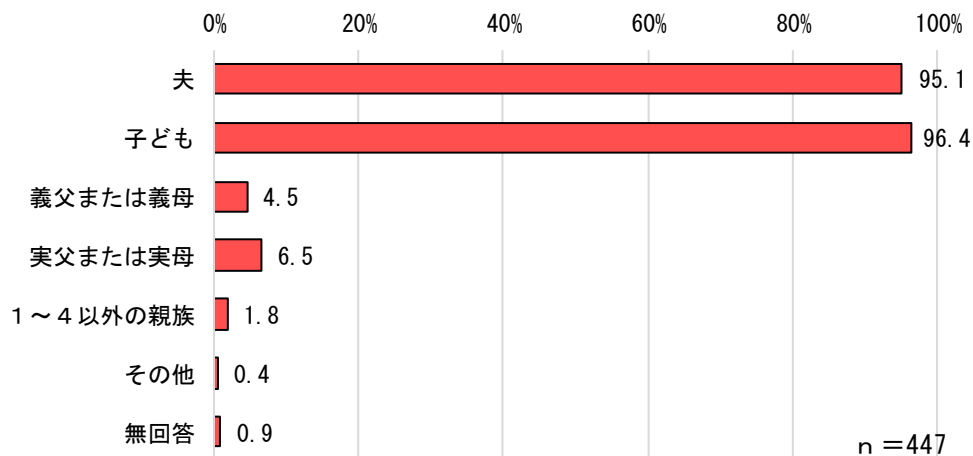


（4）家族構成

問1－4 あなたと一緒に住んでいるのは、だれですか。続柄は、お母さん自身からみたものとします。（複数回答可）

同居している家族は、「子ども」が96.4%と最も高く、次いで「夫」が95.1%となっています。

家族構成

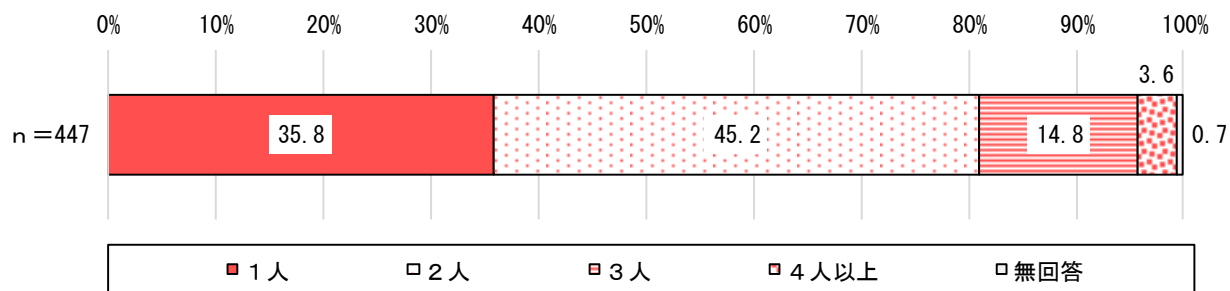


（5）子ども

問1－5 お子さんは何人いますか。

子どもの人数は、「2人」が45.2%と最も高く、次いで「1人」が35.8%、「3人」が14.8%となっています。

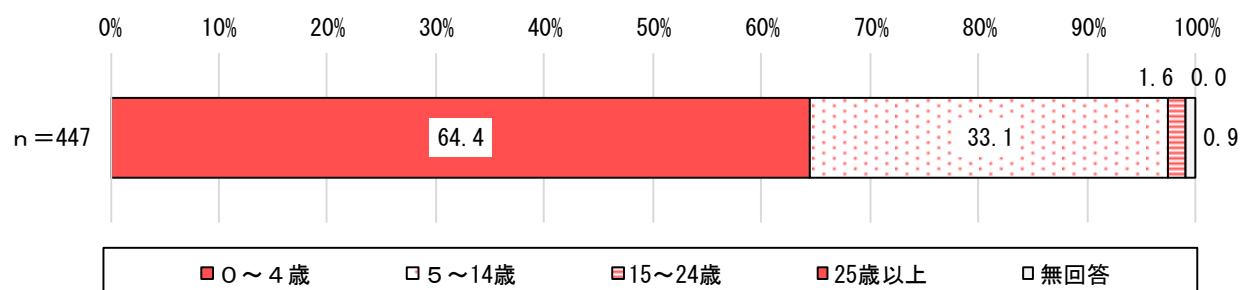
子どもの人数



問 1－5－1 お子さんの年齢を高い順にお書きください。

第1子の年齢は、「0～4歳」が64.4%と最も高く、次いで「5～14歳」が33.1%となっています。「25歳以上」は0%となっています。

子どもの年齢（第1子）



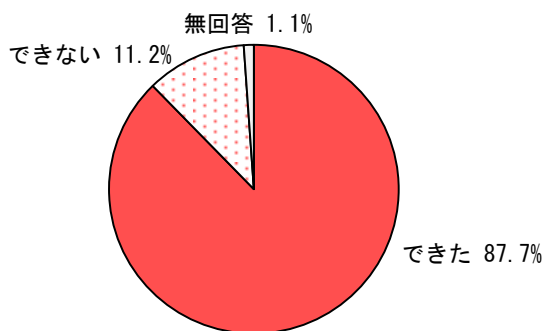
3. 第1子を妊娠したときの状況

(1) 妊娠

問2-1 妊娠届出時、妊娠・出産について相談することはできましたか。

妊娠届出時に妊娠・出産の相談が「できた」が87.7%、「できない」は11.2%となっています。

妊娠届出時に相談できたか

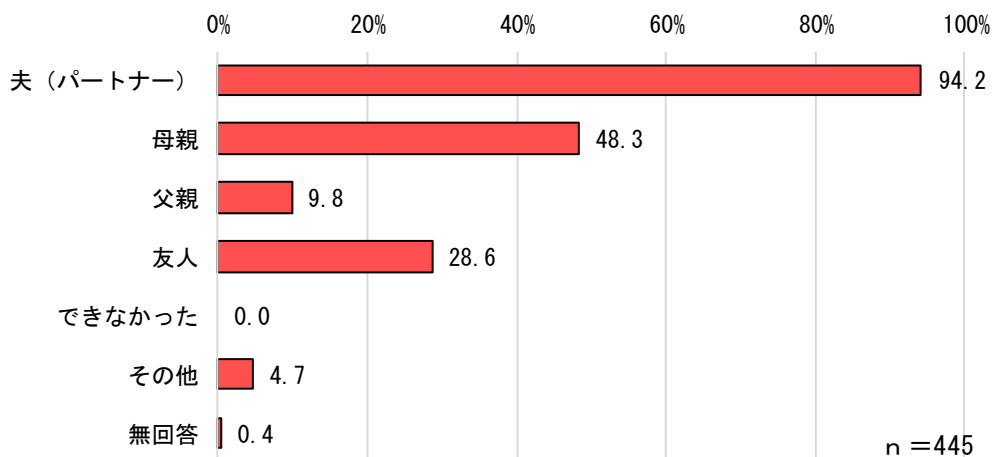


n = 447

問2-2 妊娠がわかった時に、誰かに相談できましたか。

妊娠がわかったときの相談相手は、「夫（パートナー）」が94.2%と最も高く、次いで「母親」が48.3%、「友人」が28.6%となっています。「できなかった」は0%となっています。

妊娠がわかったときの相談相手



n = 445

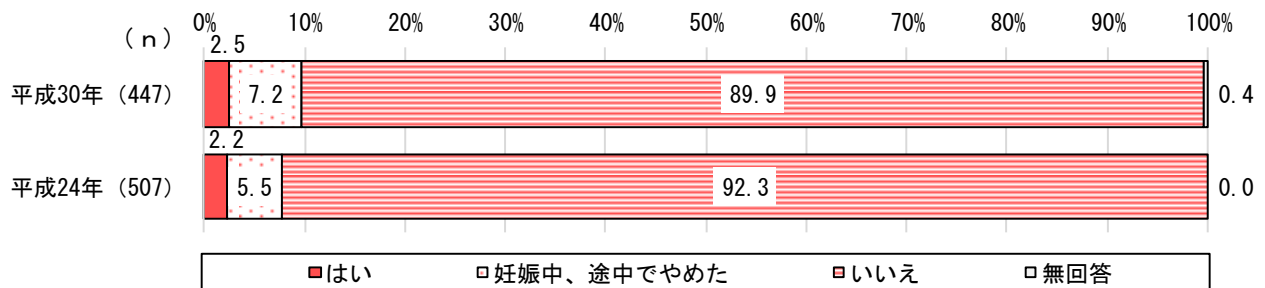
（２）喫煙状況

問２－３ 妊娠中、喫煙はしていましたか。

妊娠中の喫煙は、「はい」が2.5%、「いいえ」が89.9%となっています。

平成24年の調査結果と比べると、「いいえ」は2.4ポイント減少し、「はい」は0.3ポイント増加しています。

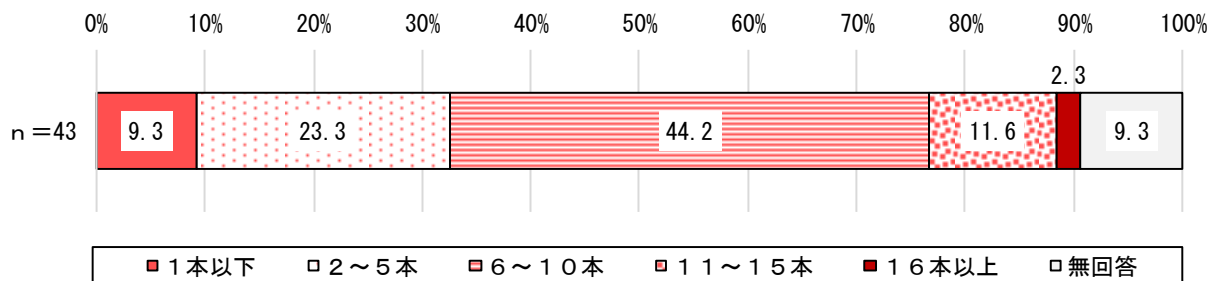
妊娠中の喫煙／前回



問２－３－１ 問２－３で「１または２」と答えた方へ 一日何本くらい吸っていましたか。

1日の喫煙本数は、「6～10本」が44.2%と最も高く、次いで「2～5本」が23.3%、「11～15本」が11.6%となっています。

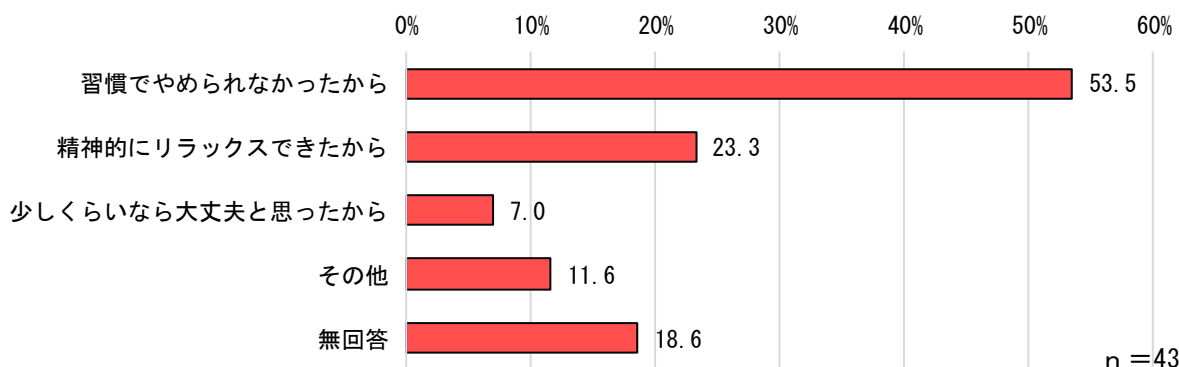
1日の喫煙本数



問２－３－２ 問２－３で「１または２」と答えた方へ 吸っていたのはなぜですか。（複数回答可）

喫煙の理由は、「習慣でやめられなかったから」が53.5%と最も高く、次いで「精神的にリラックスできたから」が23.3%となっています。

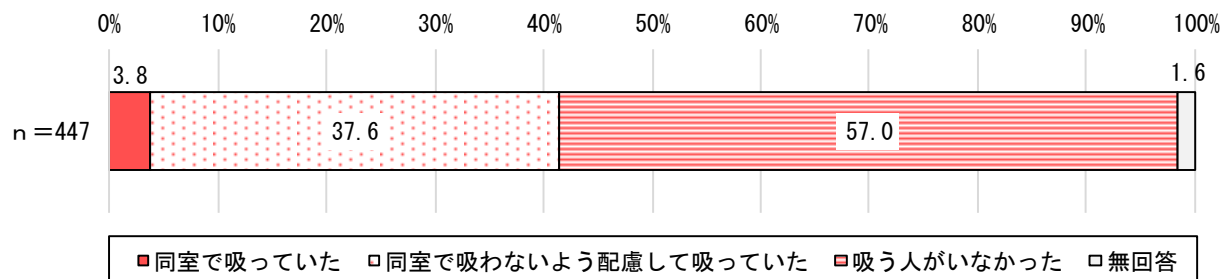
喫煙の理由



問2-4 妊娠中、同居の家族はたばこを吸っていましたか。

妊娠中の同居家族の喫煙状況は、「吸う人がいなかった」が57.0%と最も高く、次いで「同室で吸わないよう配慮して吸っていた」が37.6%となっています。

妊娠中の同居家族の喫煙状況

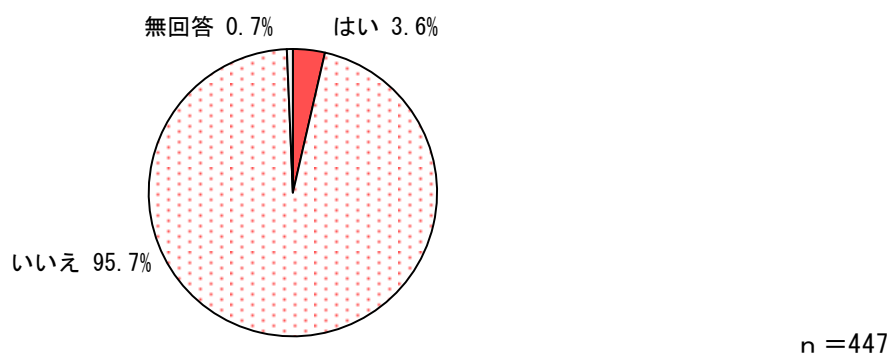


(3) 飲酒状況

問2-5 妊娠中、飲酒はしていましたか。

妊娠中の飲酒状況は、「いいえ」が95.7%、「はい」が3.6%となっています。

妊娠中の飲酒状況

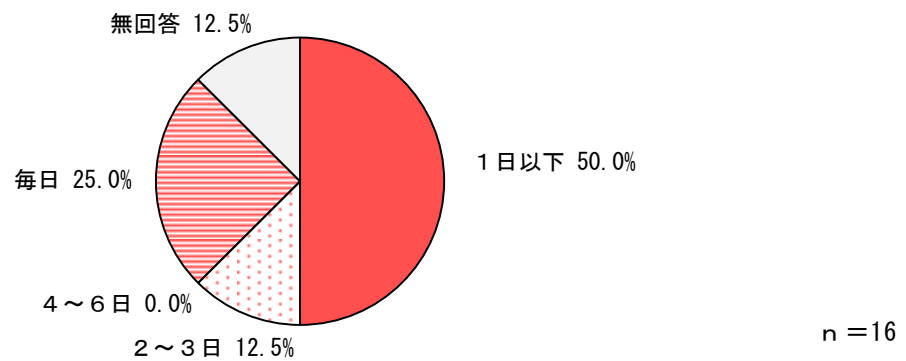


問2-5-1 問2-5で「はい」と答えた方へ

週に何日くらい飲酒していましたか。

1週間の飲酒頻度は、「1日以下」が50.0%と最も高く、次いで「毎日」が25.0%となっています。

妊娠中の1週間の飲酒頻度

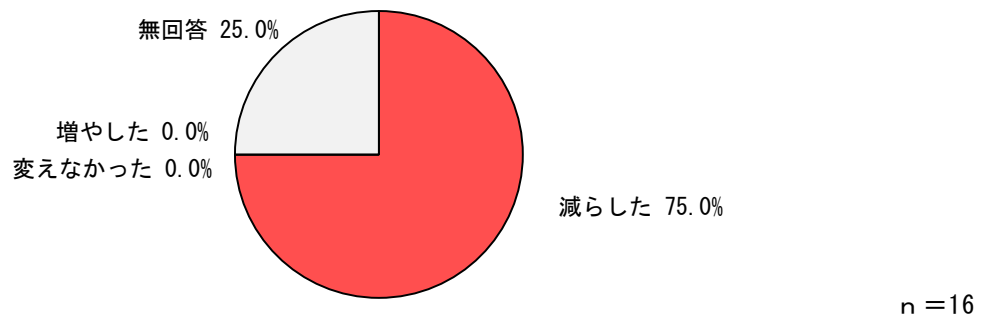


問2-5-2 問2-5で「はい」と答えた方へ

妊娠中、妊娠前とくらべて飲酒量を変えましたか。

妊娠前と比較した飲酒量は、「減らした」が75.0%となっています。「変えなかった」と「増やした」は、0%となっています。

妊娠前と比較した飲酒量

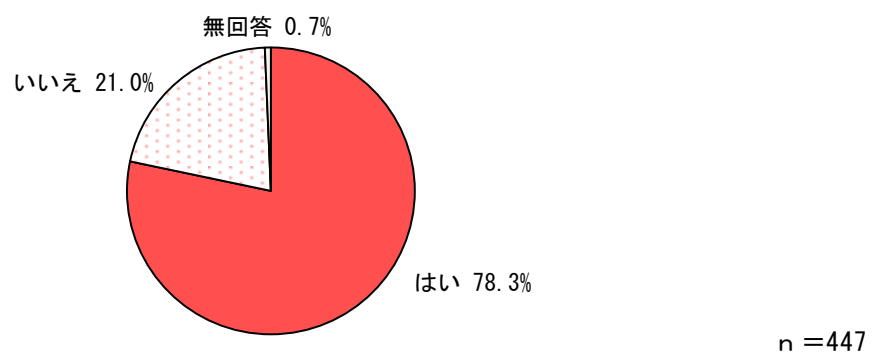


(4) マタニティクラス（母親学級）

問2-6 マタニティクラス（母親学級）に参加しましたか。

マタニティクラスへの参加は、「はい」が78.3%、「いいえ」が21.0%となっています。

マタニティクラスへの参加

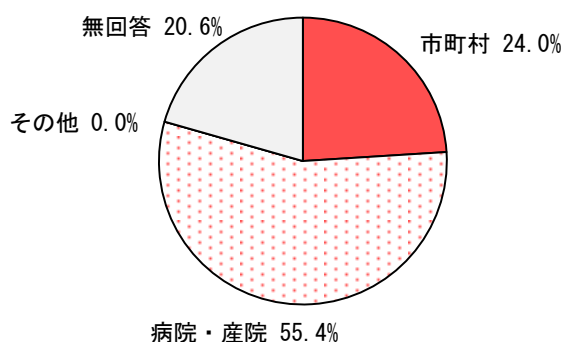


問2-6-1 問2-6で「はい」と答えた方へ

どこでマタニティクラスに参加しましたか。

参加したマタニティクラスの場所は、「病院・産院」は55.4%、「市町村」は24.0%となっています。

参加したマタニティクラスの場所



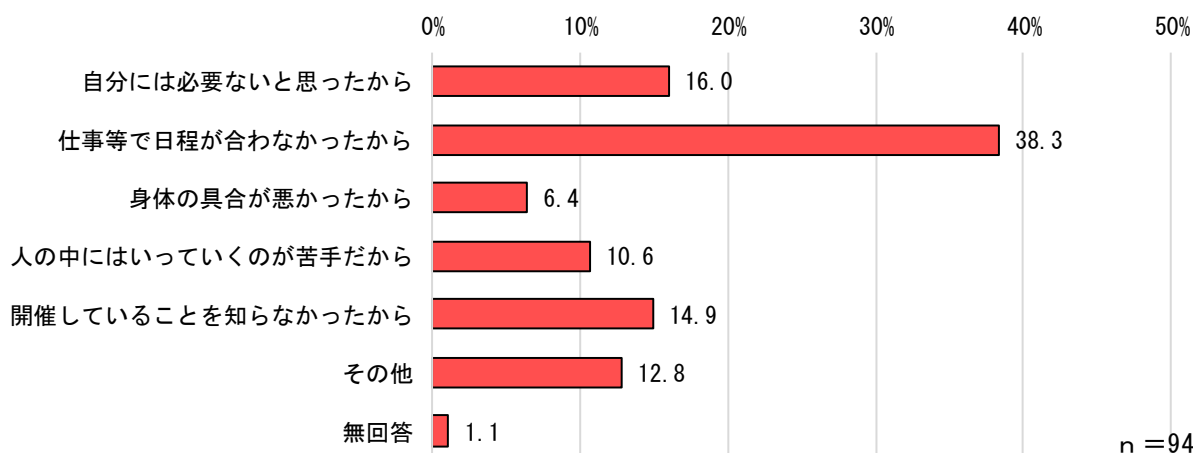
n = 350

問2-6-2 問2-6で「いいえ」と答えた方へ

参加しなかった理由で最もあてはまるものは何ですか。

参加しなかった理由は、「仕事等で日程が合わなかったから」が38.3%と最も高く、次いで「自分には必要ないと思ったから」が16.0%となっています。

参加しなかった理由



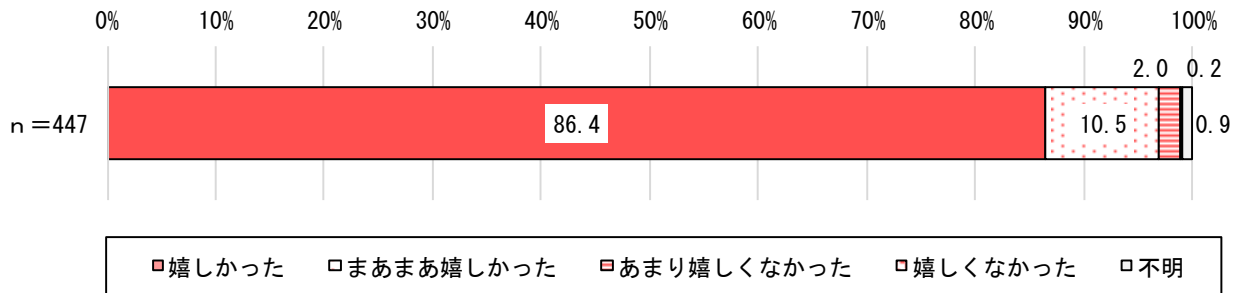
n = 94

(5) 妊娠がわかったとき

問2-7 妊娠とわかったときのお気持ちで、最もあてはまるものは次のうちどれですか。

妊娠がわかったときのお気持ちは、「嬉しかった」が86.4%と最も高く、次いで「まあまあ嬉しかった」が10.5%となっています。

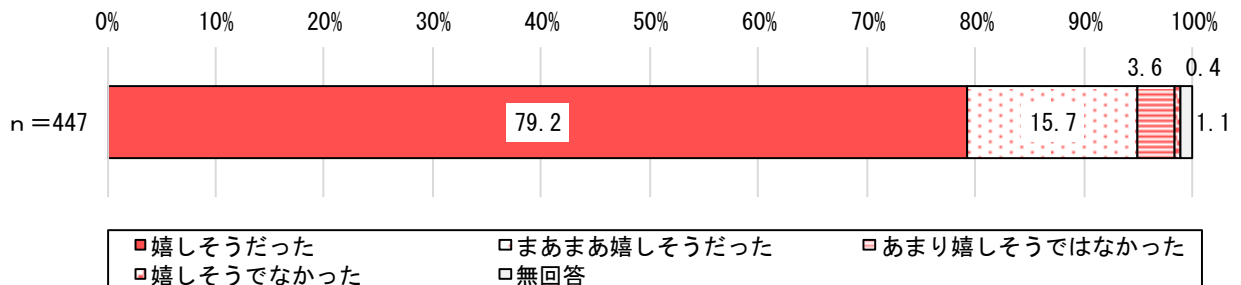
妊娠がわかったときのお気持ち



問2-8 妊娠とわかったときの夫（パートナー）の様子で、最もあてはまるものは次のうちどれですか。

妊娠がわかったときの夫（パートナー）の様子は、「嬉しそうだった」が79.2%と最も高く、次いで「まあまあ嬉しそうだった」が15.7%となっています。

妊娠がわかったときの夫（パートナー）の様子

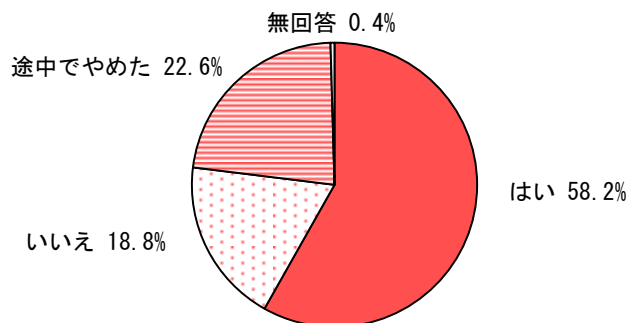


（6）妊娠中の仕事

問2-9 妊娠中、仕事をもっていましたか。

妊娠中の仕事の有無は、「はい」は58.2%、「途中でやめた」が22.6%、「いいえ」が18.8%となっています。

妊娠中の仕事の有無

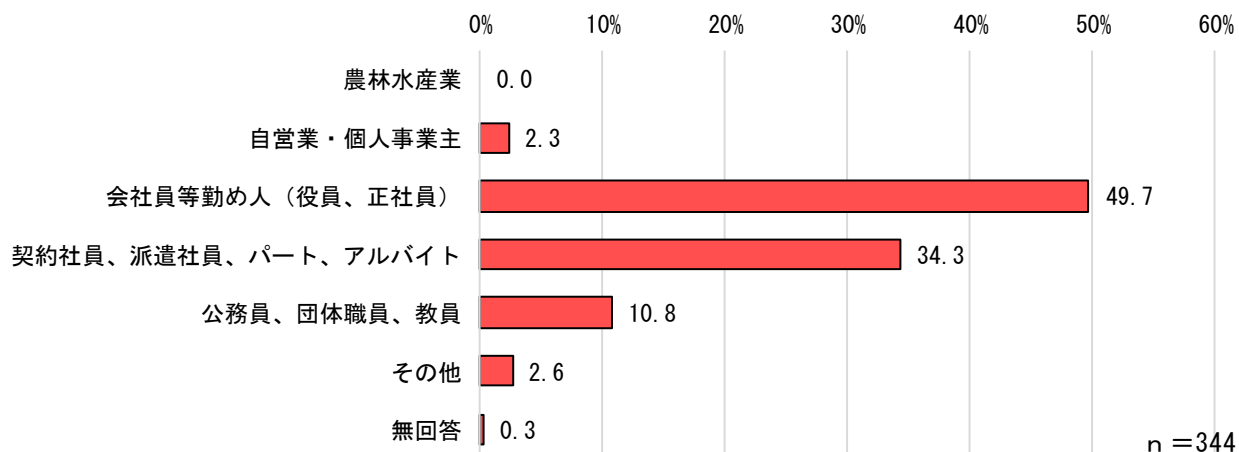


n = 447

問2-9-1 問2-9で「1あるいは2」と答えた方へ 職業は何ですか（あるいは何でしたか）。

妊娠中の職業は、「会社員等勤め人（役員、正社員）」が49.7%と最も高く、次いで「契約社員、派遣社員、パート、アルバイト」が34.3%、「公務員、団体職員、教員」が10.8%となっています。

妊娠中の職業



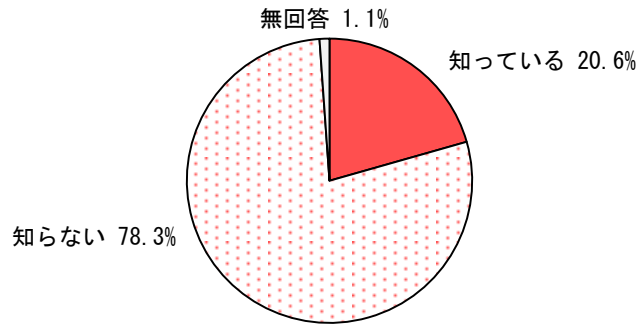
n = 344

(7) 母性健康管理指導事項連絡カード

問2-10 母性健康管理指導事項連絡カードを知っていますか。

母性健康管理指導事項連絡カードの認知は、「知らない」が78.3%、「知っている」が20.6%となっています。

母性健康管理指導事項連絡カードの認知度

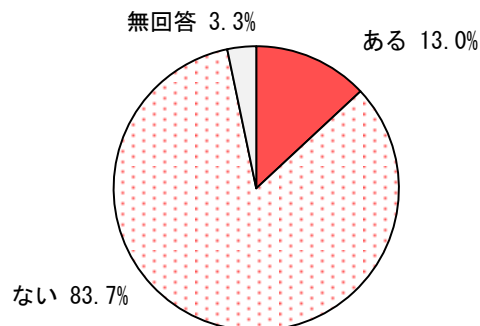


n = 447

問2-10-1 問2-10で「知っている」と答えた方へ
利用したことはありますか。

母性健康管理指導事項連絡カードの利用は、「ない」が83.7%、「ある」が13.0%となっています。

母性健康管理指導事項連絡カードの利用



n = 92

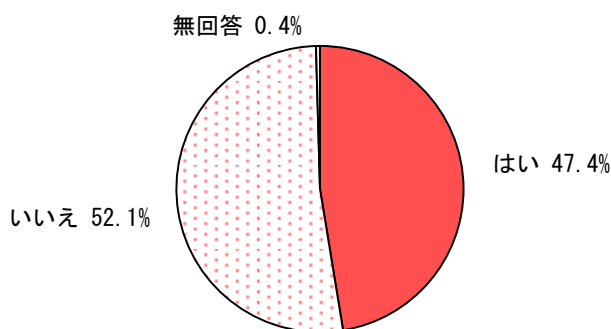
4. 第1子を出産したときの状況

(1) 里帰り出産

問3-1 出産に先立って、里帰りしましたか。

出産に先立っての里帰りは、「いいえ」は52.1%、「はい」は47.4%となっています。

出産に先立っての里帰り

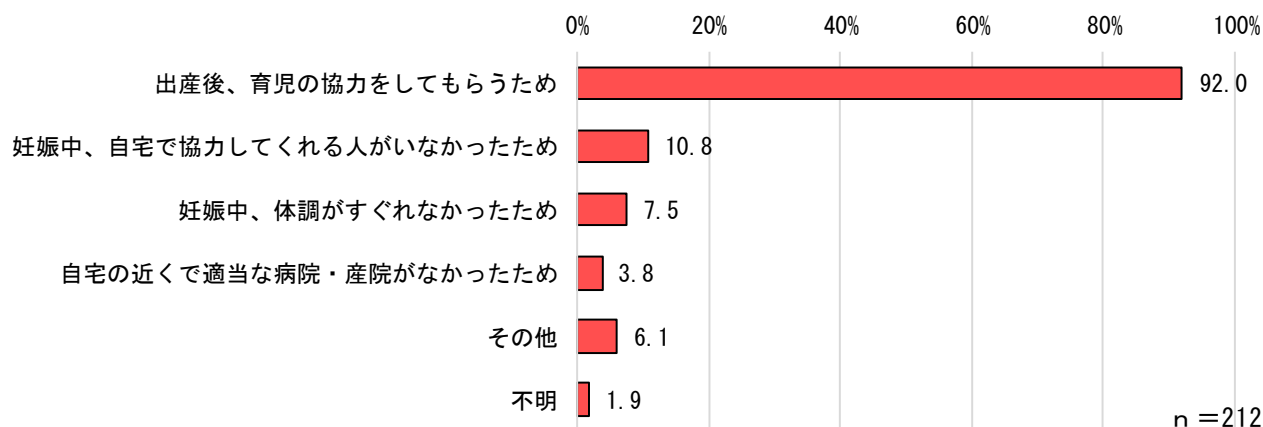


問3-1-1 問3-1で「はい」と答えた方へ

里帰り出産をした理由は何ですか。(複数回答可)

里帰り出産をした理由は、「出産後、育児の協力をしてもらうため」が92.0%と最も高くなっています。次いで「妊娠中、自宅で協力してくれる人がいなかったため」、「妊娠中、体調がすぐれなかったため」が約1割となっています。

里帰り出産をした理由

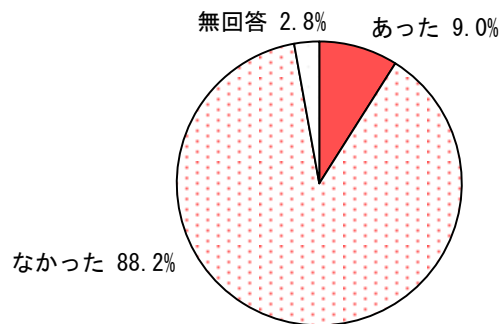


問3-1-2 問3-1で「はい」と答えた方へ

里帰り出産で保健サービスや医療を受けるにあたり困ったことがありましたか。

里帰り出産で保健サービスや医療を受けるにあたり困ったことの有無は、「なかった」が88.2%、「あった」が9.0%となっています。

里帰り出産で保健サービスや医療を受けるにあたり困ったことの有無



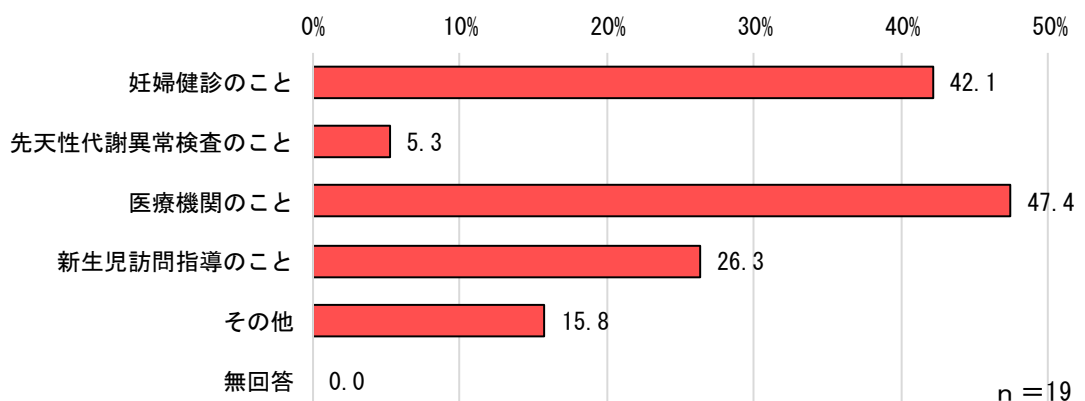
n = 212

問3-1-3 問3-1-2で「あった」と答えた方へ

どんなことで困りましたか。(複数回答可)

里帰り出産で保健サービスや医療を受けるにあたり困った内容は、「医療機関のこと」が47.4%と最も高く、次いで「妊婦健診のこと」が42.1%となっています。

里帰り出産で保健サービスや医療を受けるにあたり困った内容



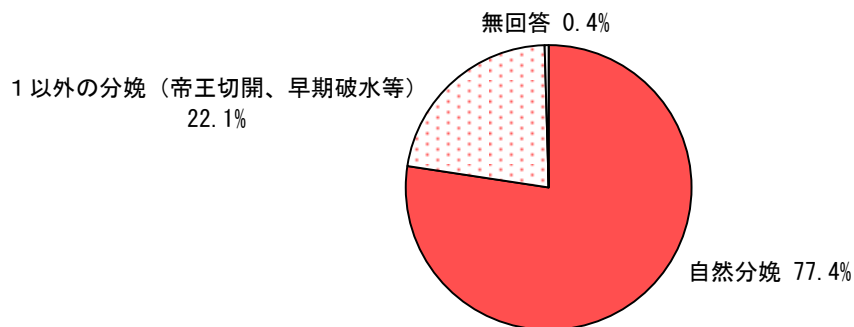
n = 19

(2) 出産の状態

問3-2 出産の状態はどうでしたか。

出産の状態は、「自然分娩」が77.4%、「自然分娩以外の分娩（帝王切開、早期破水等）」が22.1%となっています。

出産の状態

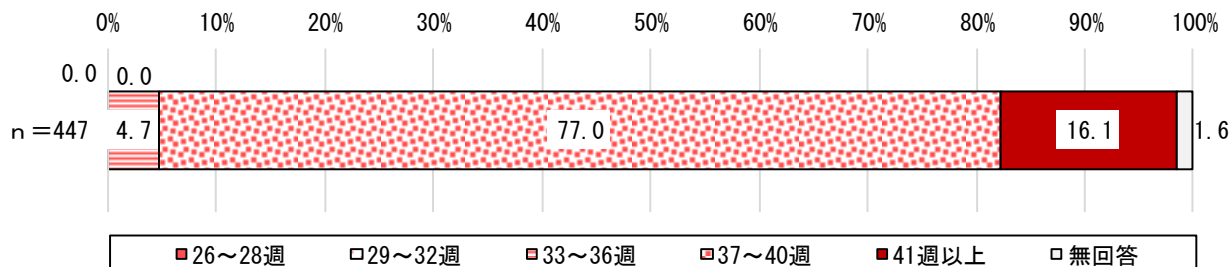


n = 447

問3-3 出産時の妊娠週数はどのくらいでしたか。数字を記入してください。

出産時の妊娠週数は、「37～40週」が77.0%、「41週以上」が16.1%となっています。「26～28週」と「29～32週」は、0%となっています。

出産時の妊娠週数

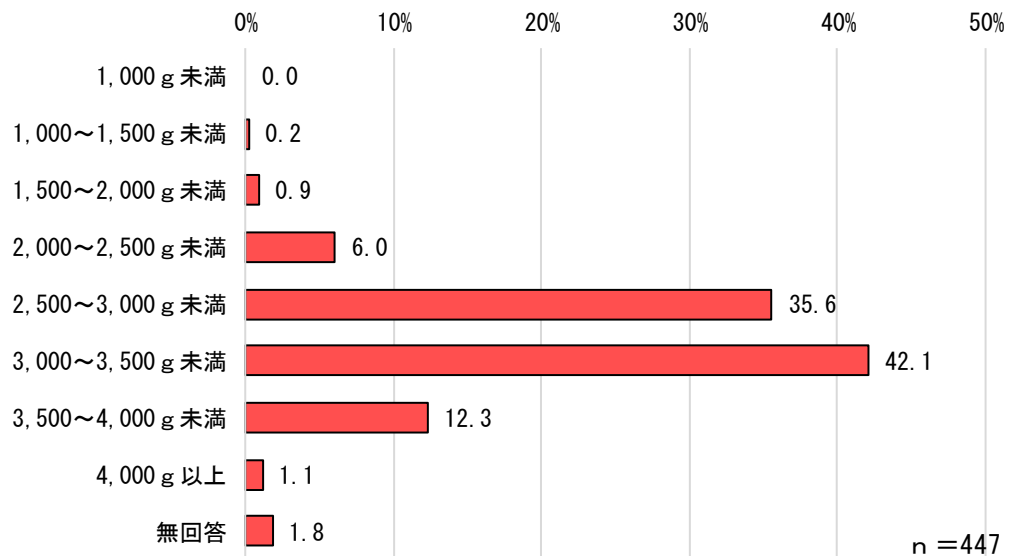


問 3-4 出産時のお子さんの体重と身長はどのくらいでしたか。数字を記入してください。

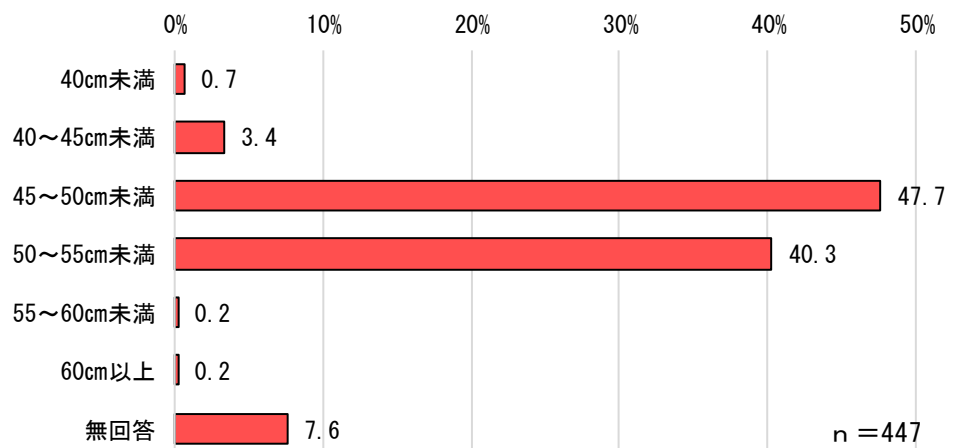
出産時の子どもの体重は、「3,000～3,500 g 未満」が42.1%と最も高く、次いで「2,500～3,000 g 未満」が35.6%となっています。

出産時の子どもの身長は、「45～50cm 未満」が47.7%と最も高く、次いで「50～55cm 未満」が40.3%となっています。

出産時の子どもの体重



出産時の子どもの身長

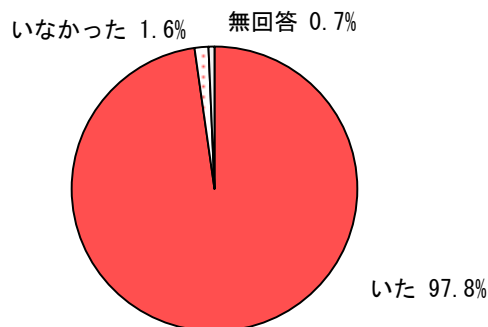


(3) 産後1ヶ月頃まで

問3-5 産後1ヶ月頃までの時期に協力してくれた人はいましたか。

産後1ヶ月頃までの協力者の有無は、「いた」は97.8%、「いなかった」は1.6%となっています。

産後1ヶ月頃までの協力者の有無



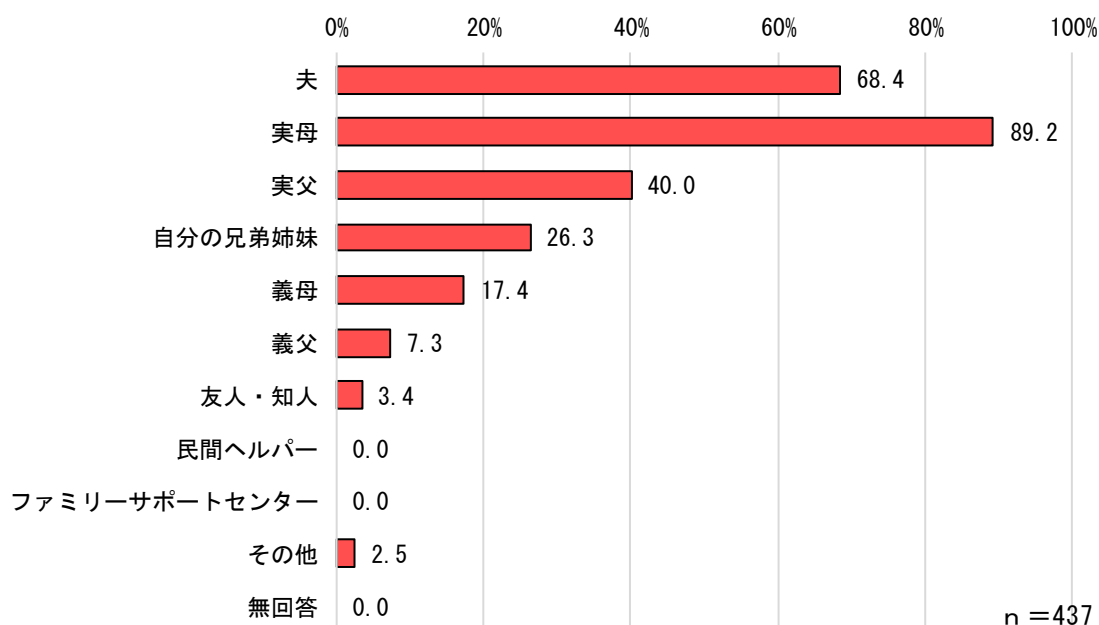
n = 447

問3-5-1 問3-5で「いた」と答えた方へ

誰が協力してくれましたか。(複数回答可)

産後1ヶ月頃までの協力者は、「実母」が89.2%と最も高く、次いで「夫」が68.4%、「実父」が40.0%となっています。

産後1ヶ月頃までの協力者



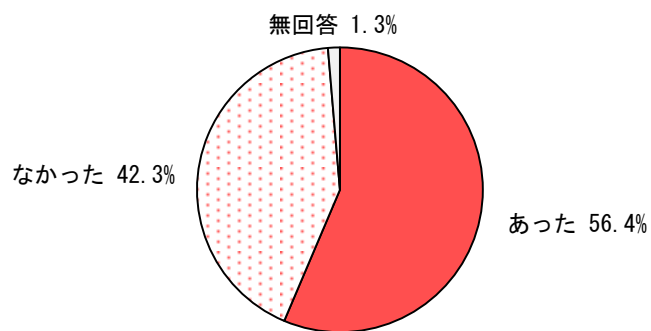
n = 437

(4) 産後3ヶ月頃まで

問3-6 産後3ヶ月くらいまでの間に気分が沈んだり涙もろくなったり何もする気になれないということがありましたか。

産後3ヶ月頃までの気分の低下が「あった」は56.4%、「なかった」は42.3%となっています。

産後3ヶ月頃までの気分の低下



n = 447

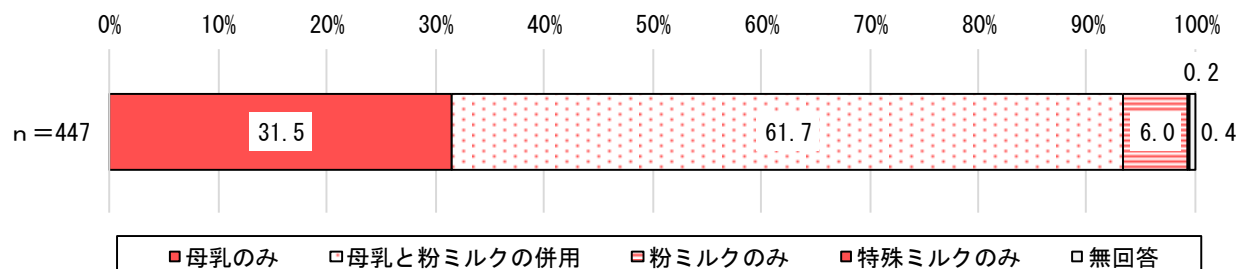
5. 第1子の育児

(1) 栄養

問4-1 生後1ヶ月頃はお子さんを何で育てていましたか。

生後1ヶ月頃の子どもの食事は、「母乳と粉ミルクの併用」が61.7%と最も高く、次いで「母乳のみ」が31.5%となっています。

生後1ヶ月頃の子どもの食事

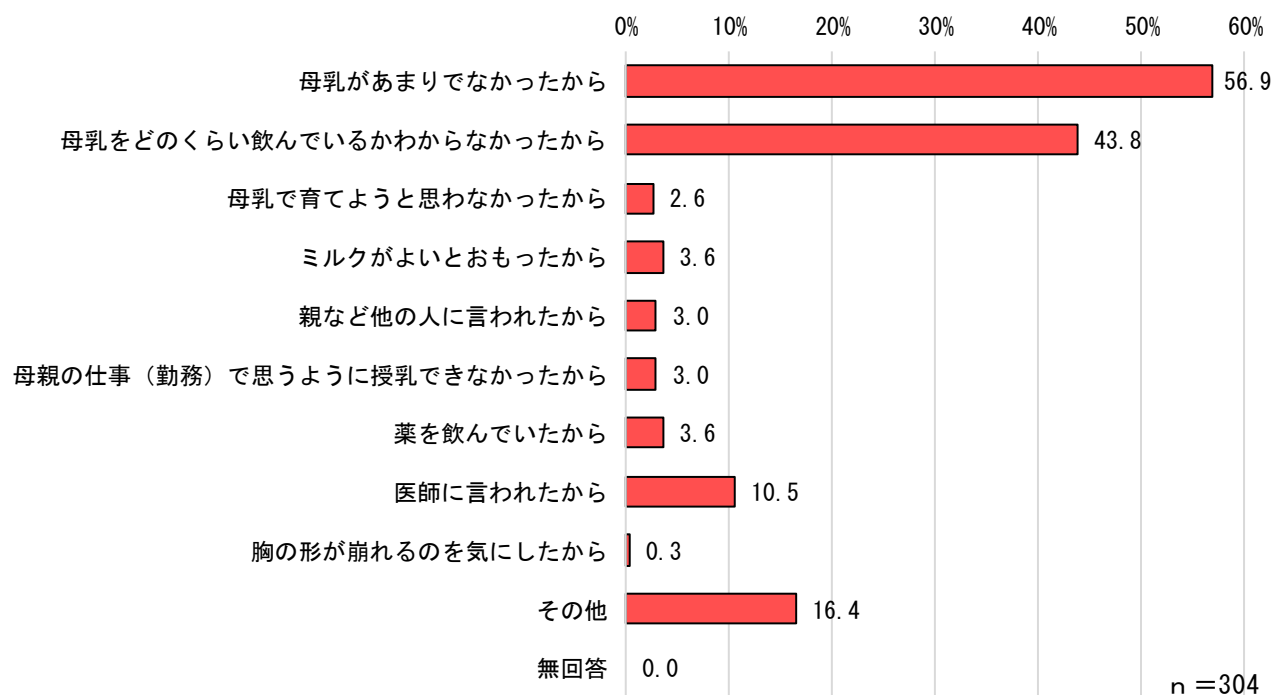


問4-1-1 問4-1で「2~4」と答えた方へ

母乳のみにしなかった理由は何ですか。(複数回答可)

母乳のみにしなかった理由は、「母乳があまりでなかったから」が56.9%、次いで「母乳をどのくらい飲んでいるかわからなかったから」が43.8%となっています。

母乳のみにしなかった理由

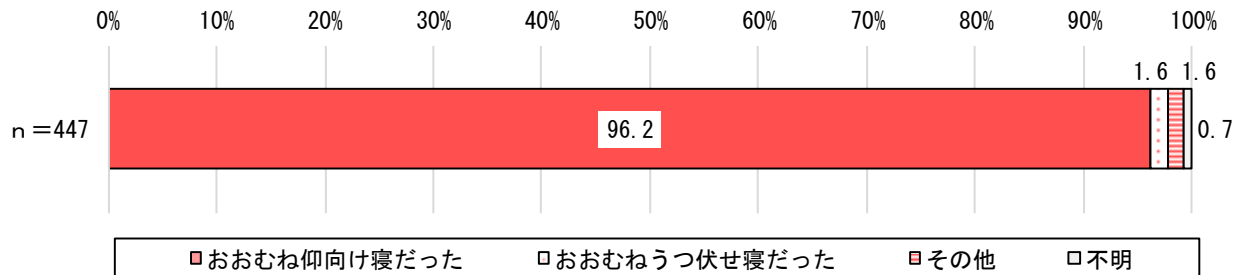


（２）子どもの寝かせ方

問４－２ お子さんが生まれてからの寝かせ方はどうでしたか。

子どもが生まれてからの寝かせ方は、「おおむね仰向け寝だった」が96.2%と最も高くなっています。

子どもが生まれてからの寝かせ方



問４－２－１ 問４－２で「２」と答えた方へ

どのような理由でそうしましたか。

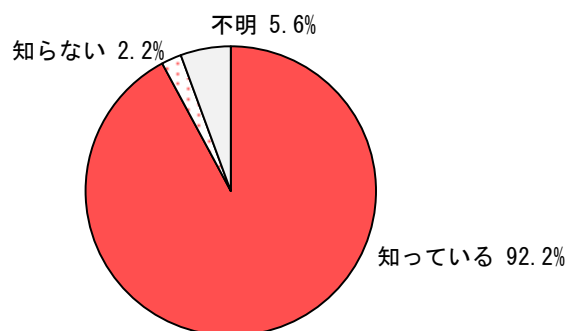
うつ伏せ寝をさせたという７人の理由としては、「自然にしていた」や「うつ伏せ寝でしか寝ない」等となっています。

（３）うつ伏せ寝が乳幼児突然死症候群（SIDS）

問４－３ うつ伏せ寝が乳幼児突然死症候群（SIDS）の危険因子のひとつといわれていることを知っていますか。

うつ伏せ寝が乳幼児突然死症候群（SIDS）の危険因子であるということを「知っている」は92.2%、「知らない」は2.2%となっています。

うつ伏せ寝と乳幼児突然死症候群（SIDS）の関係



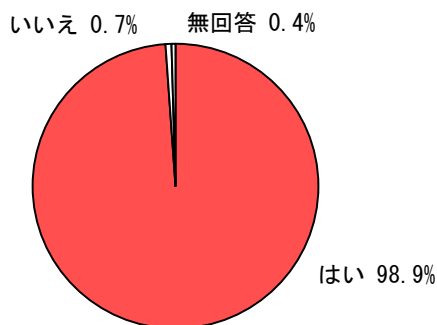
n = 447

(4) BCG

問4-4 BCG予防接種を受けましたか。

BCG予防接種の有無は、「はい」は98.9%、「いいえ」は0.7%となっています。

BCG接種の有無

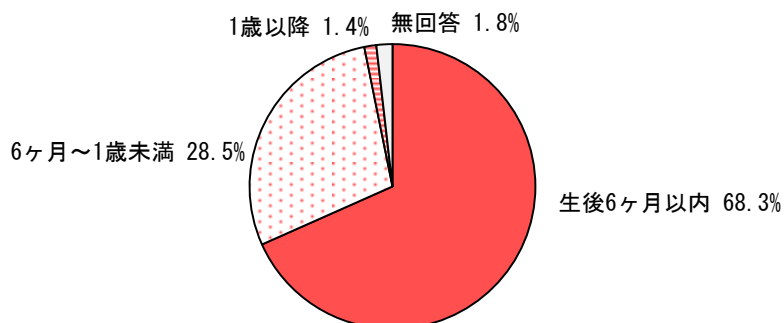


n = 447

問4-4-1 問4-4で「はい」と答えた方へ
接種したのはいつごろですか。

BCGを接種した時期は、「生後6ヶ月以内」が68.3%と最も高く、次いで「6ヶ月～1歳未満」が28.5%となっています

BCGを接種した時期



n = 442

問4-4-2 問4-4で「いいえ」と答えた方へ
受けなかった理由で最もあてはまるのは何ですか。

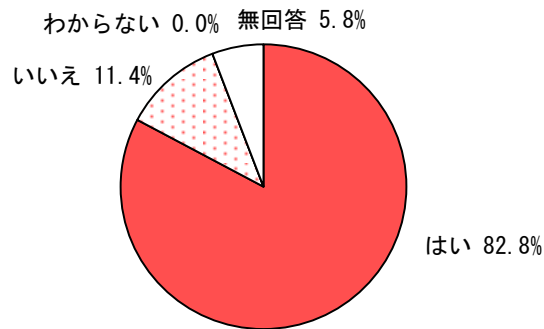
BCGの接種を受けなかった3人の理由は、「子どもの風邪などのために機会を逃したから」等となっています。

(5) MR

問4-5 MR（麻しん・風しん混合ワクチン）または麻しん（はしか）の予防接種を1歳～2歳未満までに受けましたか。

2歳未満までのMRまたは麻しん予防接種の有無は、「はい」が82.8%、「いいえ」は11.4%となっています。

2歳未満までのMRまたは麻しん予防接種の有無



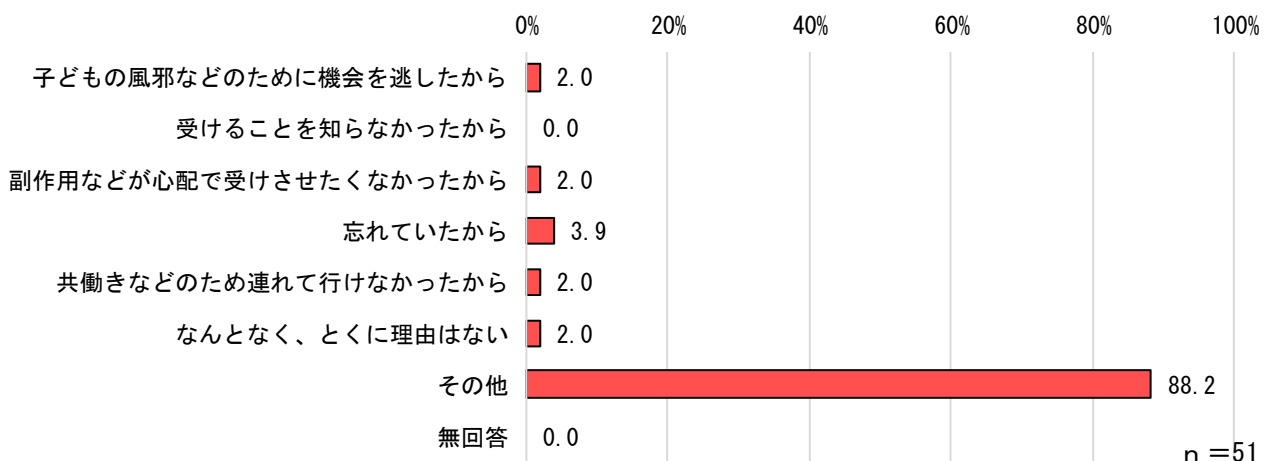
n = 447

問4-5-1 問4-5で「いいえ」と答えた方へ

受けなかった理由で最もあてはまるのは何ですか。

予防接種を受けなかった理由は、「その他」が88.2%と最も高く、次いで「忘れていたから」が3.9%、「子どもの風邪などのために機会を逃したから」、「副作用などが心配で受けさせたくなかったから」、「共働きなどのため連れて行けなかったから」、「なんとなく、とくに理由はない」が2.0%となっています。

予防接種を受けなかった理由



n = 51

6. すべての子の育児

(1) 事故やけがの防止

問5-1 家庭内での子どもの事故やけがの防止のための工夫についておうかがいします。

問5-1-1 階段などから子どもが落ちないように柵などをつけている

問5-1-2 水を張った浴槽に子どもが落ちないようにしている

問5-1-3 子どもだけを家に残さないようにしている

問5-1-4 誤って飲み込まないように、薬やお金などは子どもの手の届かないところに置いている

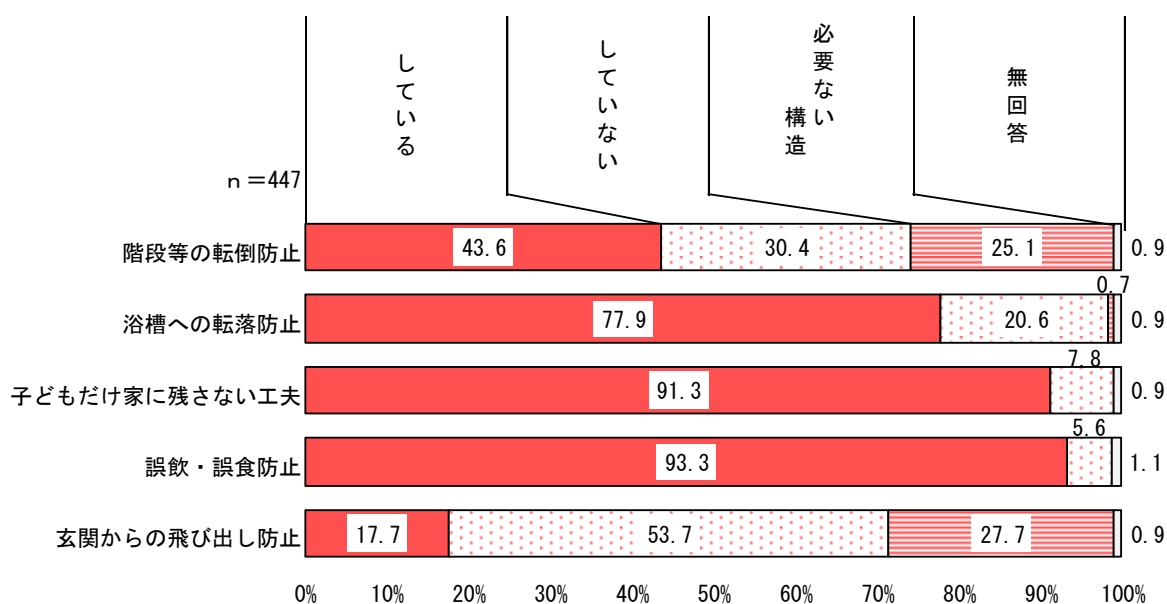
問5-1-5 玄関から飛び出さないように柵や網をつけている

家庭内での子どもの事故防止のための工夫は、「玄関からの飛び出し防止」以外のすべての項目において「している」が最も高くなっています。

＜誤飲・誤食防止＞と＜子どもだけ家に残さない工夫＞は、「している」が9割を超えています。

＜玄関からの飛び出し防止＞は、「していない」が53.7%となっています。

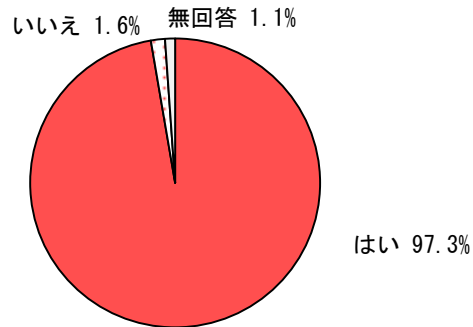
家庭内での子どもの事故防止のための工夫



問5-2 子どもを車に乗せるときにはチャイルドシートをしていますか。

チャイルドシートの使用は、「はい」が97.3%、「いいえ」が1.6%となっています。

チャイルドシートの使用

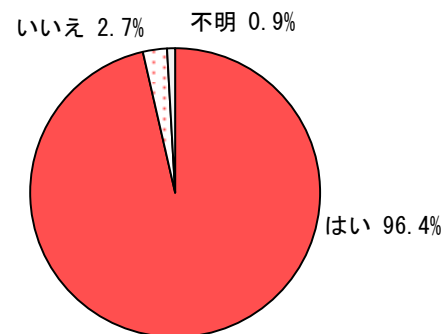


n = 447

問5-3 チャイルドシートの正しい装着方法を知っていますか。

チャイルドシートの正しい装着方法は、「はい」が96.4%、「いいえ」が2.7%となっています。

チャイルドシートの正しい装着方法の知識



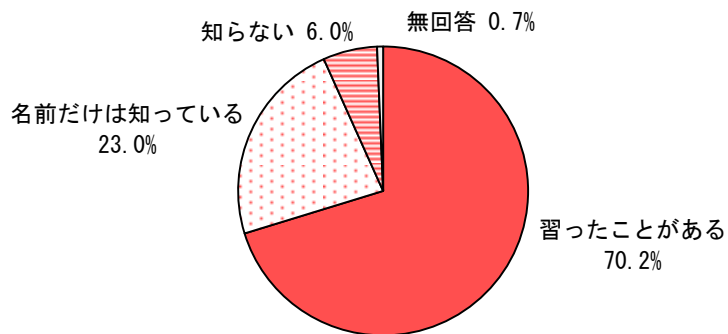
n = 447

(2) 心肺蘇生法

問5-4 心肺蘇生法を知っていますか。

心肺蘇生法は、「習ったことがある」が70.2%、「名前だけは知っている」が23.0%となっています。

心肺蘇生法の知識

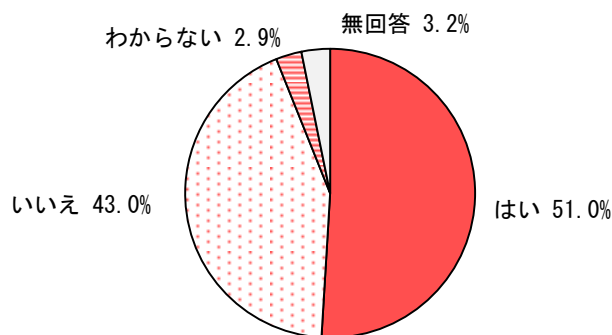


n = 447

問5-4-1 問5-4で「習ったことがある」と答えた方へ その際、子どもの心肺蘇生法は習いましたか。

子どもの心肺蘇生法を習った経験は、「はい」が51.0%、「いいえ」は、43.0%となっています。

子どもの心肺蘇生法を習った経験

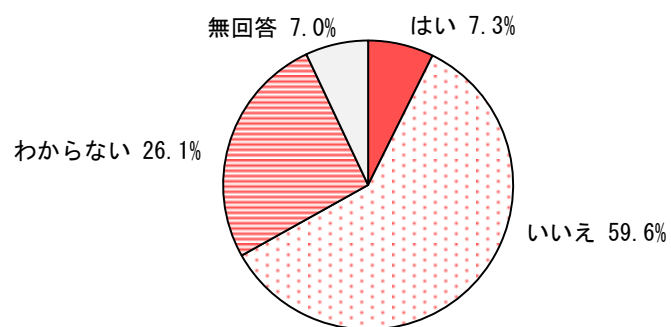


n = 314

問5-4-2 問5-4で「習ったことがある」と答えた方へ
実際に心肺蘇生法を実践する自信はありますか。

心肺蘇生法を実践する自信は、「いいえ」が59.6%、「はい」が7.3%、「わからない」が26.1%となっています。

心肺蘇生法を実践する自信



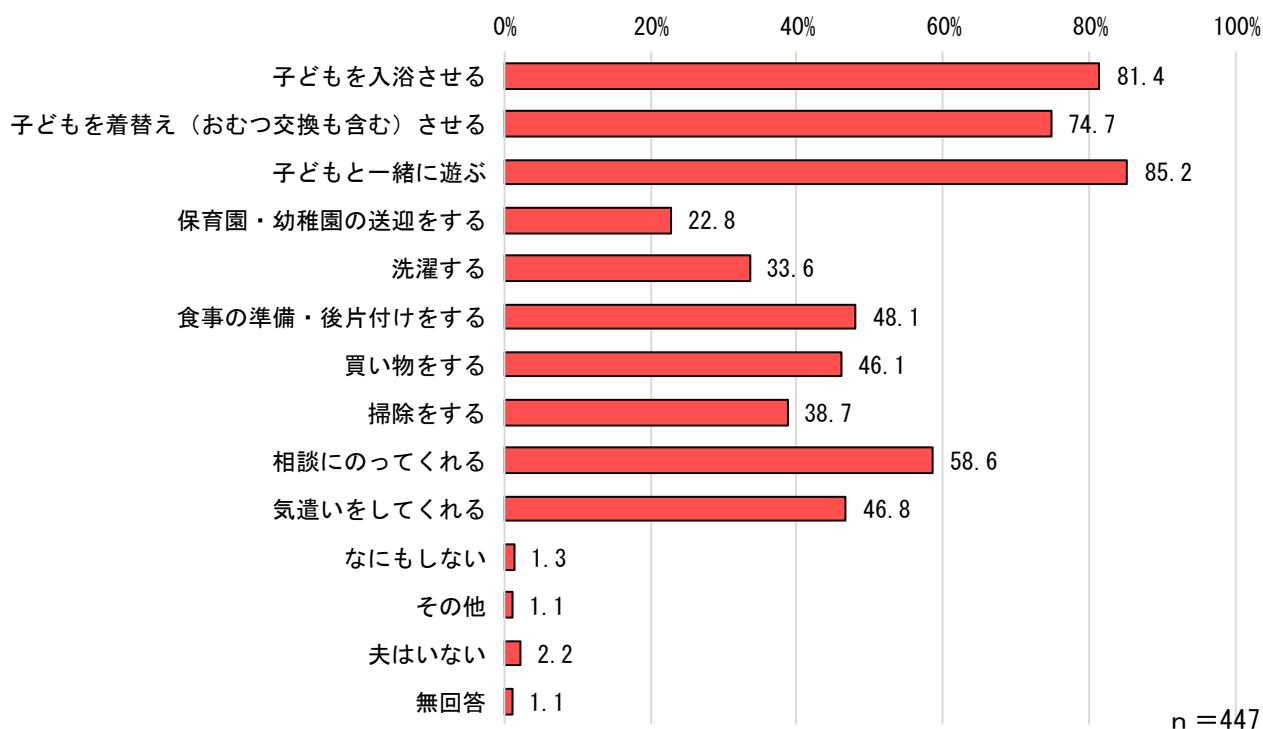
n = 314

(3) 夫の育児参加

問5-5 夫は、育児にどのような形で参加してくれていますか。(複数回答可)

夫の育児参加の状況は、「子どもと一緒に遊ぶ」が85.2%と最も高く、次いで「子どもを入浴させる」が81.4%、「子どもを着替え（おむつ交換も含む）させる」が74.7%となっています。

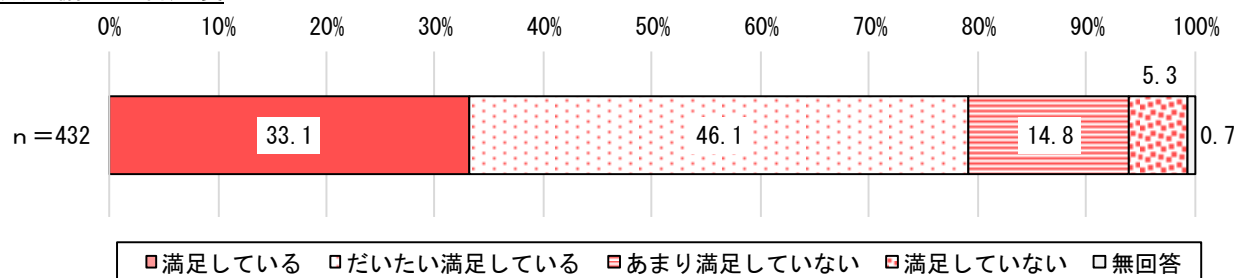
夫の育児参加の状況



問5-5-1 問5-5で「1～12」と回答した方へ
夫の協力の仕方に満足していますか。

夫の協力の満足度は、「だいたい満足している」が46.1%と最も高く、次いで「満足している」が33.1%となっています。

夫の協力の満足度

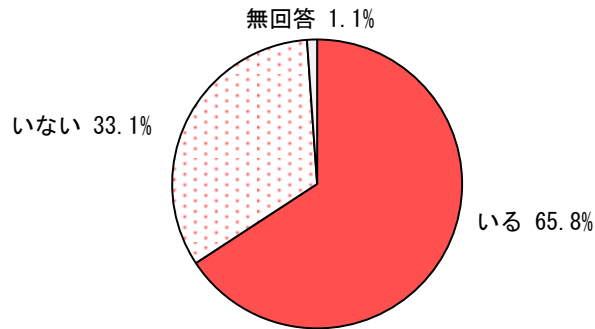


(4) 育児について話し合える友達

問5-6 近所に育児について話し合える友達がありますか。

近所に育児について話し合える友達の有無は、「いる」が65.8%、「いない」は33.1%となっています。

近所に育児について話し合える友達の有無



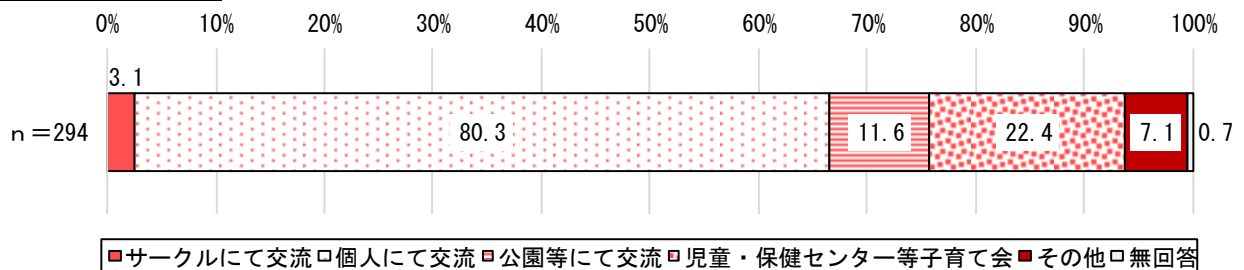
n = 447

問5-6-1 問5-6で「いる」と回答した方へ

友達とはどのように交流していますか。

近所の育児について話し合える友達との交流形態は、「個人にて交流」が80.3%と最も高く、次いで「児童・保健センター等子育て会」が22.4%、「公園等にて交流」が11.6%となっています。

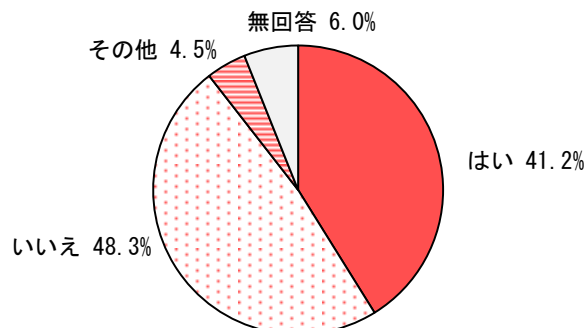
友達との交流形態



問5-6-2 新たな育児サークル等があったら参加を希望しますか。

新たなサークルの参加希望は、「はい」が41.2%、「いいえ」は48.3%となっています。

新たな育児サークル等の参加希望



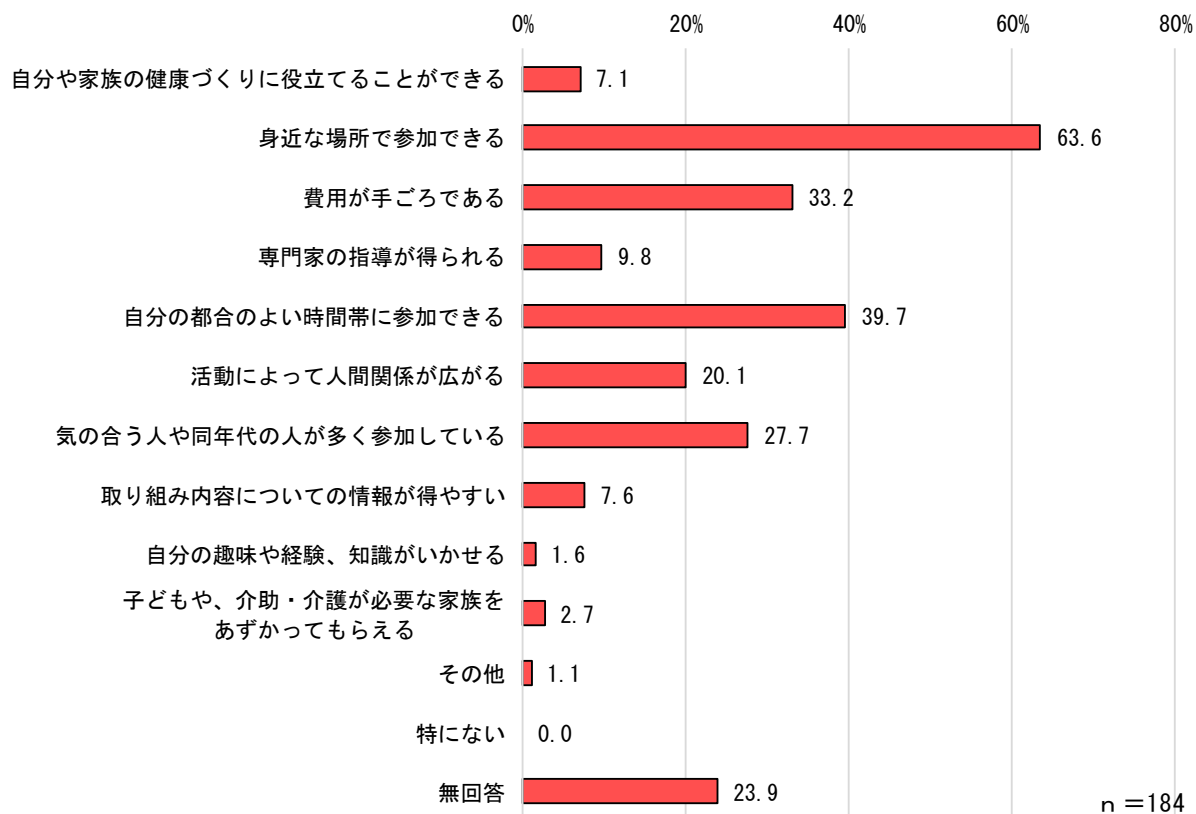
n = 447

問5-6-3 問5-6-2で「はい」と回答した方へ

あなたが育児サークル等に参加するには、どのような条件が必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

育児サークル等に参加するための必要条件は、「身近な場所で参加できる」が63.6%と最も高く、次いで「自分の都合のよい時間帯に参加できる」が39.7%、「費用が手ごろである」が33.2%となっています。

育児サークル等に参加するための必要条件



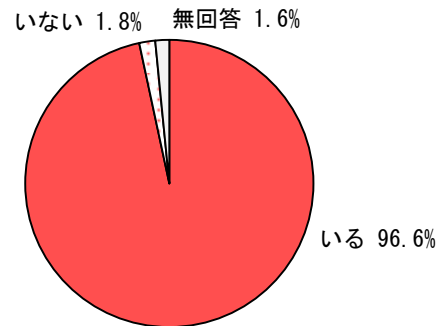
n = 184

(5) 育児についての相談相手

問5-7 育児について相談できる人はいますか。

育児についての相談相手の有無は、「いる」が96.6%、「いない」が1.8%となっています。

育児についての相談相手の有無

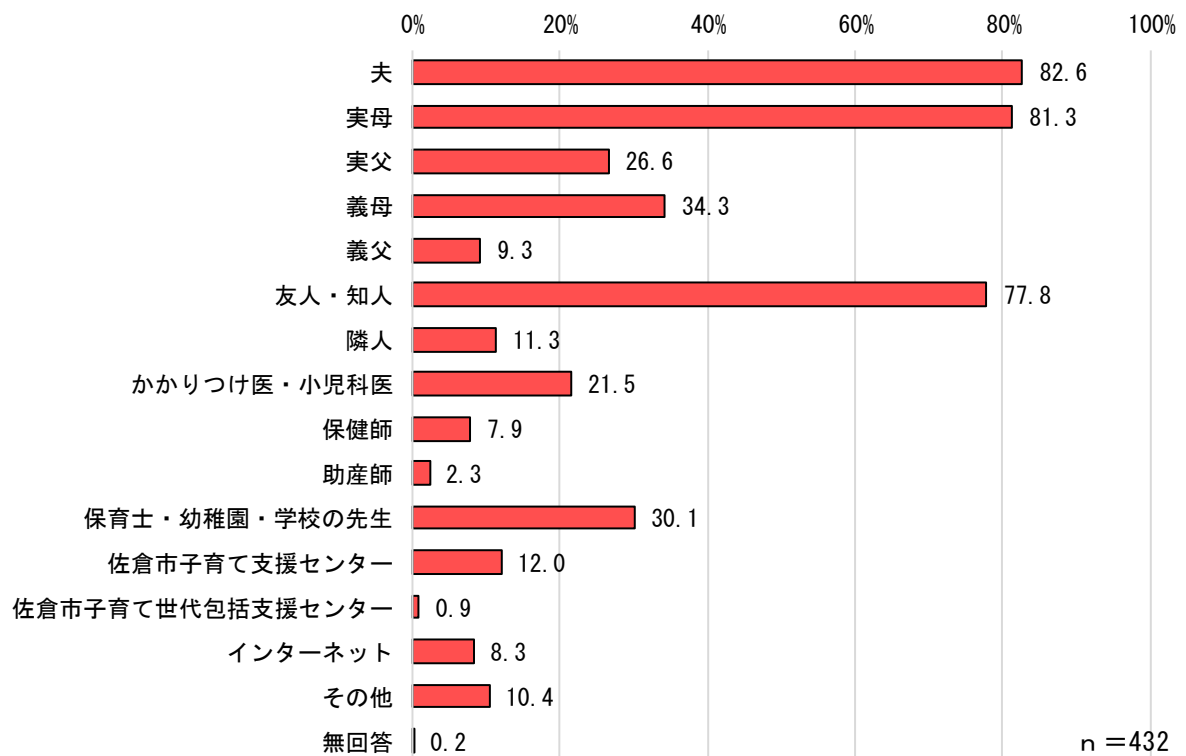


n = 447

問5-7-1 問5-7で「いる」と答えた方へ
それは誰ですか。(複数回答可)

育児の相談相手は、「夫」が82.6%と最も高く、次いで「実母」が81.3%、「友人・知人」が77.8%となっています。

育児の相談相手



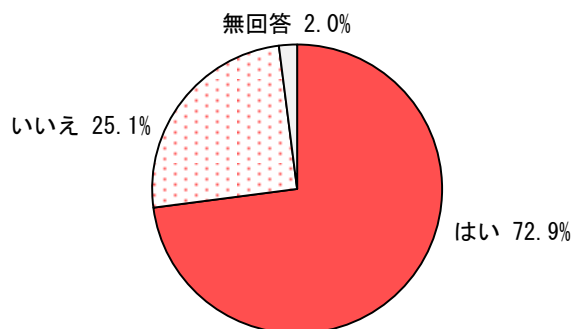
n = 432

（6）育児の不安

問5－8 お子さんを育ててきた中で育児の不安はありましたか。

育児中の不安の有無は、「はい」が72.9%、「いいえ」は25.1%となっています。

育児中の不安の有無



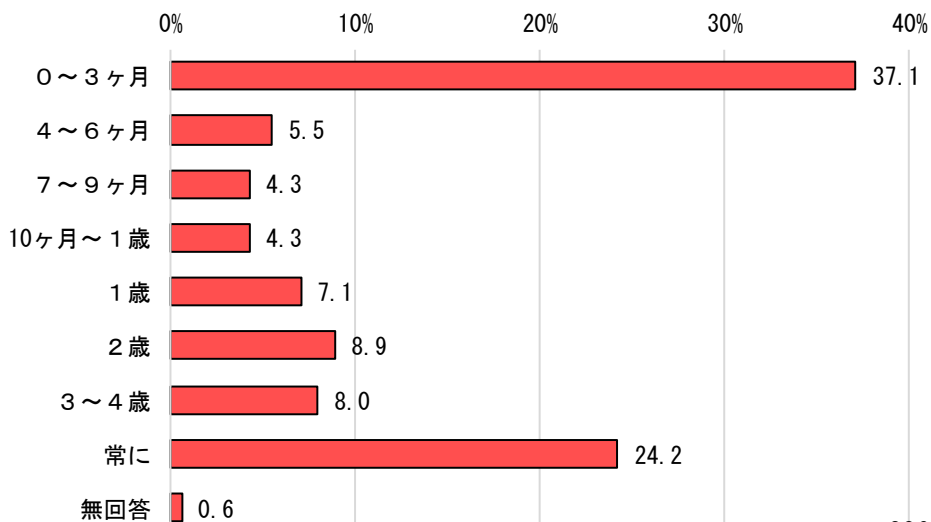
n = 447

問5－8－1 問5－8で「はい」と答えた方へ

特に不安を感じたお子さんの年齢はありましたか。

育児中に特に不安を感じた子どもの年齢は、「0～3ヶ月」が37.1%と最も高く、次いで「常に」が24.2%となっています。

特に不安を感じた子どもの年齢



n = 326

問5-9 今のあなたの気持ちに一番あてはまるものに○をつけてください。

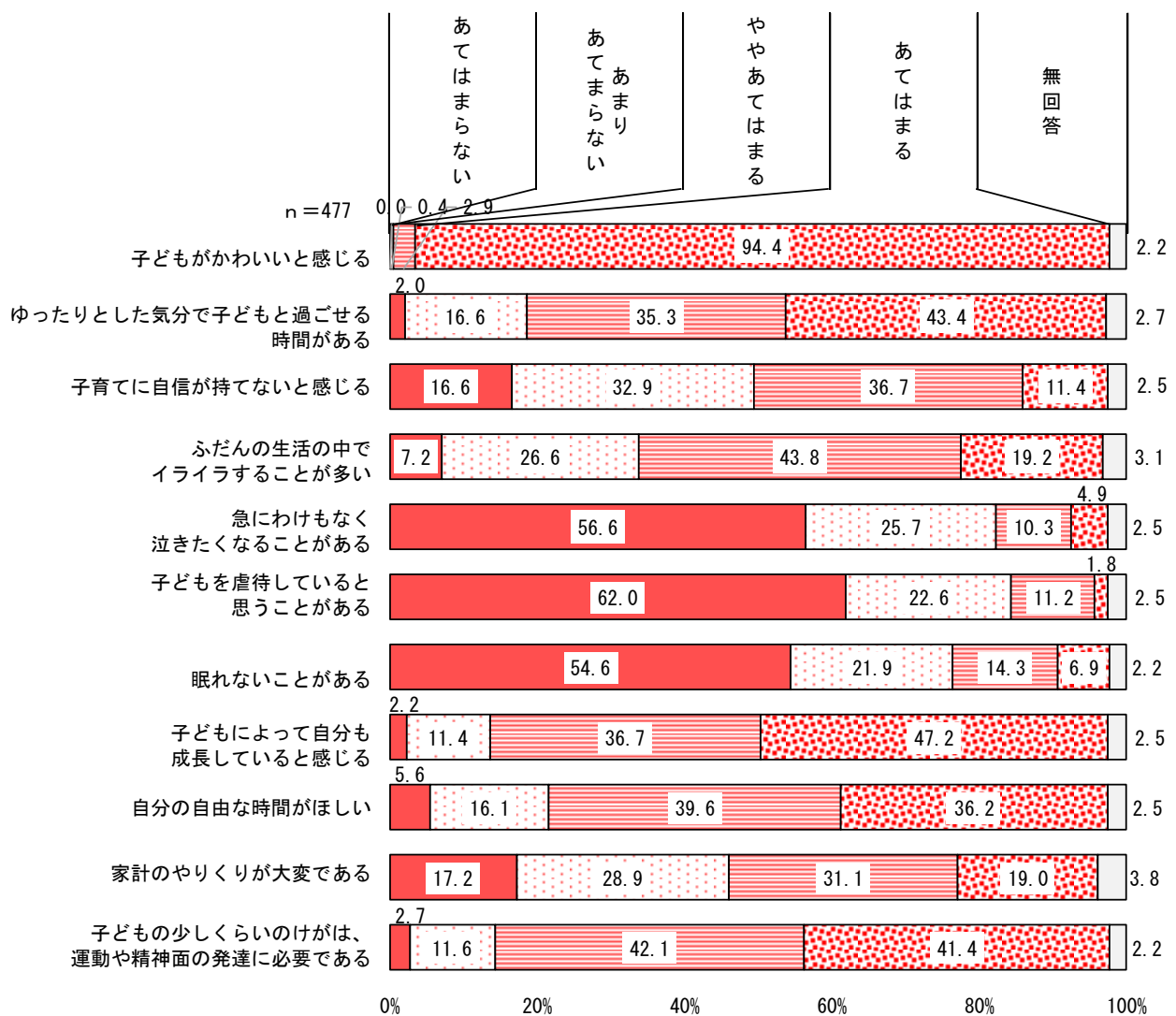
＜子どもがかわいいと感じる＞は、9割以上が「あてはまる」となっています。

＜急にわけもなく泣きたくなることがある＞と＜眠れないことがある＞、＜子どもを虐待していると思うことがある＞は、半数以上が「あてはまらない」となっています。

＜自分の自由な時間がほしい＞は、「ややあてはまる」と「あてはまる」の合計は約7割となっています。

＜子どもの少しくらいのけがは、運動や精神面の発達に必要である＞は、「ややあてはまる」と「あてはまる」の合計は約8割となっています。

保護者の現在の気持ち



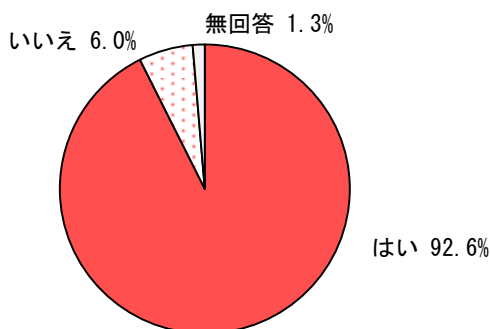
7. すべての子の健康管理

(1) かかりつけ医

問6-1 小児科のかかりつけ医を持っていますか。

小児科のかかりつけ医の有無は、「はい」が92.6%、「いいえ」は6.0%となっています。

小児科のかかりつけ医の有無



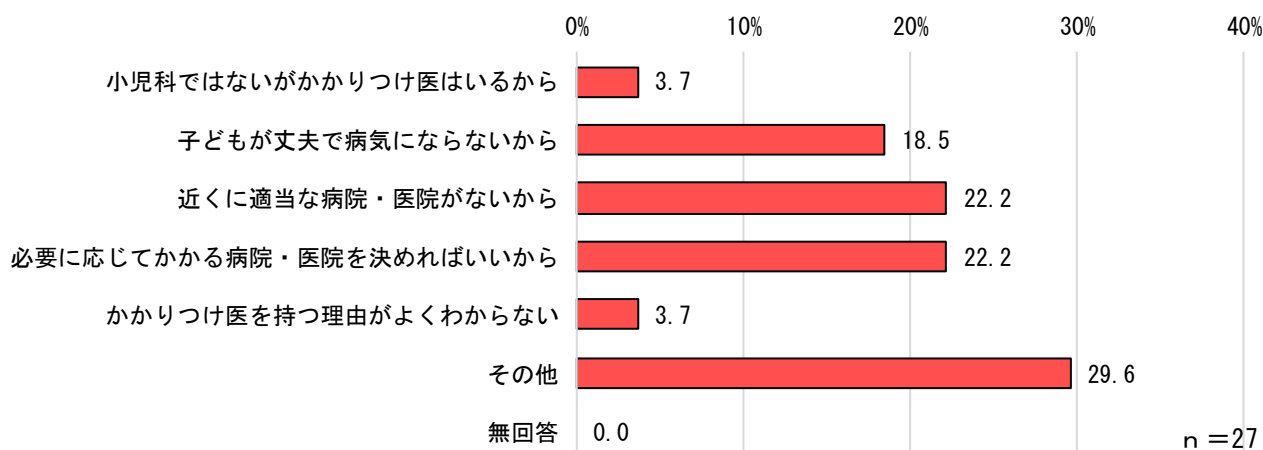
n = 447

問6-1-1 問6-1で「いいえ」と答えた方へ

かかりつけ医を持っていない理由で最もあてはまるものは何ですか。

かかりつけ医を持っていない理由は、「その他」を除いて「近くに適当な病院・医院がないから」と「必要に応じてかかる病院・医院を決めればよいから」が22.2%と最も高くなっています。

かかりつけ医を持っていない理由

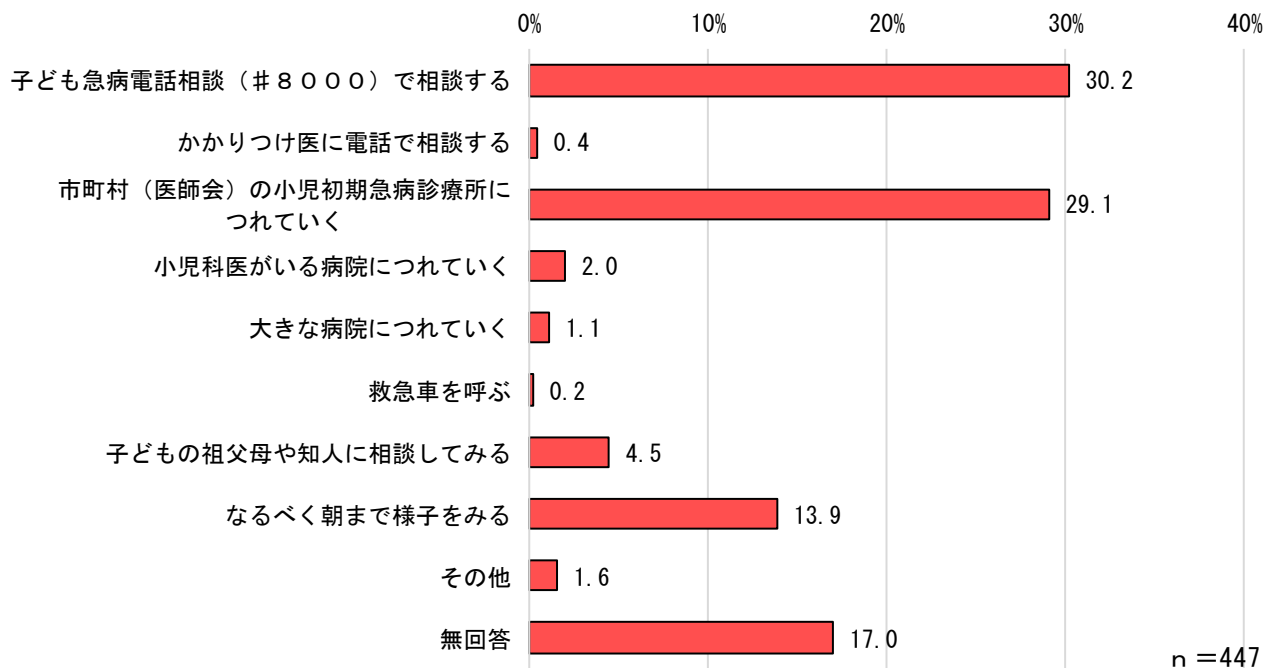


n = 27

問6-2 夜間、お子さんの具合が悪くなったとき、まずどうしますか。

夜間、子どもの具合が悪くなったときの対応は、「子ども急病電話相談（＃８０００）で相談する」が30.2%と最も高く、次いで「市町村（医師会）の小児初期急病診療所につれていく」が29.1%となっています。

夜間、子どもの具合が悪くなったときの対応

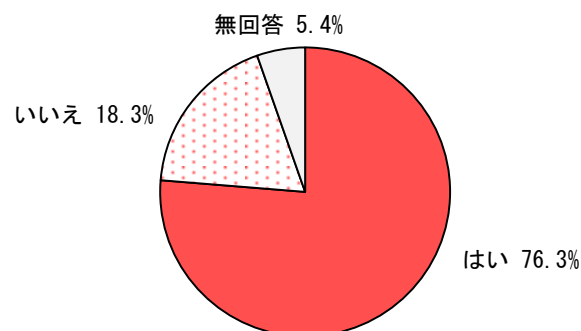


（２）幼児健診

問6-3 幼児健診（１歳６か月児健診・３歳児健診）は受けましたか

幼児健診の受診は、「はい」が76.3%、「いいえ」が18.3%となっています。

幼児健診の受診

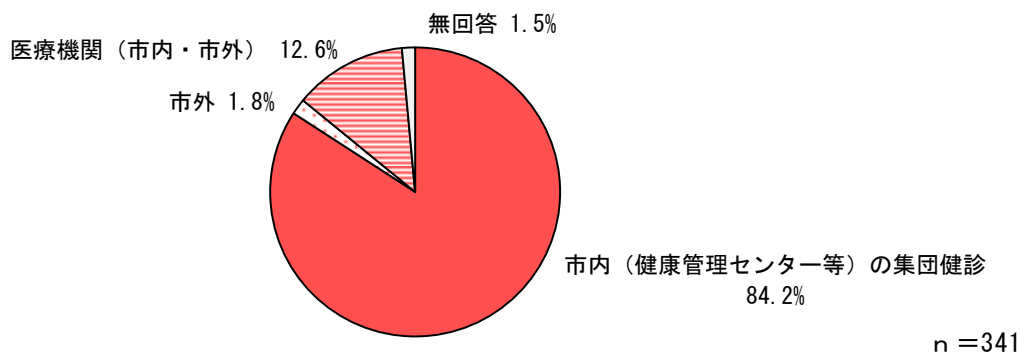


問6-3-1 問6-3で「はい」と回答された方へ

これまでに幼児健診は主にどこで受けましたか。

幼児健診の受診場所は、「市内（健康管理センター等）の集団健診」が84.2%、次いで「医療機関（市内・市外）」が12.6%、「市外」が1.8%となっています。

幼児健診の受診場所

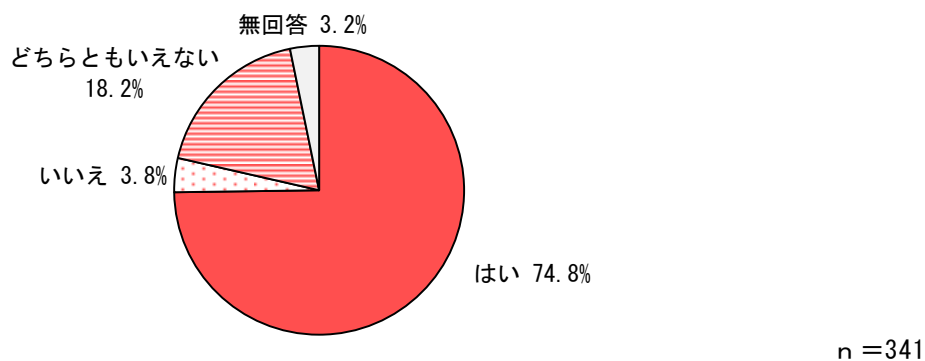


問6-3-2 問6-3で「はい」と回答された方へ

健診を受けた感想は満足できるものでしたか。

幼児健診の満足度は、「はい」が74.8%、「どちらともいえない」が18.2%、「いいえ」は3.8%となっています。

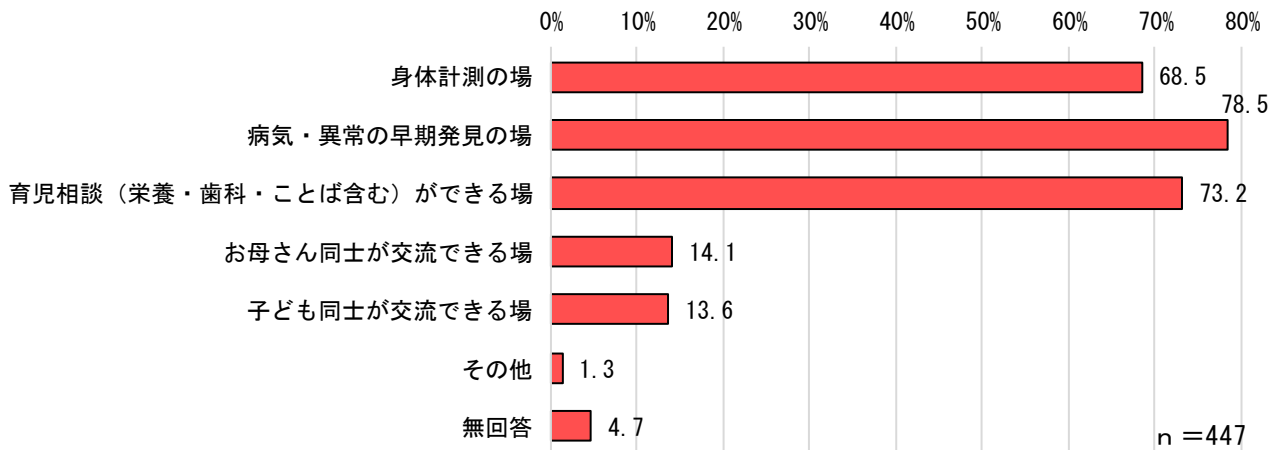
幼児健診の満足度



(3) 乳幼児健診

問6-4 乳幼児健診に期待することは何ですか。(複数回答可)

乳幼児健診に期待することは、「病気・異常の早期発見の場」が78.5%と最も高く、次いで「育児相談（栄養・歯科・ことば含む）ができる場」が73.2%、「身体計測の場」が68.5%となっています。

乳幼児健診に期待すること

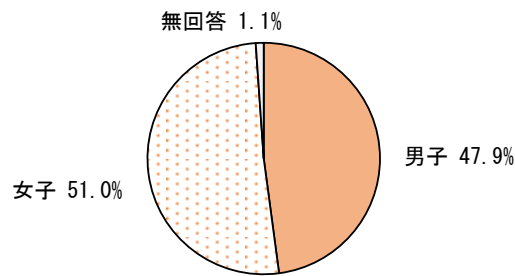
Ⅲ 幼児・小学生調査結果

1. 基本属性

(1) 子どもの性別

F 1－1 お子さんの性別は。(○は1つだけ)

子どもの性別

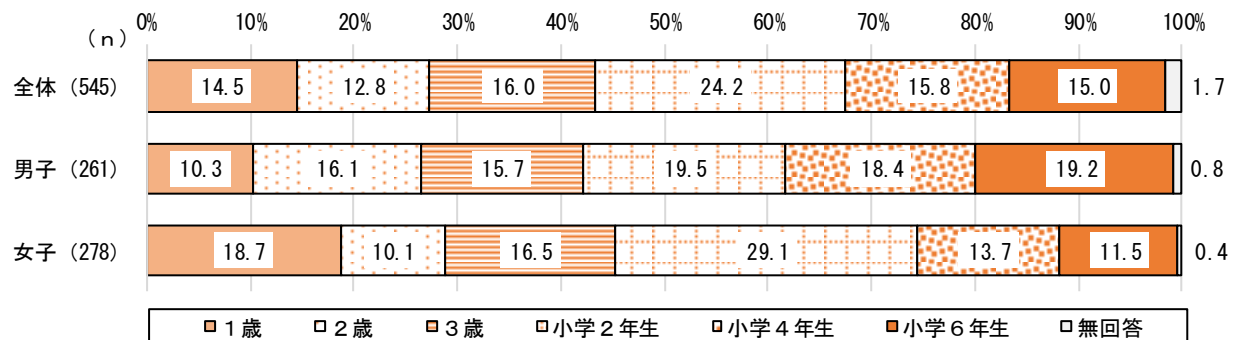


n = 545

(2) 子どもの年齢

F 1－2 お子さんの年齢は。

子どもの年齢

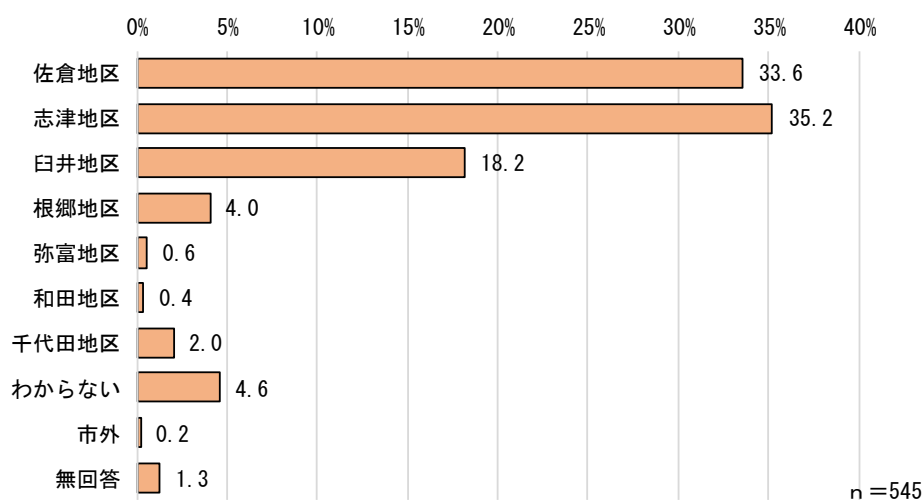


第2章 調査結果の詳細

(3) 居住地域

F 1-3 お住まいの地区は。(○は1つだけ)

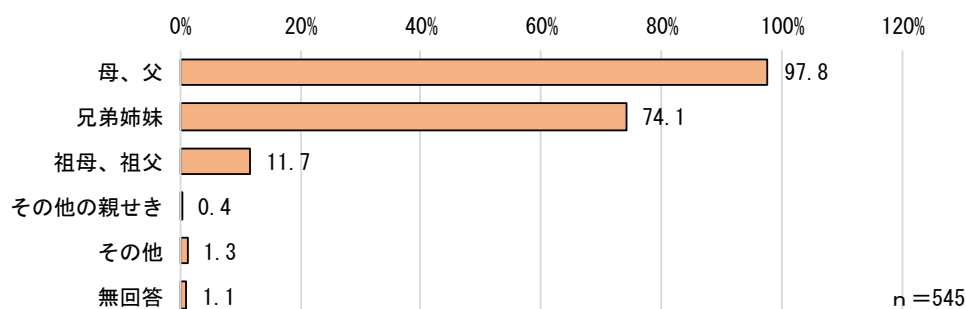
居住地域



(4) 同居者

F 1-4 お子さんから見た続柄で、現在の同居者をすべて選んでください。(○はいくつでも)

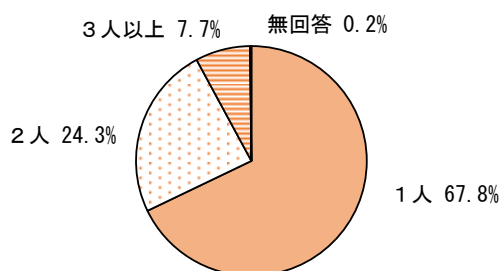
同居者



F 1-4-1 (F 1-4 で「兄弟姉妹」に○をつけた人のみ)

お子さんには、兄弟姉妹が何人いますか。(このアンケートの対象となったお子さん本人を除く。○はひとつだけ)

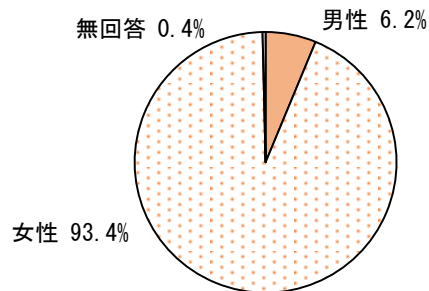
きょうだいの人数



(5) 記入者の性別

F 2-1 あなたの性別は。(○は1つだけ)

記入者の性別

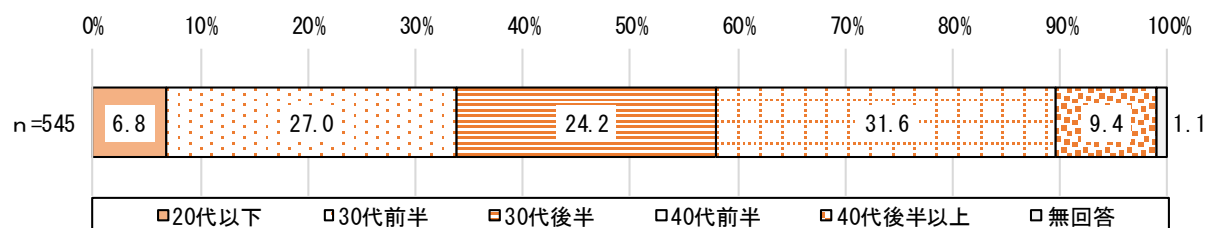


n=545

(6) 記入者の年齢

F 2-2 あなたの年齢は。

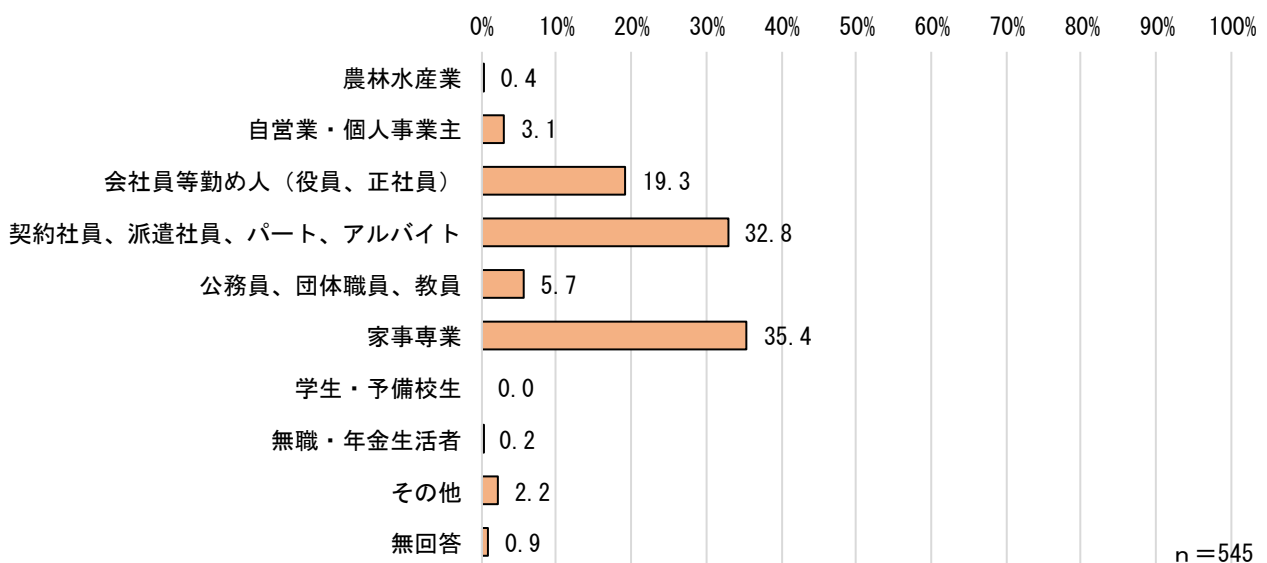
記入者の年齢



(7) 記入者の職業

F 2-3 あなたの職業は。(○は1つだけ)

記入者の職業



n=545

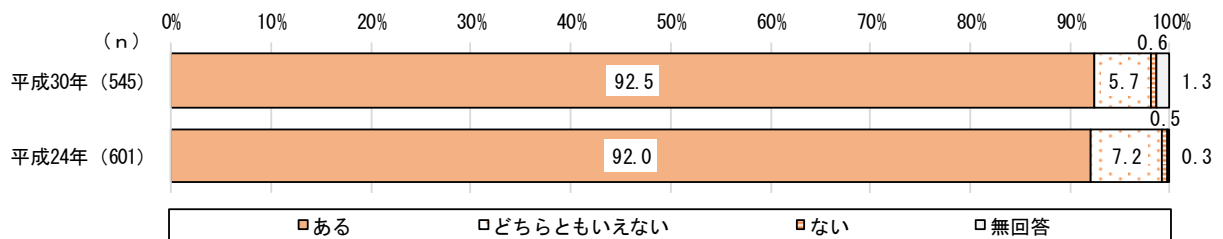
2. 健康についての考え方

(1) 自分や家族の健康への関心

問1 あなたは、自分や家族の健康に関心がありますか。(○は1つだけ)

自分や家族の健康への関心は、「ある」が92.5%、「ない」は0.6%となっています。
平成24年の調査結果と大きな差はありません。

自分や家族の健康への関心／前回

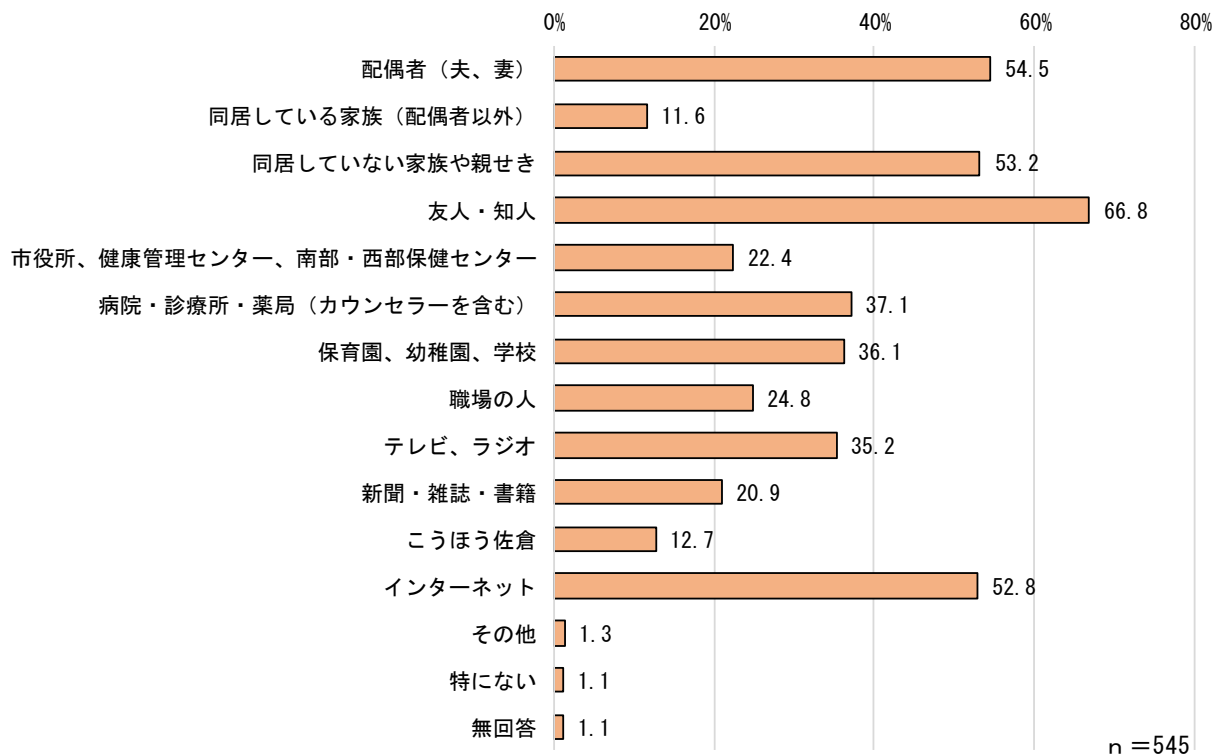


問2 ふだん、どこ（だれ）に、妊娠・出産・育児やお子さんの健康に関する情報を聞いていますか。（〇はいくつでも）

妊娠・出産・育児や子どもの健康に関する情報源は、「友人・知人」が66.8%と最も高く、次いで「配偶者（夫、妻）」が54.5%、「同居していない家族や親せき」が53.2%となっています。

幼児・小学生別にみると、＜幼児＞は「同居していない家族や親せき」が60.9%となっています。＜小学生＞は、「職場の人」が28.9%、「テレビ、ラジオ」が39.9%となっています。

妊娠・出産・育児や子どもの健康に関する情報源／幼児・小学生



(n)	配偶者（夫、妻）	同居している家族（配偶者以外）	同居していない家族や親せき	友人・知人	市役所、健康管理センター、南部・西部保健センター	病院・診療所・薬局（カウンセラーを含む）	保育園、幼稚園、学校	職場の人	テレビ、ラジオ	新聞・雑誌・書籍	こうほう佐倉	インターネット	その他	特にない
全体（545）	54.3	11.6	53.2	66.8	22.4	37.1	36.1	24.8	35.2	20.9	12.7	52.8	1.3	1.1
幼児（238）	62.6	10.9	60.9	68.1	30.7	37.0	44.1	19.7	29.8	19.7	13.0	59.2	2.5	0.8
小学生（301）	48.5	12.3	47.8	66.8	15.9	37.5	30.2	28.9	39.9	22.3	12.6	48.5	0.3	1.3

(%)

3. 栄養・食生活

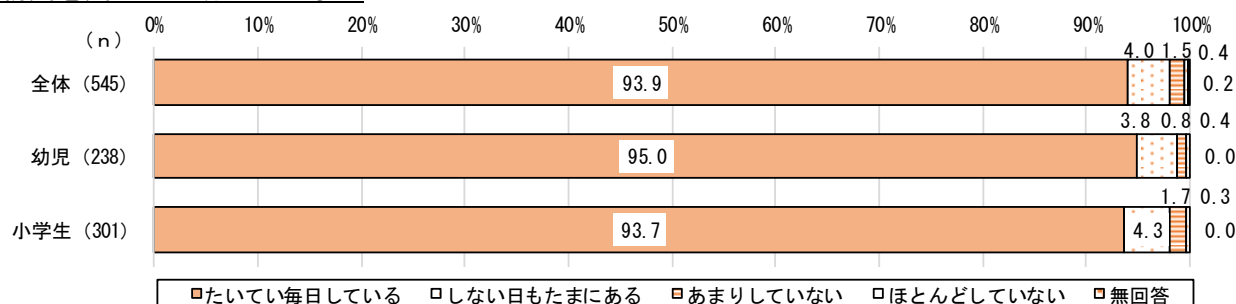
(1) 子どもの食生活

問3 あなたは、お子さんの食生活に関して、ふだん、次のそれぞれのことをどのくらいしていますか。(それぞれについて、当てはまる番号1つだけに○)

朝食を食べる

朝食を食べるは、「たいてい毎日している」が93.9%、「しない日もたまにある」が4.0%となっています。「ほとんどしていない」は0.4%となっています。

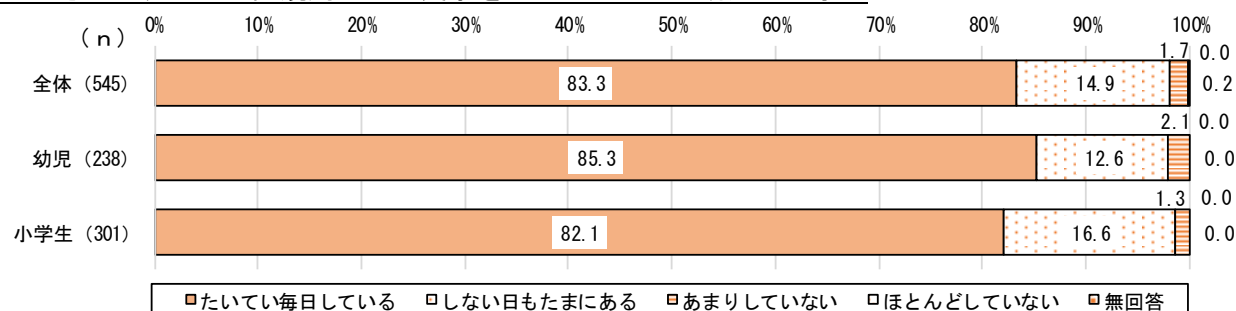
朝食を食べる／幼児・小学生



お子さんに、1日3回規則正しい食事を心がけている

お子さんに、1日3回規則正しい食事を心がけているは、「たいてい毎日している」が83.3%、「しない日もたまにある」が14.9%となっています。

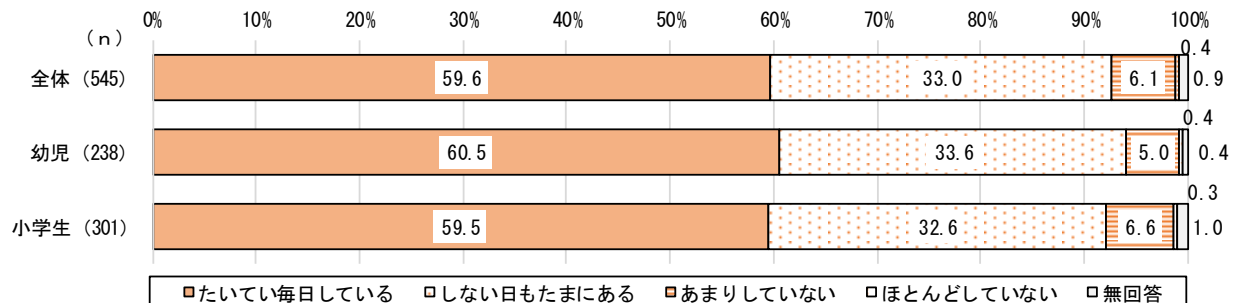
お子さんに、1日3回規則正しい食事を心がけている／幼児・小学生



お子さんの健康づくりのために、栄養や食事について考える

お子さんの健康づくりのために、栄養や食事について考えるは、「たいてい毎日している」が59.6%、「しない日もたまにある」は33.0%となっています。

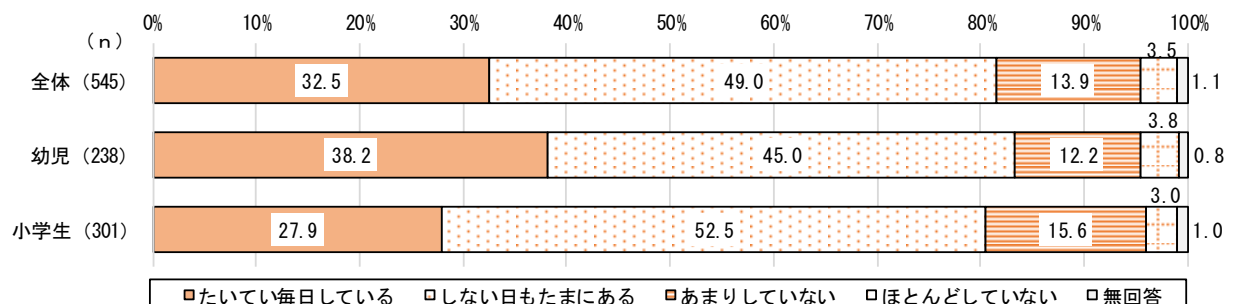
お子さんの健康づくりのために、栄養や食事について考える／幼児・小学生



毎食（3食）、野菜料理を食べさせる

毎食（3食）、野菜料理を食べさせるは、「しない日もたまにある」が49.0%、「たいてい毎日している」が32.5%となっています。

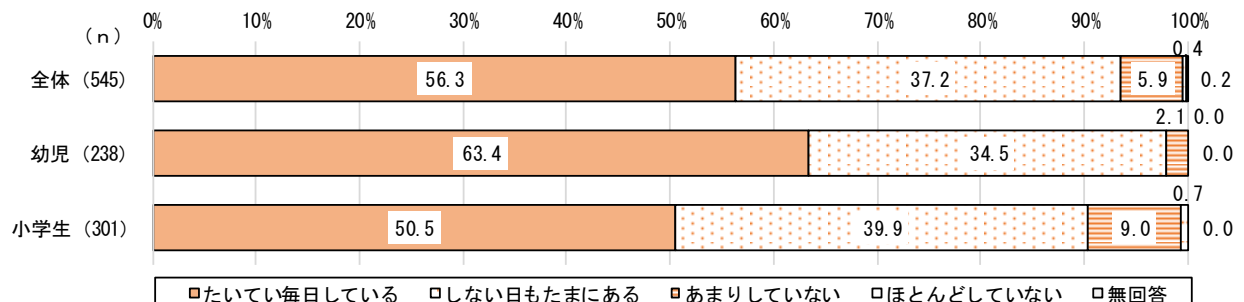
毎食（3食）、野菜料理を食べさせる／幼児・小学生



カルシウムが多い食品（乳製品・豆類・緑黄色野菜など）をとらせている

カルシウムが多い食品（乳製品・豆類・緑黄色野菜など）をとらせているは、「たいてい毎日している」は56.3%、「しない日もたまにある」は37.2%となっています。

カルシウムが多い食品（乳製品・豆類・緑黄色野菜など）をとらせている／幼児・小学生



第2章 調査結果の詳細

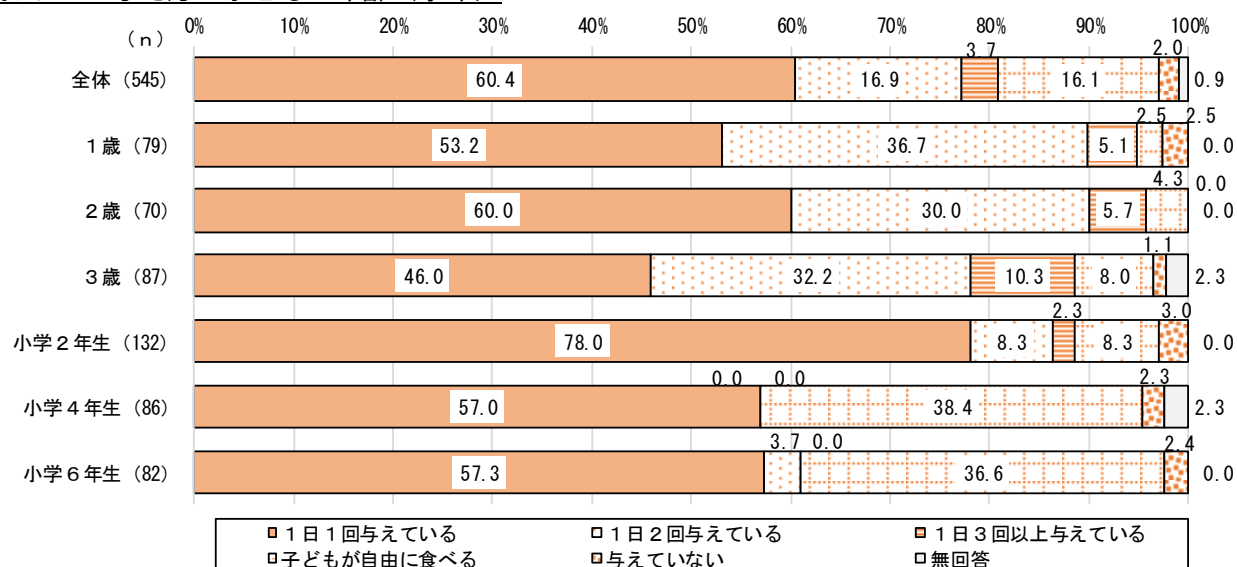
(2) おやつ

問4 おやつは与えていますか。(○は1つだけ)

おやつの与え方は、「1日1回与えている」が60.4%と最も高く、次いで「1日2回与えている」が16.9%、「子どもが自由に食べる」が16.1%となっています。

子どもの年齢(学年)別にみると、＜1歳＞と＜2歳＞、＜3歳＞は、「1日2回与えている」が約3割となっています。＜小学2年生＞は「1日1回与えている」が78.0%と全体で最も高く、＜小学4年生＞と＜小学6年生＞は、「子どもが自由に食べている」が約4割となっています。

おやつの与え方／子どもの年齢(学年)



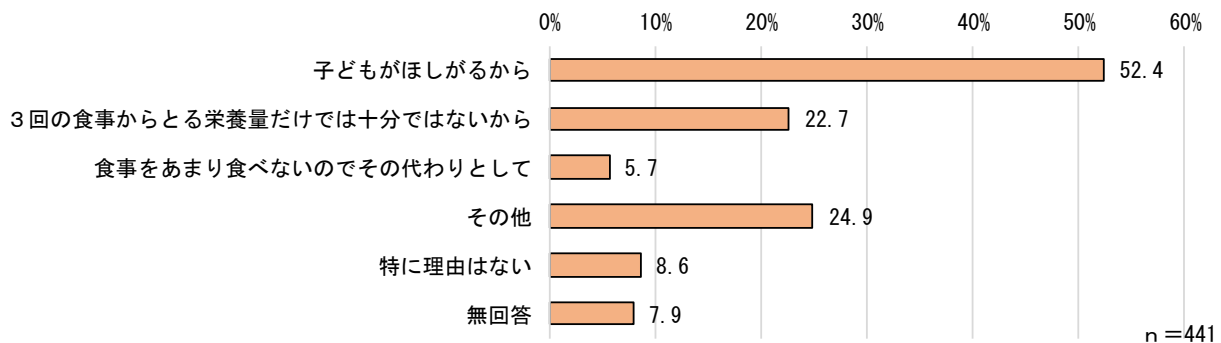
付問４－１ 「１日１回～３回以上与えている」と回答した人のみ

おやつを与えている理由は何ですか。（○はいくつでも）

おやつを与えている理由は、「子どもがほしがるから」が52.4%と最も高くなっております。次いで「３回の食事からとる栄養量だけでは十分ではないから」が22.7%となっています。

子どもの年齢（学年）別にみると、＜２歳＞、＜小学２年生＞、＜小学４年生＞、＜小学６年生＞の半数以上が「子どもがほしがるから」となっています。＜１歳＞と＜２歳＞、＜小学６年生＞は、「３回の食事からとる栄養量だけでは十分ではないから」が約３割～４割、＜１歳＞と＜２歳＞は、「食事をあまり食べないのでその代わりとして」が約１割となっています。

おやつを与えている理由／子どもの年齢（学年）



(n)	子どもがほしがるから	3回の食事からとる栄養量だけでは十分ではないから	食事をあまり食べないのでその代わりとして	その他	特に理由はない	無回答
全体 (441)	52.4	22.7	5.7	24.9	8.6	7.9
1歳 (75)	45.3	40.0	10.7	16.0	8.0	10.7
2歳 (67)	56.7	35.8	11.9	26.9	4.5	1.5
3歳 (77)	42.9	15.6	3.9	31.2	11.7	11.7
小学2年生 (117)	58.1	11.1	2.6	24.8	7.7	10.3
小学4年生 (49)	55.1	12.2	4.1	20.4	12.2	6.1
小学6年生 (50)	60.0	30.0	0.0	28.0	10.0	2.0

(%)

第2章 調査結果の詳細

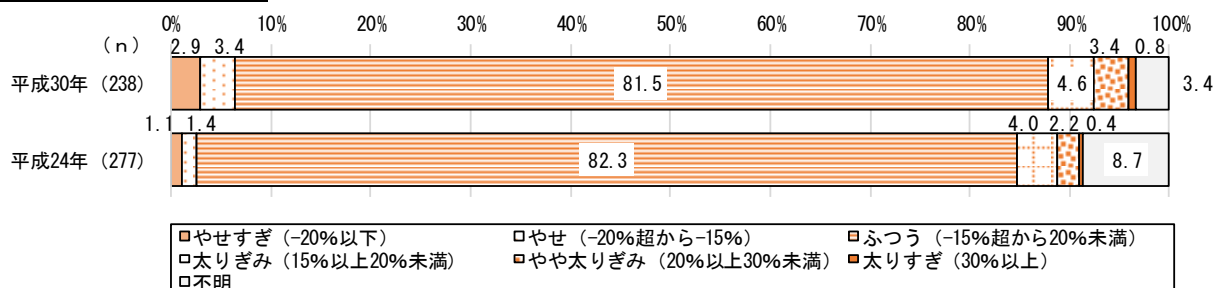
(3) 肥満度

問5 お子さんのおよその身長、体重を整数で教えてください。(小数点以下は四捨五入してください)

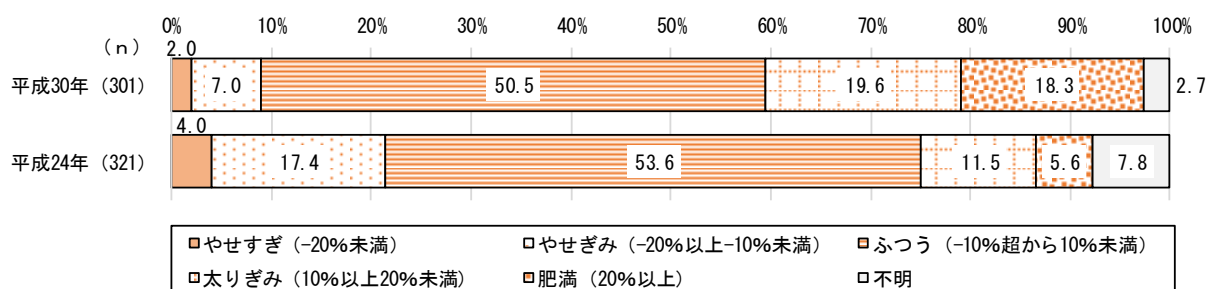
肥満度は、幼児は「ふつう」が81.5%、小学生は50.5%となっています。

幼児の平成24年調査結果と比較すると、幼児は、「やせすぎ」が1.8ポイント、「やせ」が2ポイント増加しています。小学生は「やせすぎ」が2ポイント、「やせ」が10.4ポイント減少、「太りぎみ」が8.1ポイント増加、「肥満」が12.7ポイント増加しています。

肥満度（幼児）／前回



肥満度（小学生）／前回



4. 身体活動・運動

(1) 子どもの外遊び

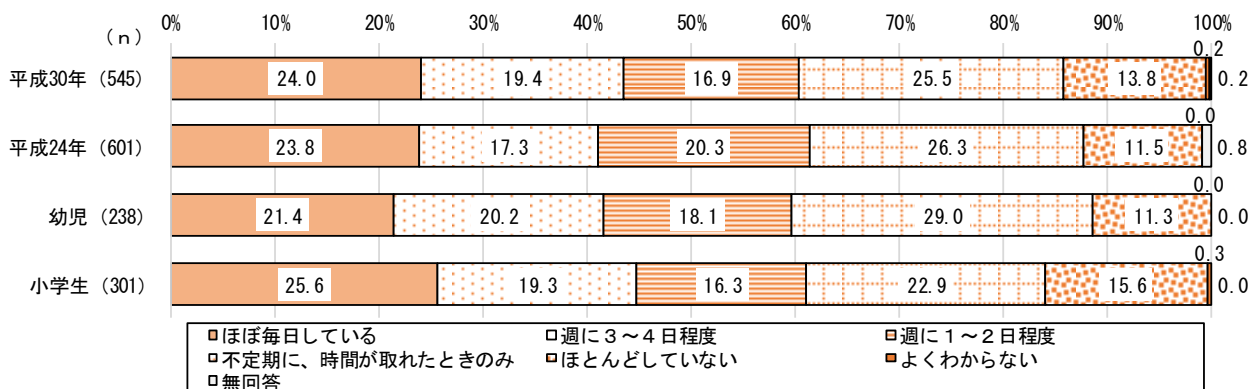
問6 お子さんは、どのくらい外遊びをしますか。(保育園、幼稚園、学校などに通っている場合は、帰宅してからの時間の外遊び) (○は1つだけ)

子どもの外遊びの頻度は、「不定期に、時間が取れたときのみ」が25.5%と最も高く、次いで「ほぼ毎日している」が24.0%となっています。

平成24年調査結果と比較すると、大きな差はありませんが、「ほとんどしていない」は2.3ポイント増加しています。

幼児・小学生別にみると、＜小学生＞は「ほぼ毎日している」が25.6%、＜幼児＞は「不定期に、時間が取れたときのみ」が29.0%と全体で最も高くなっています。

子どもの外遊びの頻度／前回、幼児・小学生



5. 休養・こころの健康づくり

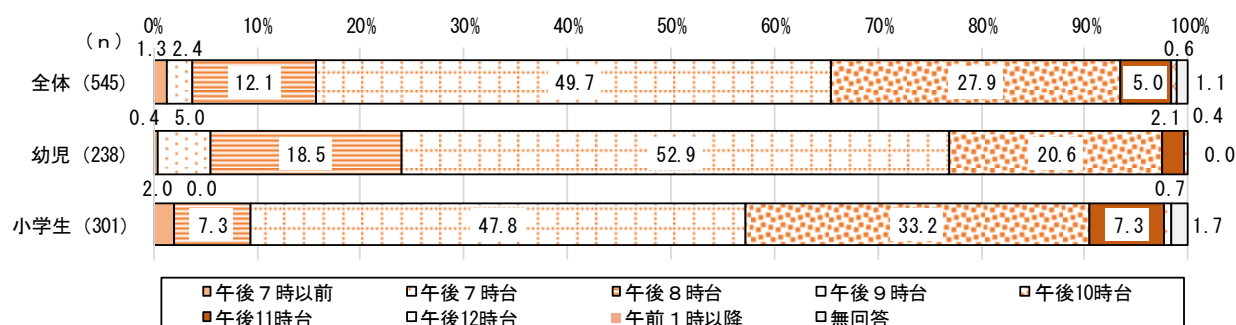
(1) 子どもの睡眠時間

問7 お子さんの就寝時間と起床時間を24時間表記(例: 夜11時なら23時など)でお答えください。

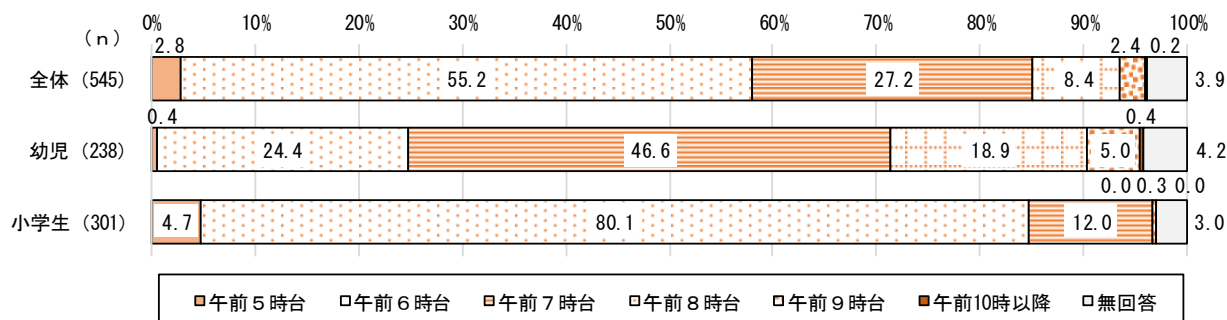
子どもの就寝時間は、＜小学生＞は「午後9時台」が47.8%、「午後10時台」が33.2%となっています。幼児では、「午後9時台」が半数以上となっています。

起床時間は、幼児の4割以上は「午前7時台」、小学生の約8割が「午前6時台」となっています。

子どもの就寝時間／幼児・小学生



子どもの起床時間／幼児・小学生



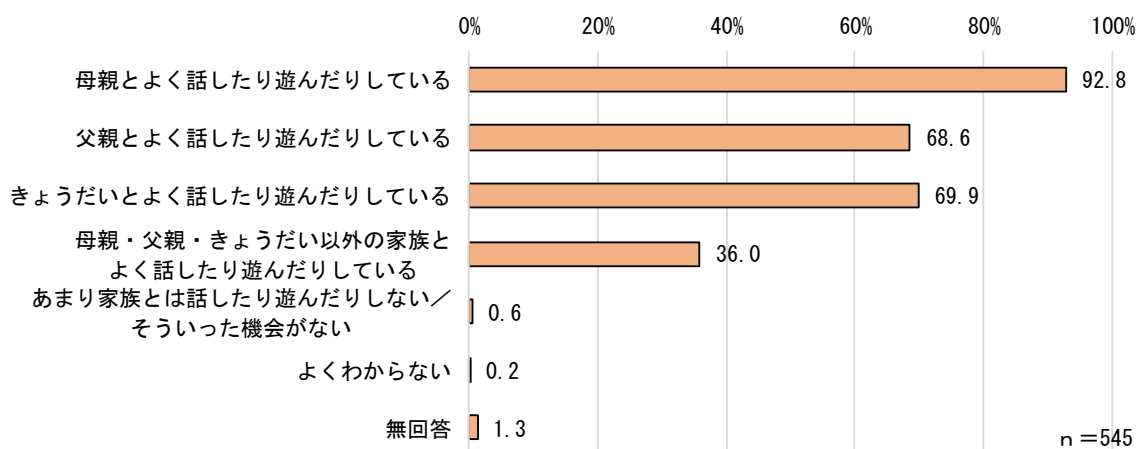
問8 あなたのご家族とお子さんのコミュニケーションの状況について、主に当てはまるものを選んでください。(お子さんからみた続柄でお答えください)(○はいくつでも)

子どもとのコミュニケーションは、「母親とよく話したり遊んだりしている」が92.8%と最も高く、次いで「きょうだいとよく話したり遊んだりしている」が69.9%となっています。

性別にみると、＜女子＞は「きょうだいとよく話したり遊んだりしている」が73.4%と、＜男子＞の66.7%を上回っています。

幼児・小学生別にみると、＜男子 幼児＞と＜女性 幼児＞は「父親とよく話したり遊んだりしている」が7割以上となっています。＜男子 小学生＞は、「あまり家族とは話したり遊んだりしない／そういった機会がない」が1.3%となっています。

子どもとのコミュニケーション／性別・性、幼児・小学生



(n)	母親とよく話したり遊んだりしている	父親とよく話したり遊んだりしている	きょうだいとよく話したり遊んだりしている	母親・父親・きょうだい以外の家族とよく話したり遊んだりしている	あまり家族とは話したり遊んだりしない／そういった機会がない	よくわからない	無回答
全体 (545)	92.8	68.6	69.9	36.0	0.6	0.2	1.3
男子 (261)	92.7	69.0	66.7	36.8	0.8	0.4	0.4
男子 幼児 (112)	97.3	78.6	62.5	38.4	0.0	0.9	0.0
小学生 (149)	89.3	61.7	69.8	35.6	1.3	0.0	0.7
女子 (278)	93.2	68.3	73.4	35.3	0.4	0.0	1.8
女子 幼児 (126)	94.4	71.4	66.7	46.8	0.0	0.0	1.6
小学生 (152)	92.1	65.8	78.9	25.7	0.7	0.0	2.0

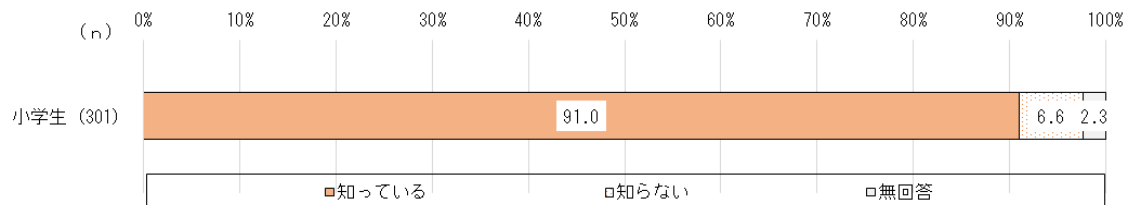
(%)

第2章 調査結果の詳細

問9 小学生の保護者の方におたずねします。お子さんは、不安や悩みを感じた時の相談先や相談方法を知っていますか。

不安や悩みの相談先や相談方法の認知度は、「知っている」が91.0%になっています。

子どもの相談先や相談方法／小学生



6. たばこ

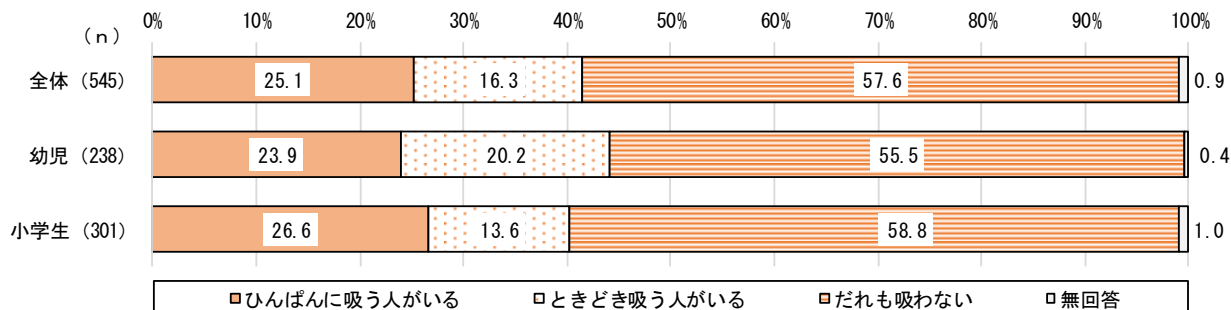
(1) 家族の喫煙状況

問10 家族の方は、たばこを吸いますか。(○は1つだけ)

家族における喫煙者の有無は、「だれも吸わない」が57.6%と最も高く、次いで「ひんぱんに吸う人がある」が25.1%となっています。

幼児・小学生別にみると、＜幼児＞は「ときどき吸う人がある」が20.2%となっています。

家族における喫煙者の有無／幼児・小学生

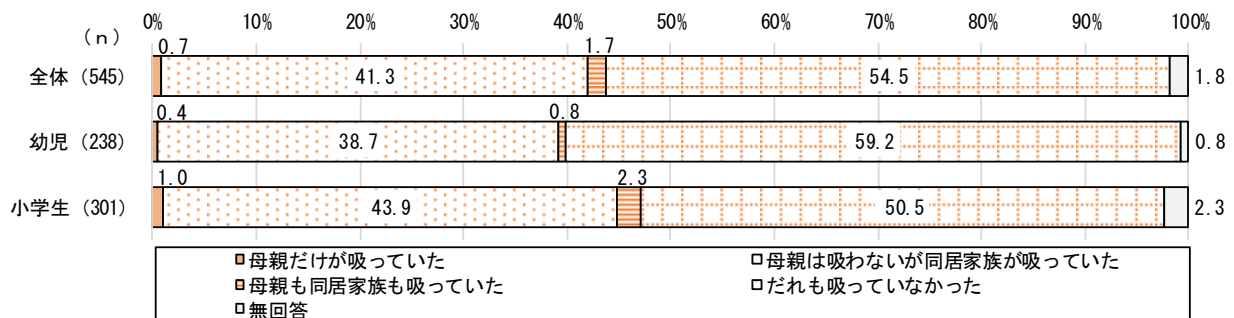


問11 お子さんを妊娠していた期間、お母さんや同居家族はたばこを吸っていましたか。(○は1つだけ)

妊娠中の母親・同居家族の喫煙状況は、「だれも吸っていなかった」が54.5%と最も高く、次いで「母親は吸わないが同居家族が吸っていた」は41.3%となっています。

幼児・小学生別にみると、＜幼児＞は、「だれも吸っていなかった」が59.2%と＜小学生＞の50.5%を上回っています。

妊娠中の母親・同居家族の喫煙状況／幼児・小学生



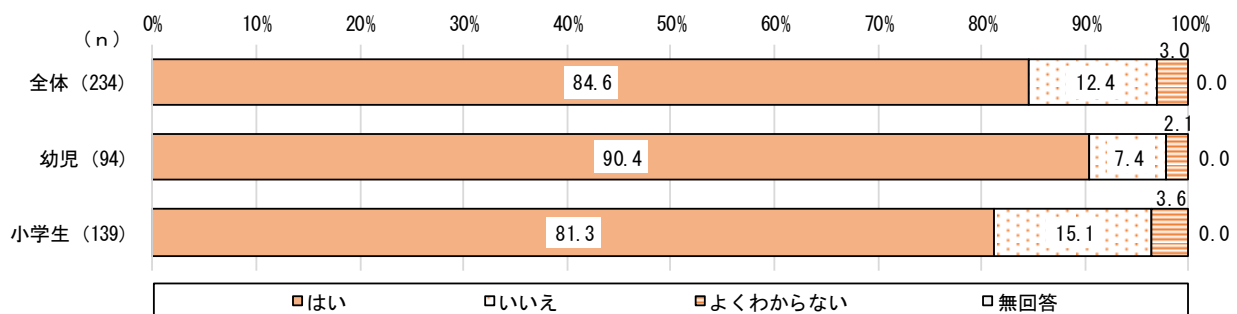
付問11-1 (問11で「吸っていた」同居家族がいた家庭のみ)

妊娠しているお母さんの前では吸わないようにしていましたか。(○は1つだけ)

同居家族は妊娠中の母親の前で喫煙しないようにしていたかは、「はい」が84.6%、「いいえ」が12.4%となっています。

幼児・小学生別にみると、＜小学生＞は「いいえ」が15.1%と＜幼児＞の7.4%より高くなっています。

同居家族は妊娠中の母親の前で喫煙しないようにしていたか／幼児・小学生



7. アルコール

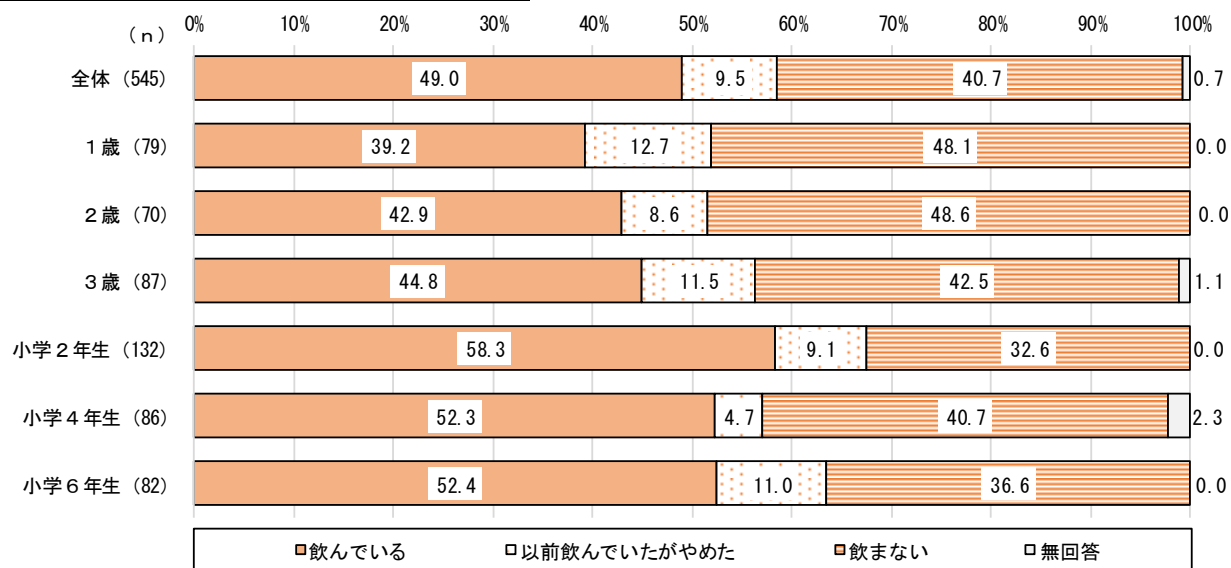
(1) 記入者の飲酒状況

問12 あなたは、アルコールを飲みますか。(○は1つだけ)

記入者の飲酒状況は、「飲んでいる」は49.0%、「飲まない」は40.7%となっています。

子どもの年齢(学年)別にみると、＜1歳＞と＜2歳＞、＜3歳＞は「飲んでいる」が5割以下となっているのに対し、＜小学2年生＞と＜小学4年生＞、＜小学6年生＞は「飲んでいる」が5割以上となっています。

記入者の飲酒状況／子どもの年齢(学年)



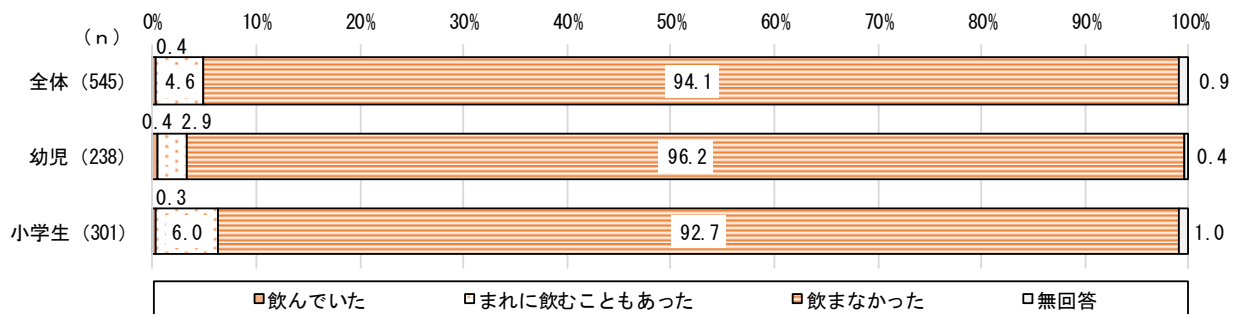
問13 お子さんを妊娠していた期間、お母さんはアルコールを飲んでいましたか。(○は1つだけ)

妊娠中の母親の飲酒状況は、「飲まなかった」は94.1%、「まれに飲むこともあった」が4.6%となっています。

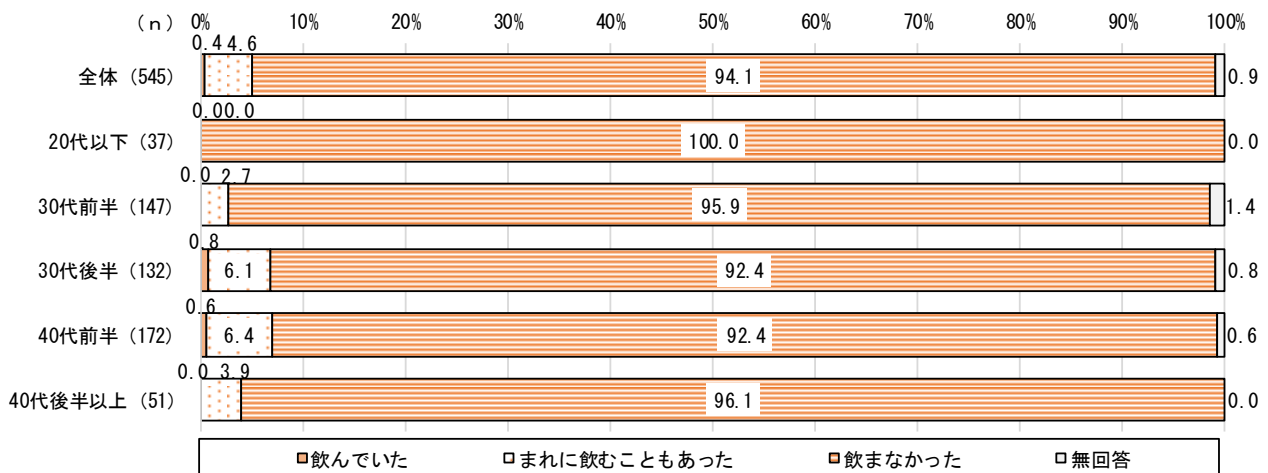
子どもの年齢(学年)別にみると、＜小学生＞は「まれに飲むこともあった」が6.0%と＜幼児＞の2.9%より高くなっています。

記入者の年齢別にみると、＜20代以下＞は「飲まなかった」が100%となっています。＜30代後半＞と＜40代前半＞は「まれに飲むこともあった」が約6%となっています。

妊娠中の母親の飲酒状況／幼児・小学生



妊娠中の母親の飲酒状況／記入者の年齢



第2章 調査結果の詳細

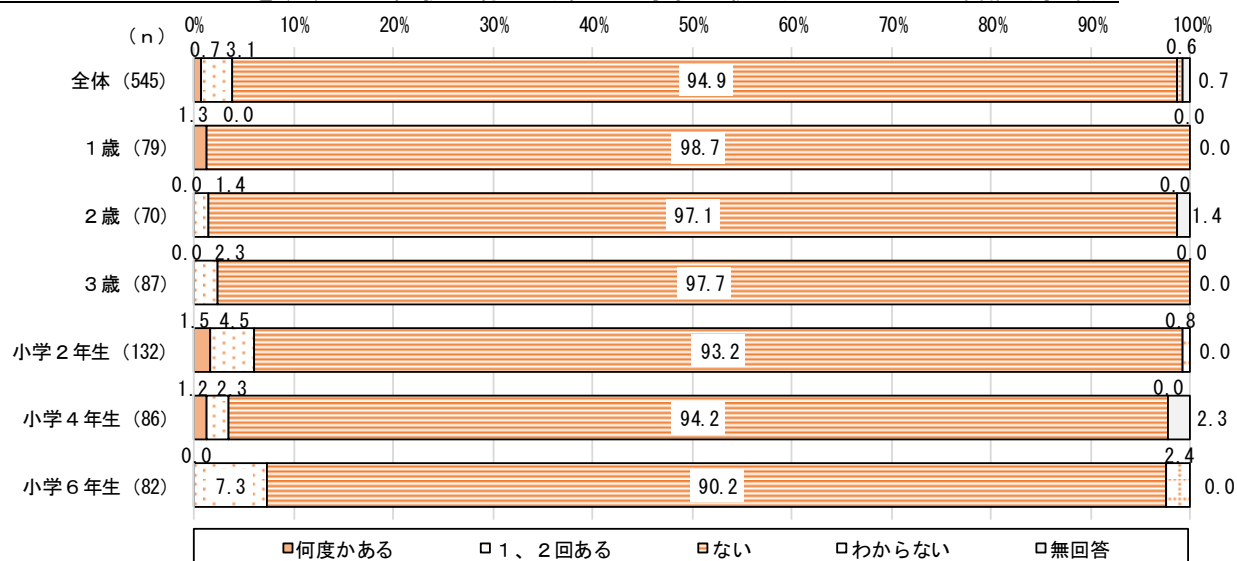
問14 お子さんに対して、自分や家族、親せきなどがアルコールをすすめたり飲ませたりしたことはありますか。(〇は1つだけ)

子どもにアルコールをすすめた経験の有無は、「ない」が94.9%、「何度かある」と「1、2回ある」の合計が3.8%となっています。

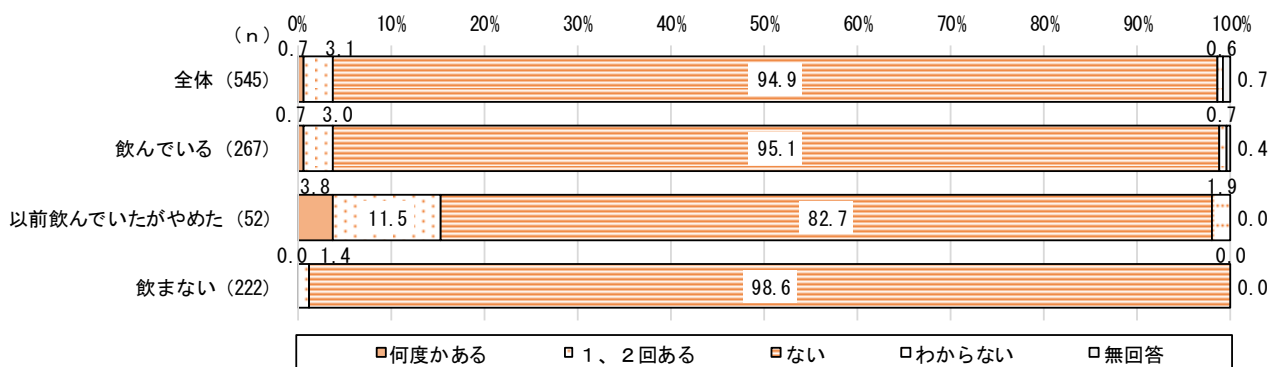
子どもの年齢(学年)別にみると、小学生ではアルコールをすすめた経験がある比率がやや高くなっています。

記入者の飲酒状況別にみると、＜以前、飲んでいたがやめた＞の「何度かある」と「1、2回ある」の合計が、15.3%と高くなっています。

子どもにアルコールをすすめた経験の有無(本人・家族・親戚)／子どもの年齢(学年)



子どもにアルコールをすすめた経験の有無(本人・家族・親戚)／記入者の飲酒状況



8. 歯の健康

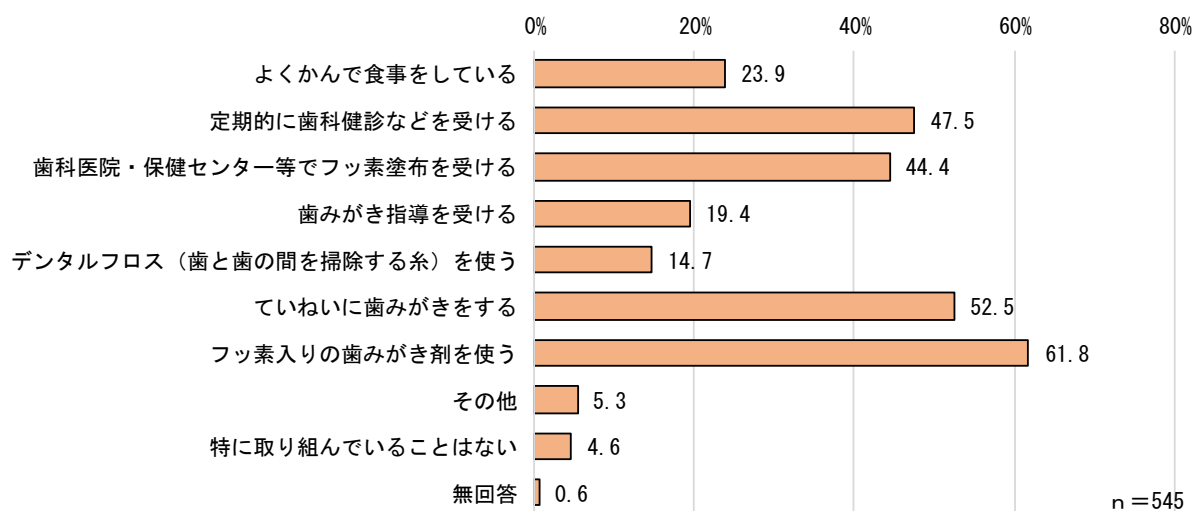
(1) 歯や歯ぐきの健康のための取り組み

問15 ふだん、お子さんの歯や歯ぐきの健康のために、どのようなことに取り組んでいますか。(〇はいくつでも)

子どもの歯や歯ぐきの健康のための取り組みは、「フッ素入りの歯みがき剤を使う」が61.8%と最も高く、次いで「ていねいに歯みがきをする」が52.5%となっています。

子どもの年齢(学年)別にみると、小学生が「定期的に歯科健診などを受ける」が半数を超えています。

子どもの歯や歯ぐきの健康のための取り組み／子どもの年齢(学年)



(n)	よくかんで食事をしている	定期的に歯科健診などを受ける	歯科医院・保健センター等でフッ素塗布を受ける	歯みがき指導を受ける	デンタルフロス(歯と歯の間に掃除する糸)を使う	ていねいに歯みがきをする	フッ素入りの歯みがき剤を使う	その他	特に取り組んでいることはない	無回答
全体 (545)	23.9	47.5	44.4	19.4	14.7	52.5	61.8	5.3	4.6	0.6
1歳 (79)	24.1	25.3	31.6	21.5	5.1	69.6	58.2	5.1	2.5	0.0
2歳 (70)	28.6	37.1	72.9	22.9	10.0	67.1	52.9	4.3	1.4	0.0
3歳 (87)	27.6	44.8	64.4	23.0	18.4	66.7	70.1	3.4	2.3	0.0
小学2年生 (132)	22.0	56.8	35.6	20.5	21.2	50.8	68.2	5.3	5.3	0.0
小学4年生 (86)	24.4	61.6	37.2	10.5	16.3	34.9	58.1	7.0	2.3	2.3
小学6年生 (82)	17.1	51.2	32.9	18.3	9.8	28.0	59.8	7.3	13.4	0.0

(%)

9. 子育て

(1) 子育てに関する考え

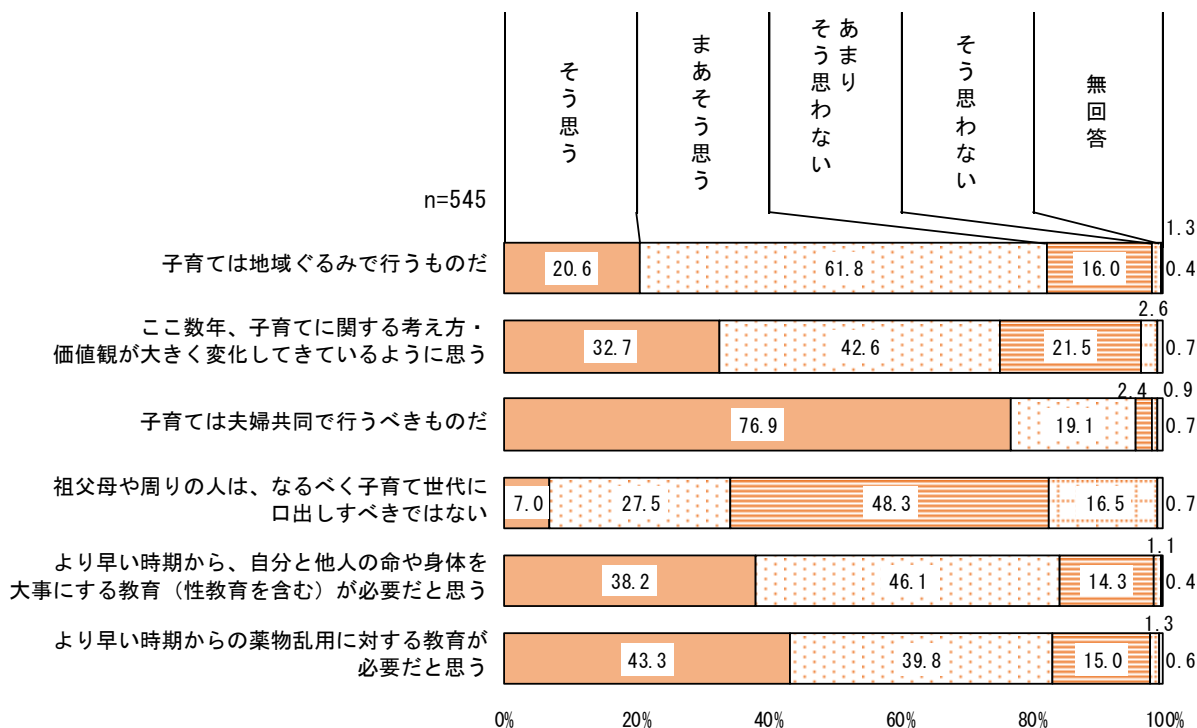
問16 以下のそれぞれの意見について、あなたの考えにもっとも近い番号を選んでください。（それぞれについて、当てはまる番号1つだけに○）

子育てに関する考えをみると、＜子育ては夫婦共同で行うべきものだ＞は、「そう思う」が76.9%、「まあそう思う」が19.1%、合計96.0%となっています。

＜祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではない＞は、「あまりそう思わない」は48.3%となっています。

＜子育ては地域ぐるみで行うものだ＞と＜より早い時期から、自分と他人の命や身体を大事にする教育（性教育を含む）が必要だと思う＞、＜より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思う＞は、「そう思う」と「まあそう思う」の合計は約8割となっています。

子育てに関する考え



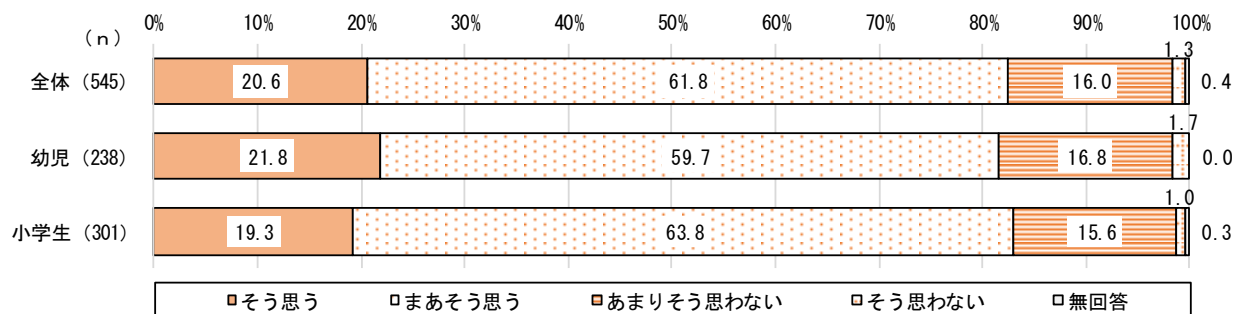
子育ては地域ぐるみで行うものだ

子育ては地域ぐるみで行うものかは、「まあそう思う」が61.8%と最も高く、次いで「そう思う」が20.6%となっています。

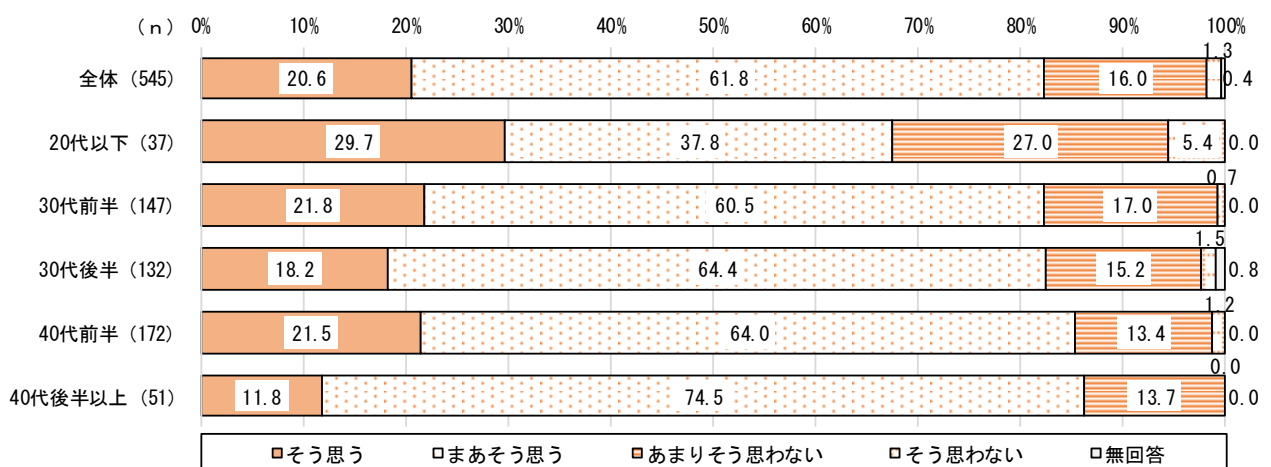
幼児・小学生別にみると、＜幼児＞は「そう思う」が21.8%、＜小学生＞の19.3%よりやや高くなっています。

記入者の年齢別にみると、＜20代以下＞は「そう思う」が29.7%と全体で最も多い一方で、「あまりそう思わない」が27.0%、「そう思わない」も5.4%と最も高くなっています。

子育ては地域ぐるみで行うものだ／幼児・小学生



子育ては地域ぐるみで行うものだ／記入者の年齢



第2章 調査結果の詳細

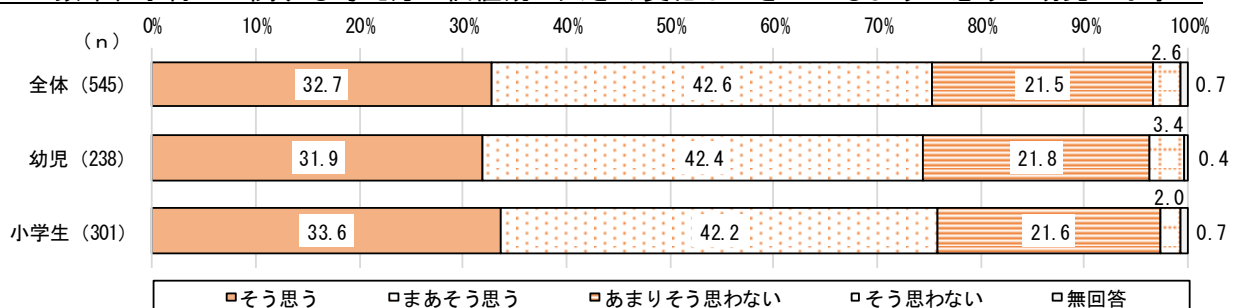
ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が大きく変化してきているように思う

ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が大きく変化してきているように思うは、「まあそう思う」が42.6%、「そう思う」が32.7%となっています。

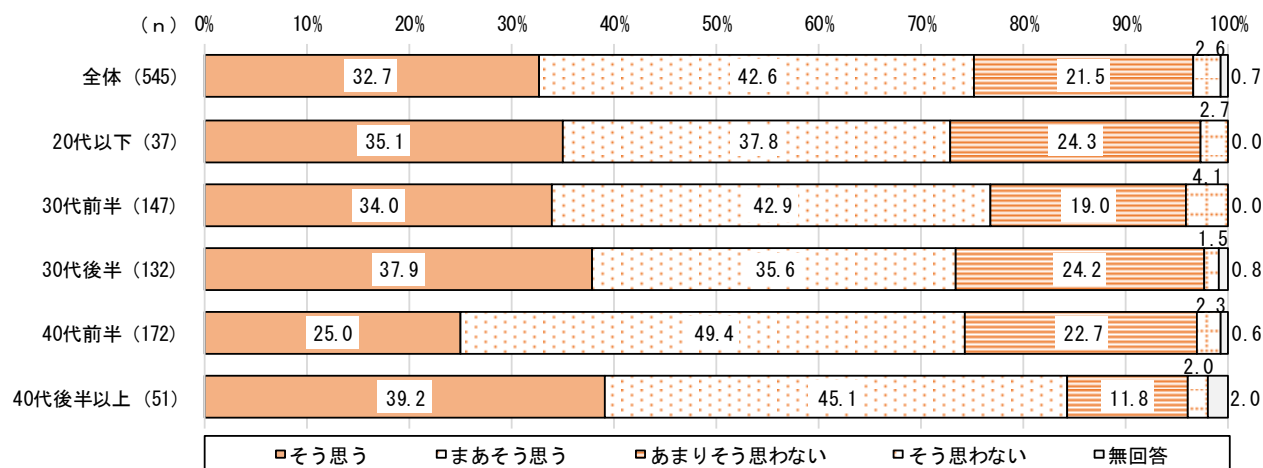
幼児・小学生別にみると、＜小学生＞は「そう思う」が33.6%と、＜幼児＞の31.9%よりやや高くなっています。

記入者の年齢別にみると、＜40代後半以上＞は「そう思う」が39.2%と全体で最も高くなっており、「そう思う」と「まあそう思う」の合計は84.3%となっています。

ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が大きく変化してきているように思う／幼児・小学生



ここ数年、子育てに関する考え方・価値観が大きく変化してきているように思う／記入者の年齢



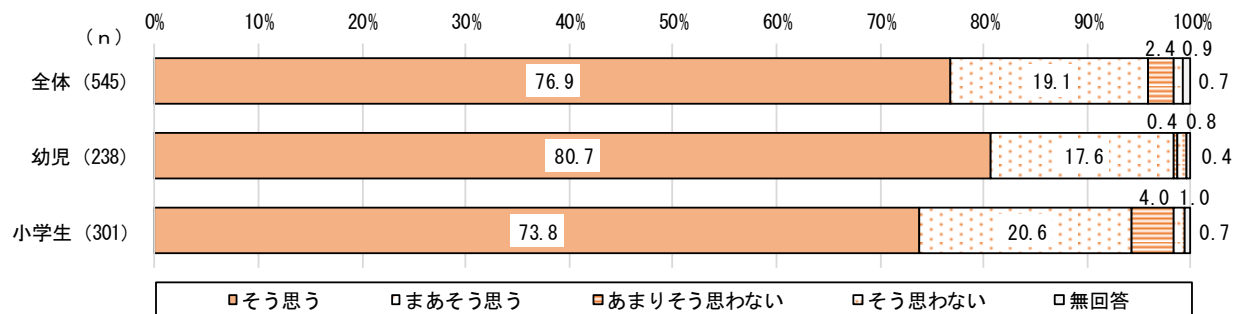
子育ては夫婦共同で行うべきものだ

子育ては夫婦共同で行うべきものかは、「そう思う」は76.9%、「まあそう思う」は19.1%となっています。

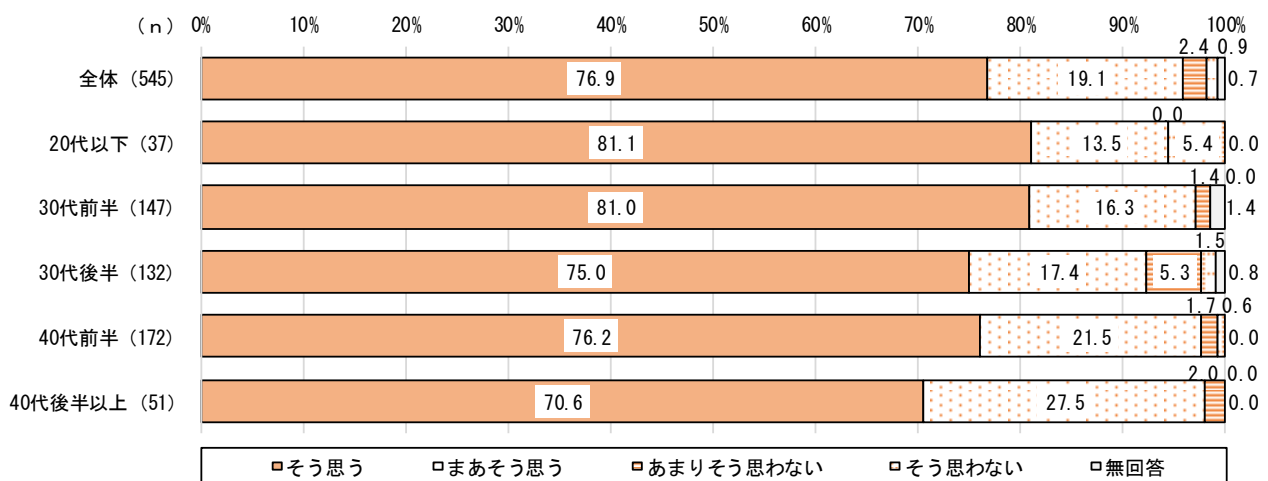
幼児・小学生別にみると、＜幼児＞は「そう思う」が80.7%、「まあそう思う」が17.6%と、合計は98.3%となっています。

記入者の年齢別にみると、＜30代後半＞は「あまりそう思わない」が5.3%、「そう思わない」が1.5%と、合計が6.8%と全体で最も高くなっています。

子育ては夫婦共同で行うべきものだ／幼児・小学生



子育ては夫婦共同で行うべきものだ／記入者の年齢



第2章 調査結果の詳細

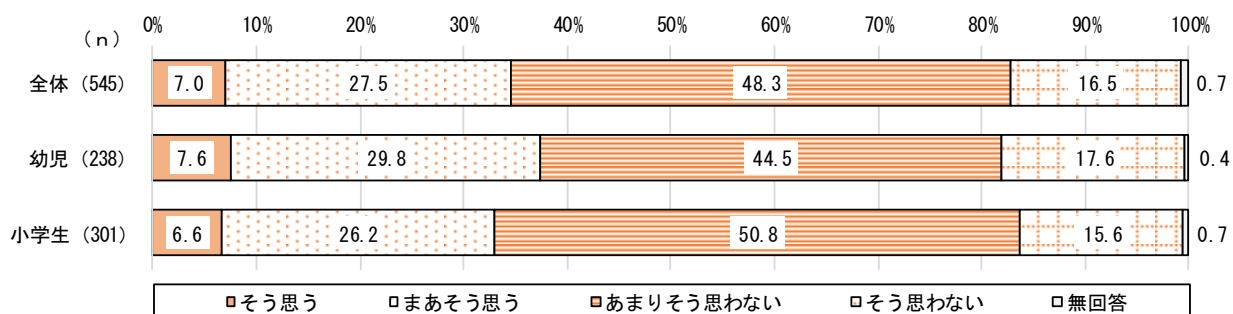
祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではない

祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではないは、「あまりそう思わない」が48.3%、「まあそう思う」が27.5%となっています。

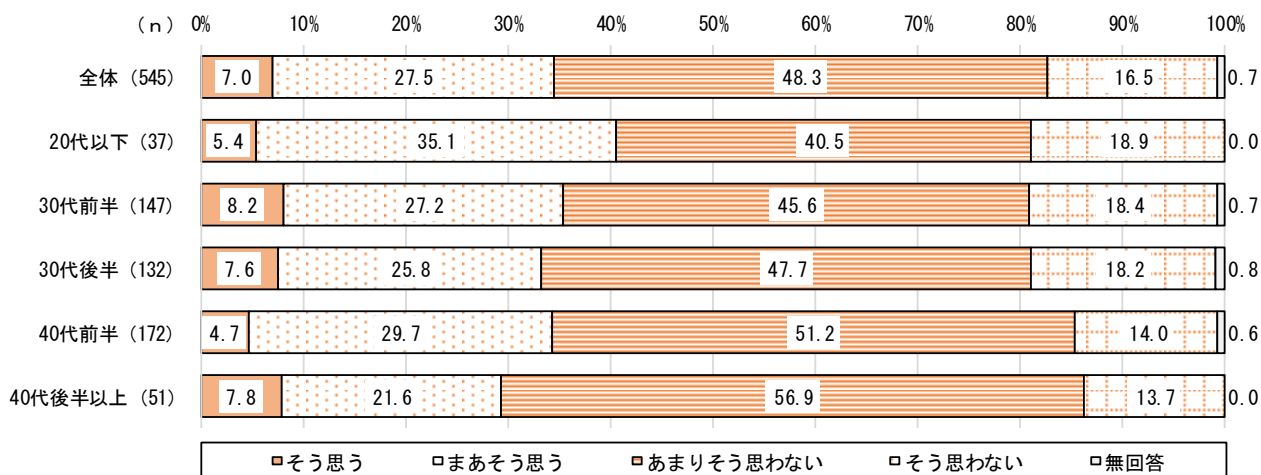
幼児・小学生別にみると、＜幼児＞は「そう思う」と「まあそう思う」の合計は約4割となっている一方で、「そう思わない」は17.6%と、＜小学生＞の15.6%よりやや高くなっています。

記入者の年齢別にみると、＜20代以下＞は「そう思う」と「まあそう思う」の合計は約4割と最も高くなっています。一方で＜40代後半以上＞は「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計は約7割と最も多くなっています。

祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではない／幼児・小学生



祖父母や周りの人は、なるべく子育て世代に口出しすべきではない／記入者の年齢



より早い時期から、自分と他人の命や身体を大事にする教育（性教育を含む）が必要だと思う

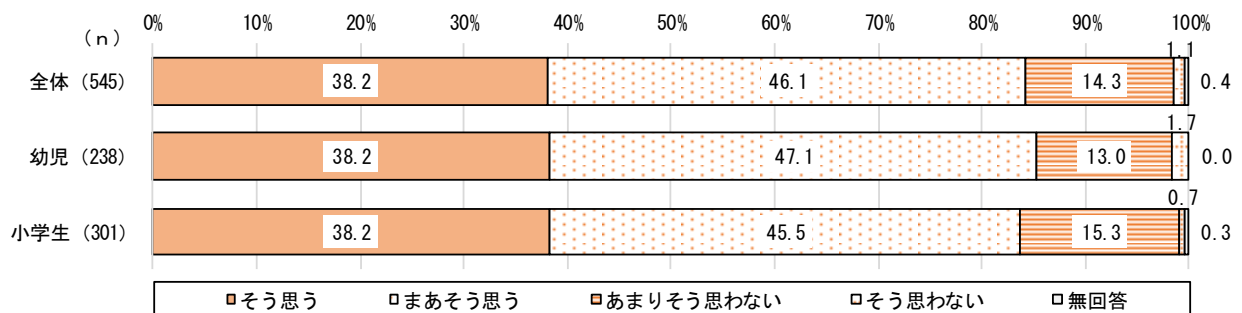
より早い時期から、自分と他人の命や身体を大事にする教育（性教育を含む）が必要だと思うは、「まあそう思う」が46.1%、「そう思う」は38.2%となっています。

幼児・小学生別にみると、＜幼児＞は「そう思わない」が1.7%と、＜小学生＞の0.7%より若干高くなっています。

記入者の年齢別にみると、＜30代前半＞と＜30代後半＞は「そう思う」と「まあそう思う」の合計が約9割となっており、全体で最も高くなっています。＜20代以下＞と＜40代前半＞、＜40代後半以上＞は、「あまりそう思わない」が約2割となっています。

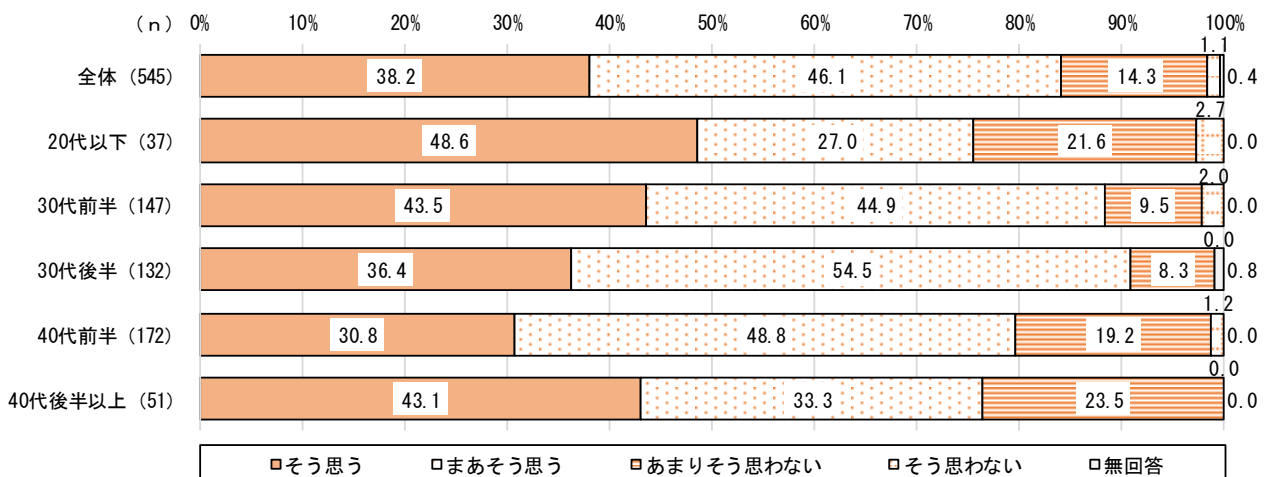
より早い時期から、自分と他人の命や身体を大事にする教育（性教育を含む）が必要だと思う／

幼児・小学生



より早い時期から、自分と他人の命や身体を大事にする教育（性教育を含む）が必要だと思う／

記入者の年齢



第2章 調査結果の詳細

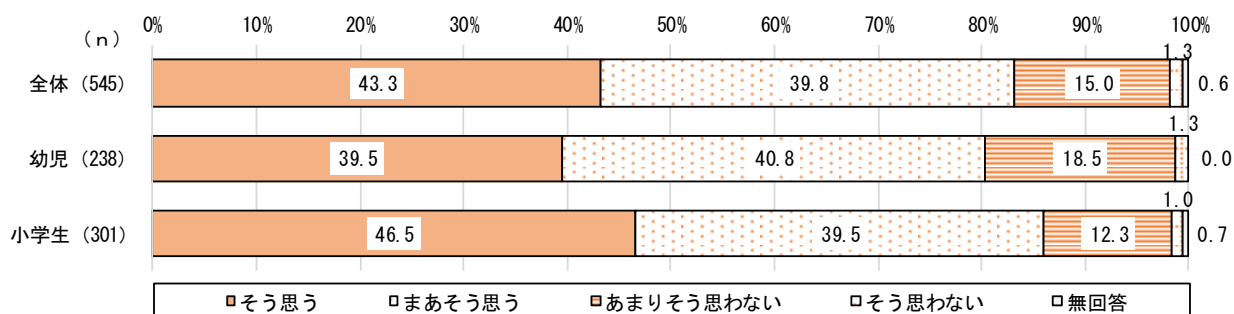
より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思う

より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思うは、「そう思う」は43.3%、「まあそう思う」は39.8%となっています。

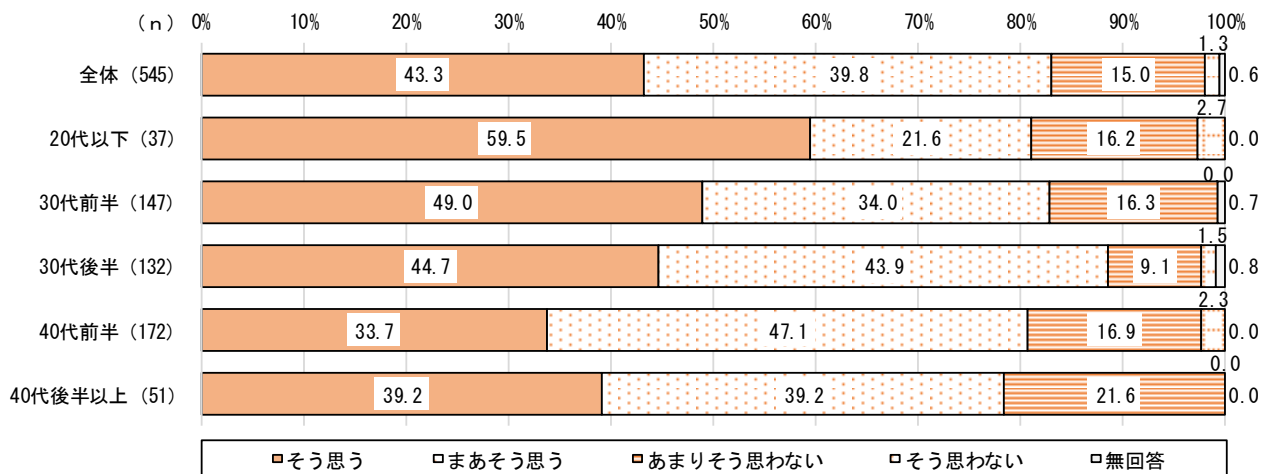
幼児・小学生別にみると、＜小学生＞は「そう思う」が46.5%と、＜幼児＞の39.5%より高くなっています。

記入者の年齢別にみると、＜20代以下＞は「そう思う」が59.5%と全体で最も高くなっています。＜40代前半＞は「そう思う」が33.7%と低くなっており、「まあそう思う」が47.1%と最も高くなっています。＜40代後半以上＞は「あまりそう思わない」が21.6%となっています。

より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思う／幼児・小学生



より早い時期からの薬物乱用に対する教育が必要だと思う／記入者の年齢



(2) 風呂場の事故防止

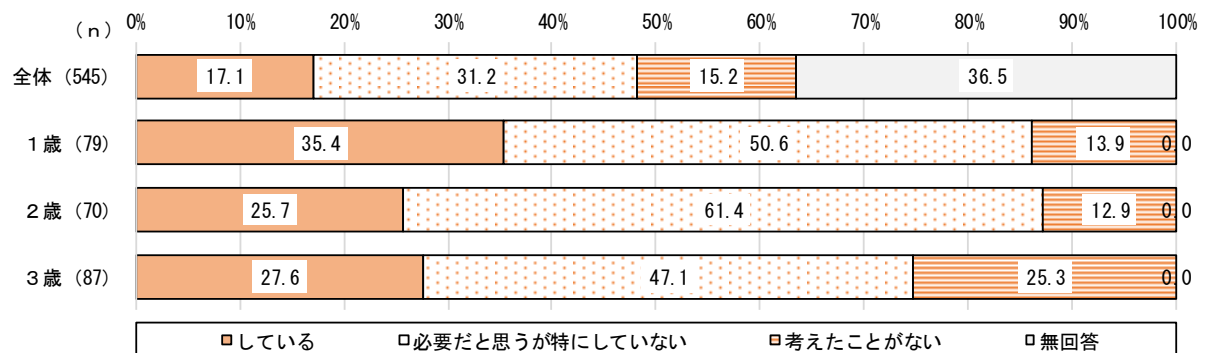
問17 (お子さんが幼児の場合のみ)

あなたの家庭では、風呂場の事故予防のためにお子さんがドアを開けられないようにロックするなどの工夫をしていますか。(〇は1つだけ)

風呂場での事故防止のための工夫は、「必要だと思うが特にしていない」が31.2%、「している」が17.1%となっています。

子どもの年齢別にみると、＜1歳＞と＜2歳＞の半数以上が「必要だと思うが特にしていない」となっている一方で、＜1歳＞は「している」が35.4%となっています。＜3歳＞は「考えたことがない」が25.3%と最も高くなっています。

風呂場での事故防止のための工夫／幼児



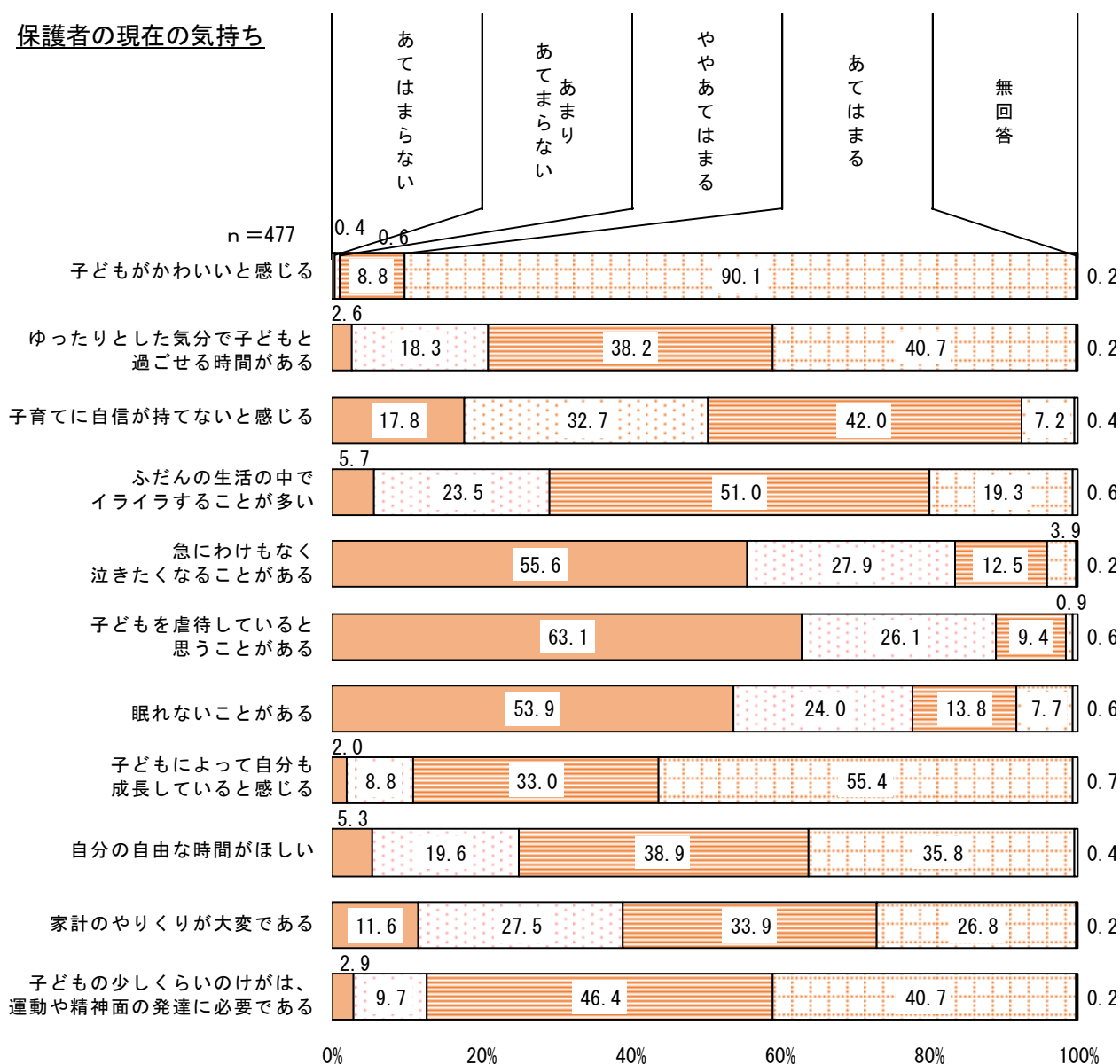
第2章 調査結果の詳細

(3) 保護者の気持ち

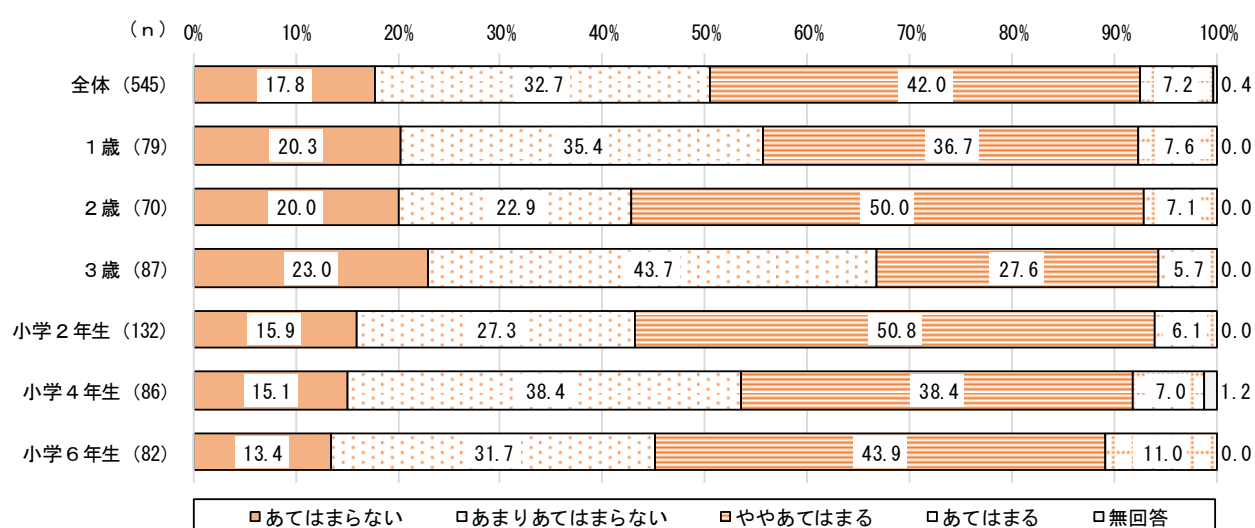
問18 今のあなたの気持ちにもっとも近い番号を選んでください。(それぞれについて、当てはまる番号1つだけに○)

保護者の現在の気持ちは、＜子育てに自信が持てないと感じる＞は「ややあてはまる」と「あてはまる」の合計は約半数となっています。＜ふだんの生活の中でイライラすることが多い＞は「ややあてはまる」が51.0%と最も高くなっています。＜急にわけもなく泣きたくることがある＞と＜子どもを虐待していると思うことがある＞、＜眠れないことがある＞は、「あてはまらない」が半数以上となっています。

保護者の現在の気持ち



子育てに自信が持てないと感じる／子どもの年齢（学年）



第2章 調査結果の詳細

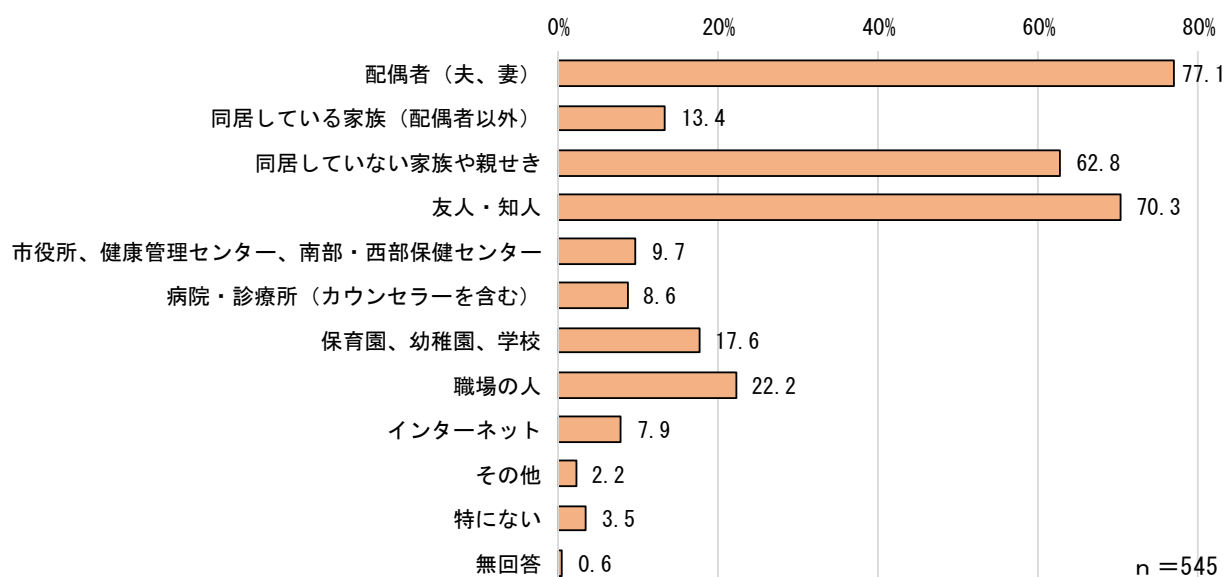
(4) 育児等の悩みの相談先

問19 上記のような、あなた自身や育児の悩みについて、誰に（どこに）相談していますか。（○はいくつでも）

育児等の悩みについての相談先は、「配偶者（夫、妻）」が77.1%と最も高く、次いで「友人・知人」が70.3%、「同居していない家族や親せき」が62.8%となっています。

子どもの年齢（学年）別にみると、＜小学6年生＞の約3割が「職場の人」となっています。＜1歳＞と＜2歳＞、＜3歳＞は「保育園、幼稚園、学校」が2割～3割、「市役所、健康管理センター、南部・西部保健センター」は1割～2割となっています。

育児等の悩みについての相談先／子どもの年齢（学年）



(n)	配偶者（夫、妻）	同居している家族（配偶者以外）	同居していない家族や親せき	友人・知人	市役所、健康管理センター、南部・西部保健センター	病院・診療所（カウンセラーを含む）	保育園、幼稚園、学校	職場の人	インターネット	その他	特にない	無回答
全体（545）	77.1	13.4	62.6	70.3	9.7	8.6	17.6	22.2	7.9	2.2	3.5	0.6
1歳（79）	89.9	13.9	64.6	68.4	19.0	7.6	25.3	19.0	6.3	6.3	0.0	0.0
2歳（70）	84.3	7.1	82.9	71.4	12.9	10.0	21.4	15.7	12.9	5.7	2.9	0.0
3歳（87）	82.8	16.1	66.7	60.9	17.2	11.5	33.3	19.5	11.5	2.3	4.6	0.0
小学2年生（132）	72.7	15.2	59.1	72.7	4.5	7.6	8.3	22.0	6.1	0.8	3.8	1.5
小学4年生（86）	74.4	15.1	62.8	66.3	3.5	8.1	8.1	24.4	3.5	0.0	4.7	0.0
小学6年生（82）	63.4	12.2	43.9	80.5	4.9	6.1	14.6	32.9	8.5	0.0	4.9	0.0

(%)

（５）父親の育児参加

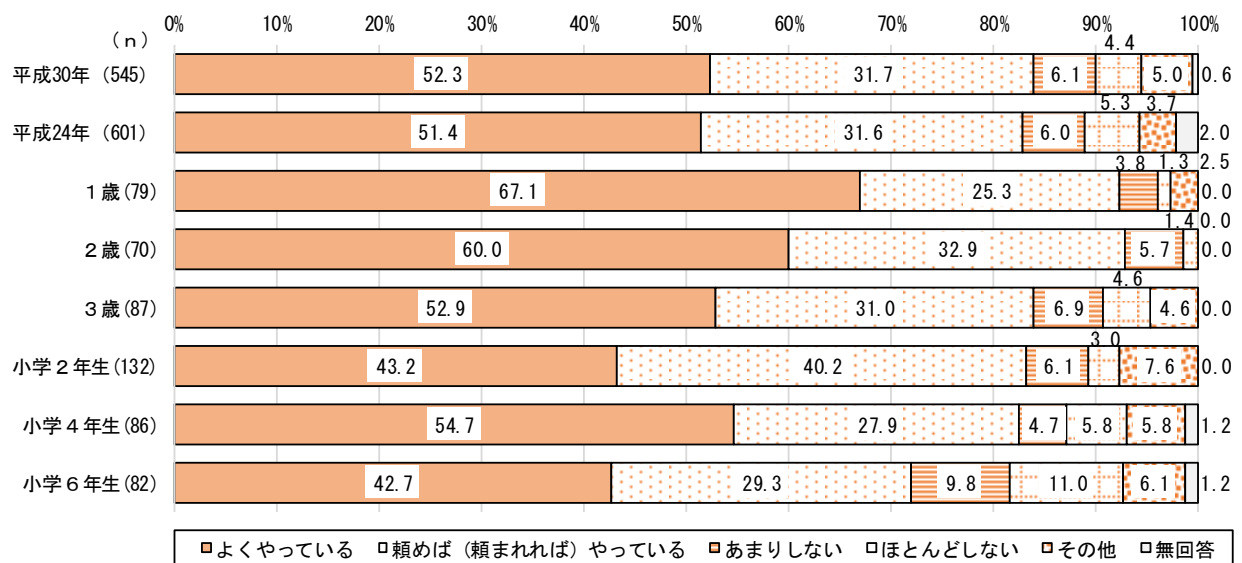
問20 父親は、育児に参加していますか。（○は1つだけ）

父親の育児参加は、「よくやっている」が52.3%、「頼めば（頼まれれば）やっている」が31.7%となっています。

平成24年調査結果とほとんど変化はありませんでした。

子どもの年齢（学年）別にみると、＜1歳＞と＜2歳＞では、「よくやっている」が6割以上と他の年齢より高くなっています。

父親の育児参加／前回、子どもの年齢（学年）



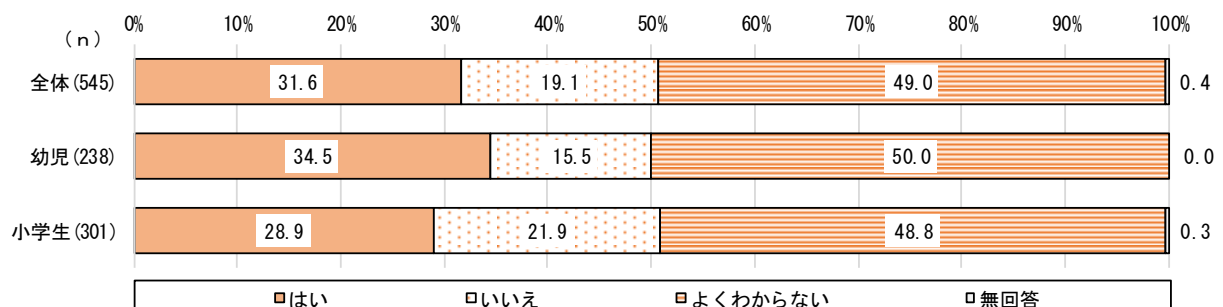
（６）家庭での性に関する話

問21 あなたの家庭は、性に関することがらについてオープンに話せる家だと思いますか。（○は1つだけ）

性に関してオープンに話せる家庭かは、「よくわからない」が49.0%、「はい」が31.6%となっています。

幼児・小学生別にみると、＜幼児＞は「はい」が34.5%と、＜小学生＞の28.9%より高くなっています。

性に関してオープンに話せる家庭か／幼児・小学生



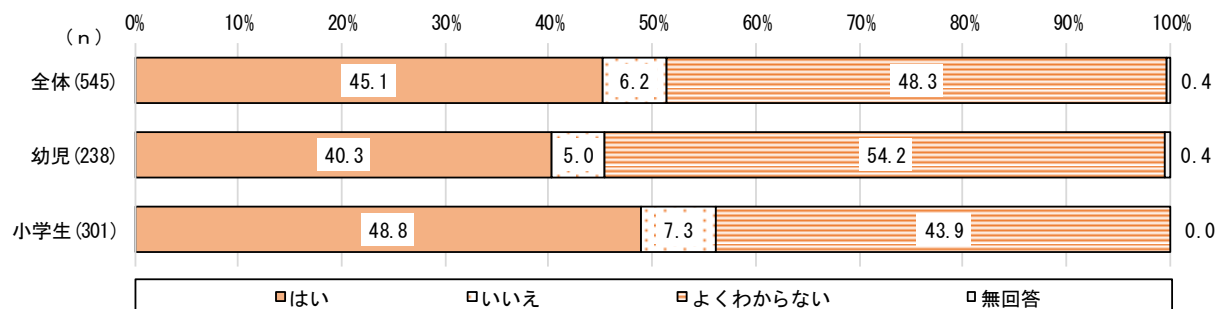
第2章 調査結果の詳細

問22 あなたは、お子さんから性に関する悩みの相談や質問を受けたときにきちんと答えることができますか。(〇は1つだけ)

子どもからの性の悩みや相談を受けたときにきちんと答えられるかは、「よくわからない」は48.3%、「はい」は45.1%となっています。

幼児・小学生別にみると、＜幼児＞は「はい」が40.3%と低く、「よくわからない」が54.2%と高くなっています。＜小学生＞は、「いいえ」が7.3%となっています。

子どもからの性の悩みや相談を受けたときにきちんと答えられるか／幼児・小学生



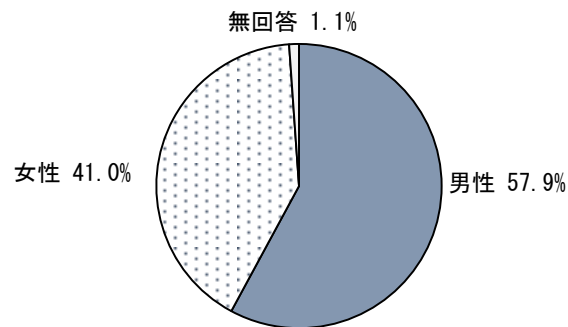
IV 中・高校生調査結果

1. 基本属性

(1) 性別

F 1 あなたの性別は。(○は1つだけ)

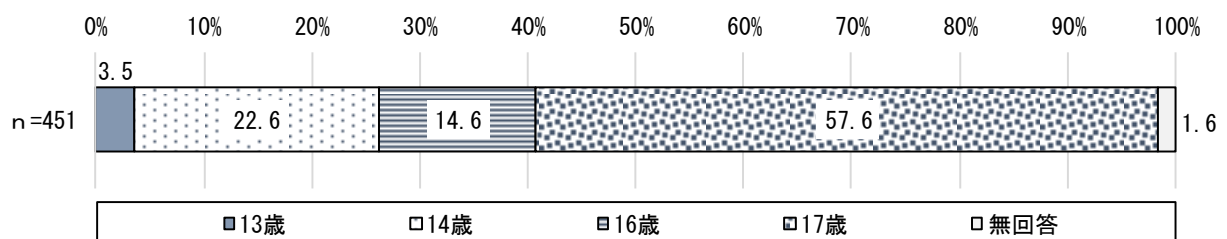
性 別



n = 451

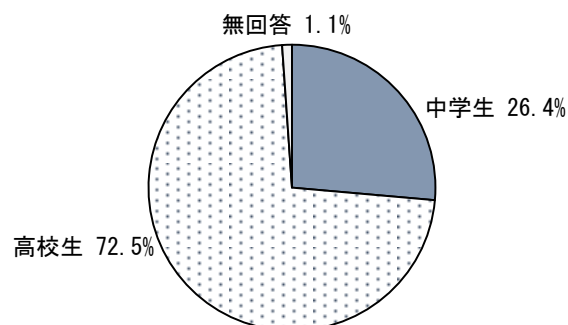
F 2 あなたの年齢は。

年 齢



F 3 あなたの学年は。(○は1つだけ)

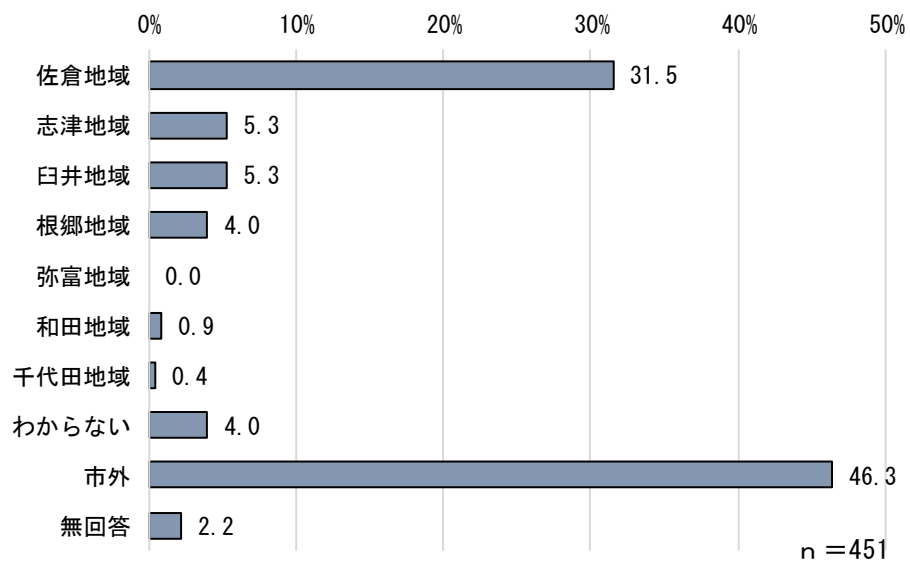
中学生・高校生



n = 451

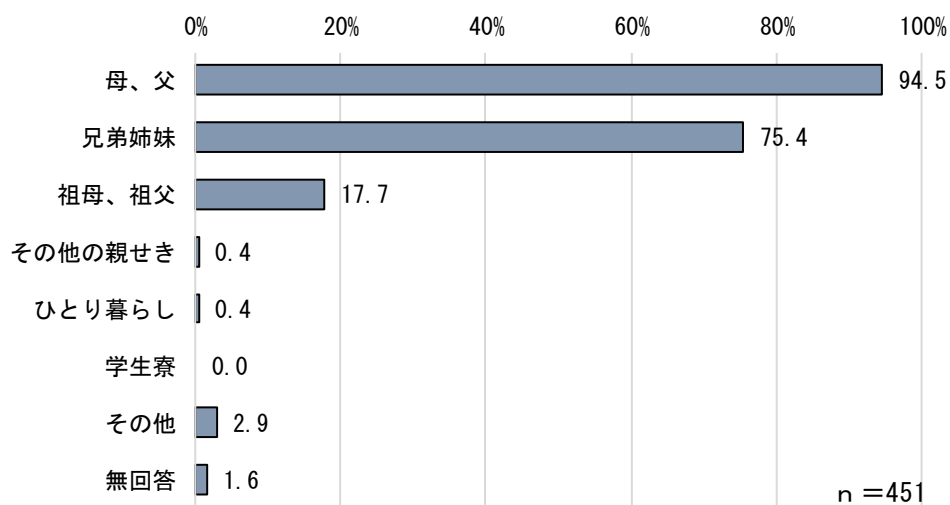
F 4 お住まいの居住地域は。(○は1つだけ)

居住地域



F 5 あなたは現在、誰と暮らしていますか。(○はいくつでも)

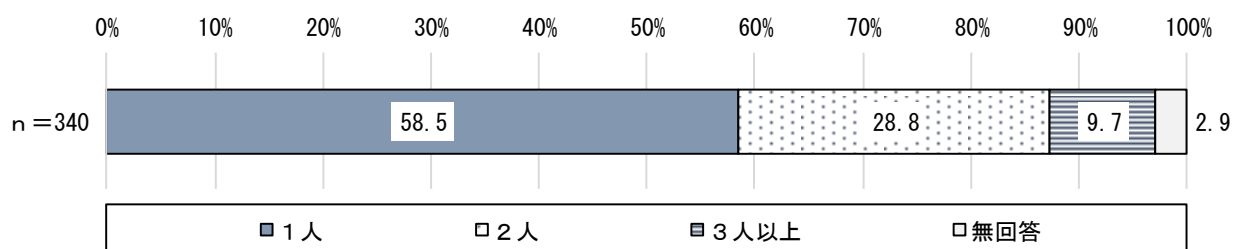
同居者



F 5 - 1 (F 5で「兄弟姉妹」と回答した人のみ)

あなたには、兄弟姉妹が何人いますか (あなた自身を除く)。(○は1つだけ)

きょうだいの人数



2. 健康についての考え方

(1) 主観的健康観・充実度

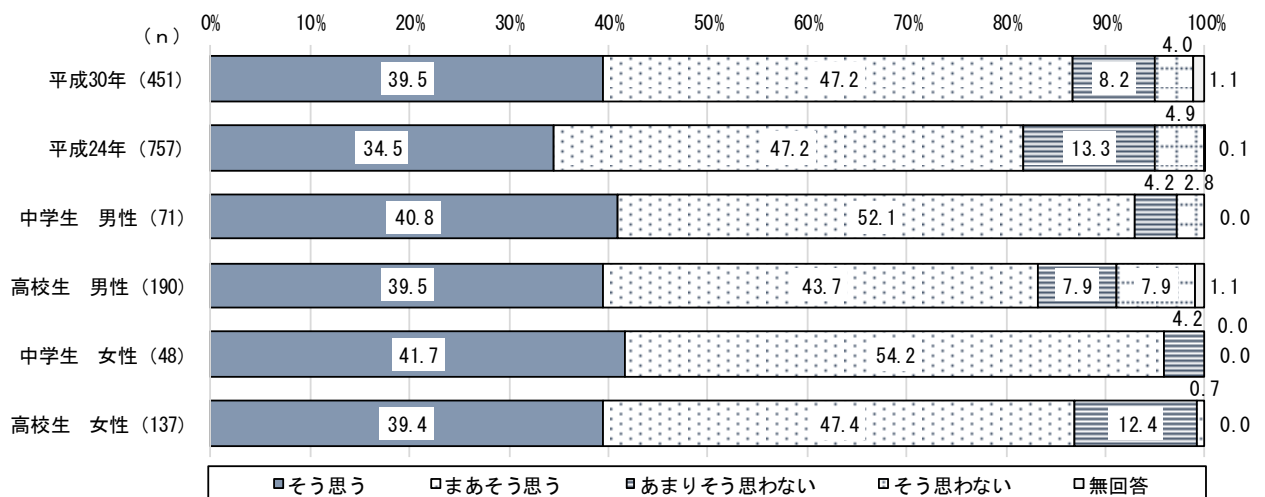
問1 あなたは、毎日を健やかに充実して暮らせていると思いますか。(○は1つだけ)

毎日を穏やかに充実して暮らせているかは、「まあそう思う」は47.2%、「そう思う」は39.5%となっています。

平成24年調査結果と比較すると、「そう思う」は5ポイント増加、「あまりそう思わない」は5.1ポイント減少しています。

中・高校生・性別にみると、「そう思う」に大きな差はありませんが、＜中学生 男性＞と＜中学生 女性＞は「まあそう思う」が半数以上となっています。＜高校生 女性＞は「まあそう思う」は、47.4%、「あまりそう思わない」は12.4%となっています。

毎日を穏やかに充実して暮らせているか／前回、中・高校生・性別



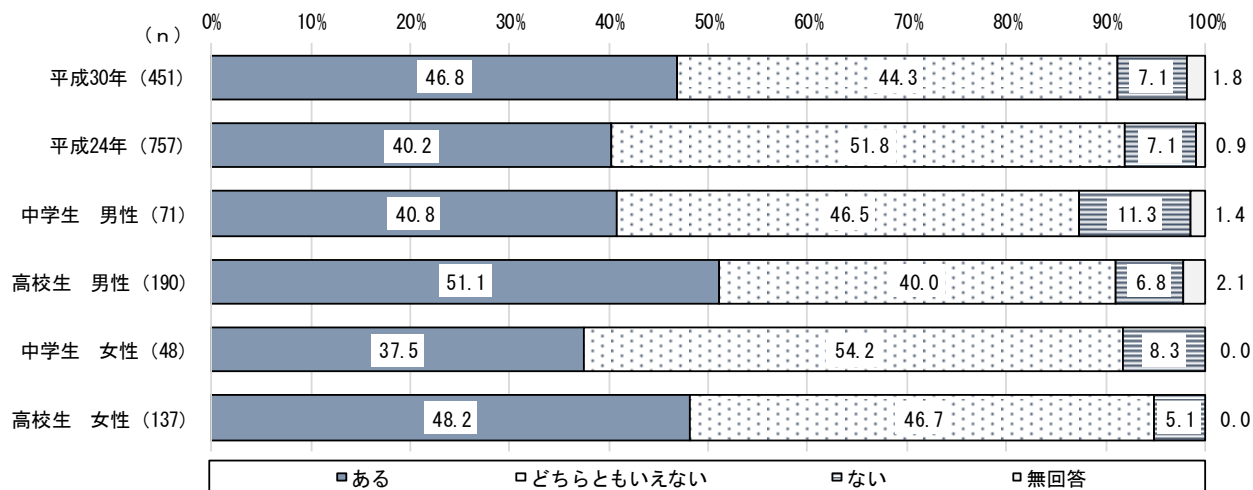
（2）自分の健康への関心

問2 自分の健康に関心がありますか。（○は1つだけ）

自分の健康に関心はあるかは、「ある」は46.8%、「どちらともいえない」は44.3%となっています。
平成24年調査結果と比較すると、「ある」は6.6ポイント増加しています。

中・高校生・性別にみると、＜高校生 男性＞は「ある」は51.1%と全体で最も高くなっています。
＜中学生 男性＞は、「ない」が11.3%となっています。

自分の健康に関心はあるか／前回、中・高校生・性別



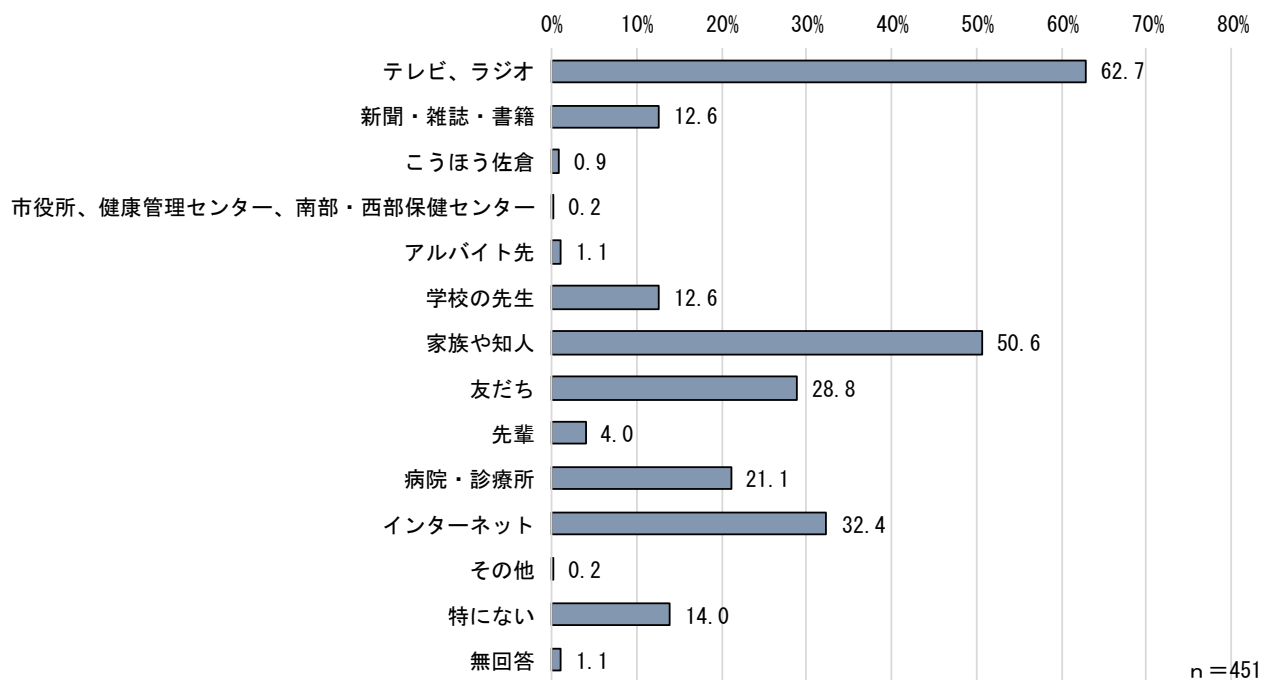
(3) 健康に関する情報源や相談先

問3 ふだん、どこ（だれ）に、健康に関する情報を聞いたり、相談をしたりしていますか。（○はいいくつでも）

健康に関する情報源・相談先は、「テレビ・ラジオ」は62.7%と最も高く、次いで「家族や知人」は50.6%、「インターネット」が32.4%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞と＜中学生 女性＞は、「テレビ、ラジオ」が7割以上となっています。＜中学生 女性＞と＜高校生 女性＞は、「家族や知人」が6割と超えています。

健康に関する情報源・相談先／中・高校生・性別



(n)	テレビ、ラジオ	新聞・雑誌・書籍	こうほう佐倉	市役所、健康管理センター、南部・西部保健センター	アルバイト先	学校の先生	家族や知人	友だち	先輩	病院・診療所	インターネット	その他	特にない	無回答
全体 (451)	62.7	12.6	0.9	0.2	1.1	12.6	50.6	28.8	4.0	21.1	32.4	0.2	14.0	1.1
男性 中学生 (71)	74.6	22.5	1.4	0.0	0.0	18.3	46.5	33.8	5.6	23.9	31.0	1.4	9.9	0.0
高校生 (190)	56.8	7.4	0.5	0.5	0.5	8.4	41.6	22.1	3.2	15.3	32.1	0.0	20.5	0.5
女性 中学生 (48)	70.8	25.0	4.2	0.0	0.0	31.3	64.6	45.8	8.3	50.0	27.1	0.0	8.3	0.0
高校生 (137)	63.5	10.9	0.0	0.0	2.9	9.5	61.3	30.7	2.9	17.5	36.5	0.0	9.5	0.7

(%)

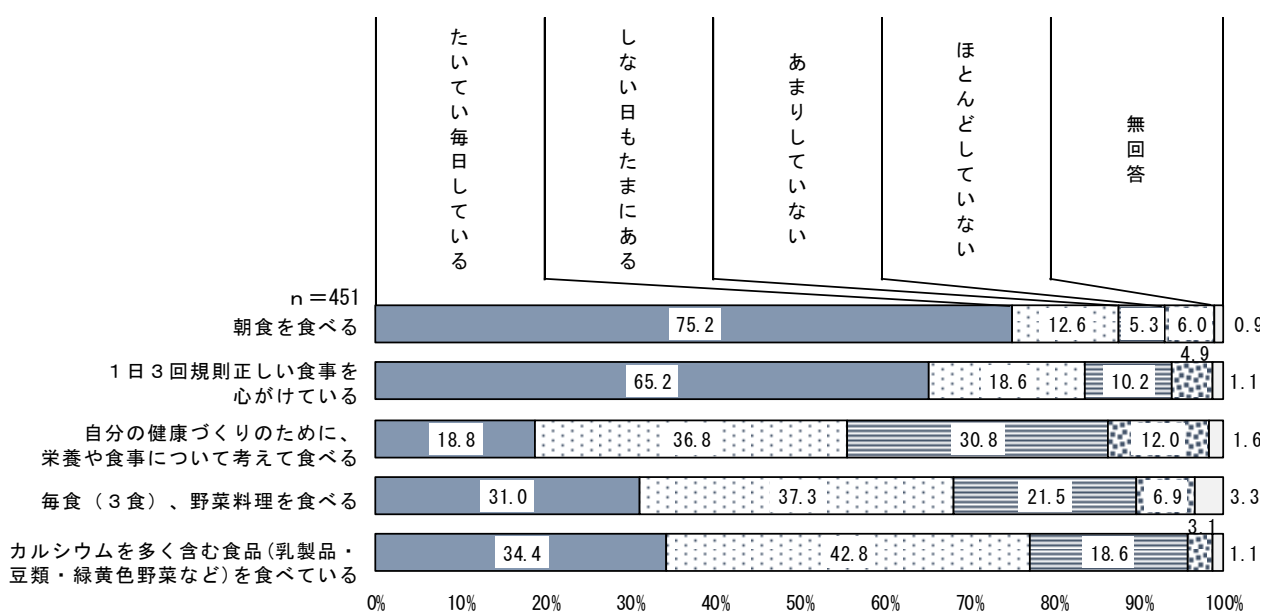
3. 栄養・食生活

(1) 食生活

問4 あなたはふだん、次のそれぞれのことをどのくらいしていますか。(それぞれについて、当てはまる番号1つだけに○)

食生活に関するふだんのところがけは、「たいてい毎日している」の高い順にみると、＜朝食を食べる＞が75.2%で最も高く、以下、＜1日3回規則正しい食事を心がけている＞が65.2%、＜カルシウムを多く含む食品を食べている＞が34.4%、＜毎食（3食）、野菜料理を食べる＞が31.0%となっています。

食生活に関するふだんのところがけ

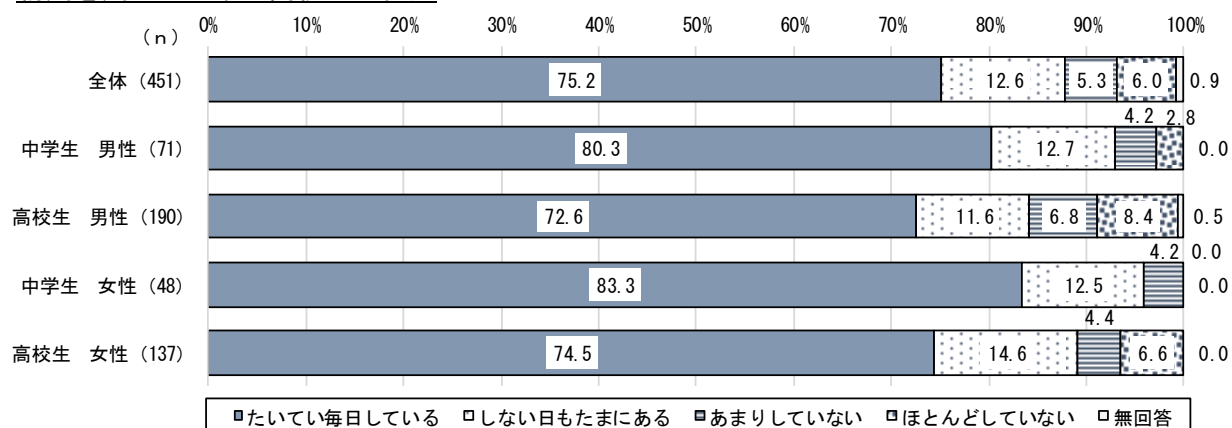


朝食を食べる

朝食を食べるは、「たいてい毎日している」が75.2%と最も高く、次いで「しない日もたまにある」が12.6%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞と＜中学生 女性＞は「たいてい毎日している」が8割以上となっています。＜高校生 男性＞は「ほとんどしていない」が8.4%となっています。

朝食を食べる／中・高校生・性別

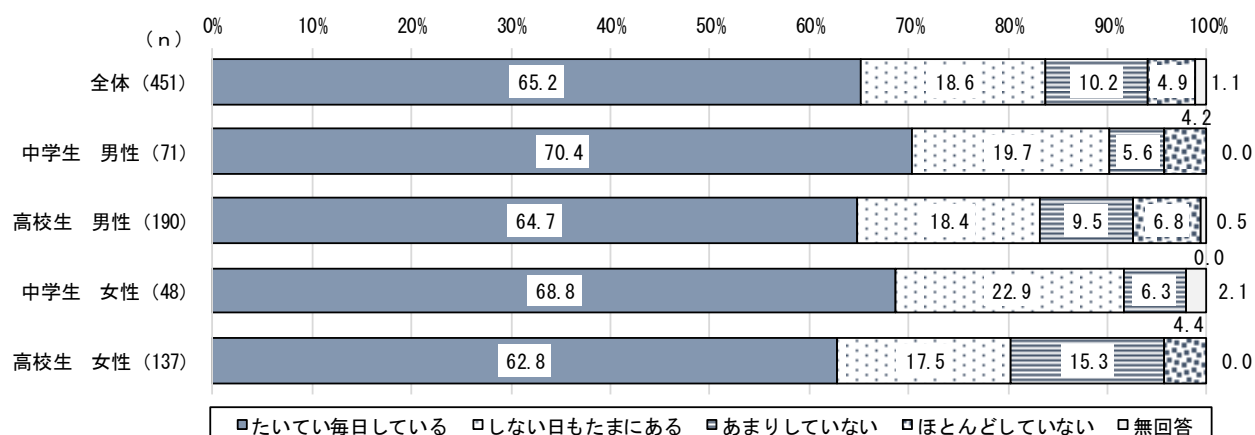


1日3回規則正しい食事を心がけている

1日3回規則正しい食事を心がけているは、「たいてい毎日している」が65.2%と最も高く、次いで「しない日もたまにある」が18.6%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞と＜中学生 女性＞は「たいてい毎日している」が約7割となっています。＜高校生 男性＞は「ほとんどしていない」が6.8%、＜高校生 女性＞が「あまりしていない」が15.3%となっています。

1日3回規則正しい食事を心がけている／中・高校生・性別

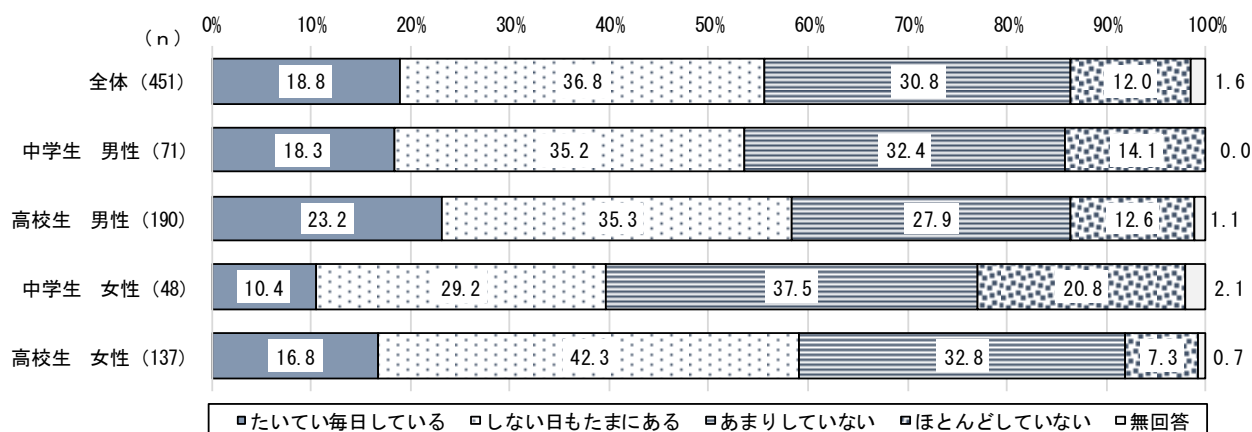


自分の健康づくりのために、栄養や食事について考えて食べる

自分の健康づくりのために、栄養や食事について考えて食べるは、「しない日もたまにある」が36.8%と最も高く、次いで「あまりしていない」が30.8%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 女性＞は「あまりしていない」が37.5%、「ほとんどしていない」は20.8%と、全体で最も高くなっています。＜高校生 男性＞は、「たいてい毎日している」が23.2%と高くなっています。

自分の健康づくりのために、栄養や食事について考えて食べる／中・高校生・性別

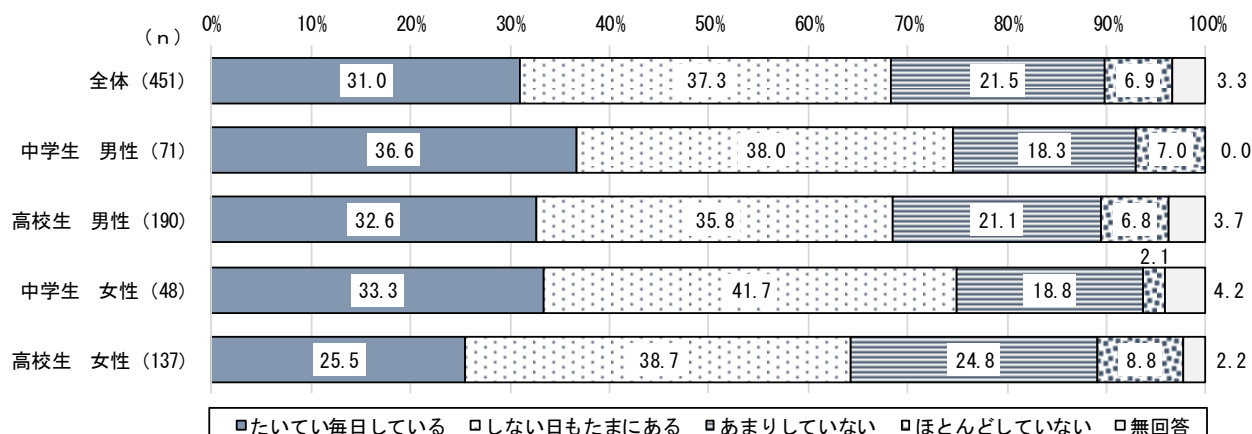


毎食（3食）、野菜料理を食べる

毎食（3食）、野菜料理を食べるは、「しない日もたまにある」が37.3%と最も高く、次いで「たいてい毎日している」が31.0%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞と＜高校生 男性＞、＜中学生 女性＞は、「たいてい毎日している」が3割以上となっています。＜高校生 女性＞は「ほとんどしていない」は8.8%と全体で最も高くなっています。

毎食（3食）、野菜料理を食べる／中・高校生・性別

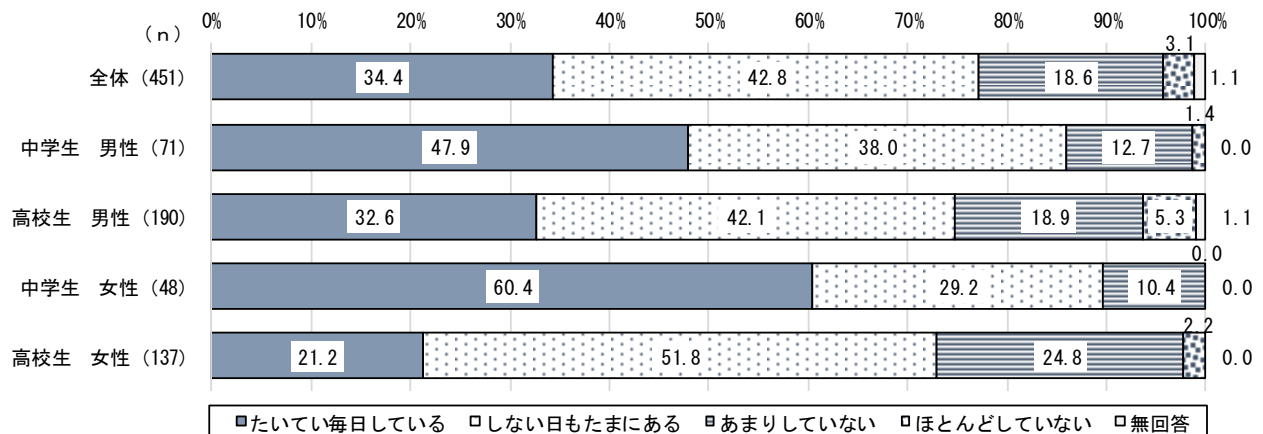


カルシウムを多く含む食品(乳製品・豆類・緑黄色野菜など)を食べている

カルシウムを多く含む食品(乳製品・豆類・緑黄色野菜など)を食べているは、「しない日もたまにある」が42.8%と最も高く、次いで「たいてい毎日している」が34.4%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 女性＞は「たいてい毎日している」が60.4%となっています。＜高校生 女性＞が「しない日もたまにある」が51.8%、「あまりしていない」は24.8%となっています。

カルシウムを多く含む食品(乳製品・豆類・緑黄色野菜など)を食べている／中・高校生・性別



(2) 自分の体型についての認識

問5 自分の体型についてどう思いますか。(〇は1つだけ)

自分の体型についての認識は、「ふつう」が57.6%と最も高く、次いで「ふとりぎみ」が26.4%となっています。

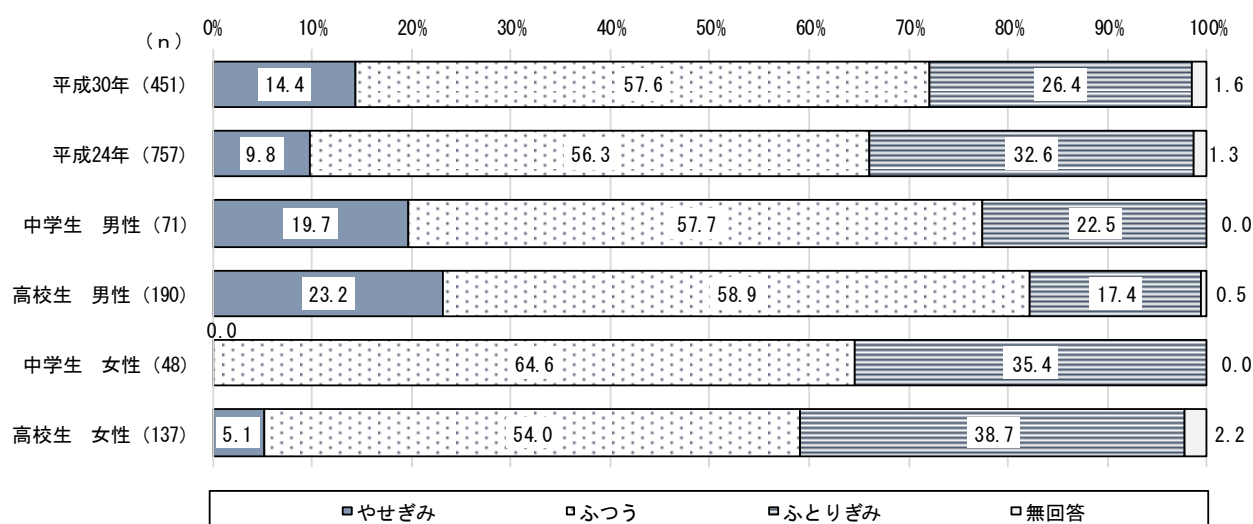
平成24年調査結果と比較すると、「やせぎみ」が4.6ポイント増加、「ふつう」が1.3ポイント増加、「ふとりぎみ」が6.2ポイント減少しています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 女性＞は「やせぎみ」が0.0%、「ふとりぎみ」が35.4%、＜高校生 女性＞は「やせぎみ」が5.1%、「ふとりぎみ」が38.7%となっています。

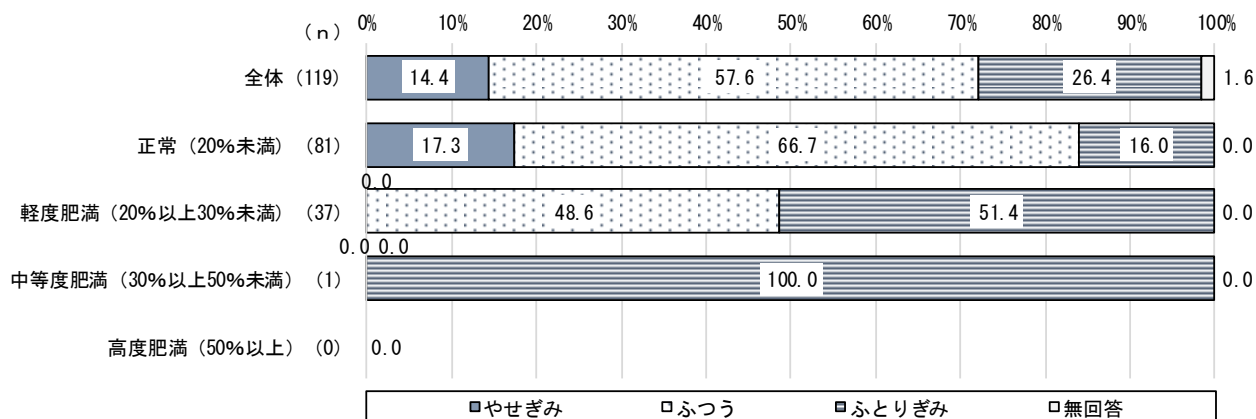
肥満度（中学生）でみると、＜正常＞の中にも「ふとりぎみ」と感じる生徒は16.0%となっています。

BMI（高校生）でみると、＜普通体重＞の中にも「ふとりぎみ」と感じる生徒は24.7%となっています。

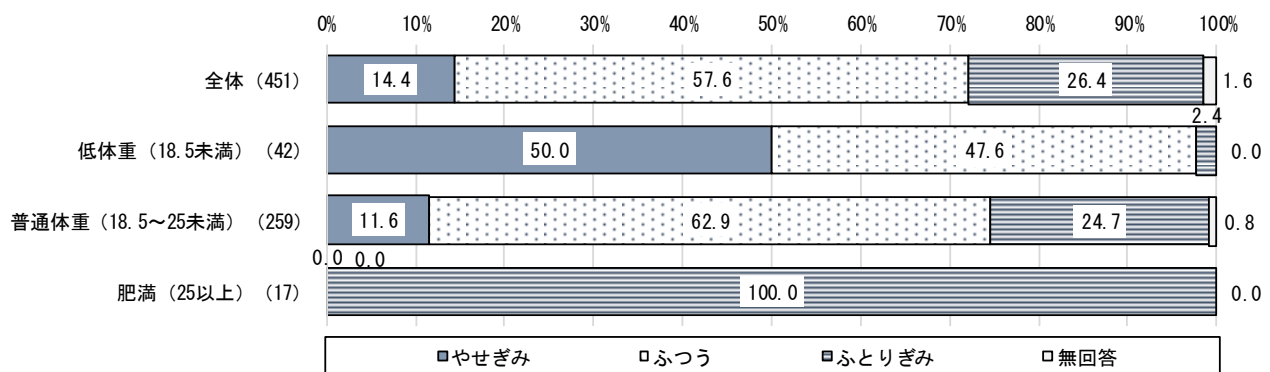
自分の体型についての認識／前回、中・高校生・性別



自分の体型についての認識／肥満度（中学生）



自分の体型についての認識／BMI（高校生）



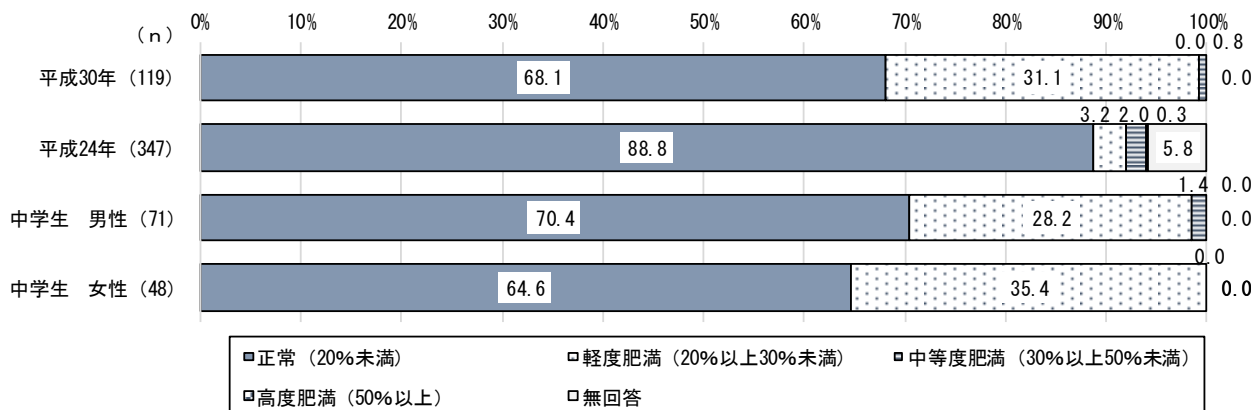
問6 あなたのおよその身長、体重を整数で教えてください。（小数点以下は四捨五入してください）

身長と体重から、中学生については肥満度、高校生についてはBMI値を算出しました。

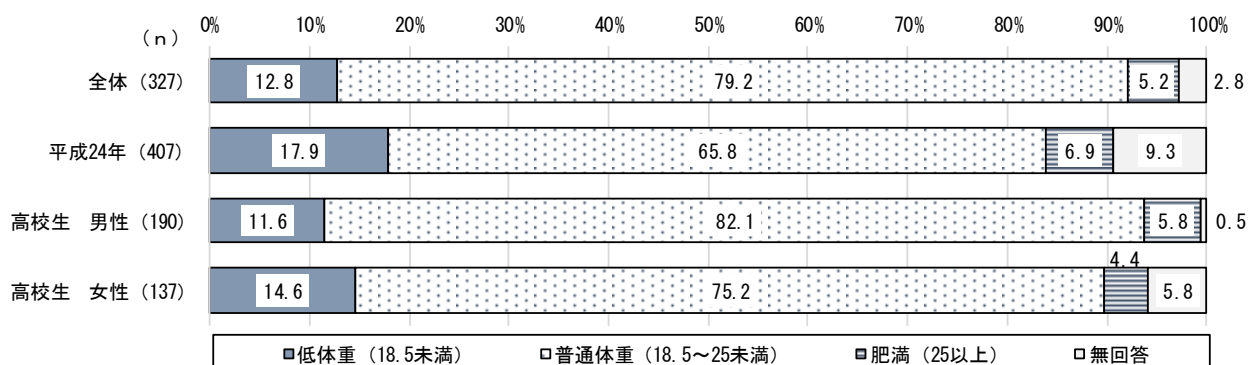
肥満度（中学生）は、「正常」は68.1%と最も高く、次いで「軽度肥満」が31.1%となっています。BMI（高校生）は、「普通体重」が79.2%、「低体重」は12.8%となっています。

平成24年調査結果と比較すると、肥満度（中学生）は「正常」は20.7ポイント減少、「軽度肥満」は27.9ポイント増加となっています。BMI（高校生）は、「低体重」が5.1ポイント減少、「正常」が13.4ポイント増加となっています。

肥満度（中学生）／前回、性別



BMI（高校生）／前回、性別



4. 身体活動・運動

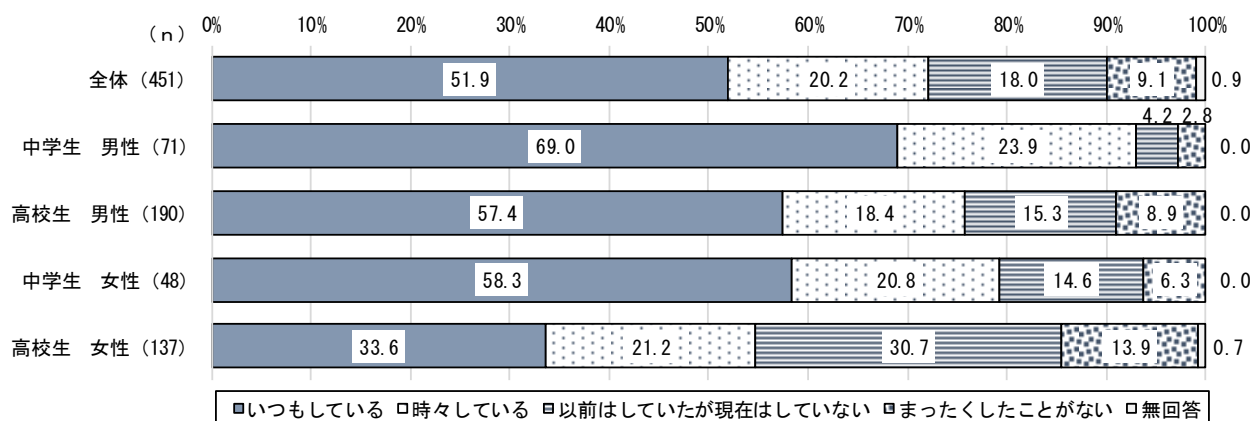
(1) 日頃の活動

問7 日頃から、学校の授業以外で、健康の維持・増進のため、意識的に身体を動かすなどの運動（部活動等を含む）をしていますか。（○は1つだけ）

授業以外での身体活動・運動の有無は、「いつもしている」が51.9%と最も高く、次いで「時々している」が20.2%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞は「いつもしている」が69.0%と全体で最も高くなっています。＜高校生 女性＞は、「いつもしている」が33.6%、「まったくしたことがない」は13.9%となっています。

授業以外での身体活動・運動の有無／中・高校生・性別



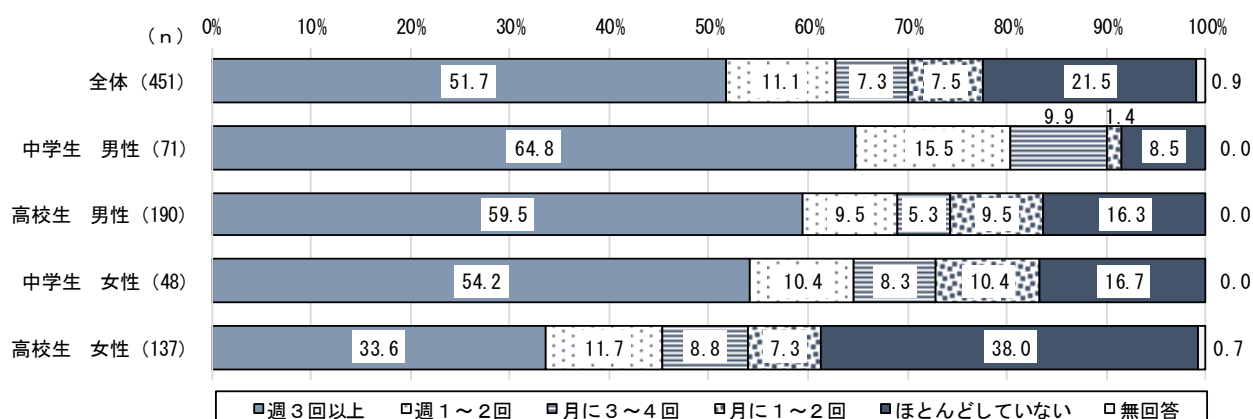
(2) 「息が少しはずむ程度」の運動

問8 学校の授業以外で、「息が少しはずむ程度」の30分以上の運動（部活動等を含む）をどのくらいしていますか。（○は1つだけ）

息が少しはずむ程度の運動量は、「週3回以上」は51.7%と最も高く、次いで「ほとんどしていない」は21.5%、「週1～2回」は11.1%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞と＜高校生 男性＞、＜中学生 女性＞は「週3回以上」が半数以上となっています。＜高校生 女性＞は「ほとんどしていない」は38.0%となっています。

息が少しはずむ程度の運動量／中・高校生・性別



5. 休養・こころの健康づくり

(1) ストレスの状況

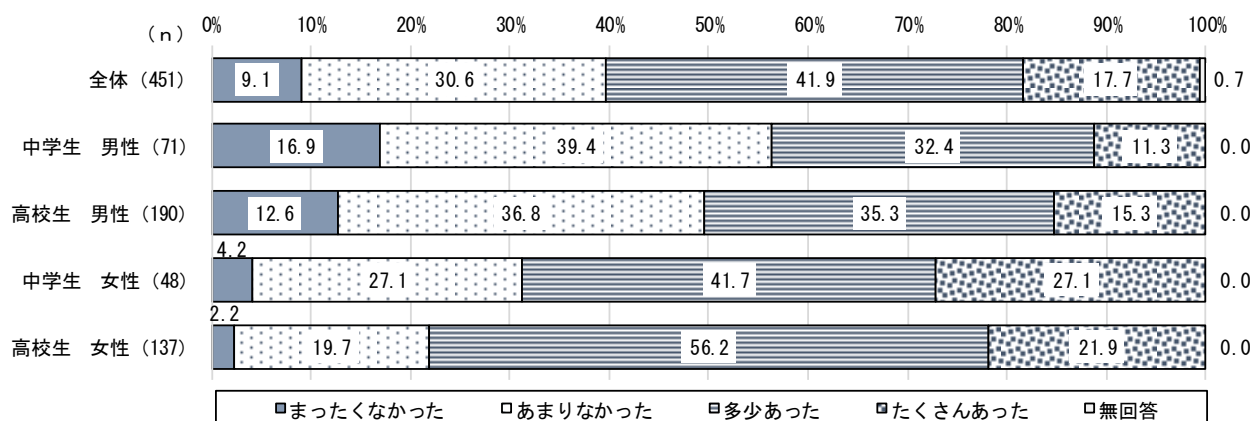
問9 あなたは、この1か月間に、不安、悩み、苦労、ストレスなどがありましたか。(○は1つだけ)

過去1か月間の不安・悩み・苦労・ストレスの有無は、「多少あった」は41.9%と最も高く、次いで「あまりなかった」は30.6%となっています

中・高校生・性別にみると、＜中学生 女性＞と＜高校生 女性＞は「たくさんあった」が2割以上、「多少あった」と合計すると半数以上でストレスがあったとなっています。

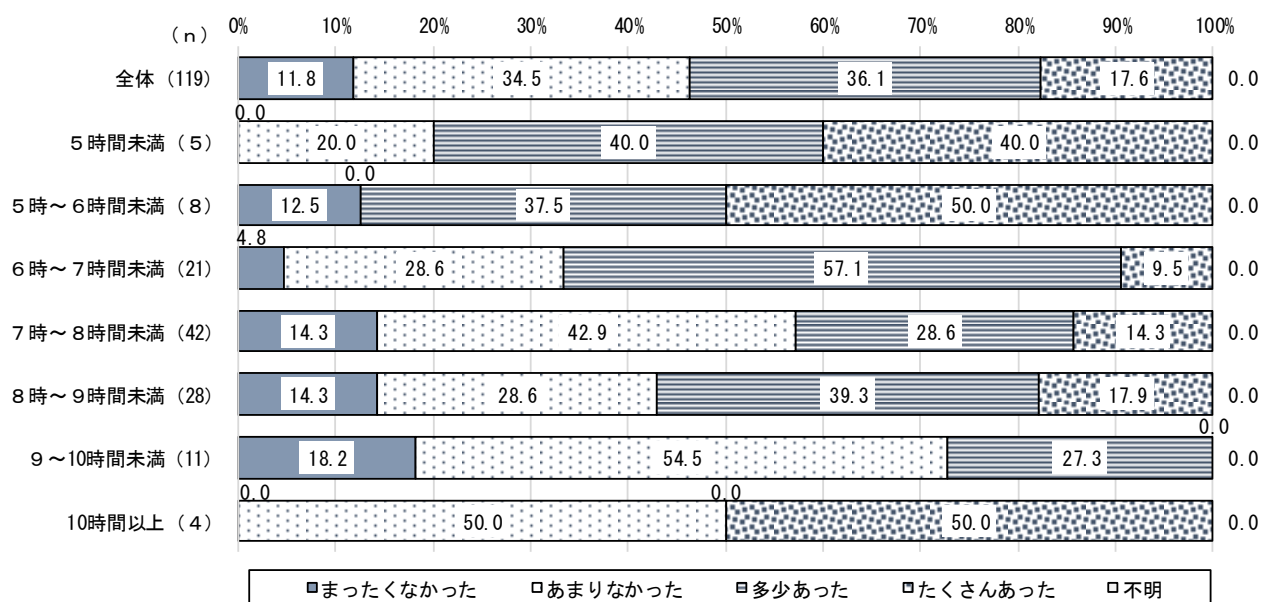
睡眠時間（中学生）別にみると、＜5時間未満＞と＜5時間～6時間未満＞、＜10時間以上＞が「たくさんあった」が4割以上となっています。

過去1か月間の不安・悩み・苦労・ストレスの有無／中・高校生・性別



第2章 調査結果の詳細

過去1か月間の不安・悩み・苦労・ストレスの有無／睡眠時間（中学生）



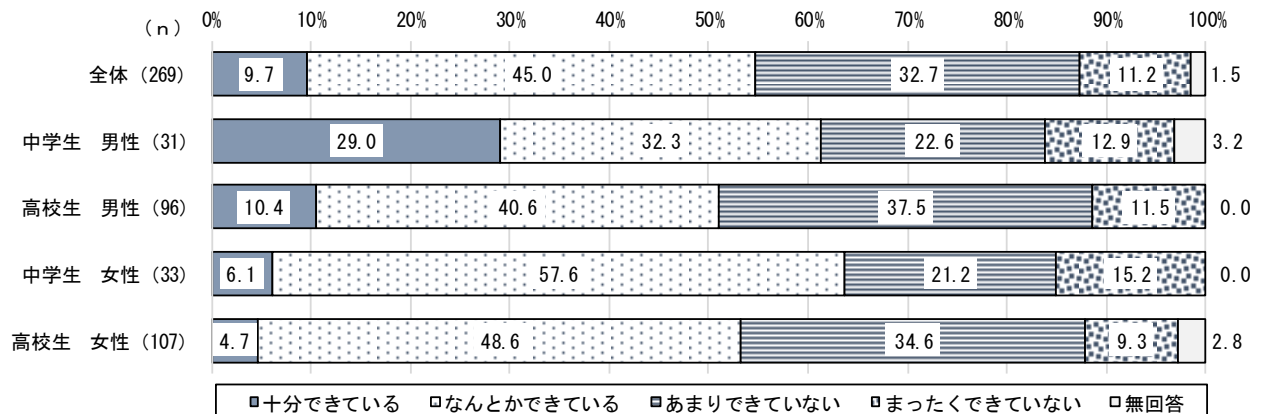
付問9-1 (問9で「多少あった」「たくさんあった」と回答した人のみ)

この1か月間を振り返り、不安、悩み、苦労、ストレスなどを解消できていると思いますか。(〇は1つだけ)

不安・悩み・苦労・ストレスなどの解消は、「なんとかできている」が45.0%と最も高く、次いで「あまりできていない」が32.7%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞は「十分できている」が29.0%となっています。＜高校生 男性＞と＜高校生 女性＞は、「あまりできていない」と「まったくできていない」の合計は、4割以上となっています。

不安・悩み・苦労・ストレスなどの解消／中・高校生・性別



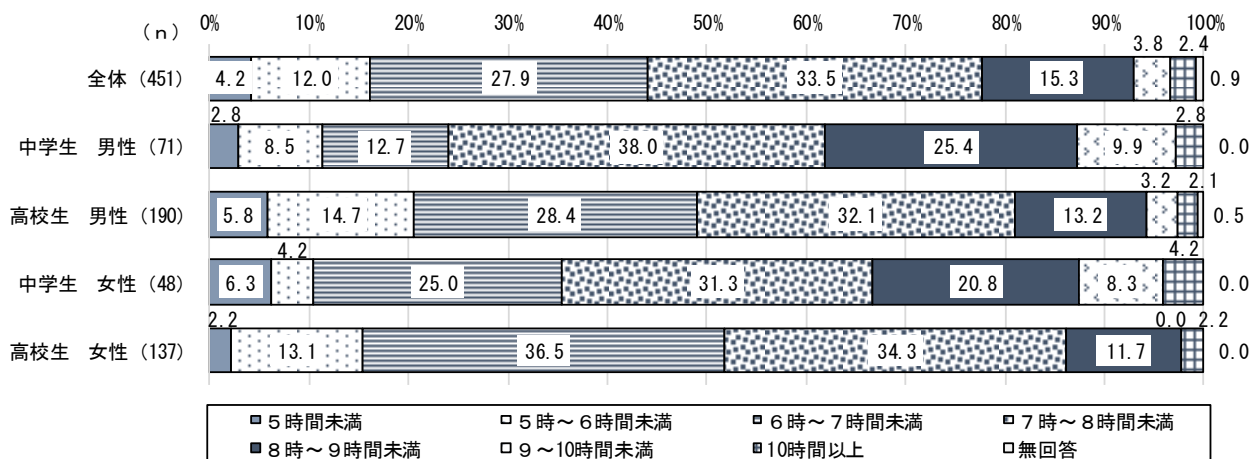
(2) 睡眠時間

問10 あなたの就寝時間と起床時間を24時間表記(例：夜11時なら23時など)でお答えください。

睡眠時間は、「7～8時間未満」が33.5%と最も高く、次いで「6～7時間未満」が27.9%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞と＜中学生 女性＞は、「8～9時間未満」が2割以上となっています。

睡眠時間／中・高校生・性別



(3) 学校に楽しく通っているか

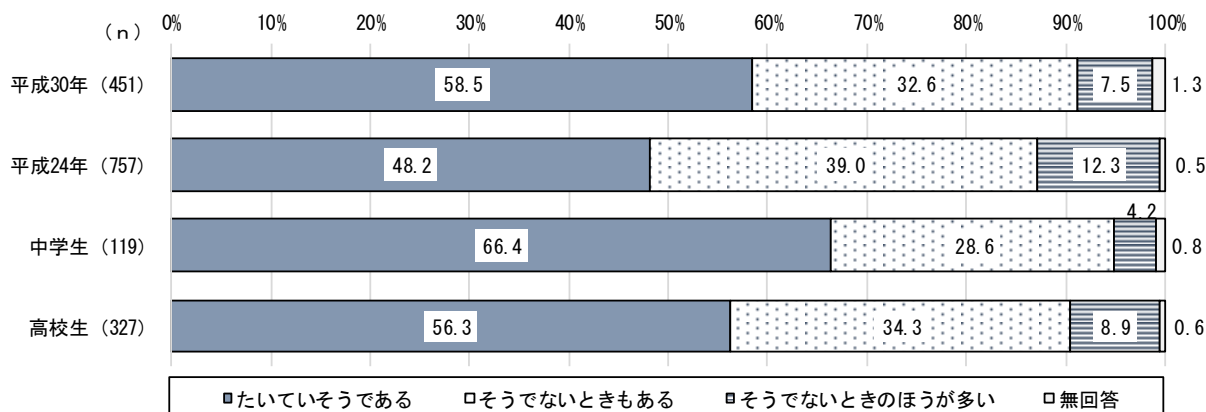
問11 あなたは学校に楽しく通っていますか。(○は1つだけ)

学校に楽しく通っているかは、「たいていそうである」が58.5%、「そうでないときもある」が32.6%となっています。

平成24年調査結果と比較すると、「たいていそうである」が10.3ポイント増加、「そうでもないときもある」は6.4ポイント減少、「そうでないときのほうが多い」は4.8ポイント減少しています。

中・高校生、＜中学生＞は、「たいていそうである」が66.4%、＜高校生＞は、「そうでないときのほうが多い」が8.9%となっています。

学校に楽しく通っているか／前回、中・高校生



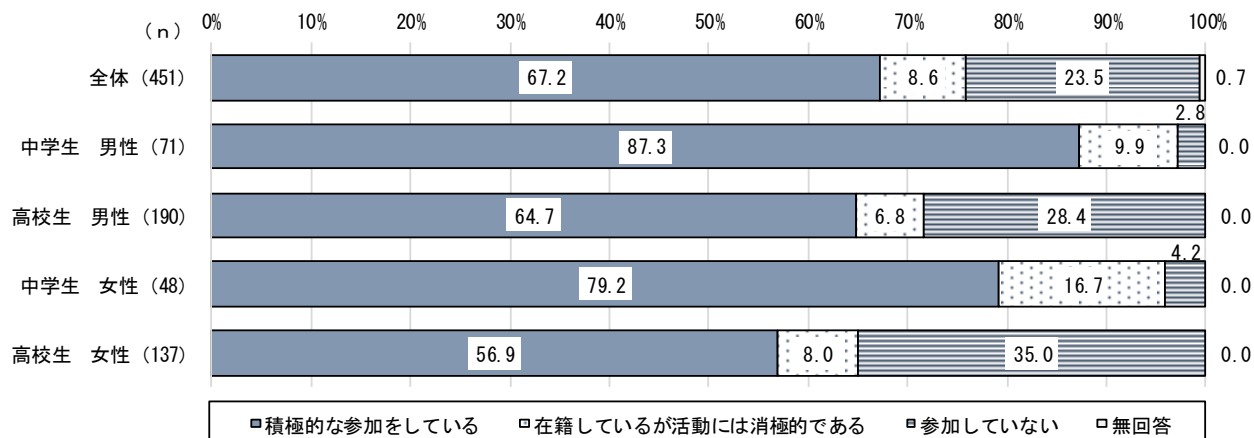
(4) クラブ活動の参加状況

問12 部活動に参加していますか。(○は1つだけ)

クラブ活動の参加状況は、「積極的な参加をしている」が67.2%、「参加していない」は23.5%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞は「積極的な参加をしている」が87.3%となっており、＜高校生 男性＞は「参加していない」が28.4%、＜高校生 女性＞は35.0%となっています。

クラブ活動の参加状況／中・高校生・性別



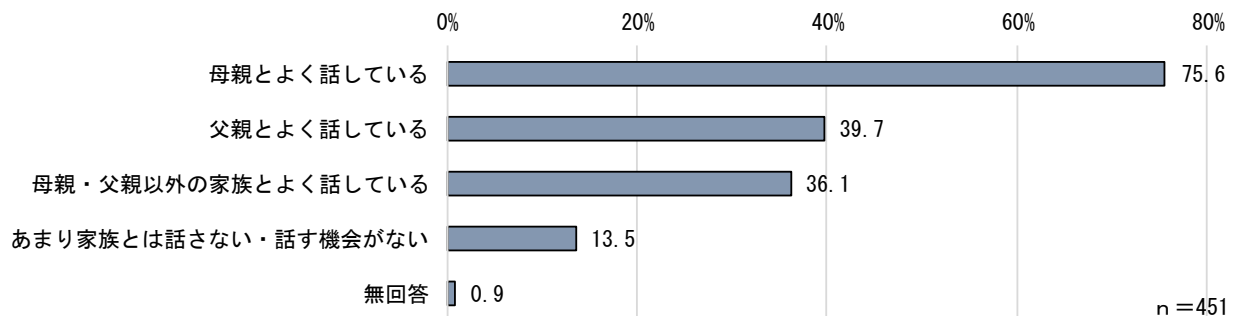
(5) 家族との会話

問13 同居している家族とよく話をしていますか。(〇はいくつでも)

家族との会話は、「母親とよく話している」が75.6%と最も高く、次いで「父親とよく話している」が39.7%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞と＜中学生 女性＞は、「母親・父親以外の家族とよく話している」が約6割となっています。＜高校生 男性＞は「あまり家族とは話さない・話す機会がない」が17.9%、＜高校生 女性＞は「父親とよく話している」が33.6%となっています。

家族との会話／中・高校生・性別



(n)	母親とよく話している	父親とよく話している	母親・父親以外の家族とよく話している	あまり家族とは話さない・話す機会がない	無回答
全体 (451)	75.6	39.7	36.1	13.5	0.9
男性 中学生 (71)	66.2	50.7	57.7	12.7	0.0
高校生 (190)	73.2	39.5	27.4	17.9	0.0
女性 中学生 (48)	83.3	45.8	60.4	12.5	0.0
高校生 (137)	83.2	33.6	29.9	8.8	0.0

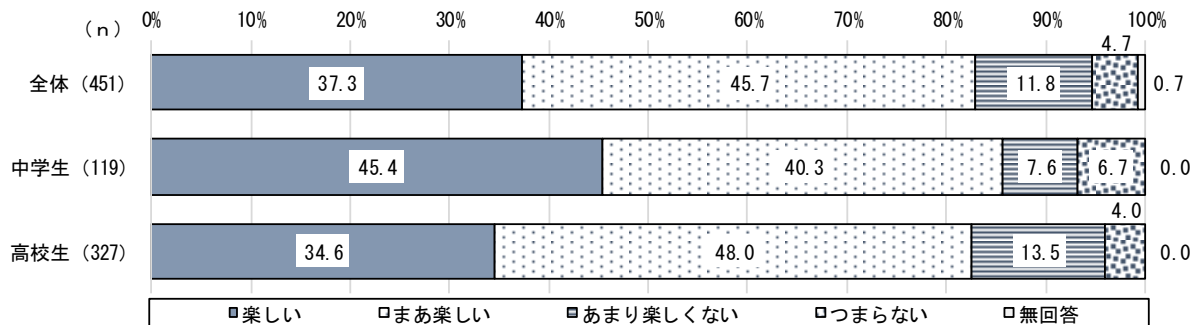
(6) 家族との関係

問14 家庭で家族と過ごすのは楽しいですか。(○は1つだけ)

家庭で家族と過ごすのは楽しいかは、「まあ楽しい」が45.7%と最も高く、次いで「楽しい」が37.3%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生＞は「楽しい」が45.4%となっており、＜高校生＞は「あまり楽しくない」が48.0%、「つまらない」が13.5%となっています。

家庭で家族と過ごすのは楽しいか／中・高校生

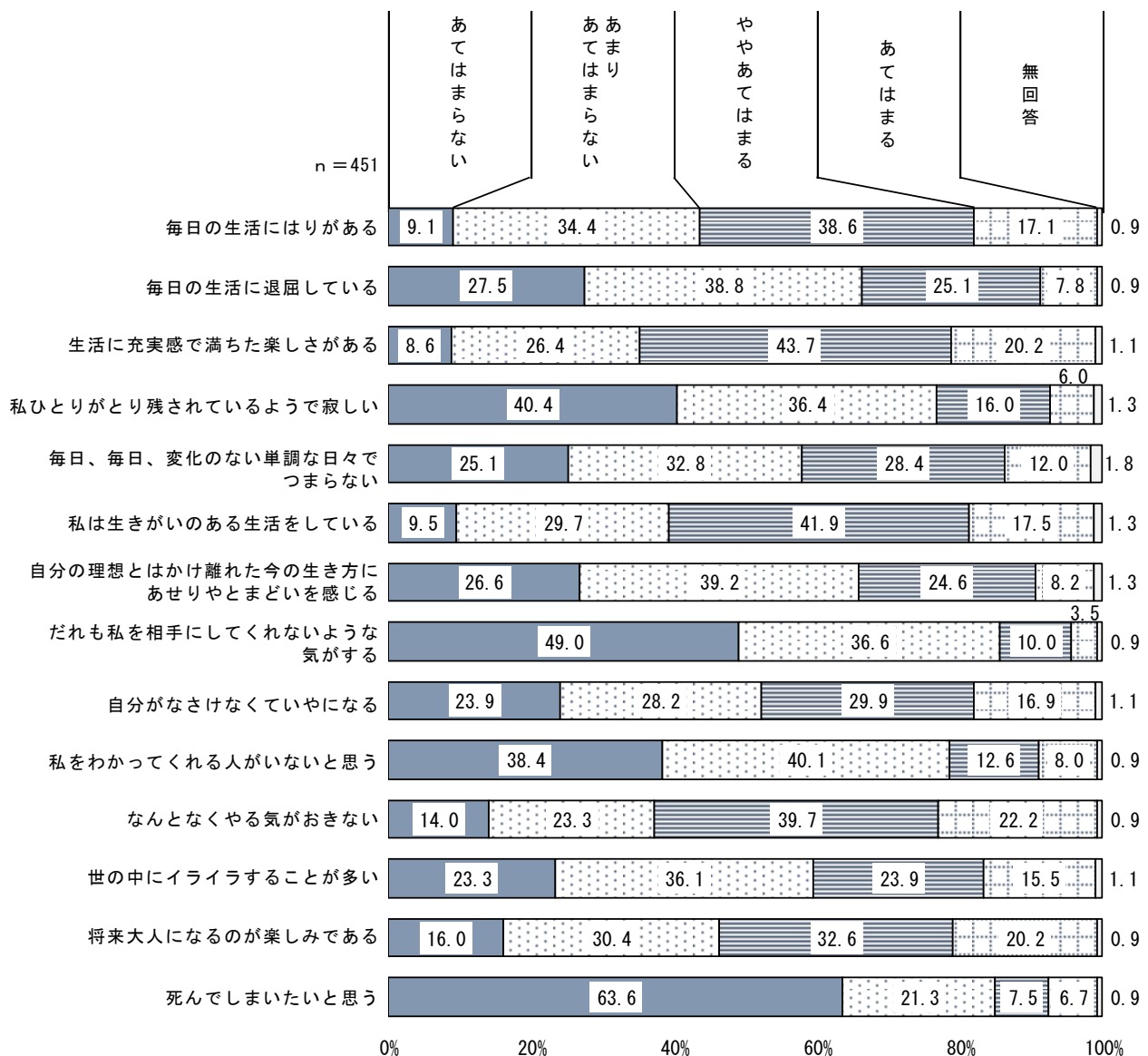


(7) 毎日の生活や気持ち

問15 次の質問について、最もあてはまる選択肢の番号に1つだけ○をつけてください。

毎日の生活や気持ちは、＜私ひとりがとり残されているようで寂しい＞と＜だれも私を相手にしてくれないような気がする＞、＜死んでしまいたいと思う＞は「あてはまらない」が4割以上となっています。＜毎日の生活にはりがある＞と＜生活に充実感で満ちた楽しさがある＞、＜私は生きがいのある生活をしている＞、＜なんとなくやる気がおきない＞が「ややあてはまる」が約4割となっています。

毎日の生活や気持ち



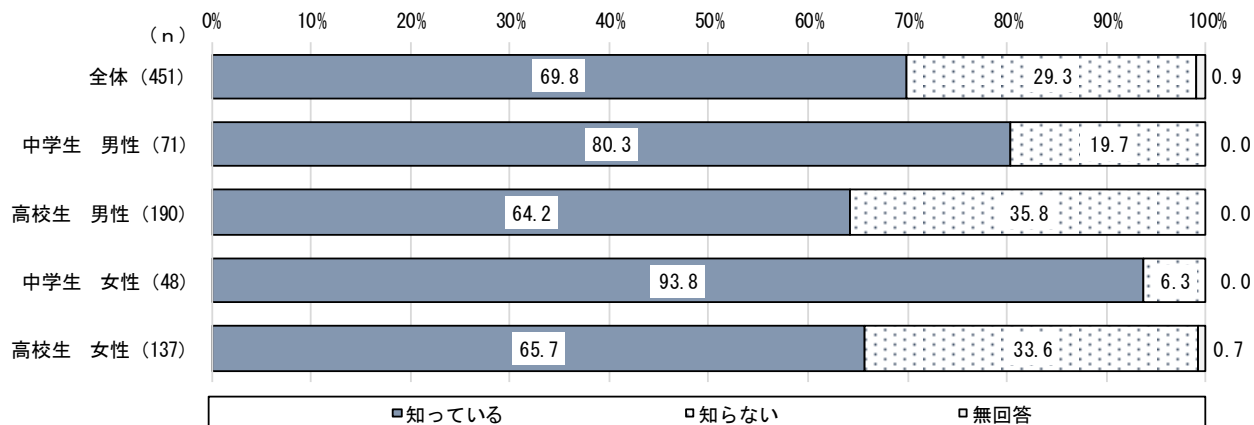
(8) 不安や悩みを感じたときの相談先や相談方法

問16 あなたは不安や悩みを感じたときの相談先や相談方法を知っていますか。(○は1つだけ)

不安や悩みを感じたときの相談先や相談方法の認知度は、「知っている」が69.8%、「知らない」が29.3%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞と＜中学生 女性＞は8割以上となっています。＜高校生 男性＞は「知らない」は35.8%、＜高校生 女性＞は33.6%となっています。

不安や悩みを感じたときの相談先や相談方法の認知度／中・高校生・性別



6. たばこ

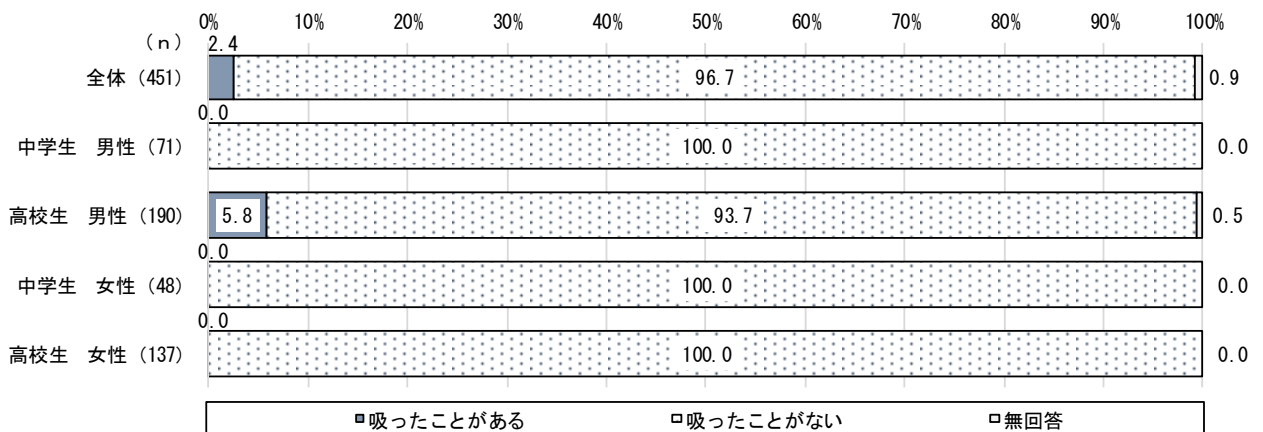
(1) 喫煙状況

問17 あなたはたばこを吸ったことがありますか。(○は1つだけ)

喫煙の有無は、「吸ったことがない」は96.7%、「吸ったことがある」が2.4%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞と＜中学生 女性＞、＜高校生 女性＞は「吸ったことがない」が100.0%となっています。＜高校生 男性＞は「吸ったことがある」が5.8%となっています。

喫煙の有無／中・高校生・性別



(2) 家族の喫煙

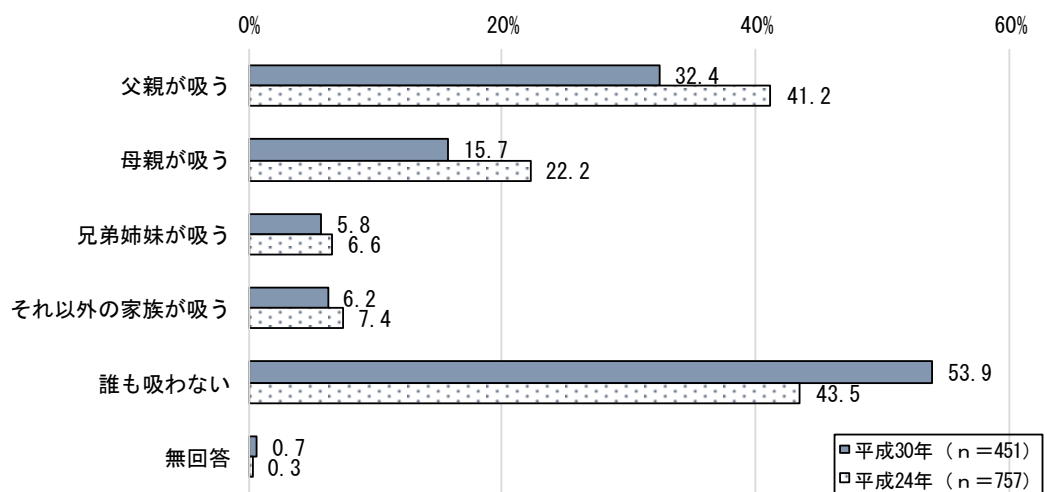
問18 同居家族はたばこを吸いますか。(〇はいくつでも)

同居家族の喫煙状況は、「誰も吸わない」が53.9%と最も高く、次いで「父親が吸う」が32.4%、「母親が吸う」が15.7%となっています。

平成24年調査結果と比較すると、「誰も吸わない」を除く全ての項目が減少しています。「誰も吸わない」は10.4ポイント増加しています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞と＜中学生 女性＞は「父親が吸う」が約4割、＜高校性 男性＞と＜高校性 女性＞は「母親が吸う」が約2割となっています。

同居家族の喫煙状況／前回、中・高校生・性別



	父親が吸う	母親が吸う	兄弟姉妹が吸う	それ以外の家族が吸う	誰も吸わない	無回答
(n)						
全体 (451)	32.4	15.7	5.8	6.2	53.9	0.7
男性 中学生 (71)	40.8	11.3	8.5	7.0	50.7	0.0
高校生 (190)	30.5	17.9	4.2	3.7	55.8	0.0
女性 中学生 (48)	37.5	10.4	2.1	6.3	58.3	0.0
高校生 (137)	29.9	16.8	7.3	9.5	53.3	0.0

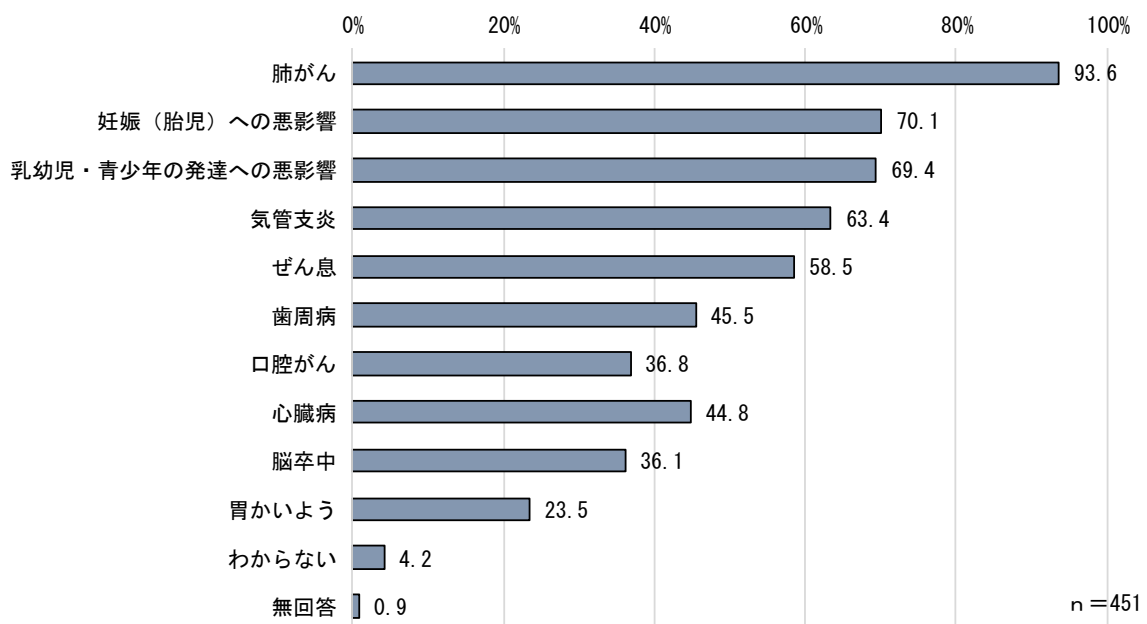
(3) 喫煙と疾病の関係

問19 次の病気のうち、たばこを吸うことでかかりやすくなると、あなたが思う病気を選んでください。(〇はいくつでも)

たばこを吸うことでかかりやすくなると思う病気は、「肺がん」が93.6%と最も高く、次いで「妊娠(胎児)への悪影響」が70.1%、「乳幼児・青少年の発達への悪影響」が69.4%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 女性＞と＜高校生 女性＞は「乳幼児・青少年の発達への悪影響」が7割以上となっています。＜中学生 男性＞と＜中学生 女性＞は、「歯周病」、「心臓病」が半数以上となっています。

たばこを吸うことでかかりやすくなると思う病気／中・高校生・性別



(n)	肺がん	影響 妊娠 (胎児) への悪	乳幼児・青少年の 発達への悪影響	気管 支炎	ぜん 息	歯 周 病	口 腔 がん	心 臓 病	脳 卒 中	胃 かい よう	わ か ら な い	無 回 答
全体 (451)	93.6	70.1	69.4	63.4	58.5	45.5	36.8	44.8	36.1	23.5	4.2	0.9
男性 中学生 (71)	95.8	69.0	69.0	66.2	67.6	50.7	49.3	56.3	46.5	36.6	4.2	0.0
高校生 (190)	91.6	63.7	63.7	62.6	54.7	42.6	33.7	43.7	39.5	22.6	7.4	0.0
女性 中学生 (48)	97.9	87.5	85.4	77.1	72.9	52.1	41.7	68.8	41.7	31.3	0.0	0.0
高校生 (137)	95.6	74.5	73.0	59.1	55.5	44.5	32.8	32.1	24.8	15.3	1.5	0.7

7. アルコール

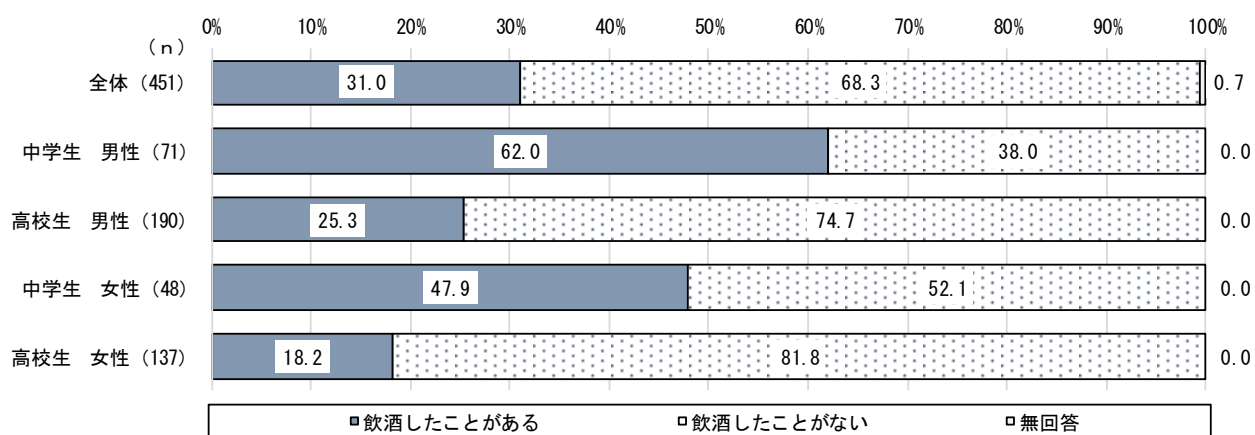
(1) 飲酒状況

問20 あなたは飲酒をしたことがありますか。(○は1つだけ)

飲酒の有無は、「飲酒したことがない」が68.3%、「飲酒したことがある」が31.0%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞は「飲酒したことがある」が62.0%となっています。
＜高校生 男性＞と＜高校生 女性＞は、「飲酒したことがない」が7割以上となっています。

飲酒の有無／中・高校生・性別



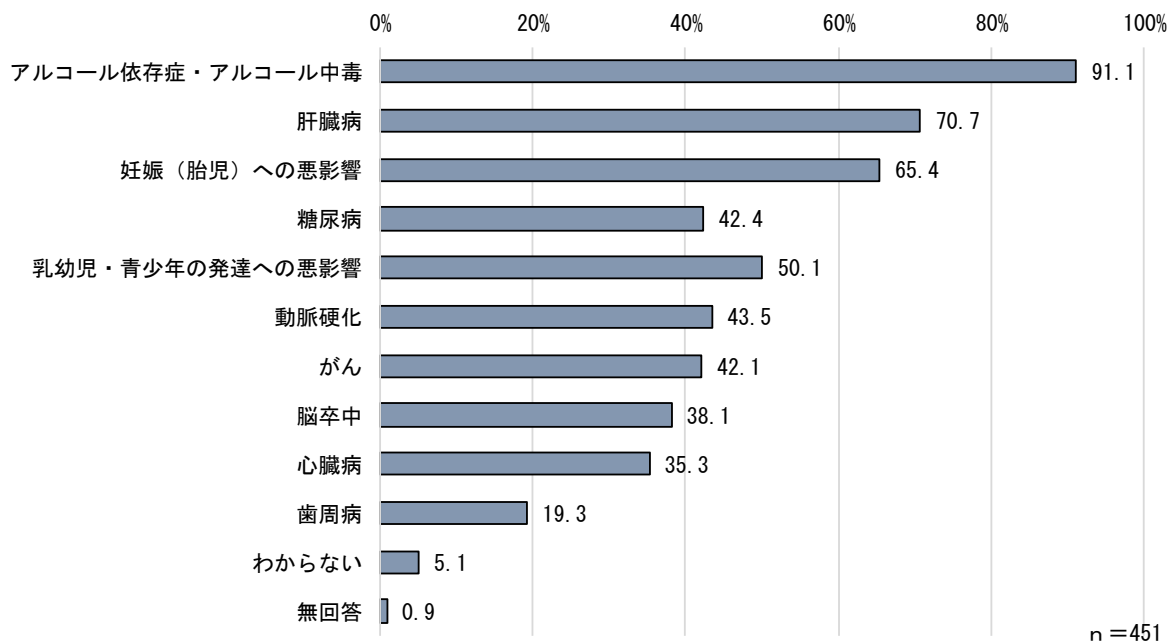
(2) 飲酒と疾病の関係

問21 次の病気のうち、多量の飲酒を長期間することがかかりやすくなると、あなたが思う病気を選んでください。(〇はいくつでも)

長期間の多量飲酒がかかりやすくなると思う病気は、「アルコール依存症・アルコール中毒」が91.1%と最も高く、次いで「肝臓病」が70.7%、「妊娠（胎児）への悪影響」が65.4%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 女性＞と＜高校生 女性＞は「妊娠（胎児）への悪影響」が7割以上、「乳幼児・青少年の発達への悪影響」が半数以上となっています。

長期間の多量飲酒がかかりやすくなると思う病気／中・高校生・性別



(n)	アルコール依存症・アルコール中毒	肝臓病	妊娠（胎児）への悪影響	糖尿病	悪影響 乳幼児・青少年の発達への	動脈硬化	がん	脳卒中	心臓病	歯周病	わからない	無回答
全体 (451)	91.1	70.7	65.4	42.4	50.1	43.5	42.1	38.1	35.3	19.3	5.1	0.9
男性 中学生 (71)	95.8	71.8	59.2	45.1	49.3	43.7	52.1	43.7	40.8	26.8	5.6	0.0
男性 高校生 (190)	87.4	67.9	57.9	43.2	44.2	44.7	35.8	39.5	36.3	17.9	8.9	0.0
女性 中学生 (48)	97.9	83.3	89.6	56.3	68.8	47.9	62.5	43.8	43.8	20.8	0.0	0.0
女性 高校生 (137)	93.4	70.8	71.5	35.0	53.3	40.1	39.4	32.1	28.5	17.5	1.5	0.7

8. 歯の健康

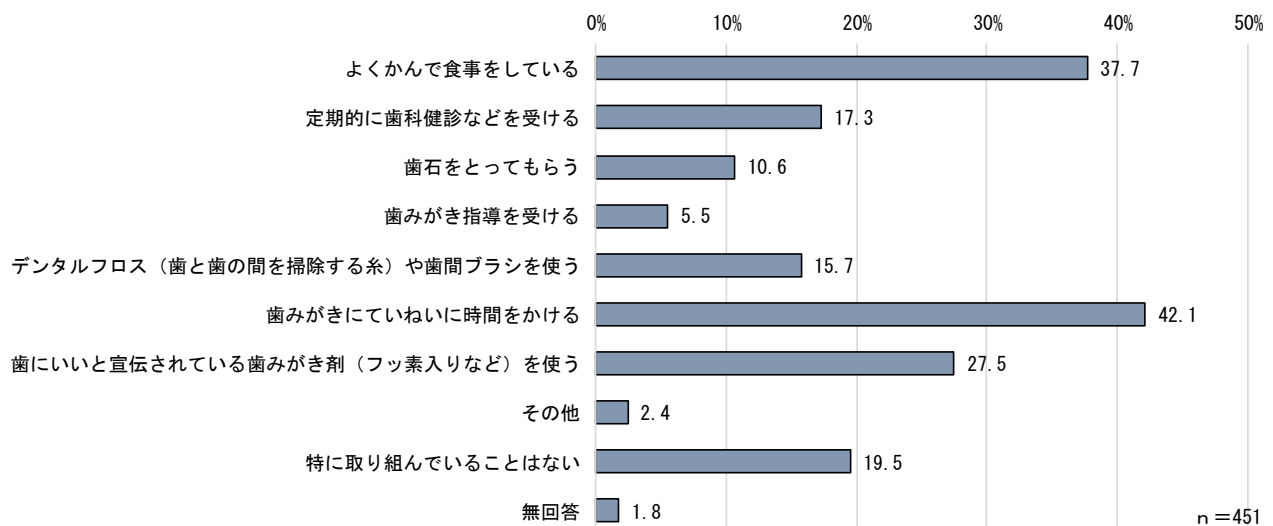
(1) 歯の健康のための取り組み

問22 ふだん、歯や歯ぐきの健康のために、どのようなことに取り組んでいますか。(〇はいくつでも)

歯や歯ぐきの健康のための取り組みは、「歯みがきにていねいに時間をかける」が42.1%と最も高く、次いで「よくかんで食事をしている」が37.7%、「歯にいいと宣伝されている歯みがき剤（フッ素入りなど）を使う」が27.5%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 女性＞は「歯みがきにていねいに時間をかける」が56.3%、「デンタルフロス（歯と歯の間を掃除する糸）や歯間ブラシを使う」が37.5%となっています。

歯や歯ぐきの健康のための取り組み／中・高校生・性別



(n)	よくかんで食事をしている	定期的に歯科健診などを受ける	歯石をとってもらう	歯みがき指導を受ける	デンタルフロス（歯と歯の間を掃除する糸）や歯間ブラシを使う	歯みがきにていねいに時間をかける	歯にいいと宣伝されている歯みがき剤（フッ素入りなど）を使う	その他	特に取り組んでいることはない	無回答
全体（451）	37.7	17.3	10.6	5.5	15.7	42.1	27.5	2.4	19.5	1.8
男性 中学生（71）	38.0	19.7	16.9	8.5	16.9	43.7	49.3	5.6	15.5	1.4
高校生（190）	31.1	10.0	4.7	2.1	12.6	38.4	21.6	0.5	27.4	1.6
女性 中学生（48）	54.2	22.9	12.5	14.6	37.5	56.3	50.0	8.3	4.2	0.0
高校生（137）	41.6	24.1	15.3	5.8	12.4	42.3	17.5	1.5	16.8	0.7

9. 薬物や性、子育て

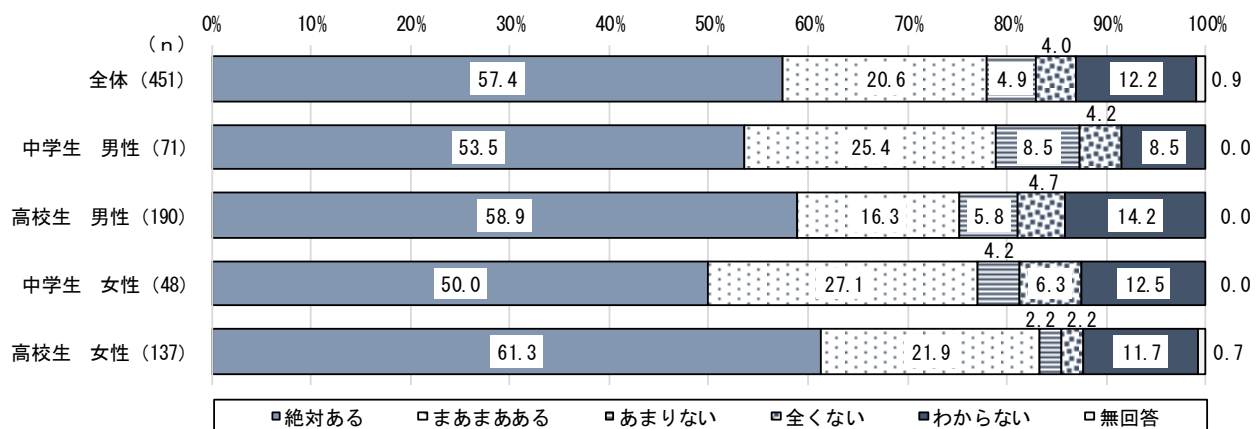
(1) 薬物使用を断ること

問23 あなたは、シンナーや覚醒剤などの薬物について使用をすすめられたら、断る自信がありますか。(○は1つだけ)

シンナー遊びや薬物使用をすすめられたら断る自信はあるかは、「絶対ある」が57.4%と最も高く、次いで「まあまあある」が20.6%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜高校生 女性＞が「絶対ある」が61.3%となっています。＜中学生 女性＞は、「全くない」が6.3%となっています。

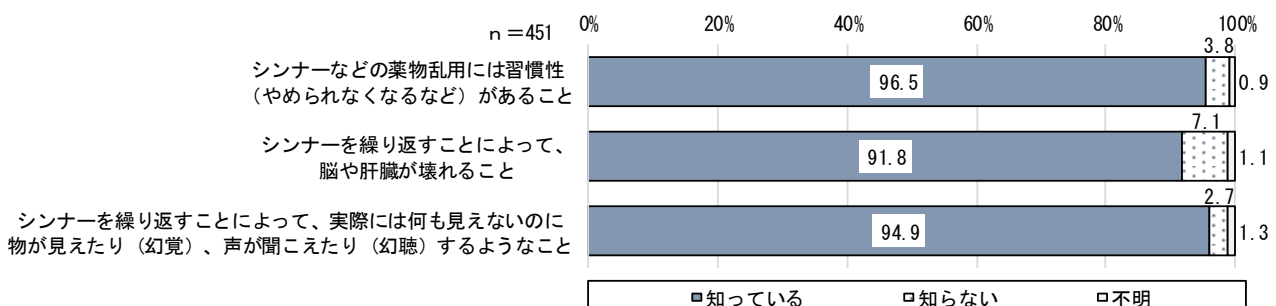
シンナー遊びや薬物使用をすすめられたら断る自信はあるか／中・高校生・性別



問24 あなたは、シンナーや覚醒剤などの薬物の使用について、次の内容を知っていますか。(それぞれについて、当てはまる番号1つだけに○)

シンナー遊びや覚醒剤などの薬物使用についての知識は、全てにおいて「知っている」が9割以上、「知らない」が1割未満となっています。

シンナー遊びや覚醒剤などの薬物使用についての知識



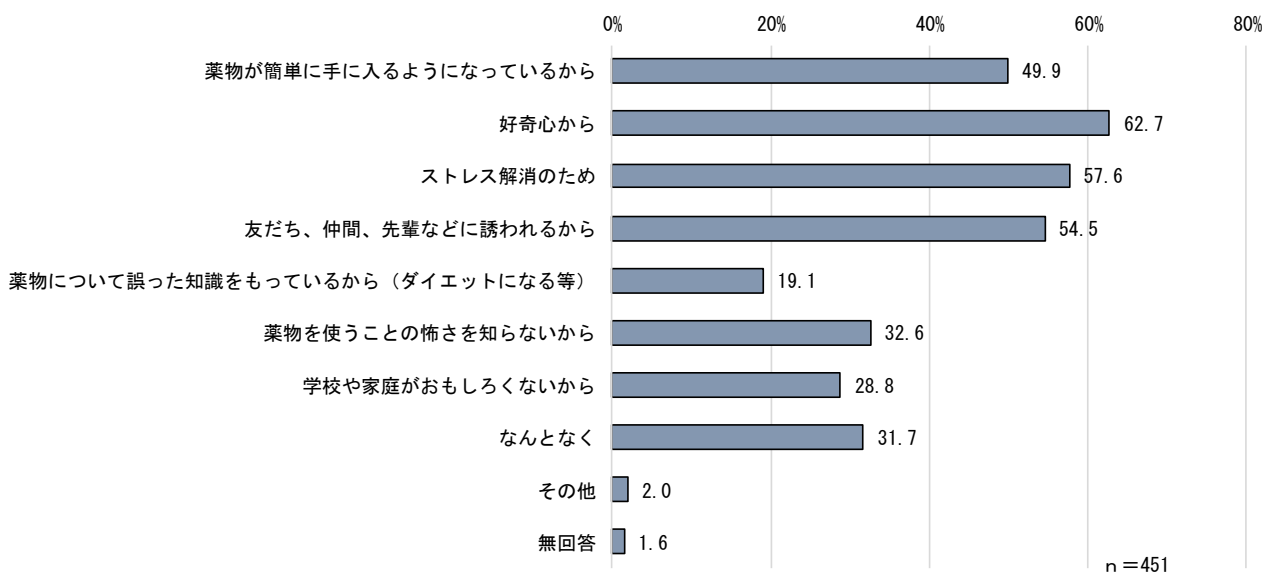
(2) 薬物を利用する若者が増えている理由

問25 あなたは、シンナーや覚醒剤などの薬物を乱用する若者が増えているのは、どのような理由からだと思いますか。(〇はいくつでも)

シンナー遊びや覚醒剤などの薬物を乱用する若者の増加理由は、「好奇心から」が62.7%と最も高く、次いで「ストレス解消のため」が57.6%、「友だち、仲間、先輩などに誘われるから」が54.5%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 女性＞は「薬物が簡単に手に入るようになってきているから」が72.9%となっています。＜中学生 男性＞と＜中学生 女性＞は、「ストレス解消のため」が7割以上、「薬物を使うことの怖さを知らないから」が半数以上となっています。

シンナー遊びや覚醒剤などの薬物を乱用する若者の増加理由／中・高校生・性別



(n)	薬物が簡単に手に入るようになってきているから	好奇心から	ストレス解消のため	友だち、仲間、先輩などに誘われるから	薬物について誤った知識をもっているから (ダイエットになる等)	薬物を使うことの怖さを知らないから	学校や家庭がおもしろくないから	なんとなく	その他	無回答
全体 (451)	49.9	62.7	57.6	54.5	19.1	32.6	28.8	31.7	2.0	1.6
男性 中学生 (71)	40.8	62.0	70.4	56.3	23.9	56.3	23.9	35.2	4.2	1.4
高校生 (190)	43.7	58.4	49.5	45.3	13.2	21.6	18.9	30.5	2.1	0.5
女性 中学生 (48)	72.9	81.3	75.0	66.7	35.4	62.5	47.9	39.6	2.1	0.0
高校生 (137)	56.2	64.2	56.9	62.8	19.7	26.3	39.4	29.2	0.7	1.5

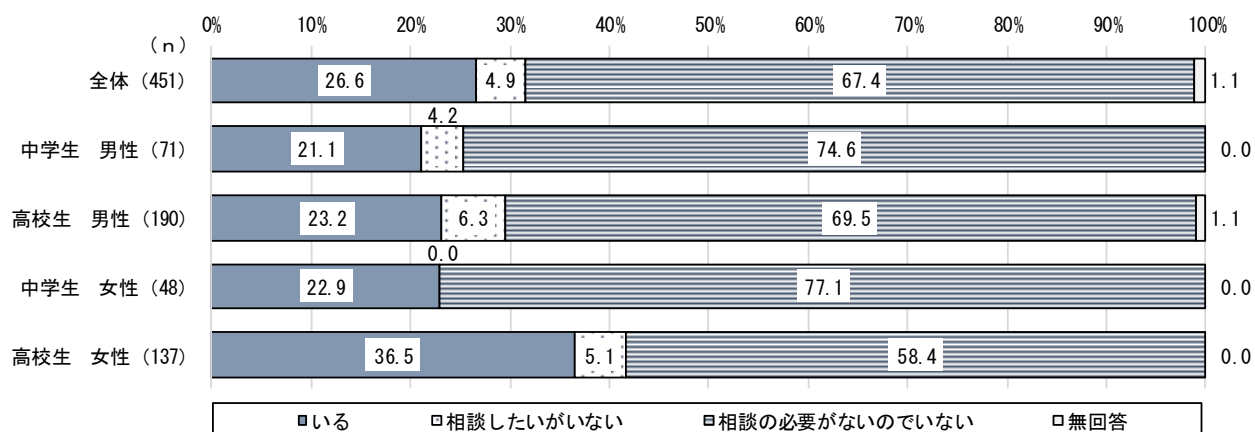
(3) 性に関する相談相手

問26 あなたは、性に関して相談できる人がいますか。(○は1つだけ)

性に関する相談相手の有無は、「相談の必要がないのでいない」が67.4%「いる」は26.6%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜高校生 女性＞は「いる」が36.5%となっており、＜中学生 男性＞と＜高校生 男性＞、＜高校生 女性＞は「相談したいがいらない」が4～7%となっています。

性に関する相談相手の有無／中・高校生・性別

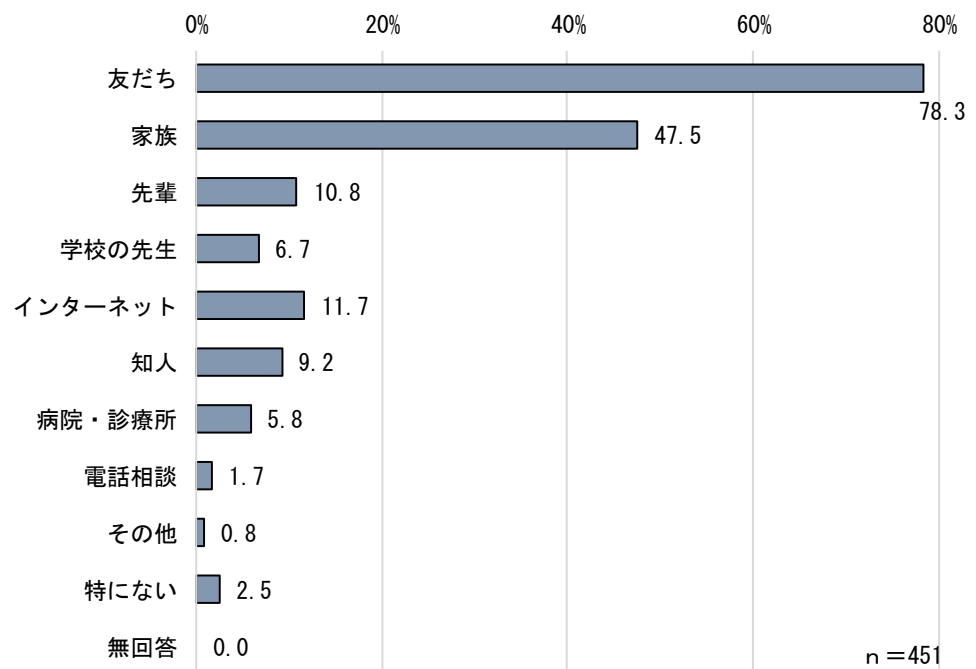


付問26ー1 (問26で「いる」と回答した人のみ)
相談相手は誰ですか。(〇はいくつでも)

性の相談相手は、「友だち」が78.3%と最も高く、次いで「家族」が47.5%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞と＜高校生 男性＞は、「友だち」が8割以上となっています。＜中学生 女性＞は「家族」が90.9%となっています。

性の相談相手／中・高校生・性別



	友だち	家族	先輩	学校の先生	インターネット	知人	病院・診療所	電話相談	その他	特にない	無回答
(n)											
全体 (120)	78.3	47.5	10.8	6.7	11.7	9.2	5.8	1.7	0.8	2.5	0.0
男性 中学生 (15)	86.7	40.0	20.0	20.0	13.3	26.7	13.3	6.7	0.0	6.7	0.0
高校生 (44)	81.8	25.0	13.6	2.3	13.6	9.1	0.0	0.0	2.3	2.3	0.0
女性 中学生 (11)	54.5	90.9	18.2	27.3	27.3	18.2	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0
高校生 (50)	78.0	60.0	4.0	2.0	6.0	2.0	4.0	0.0	0.0	2.0	0.0

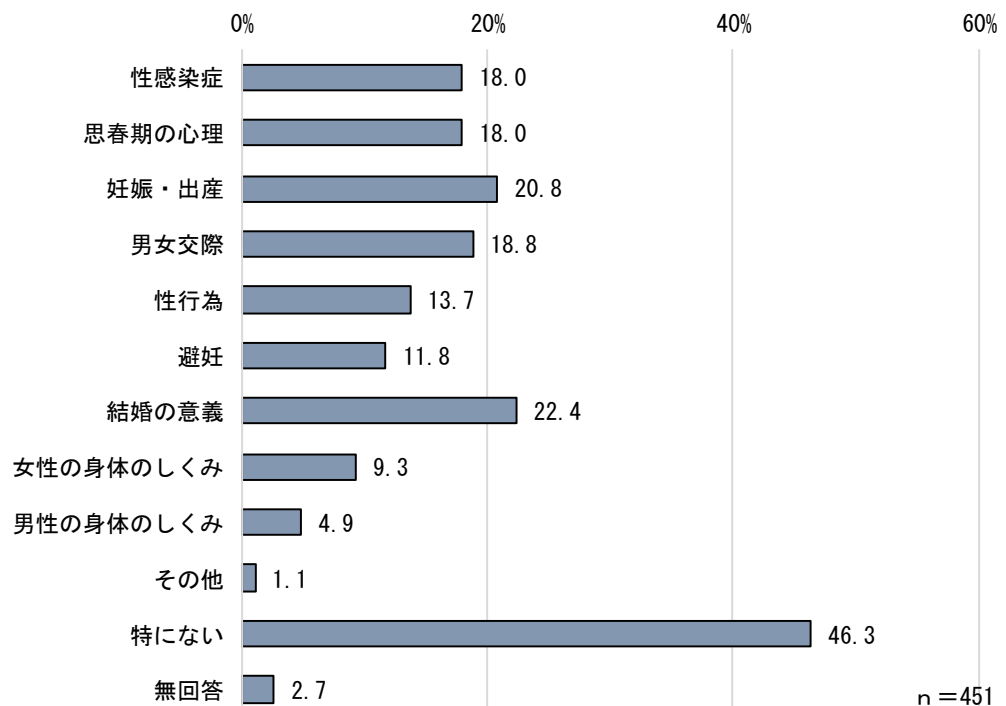
(4) 性に関して知りたいこと

問27 あなたが、性に関して知りたいと思うことは次のうちどれですか。(〇はいくつも)

性に関して知りたいことは、「特にない」が46.3%と最も高く、次いで「結婚の意義」が22.4%、「妊娠・出産」が20.8%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞と＜高校生 男性＞、＜中学生 女性＞は「性感染症」が2割以上となっています。＜中学生 女性＞は「妊娠・出産」が35.4%、「結婚の意義」が45.8%となっています。

性に関して知りたいこと／中・高校生・性別



(n)	性感染症	思春期の心理	妊娠・出産	男女交際	性行為	避妊	結婚の意義	女性の身体のしくみ	男性の身体のしくみ	その他	特にない	無回答
全体	18.0	18.0	20.8	18.8	13.7	11.8	22.4	9.3	4.9	1.1	46.3	2.7
男性 中学生 (71)	21.1	26.8	14.1	22.5	15.5	9.9	26.8	12.7	7.0	0.0	46.5	0.0
高校生 (190)	22.6	17.9	14.7	21.1	18.9	14.7	18.4	11.6	5.8	1.6	48.9	2.6
女性 中学生 (48)	20.8	31.3	35.4	12.5	6.3	10.4	45.8	10.4	2.1	2.1	39.6	2.1
高校生 (137)	9.5	9.5	27.7	16.8	8.8	9.5	18.2	4.4	3.6	0.7	46.0	2.2

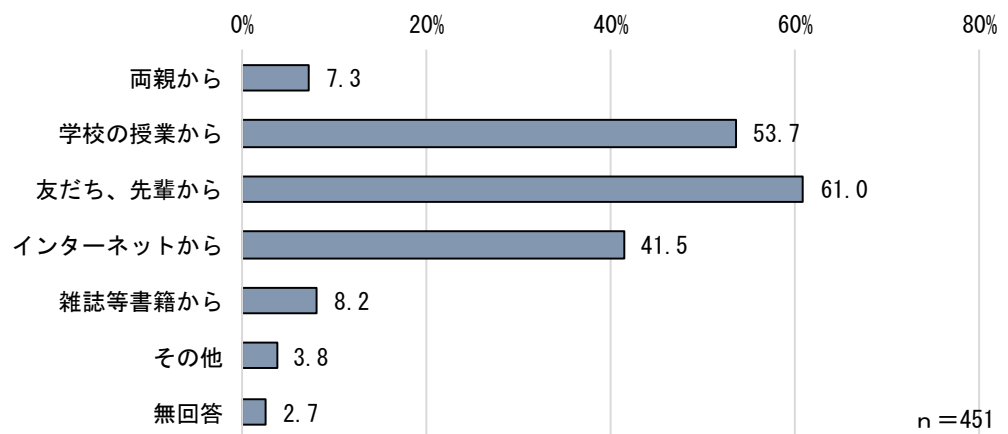
(5) 性に関する情報源

問28 性に関する情報をどこから得ましたか？（○はいくつでも）

性に関する情報源は、「友だち、先輩から」が61.0%と最も高く、次いで「学校の授業から」が53.7%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学校 女性＞は「学校の授業から」が70.8%となっています。＜中学生 男性＞は「友だち、先輩から」が80.3%、＜高校生 男性＞は「インターネットから」が55.3%となっています。

性に関する情報源／中・高校生・性別



(n)	両親から	学校の授業から	友だち、先輩から	インターネットから	雑誌等書籍から	その他	無回答
全体 (451)	7.3	53.7	61.0	41.5	8.2	3.8	2.7
男性 中学生 (71)	4.2	39.4	80.3	29.6	4.2	8.5	1.4
高校生 (190)	5.3	45.3	65.8	55.3	7.9	3.2	2.1
女性 中学生 (48)	12.5	70.8	58.3	35.4	12.5	2.1	0.0
高校生 (137)	9.5	67.9	46.7	30.7	8.8	2.9	2.9

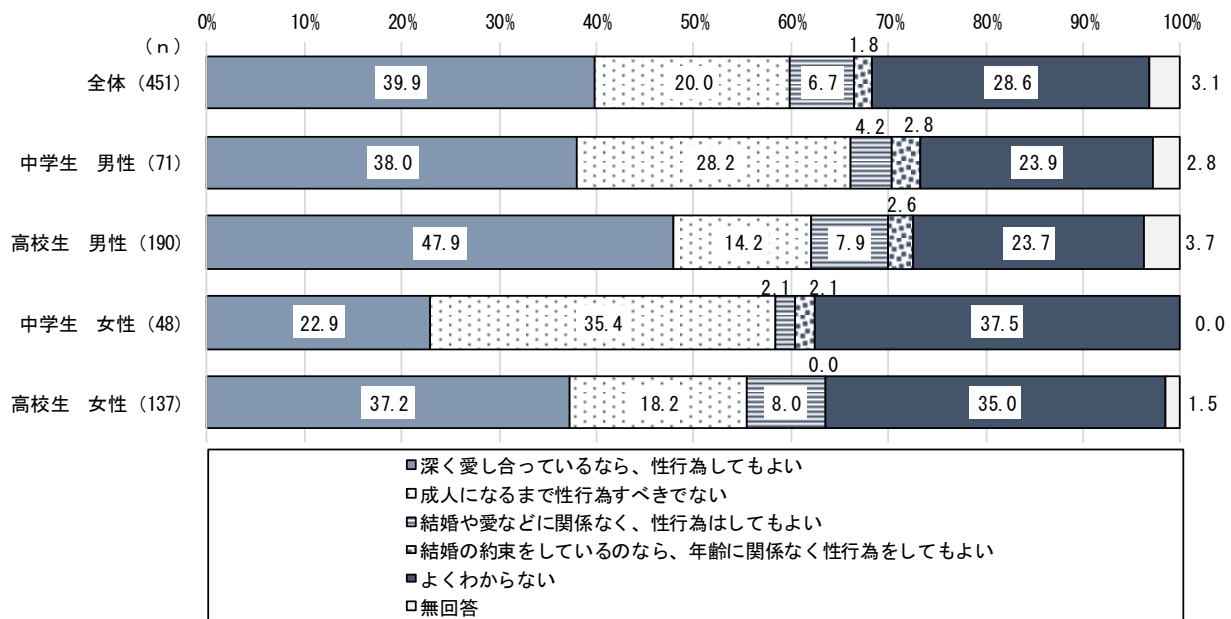
(6) セックスに関する考え

問29 あなたは、性行為することについてどう思いますか。(〇は1つだけ)

セックスに関する考えは、「深く愛し合っているなら、性行為してもよい」が39.9%、「よくわからない」が28.6%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜高校生 男性＞は「深く愛し合っているなら、性行為してもよい」が47.9%となっています。＜中学生 女性＞は「成人になるまで性行為すべきでない」は35.4%、「よくわからない」は37.5%となっています。

セックスに関する考え／中・高校生・性別



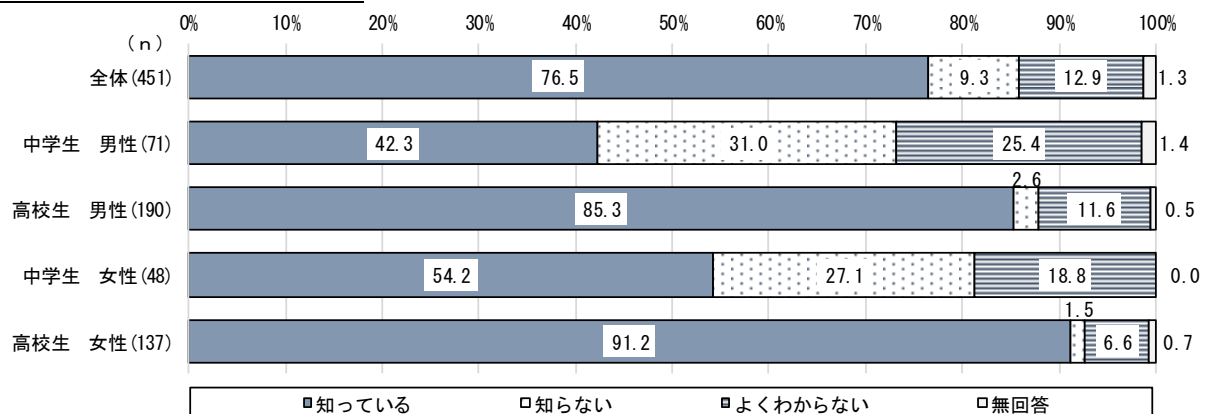
(7) 知っている避妊方法

問30 あなたは、避妊法を知っていますか。(〇は1つだけ)

避妊方法を「知っている」が76.5%と最も高く、「よくわからない」が12.9%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞は「知っている」が42.3%、「知らない」が31.0%となっています。

避妊方法／中・高校生・性別



(8) 知っている避妊法

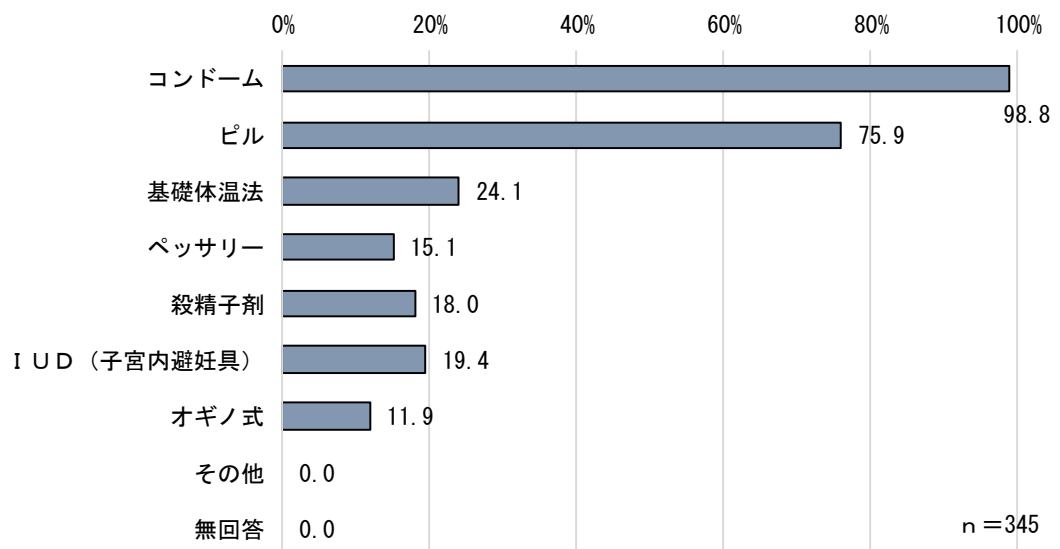
付問30-1 (問30で「知っている」と回答した人のみ)

どんな避妊法を知っていますか。(〇はいくつでも)

知っている避妊法としては、「コンドーム」が98.8%と最も高く、次いで「ピル」が75.9%、「基礎体温」が24.1%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜高校生 男性＞と＜高校生 女性＞は「ピル」は8割以上、「基礎体温法」が2割以上となっています。＜中学生 男性＞は「ペッサリー」が3.3%となっています。

知っている避妊法／中・高校生・性別



	コンドーム	ピル	基礎体温法	ペッサリー	殺精子剤	IUD (子宮内避妊具)	オギノ式	その他	無回答
(n)									
全体 (345)	98.8	75.9	24.1	15.1	18.0	19.4	11.9	0.0	0.0
男性 中学生 (30)	100.0	36.7	6.7	3.3	20.0	16.7	10.0	0.0	0.0
高校生 (162)	99.4	80.9	25.9	21.6	23.5	25.3	16.0	0.0	0.0
女性 中学生 (26)	92.3	38.5	11.5	11.5	19.2	23.1	3.8	0.0	0.0
高校生 (125)	99.2	86.4	28.8	10.4	10.4	12.0	8.0	0.0	0.0

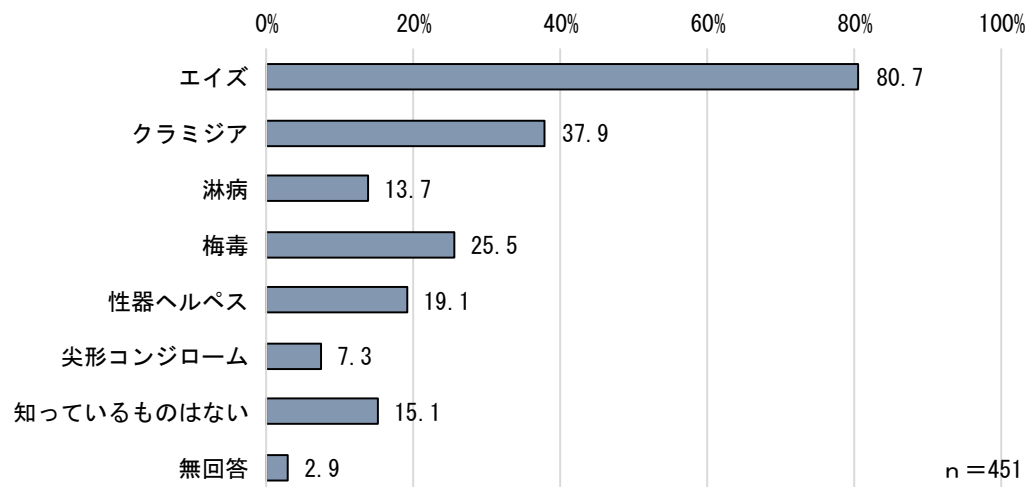
(9) 知っている性感染症

問31 性感染症で、あなたが知っているのはどれですか。(〇はいくつでも)

知っている性感染症は、「エイズ」が80.7%と最も高く、次いで「クラミジア」は37.9%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞は「エイズ」が半数以上、＜高校生 男性＞と＜高校生 女性＞は9割以上となっています。＜高校生 男性＞は「クラミジア」が52.6%、＜高校生 女性＞は40.9%となっています。＜中学生 女性＞は「知っているものはない」が52.1%となっています。

知っている性感染症／中・高校生・性別



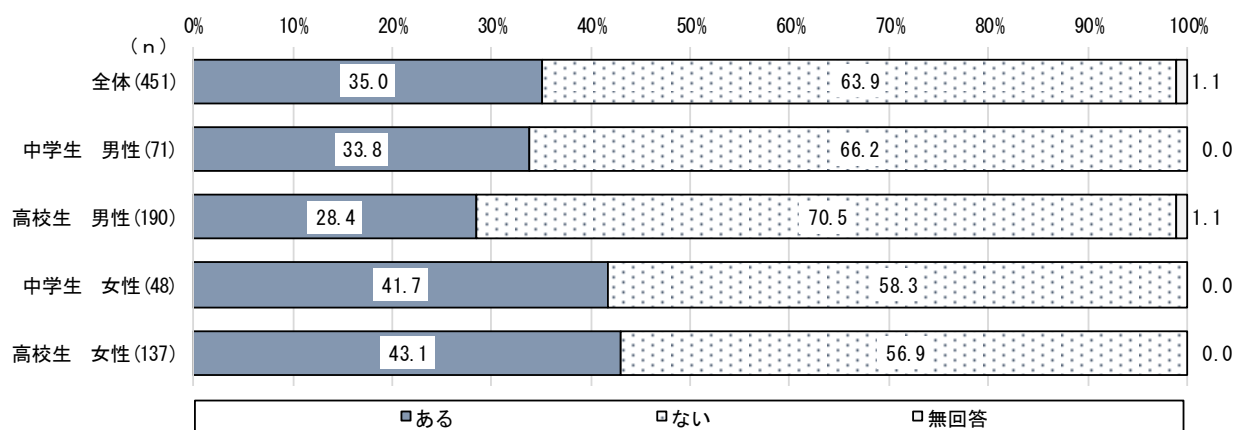
(n)	エイズ	クラミジア	淋病	梅毒	性器ヘルペス	尖形コンジローム	知っているものはない	無回答
全体 (451)	80.7	37.9	13.7	25.5	19.1	7.3	15.1	2.9
男性 中学生 (71)	50.7	15.5	5.6	9.9	8.5	1.4	42.3	4.2
高校生 (190)	95.3	52.6	19.5	34.2	24.2	12.1	3.7	1.1
女性 中学生 (48)	39.6	6.3	2.1	4.2	8.3	2.1	52.1	4.2
高校生 (137)	92.0	40.9	14.6	29.9	21.2	5.8	4.4	2.2

(10) 赤ちゃんを抱くこと

問32 あなたは、この1～2年の間に赤ちゃんを抱いたことがありますか。(○は1つだけ)

過去1～2年の間に赤ちゃんを抱いた経験は、「ない」が63.9%、「ある」が35.0%となっています。
中・高校生・性別にみると、＜中学生 女性＞は「ある」が41.7%、＜高校生 女性＞は43.1%となっています。＜高校生 男性＞は「ない」が70.5%となっています。

過去1～2年の間に赤ちゃんを抱いた経験／中・高校生・性別



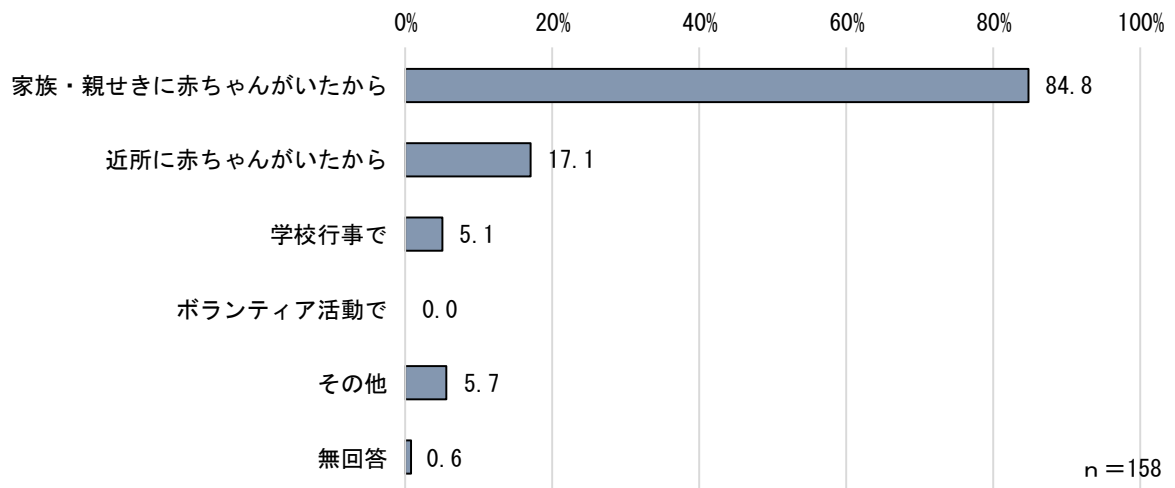
付問32-1 (問32で「ある」と回答した人のみ)

どんな機会に赤ちゃんを抱きましたか。(〇はいくつでも)

赤ちゃんを抱いた機会は、「家族・親せきに赤ちゃんがいたから」が84.8%と最も高く、次いで「近所に赤ちゃんがいたから」が17.1%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞が「家族・親せきに赤ちゃんがいたから」が91.7%と最も高く、＜中学生 女性＞は「近所に赤ちゃんがいたから」が25.0%となっています。

赤ちゃんを抱いた機会／中・高校生・性別



(n)	家族・親せきに赤ちゃんがいたから	近所に赤ちゃんがいたから	学校行事で	ボランティア活動で	その他	無回答
全体 (158)	84.8	17.1	5.1	0.0	5.7	0.6
中学生 男性 (24)	91.7	16.7	0.0	0.0	4.2	0.0
高校生 男性 (54)	87.0	7.4	9.3	0.0	1.9	1.9
中学生 女性 (20)	70.0	25.0	5.0	0.0	15.0	0.0
高校生 女性 (59)	84.7	23.7	3.4	0.0	6.8	0.0

(11) 赤ちゃんを育てること

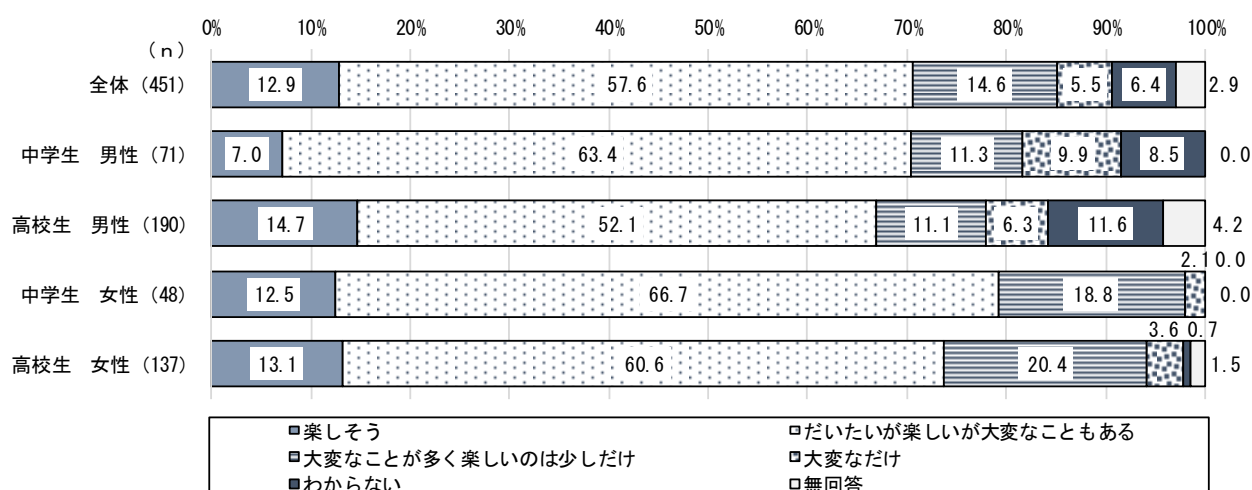
問33 あなたは、赤ちゃんを育てることについてどう思いますか。(〇は1つだけ)

赤ちゃんを育てることについてどう思うかは、「だいたいが楽しいが大変なこともある」は57.6%と最も高く、次いで「大変なことが多く楽しいのは少しだけ」が14.6%、「楽しそう」が12.9%となっています。

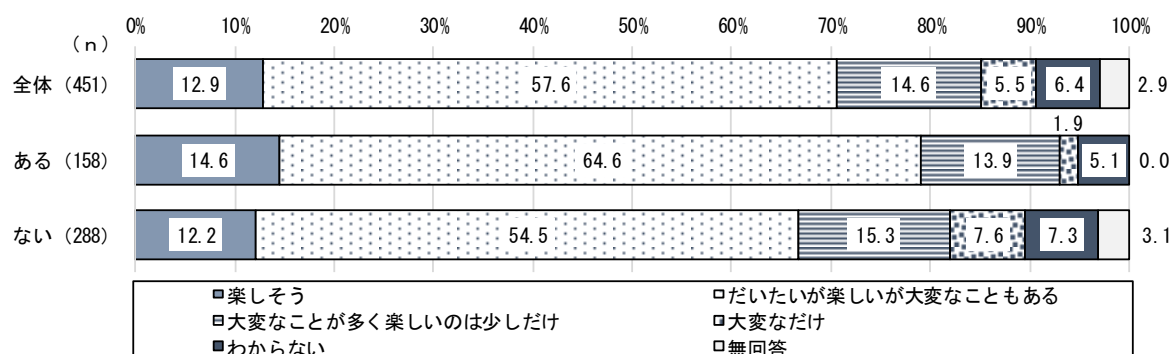
中・高校生・性別にみると、＜高校生 男性＞と＜中学生 女性＞、＜高校生 女性＞は「楽しそう」が1割以上となっています。＜中学生 男性＞と＜中学生 女性＞、＜高校生 女性＞は「だいたいが楽しいが大変なこともある」が6割以上となっています。

過去1～2年の間に赤ちゃんを抱いた経験別にみると、経験のある人では、「楽しそう」と「だいたい楽しいが大変なこともある」が高くなっています。一方、経験のない人では、「大変なことが多く楽しいのは少しだけ」が高くなっています。

赤ちゃんを育てることについてどう思うか／中・高校生・性別



赤ちゃんを育てることについてどう思うか／過去1～2年の間に赤ちゃんを抱いた経験



10. 人づきあいなど

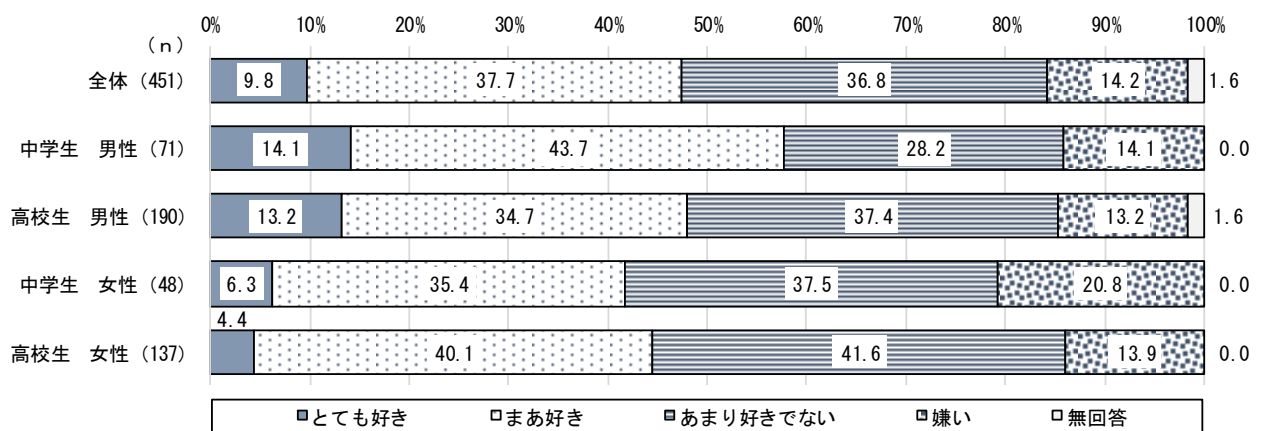
(1) 自分

問34 あなたは、自分のことが好きですか。(○は1つだけ)

自分のことが好きかは、「あまり好きではない」が36.8%と最も高く、次いで「まあ好き」が37.7%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞は「とても好き」が14.1%、＜高校生 男性＞は「13.2%」となっています。＜中学生 女性＞は「嫌い」が20.8%、「あまり好きではない」と「嫌い」の合計は、58.3%となっています。

自分のことが好きか／中・高校生・性別



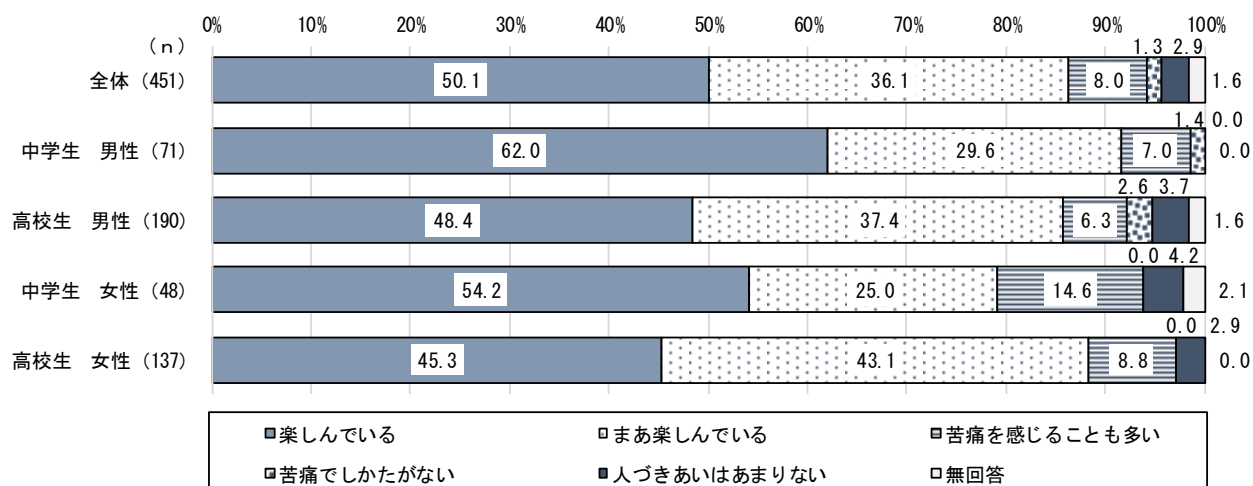
(2) 友人とのつきあい

問35 あなたは、友人とのつきあいを楽しんでいますか。(○は1つだけ)

友人とのつきあいを楽しんでいるかは、「楽しんでいる」が50.1%と最も高く、次いで「まあ楽しんでいる」が36.1%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 男性＞は「楽しんでいる」が62.0%＜中学生 女性＞は54.2%となっています。＜中学生 女性＞は「苦痛を感じることも多い」が14.6%となっています。

友人とのつきあいを楽しんでいるか／中・高校生・性別



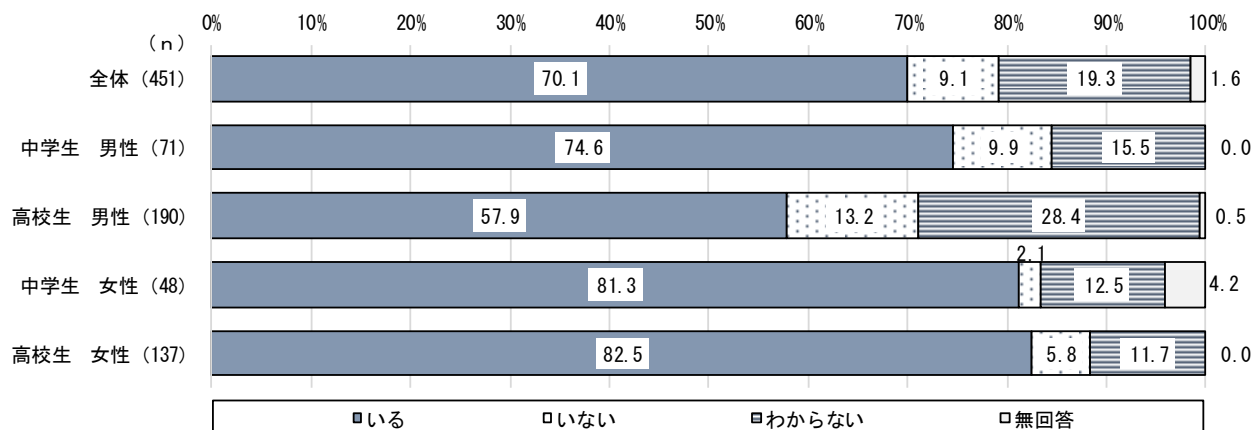
(3) 悩みの相談相手

問36 悩みを相談できる人はいますか。(○は1つだけ)

悩みを相談できる人はいるかは、「いる」が70.1%と最も高く、次いで「わからない」が19.3%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 女性＞と＜高校生 女性＞は「いる」が8割以上となっています。＜高校生 男性＞は「いない」が13.2%となっています。

悩みを相談できる人はいるか／中・高校生・性別



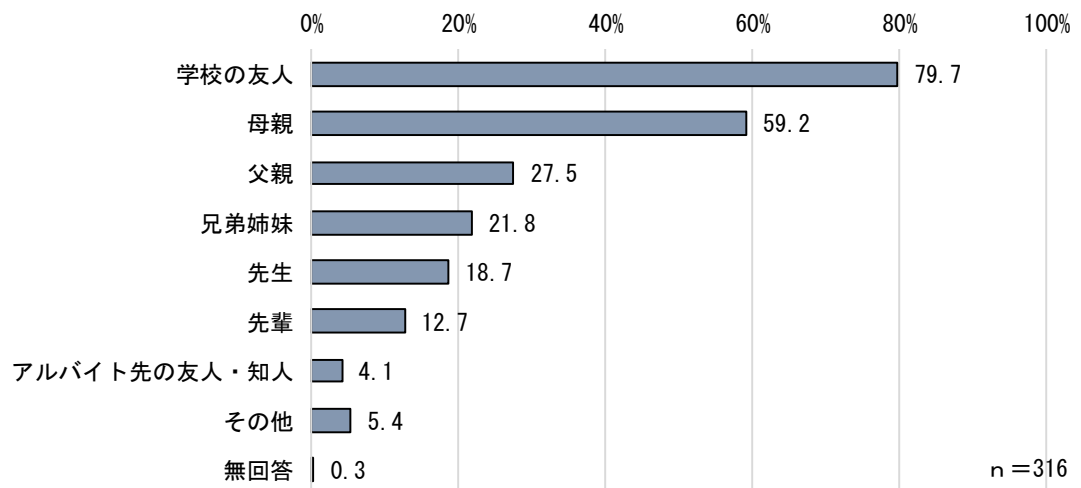
付問36-1 (問36で「いる」と回答した方のみ)

相談できる人とは誰ですか。(〇はいくつでも)

相談相手は、「学校の友人」が79.7%と最も高く、次いで「母親」が59.2%、「父親」が27.5%、「兄弟姉妹」が21.8%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 女性＞は「母親」が74.4%、＜中学生 男性＞は「父親」が45.3%と、他の層より高くなっています。

相談相手／中・高校生・性別



(n)	学校の友人	母親	父親	兄弟姉妹	先生	先輩	人・知人 アルバイト先の友	その他	無回答
全体 (316)	79.7	59.2	27.5	21.8	18.7	12.7	4.1	5.4	0.3
男性 中学生 (53)	75.5	54.7	45.3	24.5	32.1	13.2	0.0	3.8	0.0
高校生 (110)	73.6	52.7	33.6	16.4	13.6	13.6	1.8	6.4	0.9
女性 中学生 (39)	89.7	74.4	20.5	35.9	43.6	12.8	0.0	10.3	0.0
高校生 (113)	84.1	62.8	15.9	21.2	8.8	11.5	9.7	3.5	0.0

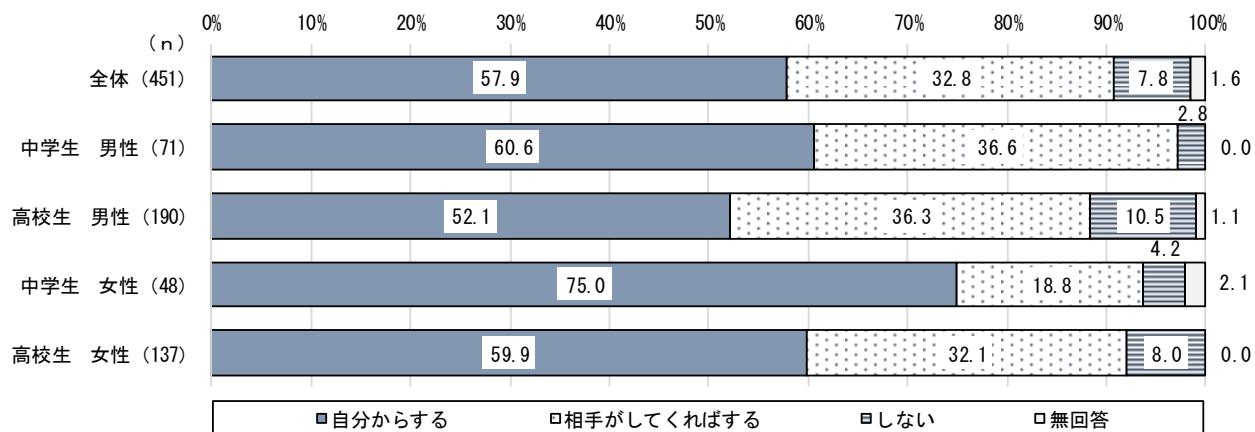
(4) 近所の人へのあいさつ

問37 あなたは、近所の人と会った時にあいさつをしていますか。(○は1つだけ)

近所のあいさつについては「自分からする」が57.9%、「相手がしてくれればする」が32.8%となっています。

中・高校生・性別にみると、＜中学生 女性＞は「自分からする」が75.0%となっています。＜高校生 男性＞は「しない」が10.5%となっています。

近所のあいさつについて／中・高校生・性別



佐倉市健康増進計画「健康さくら21（第2次）」市民健康意識調査 報告書
平成30（2018）年3月

発 行：佐倉市健康こども部健康増進課

佐倉市江原台2－27
佐倉市健康管理センター

Tel 043－485－6711
